IBM

System x3650 M4
Type 7915
インストールおよびサービスのガイド

System x3650 M4
Type 7915

インストールおよびサービスのガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 971 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、 975 ページの『特記事項』、「*保証情報*」、および IBM *Documentation* CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System x3650 M4
Type 7915
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第9版第1刷 2013.10

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について vii
安全に関する注意書き ix

第 1 章 System x3650 M4 サーバー . . 1
IBM Documentation CD 5
ハードウェアとソフトウェアの要件. 5
IBM Documentation CD 5
関連資料. 6
本書で使用される注記 7
サーバーの機能および仕様. 8
サーバーが提供する機能 11
信頼性、可用性、および保守容易性 15
IBM Systems Director 17
サーバーのコントロール、LED、および電源 . . . 18
正面図 18
オペレーター情報パネル 20
Light Path 診断パネル 21
背面図 23
サーバーのパワー・サプライ 26
サーバーの電源をオンにする 26
サーバーの電源をオフにする 27

第 2 章 オプション装置の取り付け . . . 29
IBM ビジネス・パートナー用の手順 30
IBM への DSA データの送信方法. 30
サーバー・コンポーネント 31
システム・ボードの内部コネクター 32
システム・ボードの外部コネクター 33
システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン 34
システム・ボードの LED. 36
システム・ボードのオプション装置コネクター . 37
PCI ライザー・カード・アダプターのコネクター 37
PCI ライザー・カード・アセンブリー LED. . . 38
取り付けのガイドライン 38
システムの信頼性に関するガイドライン. . . . 40
電源オンされているサーバー内部での作業 . . . 41
静電気に弱い装置の取り扱い 41
カバーの取り外し 42
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し. . 43
エアー・バッフルの取り外し 44
PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張 . . . 45
PCI ライザー・カード・アセンブリーの縮小 . . . 46
ドライブの取り付け 46
ドライブ ID 47
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け. . 47
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 49
1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り付け 51
オプションの DVD ドライブの取り付け. 52
オプションの DVD ドライブ・ケーブルの取り付け 56
メモリー・モジュールの取り付け 58
DIMM 取り付け順序 61
メモリー・ミラーリング・チャネル 62
メモリー・ランク・スペアリング 63
メモリー・モジュールの取り付け 64
アダプターの取り付け. 67
オプションの ServeRAID アップグレード・アダプターの取り付け. 72
リモート・バッテリー・トレイへの ServeRAID SAS コントローラーのバッテリー取り付け 73
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り付け 76
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け 80
ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け 83
ホット・スワップ・ファンの取り付け 89
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け 90
12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットの取り付け. . 97
ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け. 104
12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットの取り付け. 111
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け 117
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD の取り付け 122
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD の取り付け 131
オプションのテープ・ドライブの取り付け. 139
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ装置の取り付け 142
追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け 143
熱伝導グリース. 151
取り付けの完了. 152
エアー・バッフルの交換. 153
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け 154
カバーの交換 155
外部ケーブルの接続 156
サーバー構成の更新 157

第 3 章 構成情報と説明 159
ファームウェアの更新 159
サーバーの構成. 160
ServerGuide Setup and Installation CD の使用 163
ServerGuide の機能 164

© Copyright IBM Corp. 2013

セットアップおよび構成の概要 164
標準的なオペレーティング・システムのインストール 165
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール. 165
Setup ユーティリティーの使用 166
Setup ユーティリティーの開始 166
Setup ユーティリティーのメニュー選択項目 167
パスワード 172
Boot Manager の使用 174
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始 175
Update*Xpress* System Pack Installer 175
統合管理モジュールの使用 175
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用 177
IMM ホスト名の取得. 178
IMM 用の IP アドレスの取得 178
Web インターフェースへのログオン. 179
組み込みハイパーバイザーの使用. 180
Ethernet コントローラーの構成 181
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化 181
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化. 181
RAID アレイの構成 182
IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム. 182
IBM Systems Director の更新 183
最新バージョンのインストール 183
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール . . 183
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール. . 184
汎用固有 ID (UUID) の更新 184
DMI/SMBIOS データの更新 187

第 4 章 トラブルシューティング . . . 193
ここから開始します 193
問題の診断 193
文書化されていない問題. 196
Service Bulletin 196
チェックアウト手順 197
チェックアウト手順について 197
チェックアウト手順の実行 198
診断ツール 199
Light Path 診断. 202
Light Path 診断 LED 205
パワー・サプライ LED 212
システム・パルス LED 216
PCI ライザー・カード LED 216
イベント・ログ. 217
Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示 218
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する. 218
イベント・ログの消去 220
POST 220
IBM Dynamic System Analysis 221
DSA のエディション 222
DSA Preboot 診断プログラムの実行 223
診断テキスト・メッセージ 224
テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送 224
自動サービス要求 (コール・ホーム) 224
IBM Electronic Service Agent 225
エラー・メッセージ 225
現象別トラブルシューティング 225
CD/DVD ドライブの問題 226
一般的な問題 227
ハード・ディスクの問題. 227
ハイパーバイザーの問題. 230
再現性の低い問題 230
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題 231
メモリーの問題. 232
マイクロプロセッサー問題 234
モニターおよびビデオの問題 235
ネットワーク接続の問題. 238
オプション装置の問題 238
電源問題 239
シリアル装置の問題 248
ServerGuide の問題 248
ソフトウェアの問題 250
USB ポートの問題 250
ビデオの問題 251
電源の問題の解決 251
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . . 253
未解決問題の解決 254
問題判別のヒント 255
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗). 256
インバンドの手動リカバリー方式. 257
インバンドの自動ブート・リカバリー方式. . . 259
アウト・オブ・バンド方式 259
自動ブート・リカバリー (ABR) 259
Nx 回ブート失敗 260

第 5 章 部品リスト、System x3650 M4 Type 7915 261
交換可能なサーバー・コンポーネント 261
構成部品 272
電源コード 273

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換 277
装置またはコンポーネントの返却. 277
内部ケーブルのルーティングおよびコネクター . . 278
一般 278
DVD ドライブの配線. 278
前面 USB およびビデオ・コネクターの配線 279
オペレーター情報パネルの配線 280
VGA コネクターの配線 281

2.5 型ハード・ディスクのケーブル接続. . . . 282
8 ドライブ対応モデル 282
16 ドライブ対応モデル 284
3.5 型ハード・ディスクのケーブル接続. . . . 286
サーバー・コンポーネントの取り外しと交換 . . . 287
構成部品の取り外しと交換 287
カバーの取り外し 288
カバーの交換 289
エアー・バッフルの取り外し 290
エアー・バッフルの交換. 291
RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し 292
RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換 293
ベゼルの取り外し 294
ベゼルの交換 294
240 VA 安全カバーの取り外し 295
240 VA 安全カバーの交換 296
Tier 1 CRU の取り外しと交換. 298
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し 298
ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換 299
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し. 302
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換 303
1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り外し. 305
1.8 型ホット・スワップのソリッド・ステート・ドライブの交換 306
DVD ドライブの取り外し 308
DVD ドライブの交換. 309
DVD ドライブ・ケーブルの取り外し . . . 313
DVD ドライブ・ケーブルの交換 315
テープ・ドライブの取り外し 318
テープ・ドライブの交換. 319
メモリー・モジュールの取り外し. 321
メモリー・モジュールの取り付け. 322
ファン・ブラケットの取り外し 330
ファン・ブラケットの交換 331
PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し 332
PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換 333
アダプターの取り外し 335
アダプターの交換 336
オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールの取り外し 340
オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールの交換. . 343
リモートに取り付けられた RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り外し 345
サーバーの RAID アダプターのリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの交換 . 347
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し 350
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換 351
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し. 356
ホット・スワップ AC パワー・サプライの交換 357
ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外し. 361
ホット・スワップ DC パワー・サプライの交換 364
ホット・スワップ・ファンの取り外し . . . 371
ホット・スワップ・ファンの交換. 372
2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り外し . . . 373
2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの交換 375
3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り外し . . . 376
3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの交換 377
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し. 379
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換 380
システム・バッテリーの取り外し. 381
システム・バッテリーの交換 383
オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し. 386
オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換 387
Tier 2 の CRU の取り外しと交換 388
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し 388
マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換 393
ヒートシンク保持モジュールの取り外し . . 402
ヒートシンク保持モジュールの交換 403
システム・ボードの取り外し 404
システム・ボードの交換. 407

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ 411

付録 B. UEFI/POST 診断コード. . . . 849

付録 C. DSA 診断テスト結果. 871
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果 . . . 871
DSA Brocade テスト結果 877
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果 . . 882
DSA CPU ストレス・テスト結果. 884
DSA Emulex アダプター・テスト結果 886

DSA EXA ポート ping テスト結果 889
DSA ハード・ディスク・テスト結果 890
DSA Intel ネットワーク・テスト結果 891
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果 895
DSA Mellanox アダプター・テスト結果 896
DSA メモリー分離テスト結果 898
DSA メモリー・ストレス・テスト結果 946
DSA Nvidia GPU テスト結果 948
DSA 光学式ドライブ・テスト結果 952
DSA システム管理テスト結果 956
DSA テープ・ドライブ・テスト結果 966

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 971
依頼する前に 971
資料の使用 972
ヘルプおよび情報を WWW から入手する 972
IBM への DSA データの送信方法 973
個別設定したサポート Web ページの作成 973
ソフトウェアのサービスとサポート 973
ハードウェアのサービスとサポート 974

特記事項 975
商標 976
重要事項 976
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意 977
粒子汚染 978
通信規制の注記 979
電波障害自主規制特記事項 979
Federal Communications Commission (FCC) statement 979
Industry Canada Class A emission compliance statement 980
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada 980
Australia and New Zealand Class A statement . . 980
European Union EMC Directive conformance statement 980
Germany Class A statement 981
VCCI クラス A 情報技術装置 982
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示 982
Korea Communications Commission (KCC) statement 982
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 982
People's Republic of China Class A electronic emission statement 983
Taiwan Class A compliance statement 983

索引 985

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

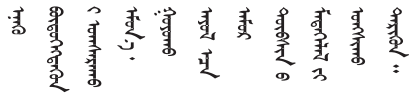
Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright IBM Corp. 2013

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

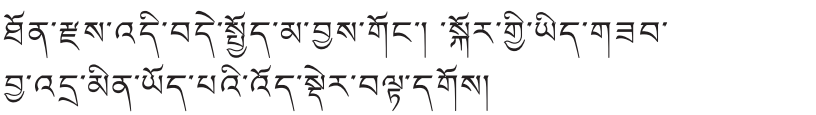
Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.



Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「IBM Safety Information」小冊子を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM® 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。 次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

安全 4

≥ 18 kg (39.7 lb)

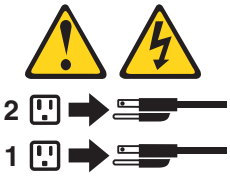
≥ 32 kg (70.5 lb)

≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全に関する注記 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。 装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6

注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12

注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

安全 26

注意:
ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。

安全 27

注意:
近くに動く部品が存在します。

ラック安全情報、安全 2

危険

- **ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。**
- **ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。**
- **サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。**
- **最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。**

第 1 章 System x3650 M4 サーバー

本「*インストールおよびサービスのガイド*」には、ご使用の System x3650 M4 Type 7915 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

29 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3650 M4 Type 7915 サーバーは、高さ 2U[1] のラック・モデル・サーバーで、高ボリュームのネットワーク・トランザクション処理に適しています。この高性能なマルチコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサー性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事項でした。 これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマイズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

このサーバーには限定保証が適用されます。 保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスと信頼性の強化に役立つ IBM X-Architecture® テクノロジーが組み込まれています。 詳しくは、11 ページの『サーバーが提供する機能』と 15 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、http://www.ibm.com/systems/x/ から入手できます。 http://www.ibm.com/support/mysupport/ では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報を検索しダウンロードしたり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。 IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、http://www.ibm.com/ibm/clientreference/を参照してください。

注: 本書の図は、お客様がご使用のモデルと多少異なる場合があります。

1. ラックは、縦方向に 4.45 cm (1.75 インチ) 間隔で区切られています。この区切りをユニットと呼び、「U」で表します。1U の高さの装置は、4.45 cm (1.75 インチ) の高さになります。

© Copyright IBM Corp. 2013

このサーバーには、6 個の 3.5 型 SATA または 8 個の 2.5 型 SAS ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイのいずれかが備わっています。 ほとんどのモデルには、ServeRAID SAS コントローラーが搭載されており、2.5 型モデルでは、2.5 型 SAS ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイを最大で 16 個まで拡張することができます。

次の図は、3.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

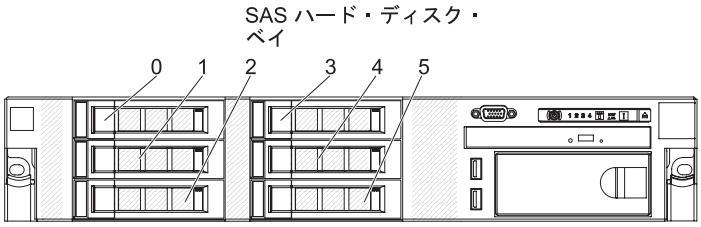


図 1. 3.5 型ホット・スワップ・モデルの前面図

次の図は、6 個の 3.5 型 SATA シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

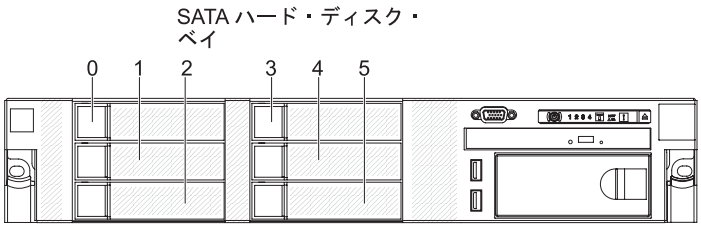


図 2. 3.5 型シンプル・スワップ・モデルの前面図

次の図は、8 個の 2.5 型 SAS ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

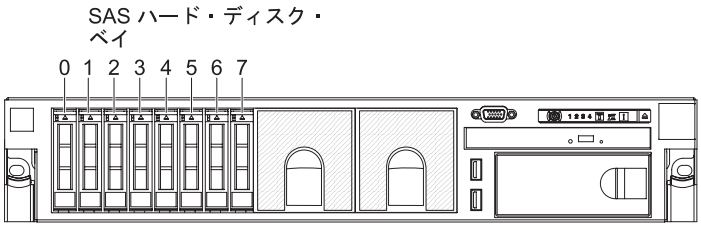


図 3. 2.5 型モデルの前面図

テープ・ドライブを取り付けるためのオプション・キットを購入することができます。

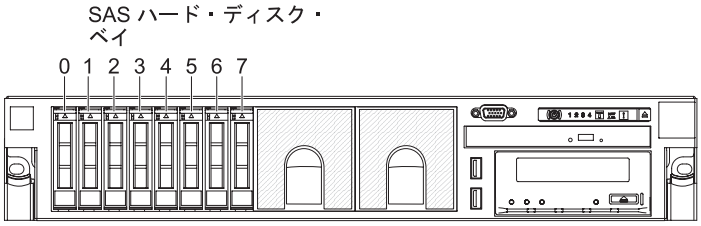


図 4. テープ・ドライブ・モデルの前面図

8 個の追加 2.5 型 SAS ハード・ディスク・ベイを取り付けるためのオプション・キットを購入することができます。

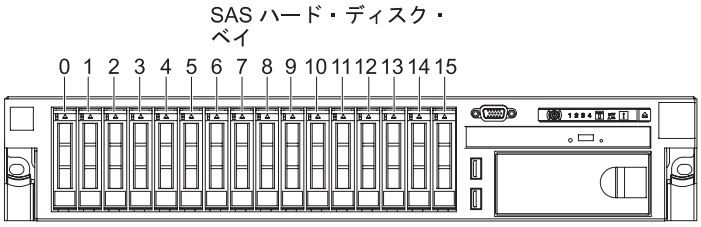


図 5. 16 ドライブ対応モデルの前面図

それぞれのベイの SAS ID は、サーバー前面のドライブ・ベイの上に印刷されています。

ファームウェアおよび資料の更新が利用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードすることができます。 このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。 更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

製品名	IBM System x3650 M4 サーバー
マシン・タイプ	7915
モデル番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

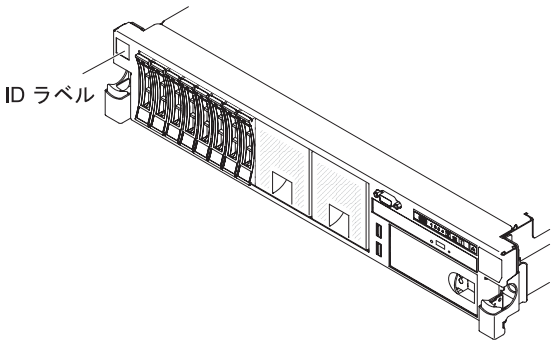


図 6. ID ラベル

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (http://ibm.co/11mn8Gh)。

図 7. QR コード

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

IBM Documentation CD

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。 その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。

以下の操作のいずれかを行って、Documentation Browser を開始できます。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。 Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、以下のいずれかの手順に従います。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD または DVD ドライブに挿入して、「**スタート**」->「**ファイル名を指定して実行**」をクリックします。「**名前**」フィールドに次のように入力します。

    ```
    e:¥win32.bat
    ```

    ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「**OK**」をクリックします。
  - Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

    ```
    sh runlinux.sh
    ```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。 プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

資料を選択すると、その資料の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。「**View**」をクリックすると、Acrobat Reader または xpdf に、選択した資料が表示されます。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。 その資料をクリックして表示し、資料内で Crtl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用方法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「*インストールとサービスのガイド*」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *Environmental Notices and User Guide*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「*IBM 機械コードのご使用条件*」が記載されています。

- *重要事項*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Licenses and Attributions Documents*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *ラック搭載手順*

  この印刷された資料は、サーバーをラックに取り付けるための手順を記載しており、ラック・キットに付属しています。

- *Safety Information*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。 この資料には、注意と危険項目についての注記が記載されています。 この文書に記載さ

れた注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- *Safety Information* ラベル

  この資料には、製品の安全ラベルの中国語 (簡体字)、モンゴル語、チベット語、ウィグル語、およびチワン語の翻訳バージョンが提供されています。

- *保証情報*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する情報が記載されているオンライン情報センターです。 ToolsCenter for System x and BladeCenter は http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/ にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。 それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。 このような更新は IBM Web サイトで入手できます。 更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *System x Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。 安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。 「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。 「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。 「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。 ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

表 1. サーバーの機能および仕様

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる):

- Intel Xeon™ E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサーを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み)
- レベル 3 キャッシュ
- 2 つの最大速度 8.0 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク

注:

- マイクロプロセッサーのタイプと速度を確認するには、Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。
- サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

メモリー (モデルにより異なる):

- 最小: 2 GB
- 最大: 768 GB
  - 64 GB (Unbuffered DIMM (UDIMM) 使用時)
  - 384 GB (registered DIMM (RDIMM) 使用時)
  - 768 GB (HyperCloud DIMM (HCDIMM) 使用時)
  - 768 GB (Load Reduction DIMM (LRDIMM) 使用時)
- タイプ:
  - PC3-8500 (DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、PC3-12800 (DDR3-1600)、または PC3-14900 (DDR3-1866)
  - single-rank、dual-rank、または quad-rank
  - Registered DIMM (RDIMM)、Unbuffered DIMM (UDIMM)、または Load Reduced DIMM (LRDIMM)
- スロット: 24 デュアル・インライン
- サポート (モデルによって異なります):
  - 4 GB unbuffered DIMM
  - 2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB registered DIMM
  - 16 GB および 32 GB HyperCloud DIMM (HCDIMM)
  - 32 GB Load Reduction DIMM

内蔵機能:

- 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- Intel I350AM4 4 ポート Gigabit Ethernet コントローラー (Wake on LAN サポート付き)
- 8 個の USB 2.0 ポート (シャーシ前面に 2 個、背面に 4 個、USB テープ・ドライブ用に内部に 1 個、ハイパーバイザー USB キー用に内部に 1 個)
- 6 個のネットワーク・ポート (システム・ボード上に 4 個の 1 Gb イーサネット・ポート、およびオプションの IBM デュアル・ポート 10 Gb ネットワーク・ドーター・カードを取り付けると追加で 2 個のポート)
- システム管理 RJ-45 (システム管理ネットワークに接続するために背面に 1 つ)。このシステム管理コネクターは IMM2 機能専用です。
- シリアル・ポート 1 個
- VGA アダプター (2)
- Light Path 診断パネル

ハード・ディスク拡張ベイ (モデルによって異なります):

- 1.8 型モデル: 最大 32 個の 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライバーをサポート。
- 2.5 型モデル:
  - 最大 16 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS/SATA またはホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・ベイをサポート。
  - 最大 8 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS/SATA またはホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・ベイ (最大 16 個の 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを追加するためのオプション付き) をサポート。
- 3.5 型モデル:
  - 最大 6 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA またはホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・ベイをサポート。

SATA 光学式ドライブ (オプション):

- DVD-ROM
- マルチバーナー

テープ・ドライブ (オプション):

- テープ・ドライブ・ベイ

RAID コントローラー (モデルによって異なる):

- RAID レベル 0、1、および 10 を提供する 1 つのオンボード 8 ポート SAS ServeRAID M5110e
- RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M5110e SAS/SATA アダプター。

  オプションのアップグレード:
  - RAID 5/50 (ゼロ・キャッシュ)
  - RAID 5/50 (512 MB キャッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)
  - RAID 5/50 (512 MB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)
  - RAID 5/50 (1 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)

ビデオ・コントローラー (IMM2 に内蔵):

- Matrox G200eR2

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
  - SVGA 互換ビデオ・コントローラー
  - DDR3 528 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー
  - Avocent デジタル・ビデオ圧縮
  - 16 MB のビデオ・メモリー (拡張不可)

ホット・スワップ・ファン: 冷却機構 3 個 (冗長冷却機能を提供) Provide redundant cooling. **ホット・スワップ・パワー・サプライ:** 675 ワット (100 から 240 V AC) パワー・サプライ仕様 最小: 1 個最大: 2 個 (冗長電源を提供) **サイズ (2U):**

- 高さ: 86.5 mm
- 奥行き: EIA フランジから背面 - 714 mm、全体 - 746 mm
- 幅: トップ・カバーを含む - 445 mm、フロント・ベゼルを含む - 482.0 mm
- 質量: 約 25 kg から 30 kg (構成によって異なる)

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

PCI 拡張スロット:

PCI ライザー・カード・アセンブリー 1
- タイプ 1
  - スロット 1: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 2: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、ハーフサイズ)
  - スロット 3: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、ハーフサイズ)
- タイプ 2
  - スロット 1: PCI Express 3.0 x16 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 2: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、ハーフサイズ)
  - スロット 3 (使用不可)
- タイプ 3
  - スロット 1: PCI-X (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 2: PCI-X (フルハイト、ハーフサイズ)
  - スロット 3: PCI Express 3.0 x16 (フルハイト、ハーフサイズ)
- タイプ 4
  - スロット 1 (使用不可)
  - スロット 2: PCI Express 3.0 x16 (フルハイト、ハーフサイズ)
  - スロット 3: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、ハーフサイズ)

PCI ライザー・カード・アセンブリー 2
- タイプ 1
  - スロット 4: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 5: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 6: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、ハーフサイズ)
- タイプ 2
  - スロット 4: PCI Express 3.0 x16 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 5: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 6 (使用不可)
- タイプ 3
  - スロット 4: PCI-X (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 5: PCI-X (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 6: PCI Express 3.0 x16 (フルハイト、ハーフサイズ)
- タイプ 4
  - スロット 4 (使用不可)
  - スロット 5: PCI Express 3.0 x16 (フルハイト、フルサイズ)
  - スロット 6: PCI Express 3.0 x8 (フルハイト、ハーフサイズ)

電源入力:
- 正弦波入力 (50 から 60 Hz) 必須
- 低電圧入力
  - 最低: 100 V AC
  - 最高: 127 V AC
- 高電圧入力レンジ:
  - 最低: 200 V AC
  - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA) (近似値):
  - 最小: 0.14 kVA
  - 最大: 1.201 kVA

注:

1. 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。
2. 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。 すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。

ホット・スワップ・ファン:
- 1 個のマイクロプロセッサー: 3 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン
- 2 個のマイクロプロセッサー: 4 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン

パワー・サプライ:
- 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サプライ (冗長性サポート用)
  - 550 ワット AC
  - 750 ワット AC
  - 900 ワット AC
  - 750 ワット DC

注: サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

放出音響ノイズ:
- 音響出力、アイドリング時: 最大 6.3 ベル
- 音響出力、動作時: 最大 7.0 ベル

発熱量 (消費電力):
- 最小構成: 123 ワット
- 最大構成: 1188 ワット

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

環境: **サーバー電源オン時**: • 温度: – 5°C から 40°C – 高度: 0 から 950 m。高度が 175 m 上がるごとに、最大システム温度が 1°C 減少。 • 湿度: – 結露なし: -12°C の露点 – 相対湿度: 8% から 85% • 最大露点: 24°C • 最大温度変化率: – テープ・ドライブ: 5°C/時 – ハード・ディスク: 20°C/時	**環境:** **サーバー電源オン時: (続き)** • 最大高度: 3,050 m、5°C から 28°C **重要:** – サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、気温 36°C から 40°C まで対応の設計: - 性能低下を許容できないワークロードなどのクラウドをサポート (Turbo-Off) - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。 - 最悪のケースのワークロード (Linpack および Turbo-On など) では、性能低下が起こる場合があります。 – 特定のマイクロプロセッサーがサポートする環境: 詳しくは、 11 ページの表 3を参照してください。	**環境:** **サーバー電源オフ時**: • 温度: 5°C から 45°C • 相対湿度: 8% から 85% • 最大露点: 27°C **保管時** (非動作時): • 温度: 1°C から 60°C • 最大高度: 3,050 m • 相対湿度: 5% から 80% • 最大露点: 29°C **出荷時** (非動作時): • 温度: -40°C から 60°C • 最大高度: 10,700 m • 相対湿度: 5% から 100% • 最大露点: 29°C 粒子汚染: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。 微粒子およびガスの制限については、 978 ページの『粒子汚染』を参照してください。

表 2. パワー・サプライ構成

	550 ワット	**750 ワット**		**900 ワット**	
ビデオ・アダプター	サポートなし	サポートなし	Quadro 600/K600/2000/ K2000/4000/6000/	サポートなし	Quadro 600/K600/2000/ K2000/4000/6000
マイクロプロセッサー	最大 115 ワットをサポート		最大 115 ワットをサポート		
最大の 2.5 型 HDD	16	16	8	16	16
最大の DIMM	8[1]	24[1]	16[1]	24	24[1]
最大の PCI アダプター	2	4	2	6	2

表の注記:

1. Quad-rank RDIMM、LRDIMM および HCDIMM はサポートされません。
2. 2 つの Quadro 4000 ビデオ・アダプターを取り付ける場合、2 つのパワー・サプライを取り付ける必要があります (750 ワットまたは 900 ワット)。
3. オーダーにビデオ・アダプターのない 900 ワット・パワー・サプライを取り付ける場合、CPU/HDDs/DIMMs/PCIe アダプターのサポートに制限はありません。
4. サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。
5. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量を確認することができます。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。

表 3. 特定のマイクロプロセッサーがサポートする環境

マイクロプロセッサー	ヒートシンク	構成	温度	高度
Intel E5-2690	135 ワット	通常構成	5°C から 35°C	0 から 304.8 m
		1 個の GPU (Quadro 2000/4000/6000)	5°C から 30°C	0 から 304.8 m
	130 ワット (FRU 部品番号 94Y7603)	2 個の GPU (Quadro 2000/4000/6000)	5°C から 25°C	0 から 304.8 m
制限なし	制限なし	NVIDIA Quadro K5000	10°C から 35°C	0 から 914.4 m
制限なし	制限なし	NVIDIA Tesla K20C	10°C から 35°C	0 から 914.4 m

サーバーが提供する機能

このセクションでは、サーバーが使用および提供する機能とテクノロジーの概要を示します。

- **Active Energy Manager**

  IBM Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生時点で測定し、報告する IBM Systems Director プラグインです。この機能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と相関させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、IBM Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。 IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) または http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html を参照してください。

- **Dynamic System Analysis (DSA)**

  サーバーには IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが備わっています。 DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

  Dynamic System Analysis には、2 つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションについて詳しくは、222 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

- **Features on Demand**

  サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプションの装置に Features on Demand 機能が組み込まれている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation* CD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。 *ServerGuide Setup and Installation* CD について詳しくは、163 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM Systems Director**

  IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。業界標準を使用することにより、IBM Systems Director は複数のオペレーティング・システムおよび仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html および 17 ページの『IBM Systems Director』) を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。 環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。 オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
  – 共通情報モデル (CIM)
  – Web ブラウザー

  IMM に固有の機能として、パフォーマンスの改善、リモート・ビデオの解像度の向上、セキュリティー・オプションの強化、ハードウェアおよびファームウェアのオプションのための Feature on Demand への対応が挙げられます。

  追加情報については、175 ページの『統合管理モジュールの使用』、および「Integrated Management Module II User's Guide」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

- **内蔵ネットワーク・サポート**

  このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、 181 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

  この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。 これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。 TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。 Setup ユーティリティーの「**System Security**」メニュー・オプションで TPM サポートを使用可能にすることができます。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

  このホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型または 3 個の 3.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハード・ディスクまたはホット・スワップ Serial ATA (SATA) ハード・ディスクをサポートします。シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、最大 3 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

  ホット・スワップ機能により、サーバーの電源をオフにしなくても、ハード・ディスクの追加、取り外し、交換ができるようになります。

- **大容量のシステム・メモリー**

  このサーバーは、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポート可能です。このサーバーは、24 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクターを提供します。サーバーのメモリー・コントローラーは、PC3-8500 (DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、または PC3-12800 (DDR3-1600)、DDR3 (第 3 世代 double-data-rate)、SDRAM DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、 202 ページの『Light Path 診断』および 205 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

- **IBM Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

  サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、 1 ページの『第 1 章 System x3650 M4 サーバー』 のページにある QR コード情報を参照してください。

- **マルチコア・プロセッシング**

サーバーは最大 2 個の Intel Xeon™ E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サーバーには、少なくとも 1 つのマイクロプロセッサーが付いています。

- **PCI アダプター機能**

  サーバーには、2 つの PCI インターフェース・スロットがあります (1 つはロー・プロファイル・カードをサポートし、もう 1 つはハーフサイズ、フルハイト・カードをサポートします)。スロット 2 では、オプションの PCI ライザー・カードを使用して PCI Express アダプターまたは PCI-X アダプターをサポートすることができます。詳しくは、336 ページの『アダプターの交換』を参照してください。

- **冗長接続**

  オプションのイーサネット・アダプターを追加すると、適用可能なアプリケーションがインストールされている冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・アダプターがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、オプションの冗長イーサネット・アダプター接続に自動的に切り替えられます。該当するデバイス・ドライバーがインストールされている場合、この切り替えによるデータ損失は発生せず、ユーザー介入も不要です。

- **冗長冷却およびオプションの電源機能**

  このサーバーは、最大 2 個の 550 ワット、750 ワット、または 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライ、および 4 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンをサポートし、標準的な構成に対して冗長性とホット・スワップ機能を提供します。 サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。このサーバーには、最小 1 個の 550 ワット、750 ワット、または 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 3 個のファンが搭載されています。

  サーバーに 2 個目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、4 個目のファンを取り付ける必要があります。電源の冗長性を得るために、オプションで 2 個目のパワー・サプライを注文することができます。

  注: サーバー内で異なるワット数のパワー・サプライを混用することはできません。

- **ServeRAID サポート**

  ServeRAID アダプターは、構成を作成するためのハードウェア新磁気ディスク制御機構 (RAID) サポートを提供します。標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

- **システム管理機能**

  サーバーには統合管理モジュールII (IMM2) が備わっています。 サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。IMM は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。 サー

バー背面にあるシステム管理コネクターは IMM 専用です。 専用のシステム管理コネクターは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

  IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) は、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 2.1 準拠、Active Energy Manager テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、ならびに BIOS (基本入出力システム) 互換性サポートなどの、複数の機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。 UEFI 準拠の System x サーバーは、UEFI 準拠のオペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および UEFI 準拠のアダプターに加えて BIOS ベースのアダプターもブートすることができます。

  注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクター 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、 180 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。 RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品に対して 3 年間、作業に対して 3 年間の限定保証 (マシン・タイプ 7915)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール (IMM) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクターに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護

- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための DDDC (Double Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク
- 通知および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール (IMM)
- メモリー DIMM、マイクロプロセッサー、ハード・ディスク、ソリッド・ステート・ドライブ、パワー・サプライ、およびファンの Light Path 診断 LED
- メモリー・ミラーリングおよびメモリー・スペアリングのサポート
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティー・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。 ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。 POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- マイクロプロセッサーの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサーと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- SCSI バスおよび PCI-E バスと PCI/PCI-X バスのパリティー・チェック
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- メモリー、マイクロプロセッサー、SAS/SATA ハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブ、ファン、パワー・サプライ、および VRM の 障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライおよび冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- システム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム
- メモリー、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサーとメモリー拡張トレイ、およびイーサネット・カードに関する Serial Presence Detection (SPD)
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- ソリッド・ステート・ドライブ

- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (IC) プロトコル・バスを通したシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサー、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスクおよびソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤となり、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状況の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。 IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 共通タスクには以下のものがあります。

- 検出
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- モニター
- 更新
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。

- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、サーバーに付属の *IBM Systems Director* DVD に含まれている資料、 IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) および Systems Management Web サイト (http://www.ibm.com/systems/management/) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、コントロールおよび発光ダイオード (LED) と、サーバーのオン/オフ方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

次の図は、ご使用のサーバー・モデルの前面にあるコントロール、LED、およびコネクターを示したものです。

2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデル

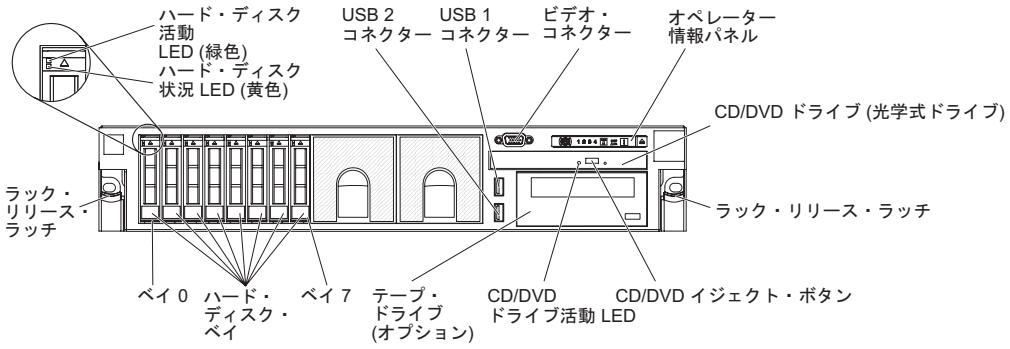


図 8. 2.5 型の前面図

3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデル

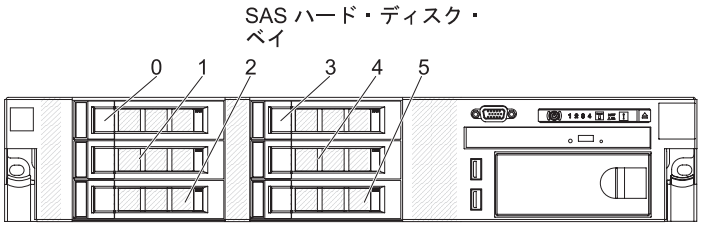


図 9. 3.5 型ハード・ディスクの前面図

- **ラック・リリース・ラッチ:** サーバーをラックから取り出すには、サーバー前面の両側にあるこのラッチを押します。
- **ハード・ディスク活動 LED:** この LED は、ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- **ハード・ディスク状況 LED:** この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。 この LED が点灯したままになっているときは、ドライブに障害が発生したことを示します。 オプションの IBM ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられている場合、この LED がゆっくりと (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構成されていることを示します。 LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。
- **DVD イジェクト・ボタン:** 光学式 DVD ドライブから DVD または CD を取り出すときに、このボタンを押します。
- **DVD ドライブ活動 LED:** この LED が点灯しているときは、光学式 DVD ドライブが使用中であることを示します。
- **オペレーター情報パネル:** このパネルには、コントロールと、サーバーの状況を示す LED が装備されています。オペレーター情報パネルのコントロールと LED については、 20 ページの『オペレーター情報パネル』を参照してください。
- **オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ:** 青色のリリース・ラッチを押して Light Path 診断パネルを引き出すと、Light Path 診断 LED とボタンが見えます。Light Path 診断について詳しくは、 21 ページの『Light Path 診断パネル』を参照してください。
- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクターは同時に使用することができます。

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。

オペレーター情報パネル

次の図は、ご使用のサーバー・モデルに応じ、拡張オペレーター情報パネルおよびオペレーター情報パネルにあるコントロール・ボタンおよび LED を示しています。

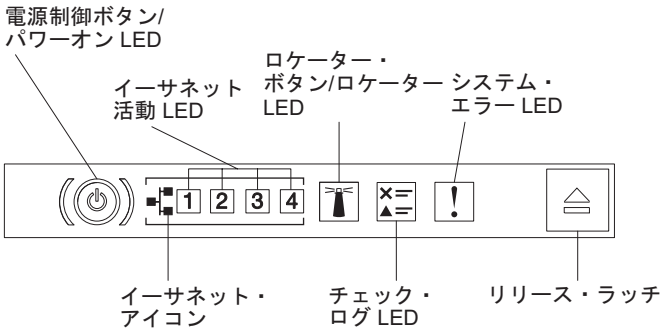


図 10. 拡張オペレーター情報パネル

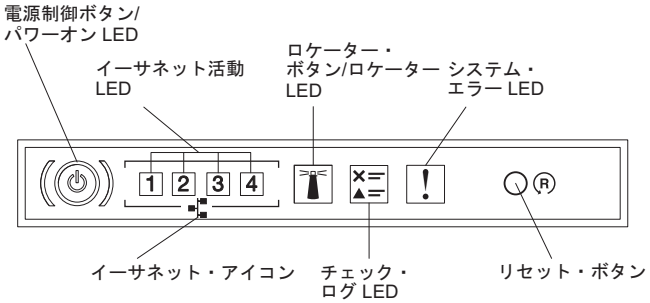


図 11. オペレーター情報パネル

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:** サーバーの電源を手動でオンまたはオフにするには、このボタンを押します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

  オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

  高速で点滅 (1 秒間に 4 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。 この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。

  低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

  点灯: サーバーの電源はオンになっています。
- **イーサネット活動 LED:** これらのどれかの LED が点灯している場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間でサーバーが信号の送信または受信を行っていることを示します。
- **システム・ロケーター・ボタン/LED** この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム・ロケーター LED もサーバー背面に付いています。この LED はプレゼンス検出ボタンとして

も使用されます。 IBM Systems Director または IMM Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM によって制御されます。 ロケーター・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。

- **チェック・ログ LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。イベント・ログについての詳細は、 217 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
- **システム・エラー LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。オペレーター情報パネルまたはシステム・ボードの Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーを切り分ける支援をします。 この LED は IMM によって制御されます。

注:

1. ご使用のサーバーに取り付けられているオペレーター情報パネルのタイプに応じて、**リセット・ボタン**はオペレーター情報パネルまたは Light Path 診断パネルにあります。
2. ご使用のサーバー・モデルにリリース・ラッチがない場合には、さらに情報を得るためにオペレーター情報パネルを引き出す必要はありません。

Light Path 診断パネル

Light Path 診断パネルは、オペレーター情報パネルの上部にあります。

Light Path 診断パネル上の LED について詳しくは、 205 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

注: サーバー・カバーの内部にあるシステム・サービス・ラベルにも、Light Path 診断 LED の位置に関する情報が記載されています。

Light Path 診断パネルにアクセスするには、オペレーター情報パネルにある青色のリリース・ラッチを押します。 パネルを手前に引いて、オペレーター情報パネルのヒンジがサーバーのシャーシから離れるまで引き出します。 次に、パネルを下げると Light Path 診断パネルの情報を見ることができます。

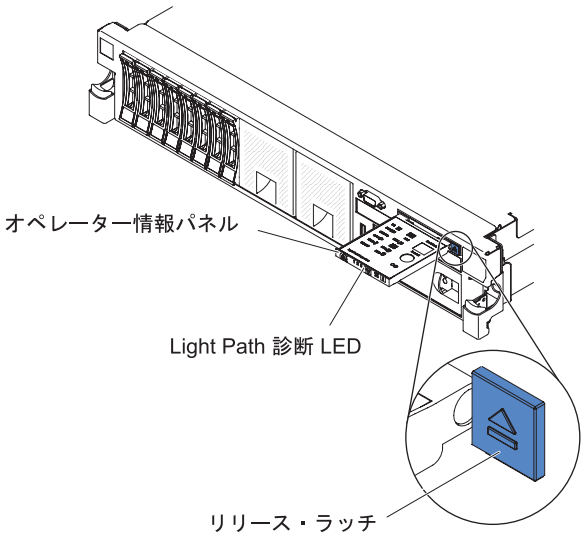


図 12. Light Path 診断パネルを外に出す

次の図は、Light Path 診断パネル上の LED とコントロールを示しています。

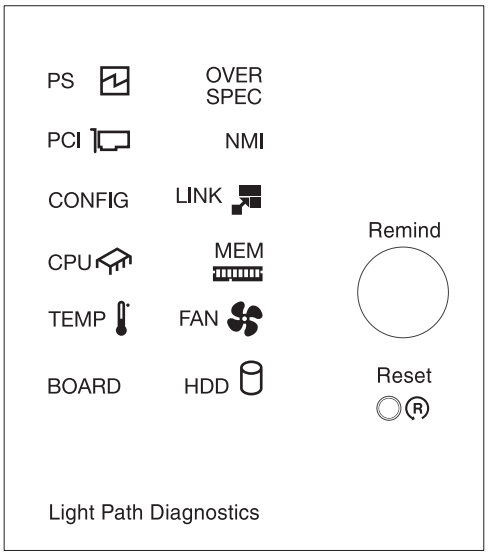


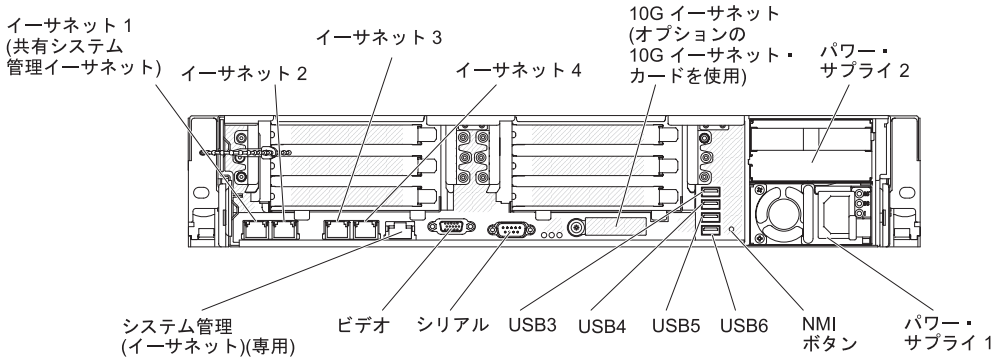
図 13. Light Path 診断パネル

- **リマインド・ボタン:** このボタンは、オペレーター情報パネルのシステム・エラー LED をリマインド・モードにします。リマインド・モードでは、問題が修正されるか、サーバーが再始動されるか、新しい問題が発生するまで、システム・エラー LED が 2 秒に 1 回点滅します。

  システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードに入れることにより、ユーザーは、最後の障害を認識しているが、問題を訂正するための即時アクションは取らないということを確認します。
- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

背面図

次の図は、サーバー背面にあるコネクターを示しています。

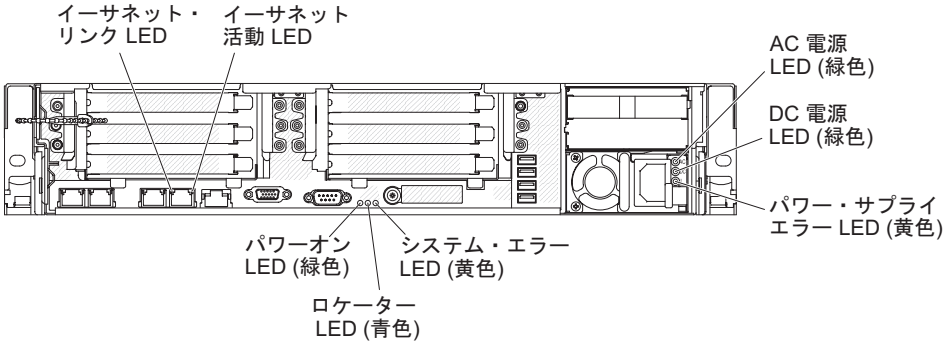


- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサーにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。 ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。NMI ボタンは、サーバー背面の左下隅にあります。
- **電源コネクター:** 電源コードは、このコネクターに接続します。

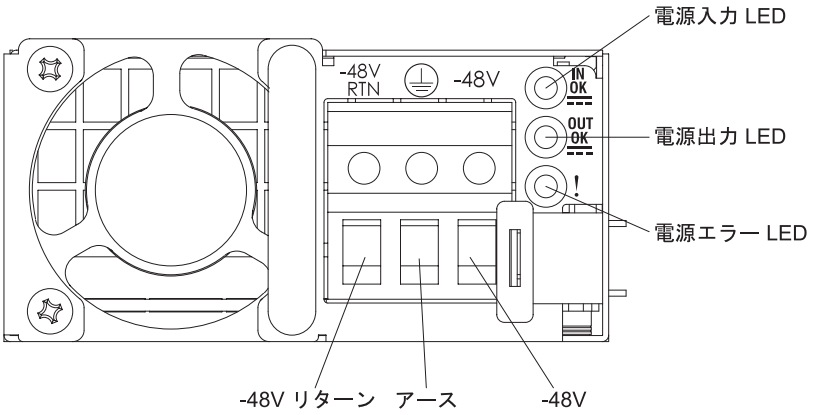
  注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。
- **ビデオ・コネクター:** モニターは、このコネクターに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクターは同時に使用することができます。

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
- **シリアル・コネクター:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクターに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。IMM2 はこの共用シリアル・ポートを制御して、Serial over LAN (SOL) を使用したシリアル・トラフィックのリダイレクトを行うことができます。
- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。
- **システム管理イーサネット・コネクター:** サーバーをネットワークに接続してシステム管理情報を完全に制御するには、このコネクターを使用します。 このコネクターは統合管理モジュール (IMM2) のみで使用されます。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。 Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。詳しくは、「*問題判別の手引き*」の『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。Setup ユーティリティーで IMM2 用の共有イーサネットを使用可能にすると、イーサネット 1 またはシステム管理イーサネット (デフォルト) コネクターを使用して IMM2 にアクセスすることができます。 詳しくは、『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。



次の図は、DC パワー・サプライにある LED を示しています。



- **イーサネット活動 LED:** この LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送受信を行っていることを示します。
- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- **AC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには AC 電源 LED があります。 AC 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。 通常の動作時には、AC 電源 LED が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、 212 ページの『AC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **DC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには DC 電源 LED があります。 DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。 通常の稼働時には、AC および DC の電源 LED はともに点灯します。 この他の LED の組み合わせについては、 212 ページの『AC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **IN OK 電源 LED:** 各ホット・スワップ DC パワー・サプライには IN OK 電源 LED があります。 IN OK 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。通常の稼働

時には、IN OK および OUT OK の電源 LED の両方が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、 214 ページの『DC パワー・サプライ LED』を参照してください。

- **OUT OK 電源 LED:** 各ホット・スワップ DC パワー・サプライには OUT OK 電源 LED があります。 OUT OK 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の稼働時には、IN OK および OUT OK の電源 LED の両方が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、 214 ページの『DC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示します。

  注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。 パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。
- **パワーオン LED:** この LED が点灯しており、点滅していない場合は、サーバーがオンになっていることを示します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

  オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

  高速で点滅 (1 秒間に 4 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。 この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。

  低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

  点灯: サーバーの電源はオンになっています。
- **システム・ロケーター LED:** この LED は、他のサーバーの中からご使用のサーバーを視覚的に確認するのに使用します。 IBM Systems Director または IMM2 Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。
- **システム・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、システム・エラーが起こったことを示します。Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを AC 給電部に接続しても、電源がオンにしていない場合、オペレーティング・システムは実行されず、統合管理モジュール II (IMM2) 以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただし、サーバーは、IMM2 からの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。パワーオン LED が点滅している場合、サーバーは AC 電源に接続されてはいるが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

サーバーを電源に接続してから約 5 秒後に 1 つ以上のファンが稼働を開始し、サーバーが電源に接続されている間、冷却機能を提供します。また、パワーオン・ボタン LED が高速で点滅します。 サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになり (パワーオン LED がゆっくりと点滅)、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行います。 電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

また、サーバーの電源は、次のいずれの方法でオンにすることもできます。

- サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
- 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

注:

1. 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。
2. イーサネット 1 コネクターは、Wake on LAN 機能をサポートします。
3. グラフィック・アダプターが取り付けられたサーバーの電源をオンにすると、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。

サーバーの電源をオフにする

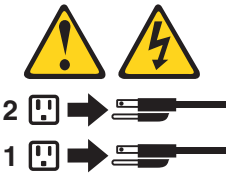
サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

サーバーの電源をオフにしても、電源を接続したままにしておくと、サービス・プロセッサーへサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。 サーバーを電源に接続したままにしていると、1 つ以上のファンが動作を続ける場合があります。 サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に正常シャットダウンが必要な場合があります。 オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



サーバーは、次のいずれかの方法でオフにすることができます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始し、サーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

  注: PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- 統合管理モジュール II (IMM2) は、クリティカルなシステム障害に対する自動応答としてサーバーをオフにできます。

第 2 章 オプション装置の取り付け

このセクションでは、オプションのハードウェア装置をサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。 必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。 サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、159 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用します。 「IBM System x Firmware Update Best Practices」資料をダウンロードするには、www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5082923&brandind=5000008にアクセスしてください。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
   - IBM サポート: http://www.ibm.com/supportportal/
   - System x 構成ツール: http://www.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html
3. オプションのハードウェア装置を取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合は、 223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。 誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクターのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

© Copyright IBM Corp. 2013

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによる、新たに取り付けられた装置の検証に関する IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。 DSA の使用については、 221 ページの『IBM Dynamic System Analysis』 を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを IBM に送信します。データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信方法』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、http://www.ibm.com/partnerworld/で入手できます。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:**
  https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

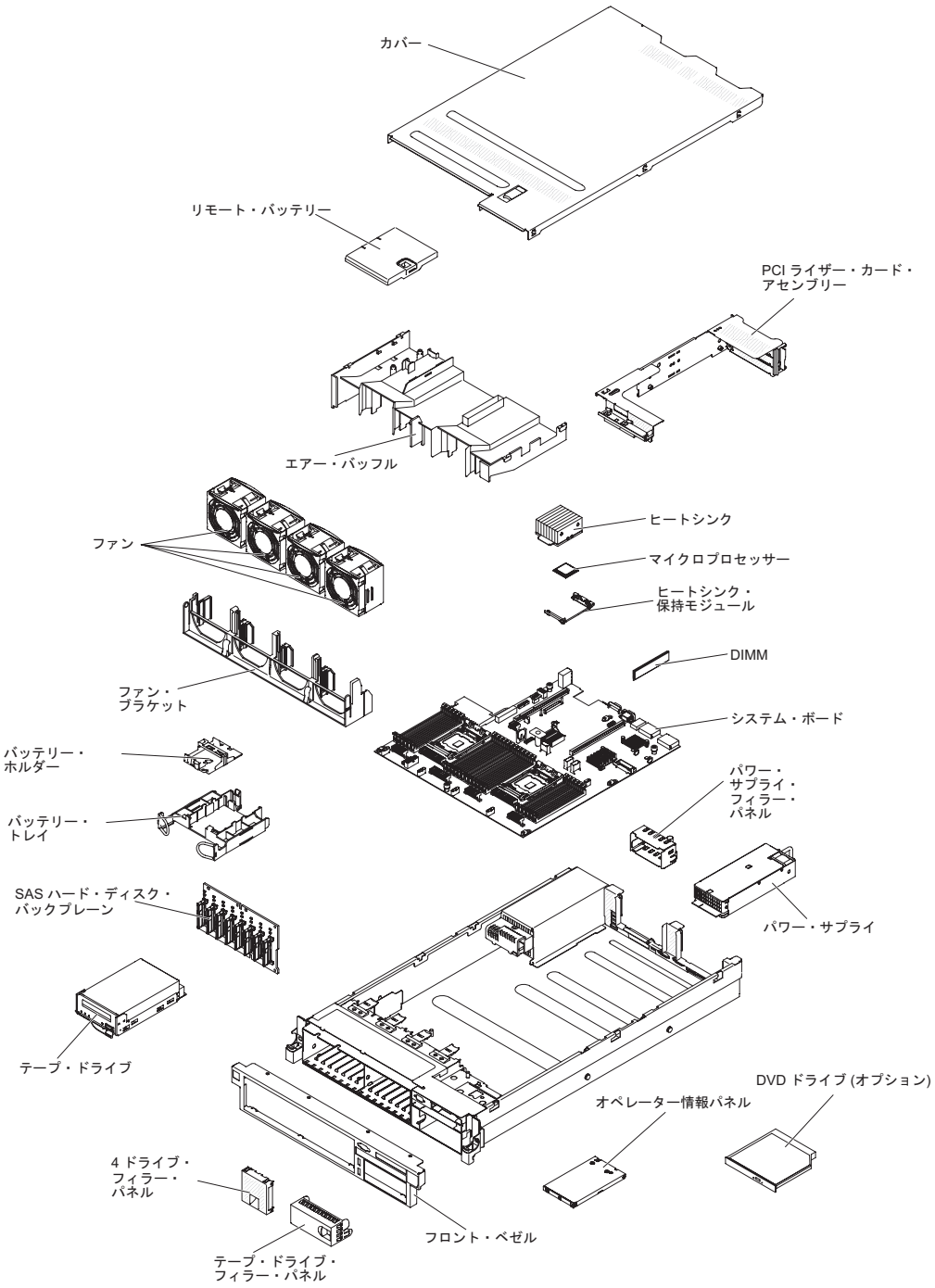


図 14. サーバー・コンポーネント

コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。) 特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

システム・ボードの内部コネクター

次の図で、システム・ボード上の内部コネクターを示します。

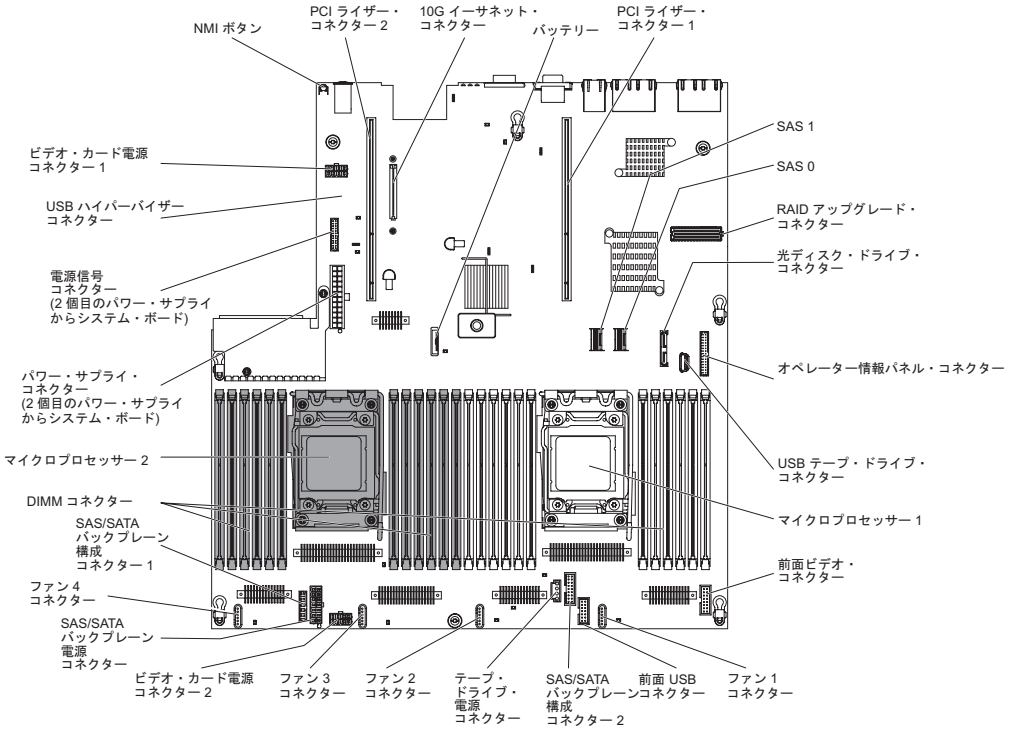


図 15. システム・ボードの内部コネクター

システム・ボードの外部コネクター

次の図に、システム・ボード上の外部コネクターを示します。

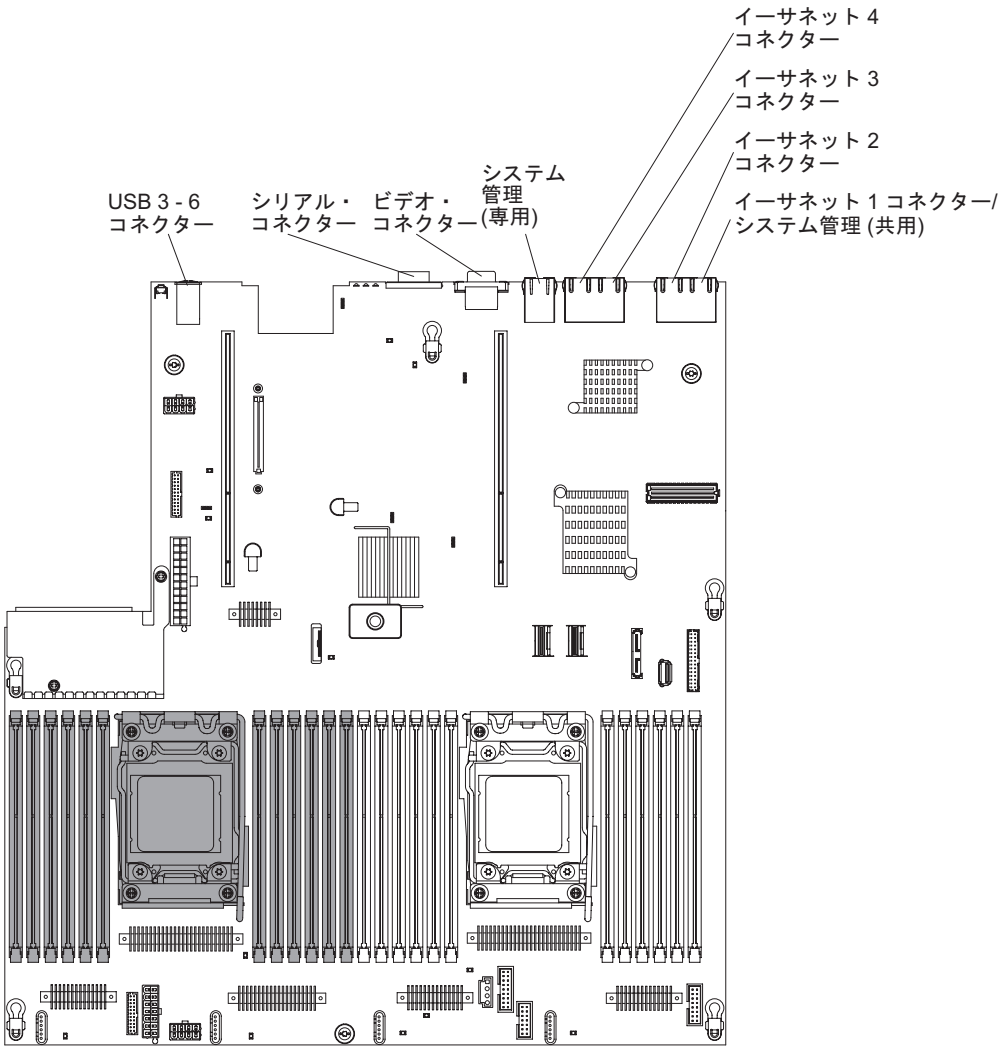


図 16. システム・ボードの外部コネクター

システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

次の図は、サーバー上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置を示しています。

注: スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

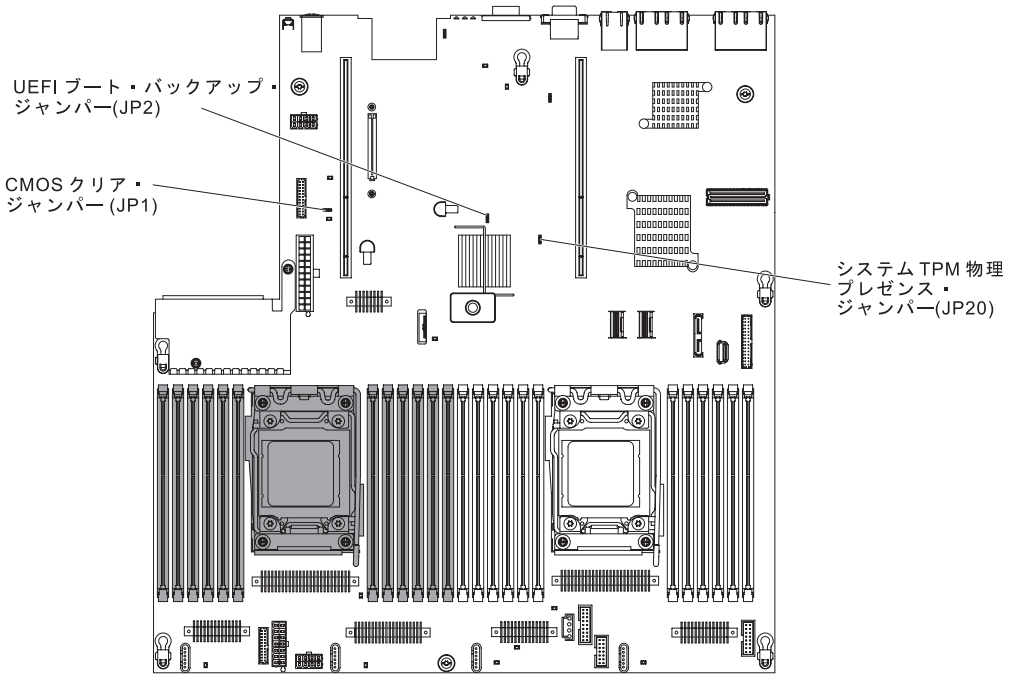


図 17. システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 4. システム・ボードのジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
JP1	CMOS クリア・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: リアルタイム・クロック (RTC) レジストリーをクリアします。
JP2	UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。プライマリー・サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。 • ピン 2 と 3: セカンダリー (バックアップ) サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。
JP20	システム TPM 物理プレゼンス・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: システム TPM に物理プレゼンスを通知します。

表 4. システム・ボードのジャンパー (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
注: 1. ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。 2. サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)の位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。		

以下の表は、システム・ボード上にある SW3 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 5. システム・ボードの SW3 スイッチ・ブロック定義

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	予約済み
2	オフ	予約済み
3	オフ	予約済み
4	オフ	始動パスワードのオーバーライド。 このスイッチの位置を変更すると、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバイパスして、Setup ユーティリティーを開始するため、始動パスワードを変更または削除できるようになります。 始動パスワードが変更された後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。 管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。 パスワードに関する追加情報については、 172 ページの『パスワード』を参照してください。

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』、 38 ページの『取り付けのガイドライン』、 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 27 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

次の表は、システム・ボード上にあるボタンの機能について説明しています。

表 6. サーバー上のボタン

ボタン名	機能
NMI 強制ボタン	このボタンはサーバーの背面にあります。このボタンを押すと、マイクロプロセッサーにマスク不能割り込みを強制します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。 また、このボタンを使用して、ブルー・スクリーン・メモリー・ダンプを強制することも可能です (このボタンは、IBM サポートから指示があった場合にのみ使用してください)。

システム・ボードの LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

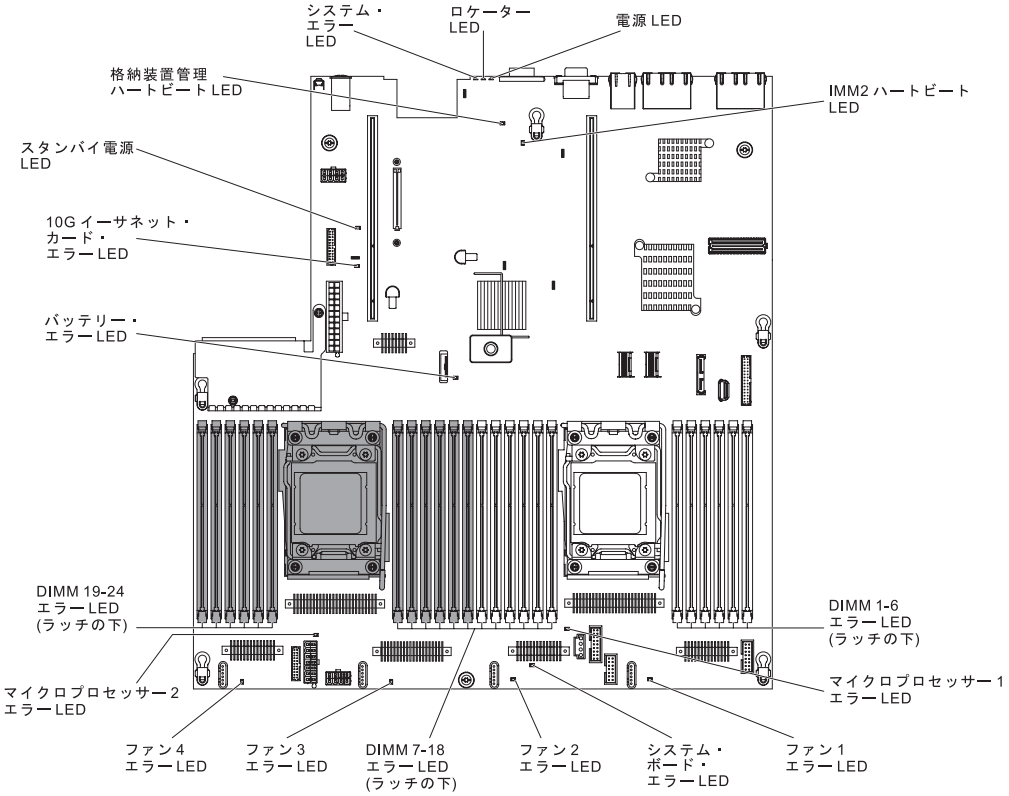


図 18. システム・ボードの LED

システム・ボードのオプション装置コネクター

次の図は、オプション・デバイス用のコネクター (システム・ボード上) を示しています。

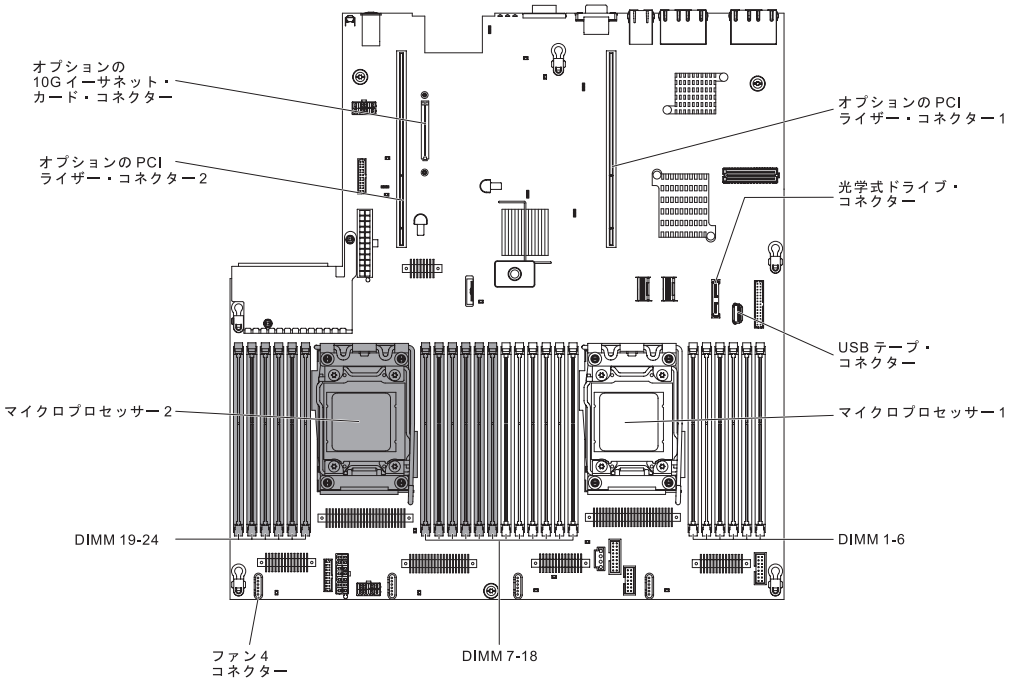


図 19. システム・ボードのオプション装置コネクター

PCI ライザー・カード・アダプターのコネクター

次の図は、PCI ライザー・カード上にある、ユーザーが取り付け可能な PCI アダプター用のコネクターを示しています。

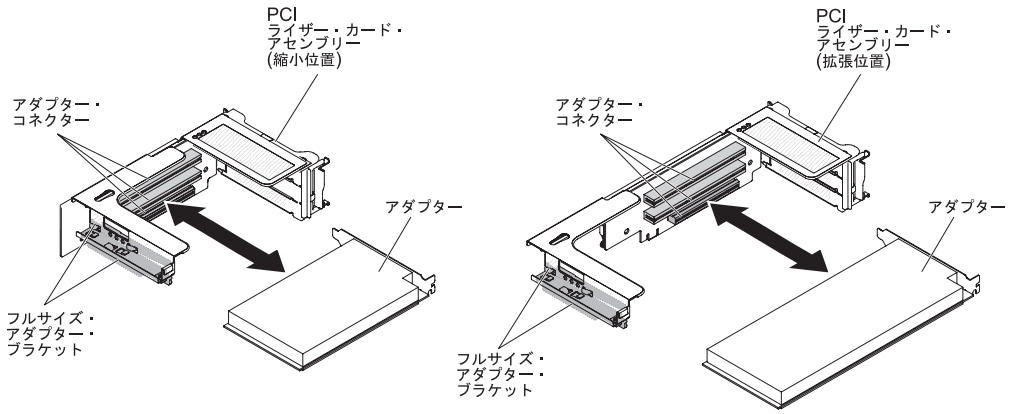


図 20. PCI ライザー・カード・アダプターのコネクター

PCI ライザー・カード・アセンブリー LED

次の図は、PCI ライザー・カード・アセンブリー上の発光ダイオード (LED) を示しています。

注: エラー LED は、サーバーが電源に接続されている間のみ点灯しています。

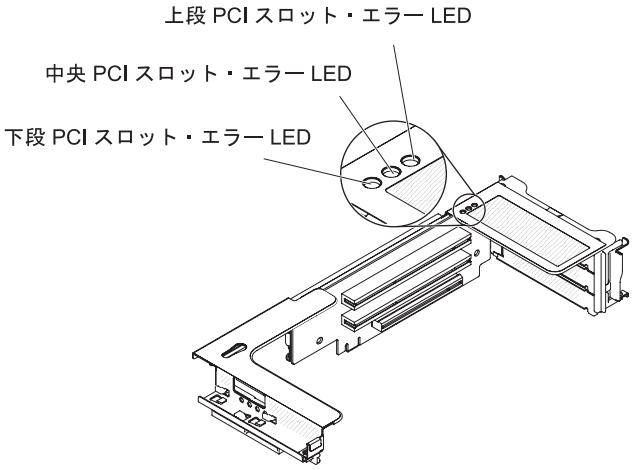


図 21. PCI ライザー・カード・アセンブリー LED

取り付けのガイドライン

System x3650 M4 Type 7915 を取り付けるには、この取り付けのガイドラインを使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、 41 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 取り付ける装置がサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。

  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である

場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合は、223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバーを用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青い表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉するときなどは、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上またはその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であ

ることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) それぞれのホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要のある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。

- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

適切なシステム冷却を確保するための、システムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはフィラーが取り付けられている。
- サーバーに冗長電源がある場合、それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられている。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換してある。
- ホット・スワップ・ファンは、取り外してから 30 秒以内に元どおりに取り付けること。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に再取り付けを行う。
- 障害のあるホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に取り替えること。
- エアー・バッフルを取り付けないままサーバーを動作させないでください。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。
- マイクロプロセッサーのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサーとヒートシンクが常にある。
- 2 つ目のマイクロプロセッサー・オプションを取り付けた場合、4 つ目のファンが取り付け済みである。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

Light Path 診断 LED を覗くか、ホット・スワップ・コンポーネントを交換するために、カバーが外れているときにサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- クリップや、ヘアピン、ねじなどの金属製品がサーバー内部に落ちないように注意してください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。

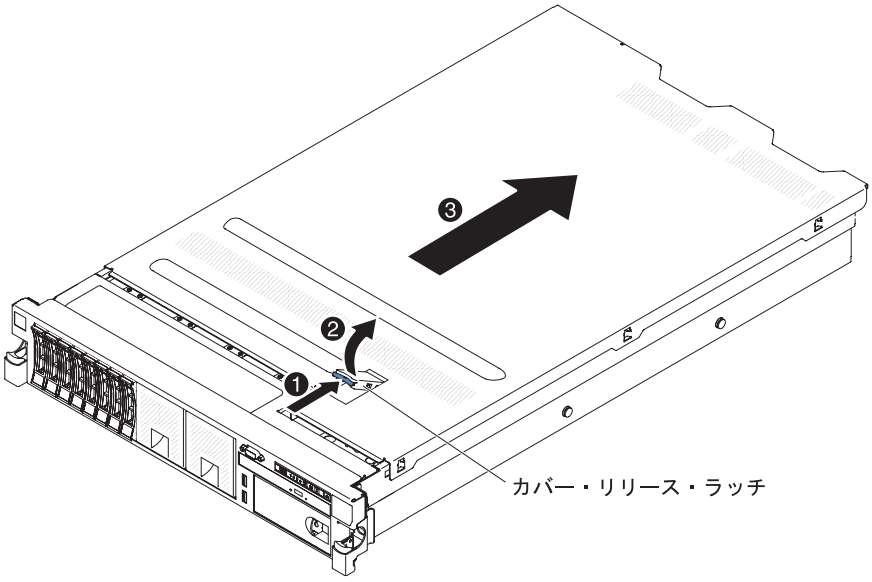


図 22. カバーの取り外し

4. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチをしっかりを引き上げ、カバーをシャーシから外れるまでサーバー後部に向けてスライドさせます。
5. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

タスクの結果

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

このサーバーには、それぞれに 2 つから 3 つの PCI スロットを含むライザー・カード・アセンブリーが 1 つ付属しています (オプションでもう 1 つ追加可能)。 このサーバーで使用できるライザー・カード・アセンブリーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

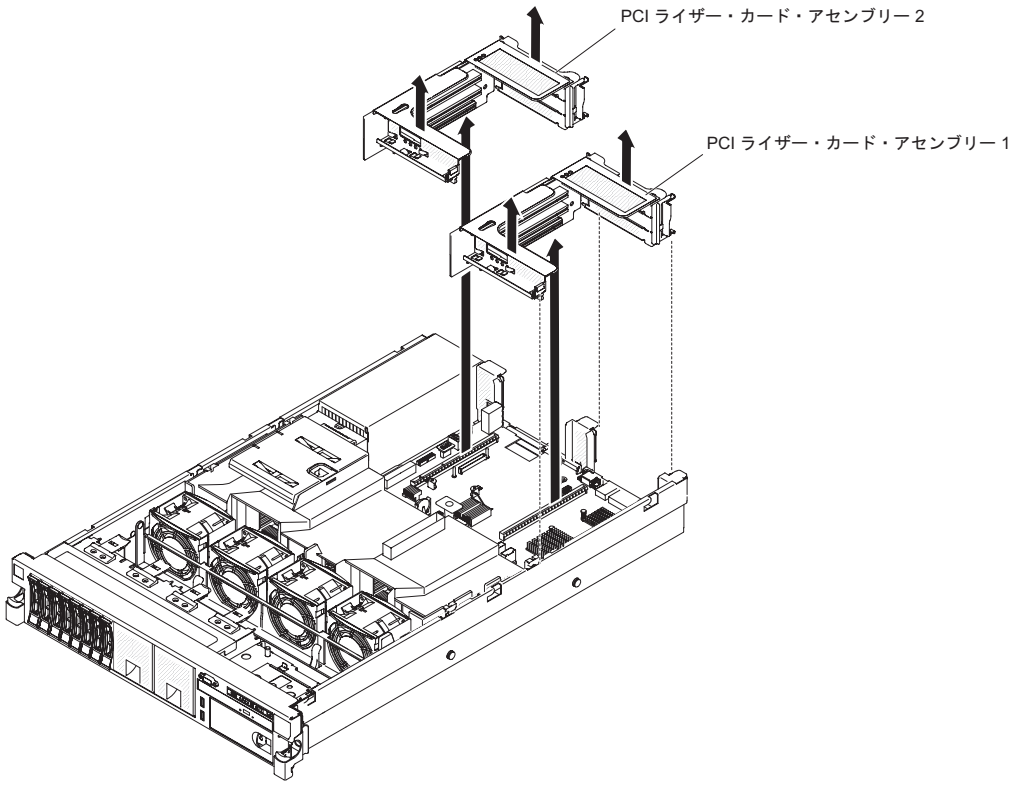


図 23. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. アセンブリー前面のタブと後方の端をつかんで、サーバーから持ち上げて取り外します。 平らな帯電防止面の上にライザー・カード・アセンブリーを置きます。

エアー・バッフルの取り外し

一部のオプション装置を取り扱う場合、システム・ボード上の特定のコンポーネントまたはコネクターにアクセスするために、最初にエアー・バッフルを取り外す必要があります。 次の図は、エアー・バッフルを取り外す方法を示しています。

このタスクについて

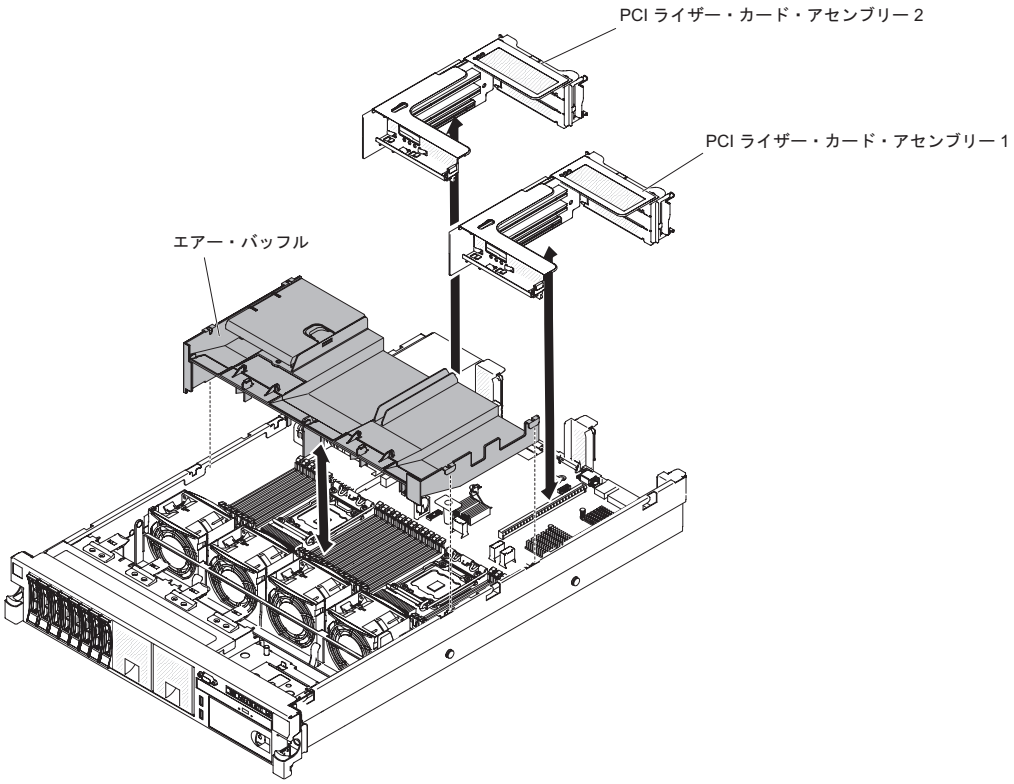


図 24. エアー・バッフルの取り外し

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフル上部の前面および背面の下に指を入れて、エアー・バッフルを持ち上げてサーバーから取り外します。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを拡張します。

このタスクについて

注: ハーフサイズのアダプター・カードを取り付ける場合に、フルサイズのアダプター・ブラケットを使用してアダプター・カードを固定する必要はありません。

フルサイズのアダプターをライザー・カードの上段の PCI スロットに取り付ける場合、最初に PCI ライザー・カード・アセンブリーを拡張する必要があります。

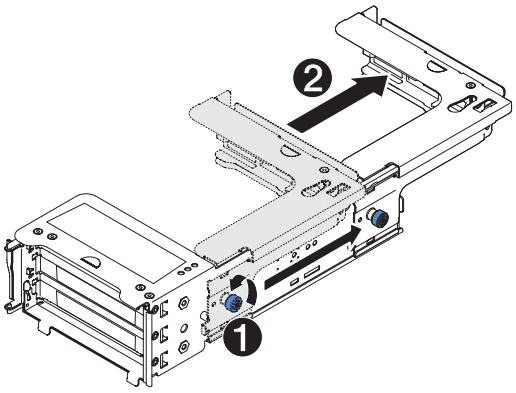


図 25. PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張

ライザー・カード・アセンブリーを拡張するには、次のステップを実行してください。

手順

1. ライザー・カード・アセンブリーを図で示す向きに合わせます。
2. PCI スロットの端の近くにあるつまみねじを左回りに回転させ 1、PCI ライザー・カード・アセンブリーを伸ばします 2。
3. つまみねじを締めます。
4. アダプター取り付けの説明に戻ります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの縮小

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを縮小します。

このタスクについて

ライザー・カードの上段の PCI スロットからフルサイズ・アダプターを取り外して、短いアダプターに交換する、あるいはアダプターを取り付けない場合は、フルサイズの PCI ライザー・カード・アセンブリーを縮小する必要があります。

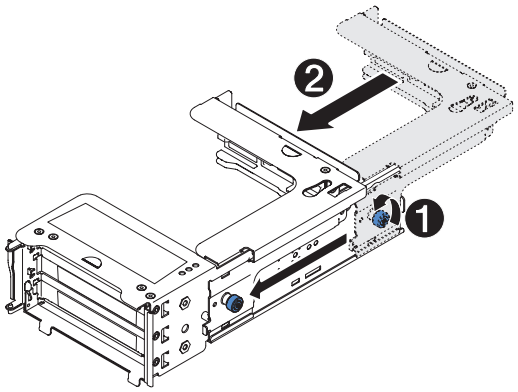


図 26. PCI ライザー・カード・アセンブリーの縮小

フルサイズの PCI ライザー・カード・アセンブリーを縮小するには、次のステップを実行してください。

手順

1. PCI スロットの端から遠い方のつまみねじを左回りに回転させ 1、PCI ライザー・カード・アセンブリーを短くします 2。
2. つまみねじを締めます。
3. 67 ページの『アダプターの取り付け』または 154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』の適切な手順に戻ります。

ドライブの取り付け

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。

- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 16 個の 2.5 型または 6 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクをサポートします。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、最大 32 個の 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブまたは 6 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI アダプターまたは PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

ドライブ ID

各ドライブに割り当てられたドライブ ID は、サーバーの前面に印刷されています。次の図は、ドライブの ID の位置を示しています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

- 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、 10 ページの表 2 で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

注: ハード・ディスクが 1 つのみの場合は、ベイ 0 (左上) に取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。

a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。
b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

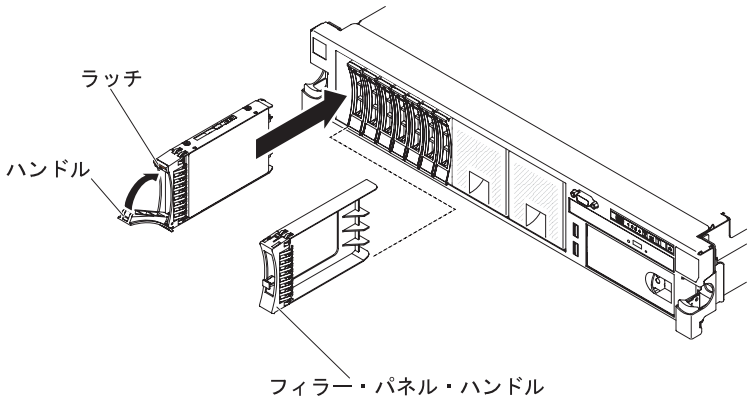


図 27. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

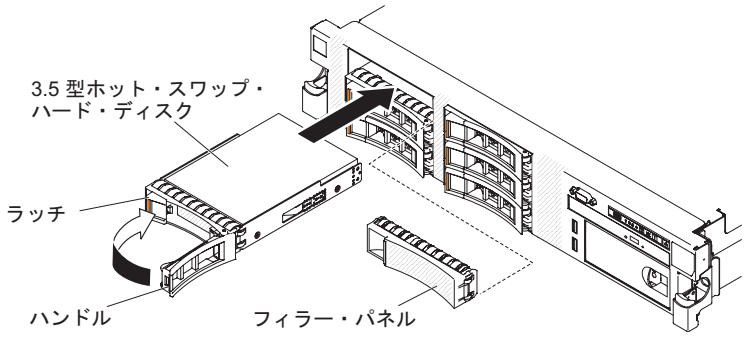


図 28. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
d. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID アダプター用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS 装置を取り付けている場合、その装置の SATA ID を必ず設定してください。
- このサーバーには、最大 6 つの 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクが取り付け可能です。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルでは、非 RAID 構成のみのご提供となります。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。
- 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、10 ページの表 2 で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。

5. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。
   b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

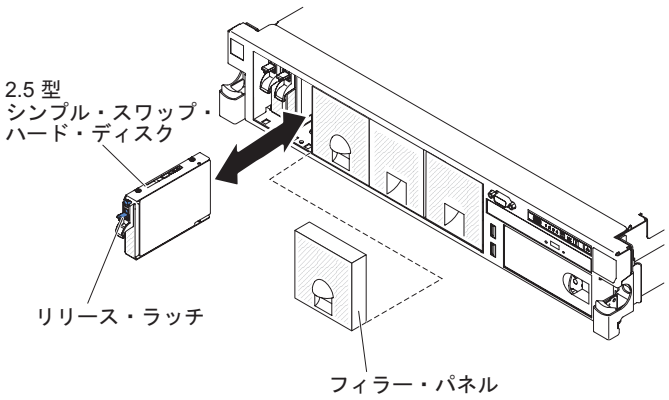


図 29. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

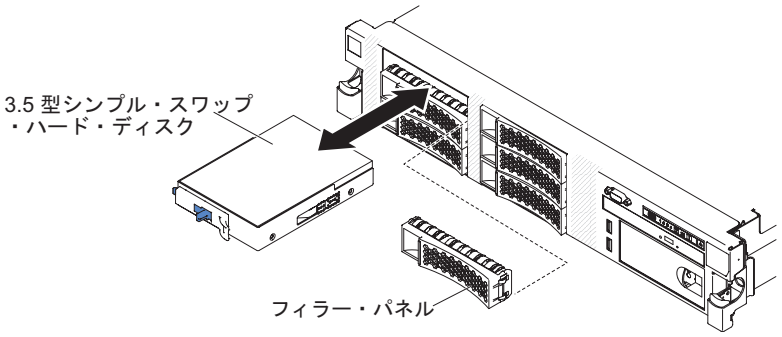


図 30. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

6. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
7. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り付け

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド。ステート・ドライブを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. フィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. 次のようにして、ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. ハンドルが開いた (ロック解除) 位置にあることを確認します。
   b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

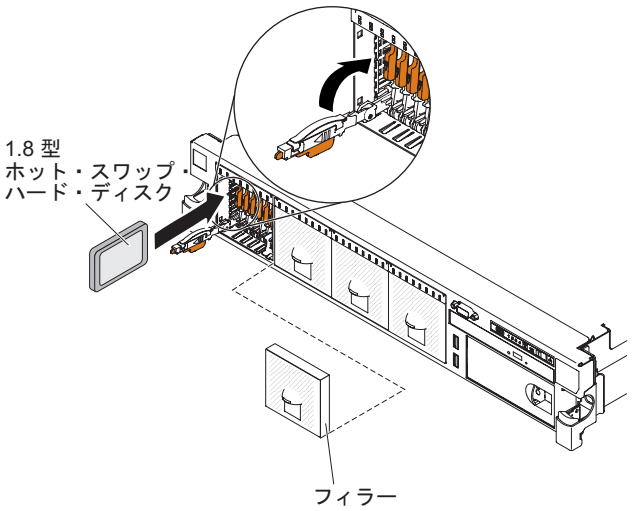


図 31. 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り付け

   c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
   d. ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
   e. ソリッド・ステート・ドライブの状況 LED をチェックして、ソリッド・ステート・ドライブが正しく作動しているか確認します。ドライブの黄色のソリッド・ステート・ドライブ状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のソリッド・ステート・ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ソリッド・ステート・ディスク・ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

オプションの DVD ドライブの取り付け

以下の情報を使用して、オプションの DVD ドライブを取り付けます。

このタスクについて

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることができません。給電部を切り離す前に、オペレーター情報パネル、Light Path 診断パネル、およびサーバー内部のシステム・ボード上の LED を含めて、どの LED が点灯しているかをメモしておきます。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. DVD ドライブ・フィラー・パネルが付いている場合は、それを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネル背面の青色のリリース・タブを見つけます。次に、タブを押しながら DVD 光学式ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。

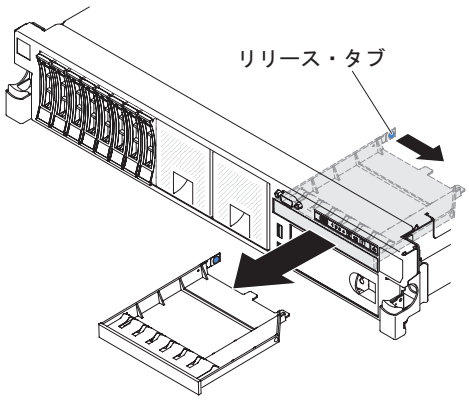


図 32. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し

5. DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面から保持クリップを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルは、将来の利用に備えて保管しておいてください。

   注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

   安全 3

   注意:
   レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

   - **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
   - **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

   危険

   一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

   カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

   クラス 1 レーザー製品
   Laser Klasse 1
   Laser Klass 1
   Luokan 1 Laserlaite
   Appareil A Laser de Classe 1

6. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい光学式ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、光学式ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
7. DVD ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

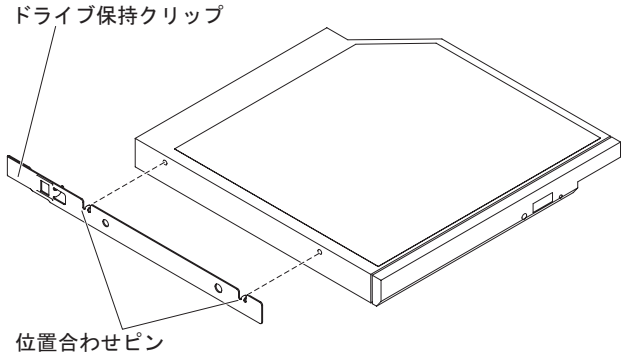


図 33. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

9. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせして光学式ドライブ・ベイに差し込み、DVD ドライブがカチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。

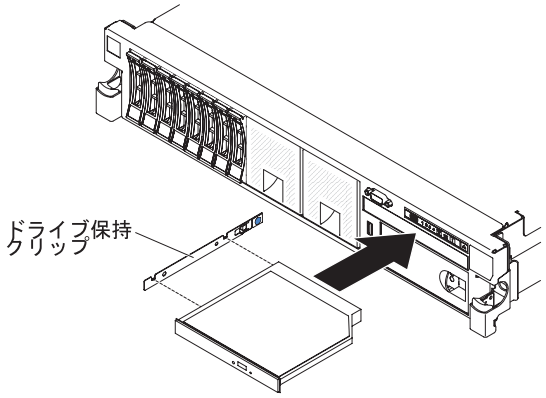


図 34. DVD ドライブの取り付け

10. DVD ドライブ・ケーブルを接続します (315 ページの『DVD ドライブ・ケーブルの交換』を参照)。次の図は、DVD ドライブ用のケーブル・ルーティングを示しています。

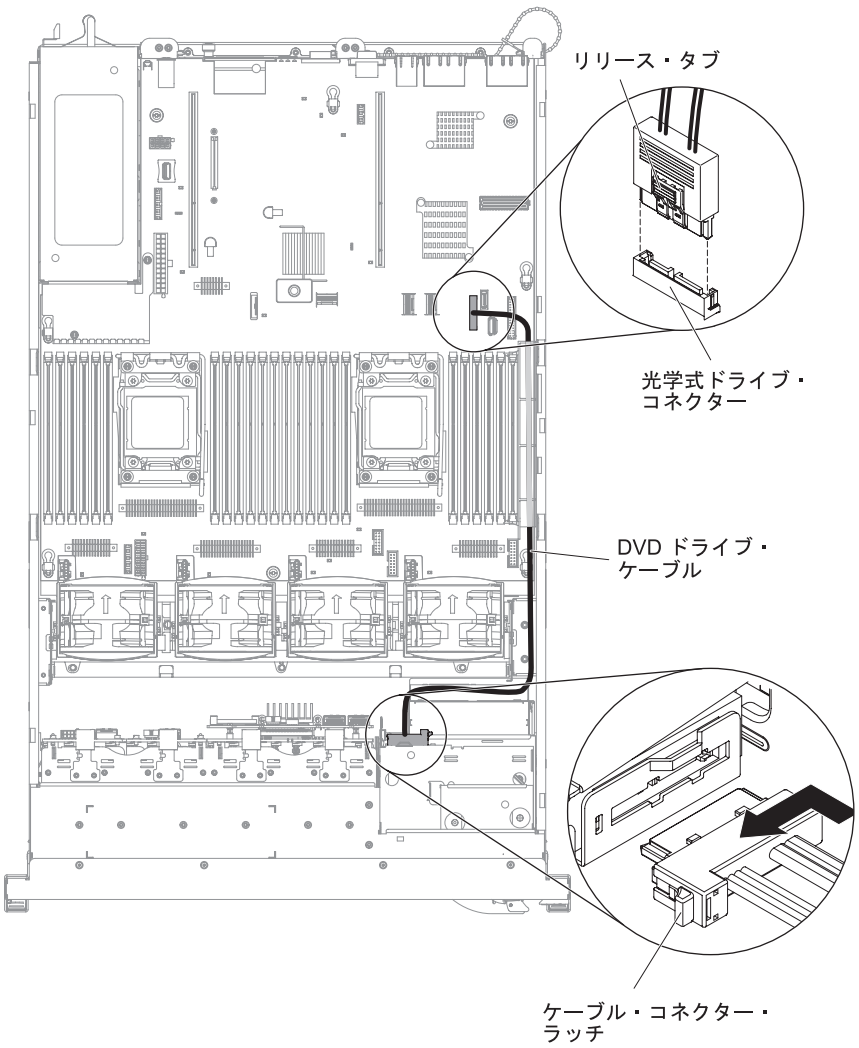


図 35. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションの DVD ドライブ・ケーブルの取り付け

オプションの DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ケーブル・コネクターを DVD ドライブ・ケージの背面にあるコネクターを位置合わせします。 ケーブル・コネクターを光学式ドライブ・ケージのコネクターに押し込み、しっかりと装着されるまで左側にスライドさせます。

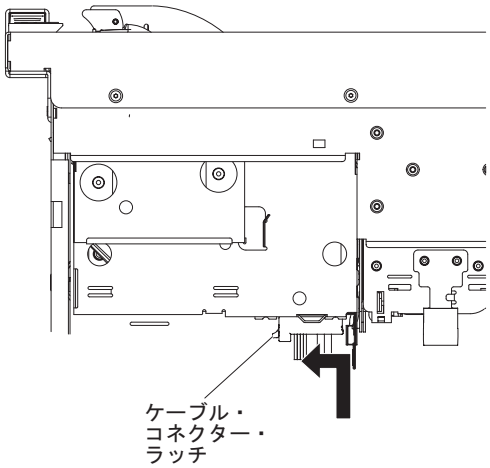


図 36. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

下図には、DVD ケーブル用のケーブル配線を記載してあります。

重要: 図に示された光学式ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。 ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

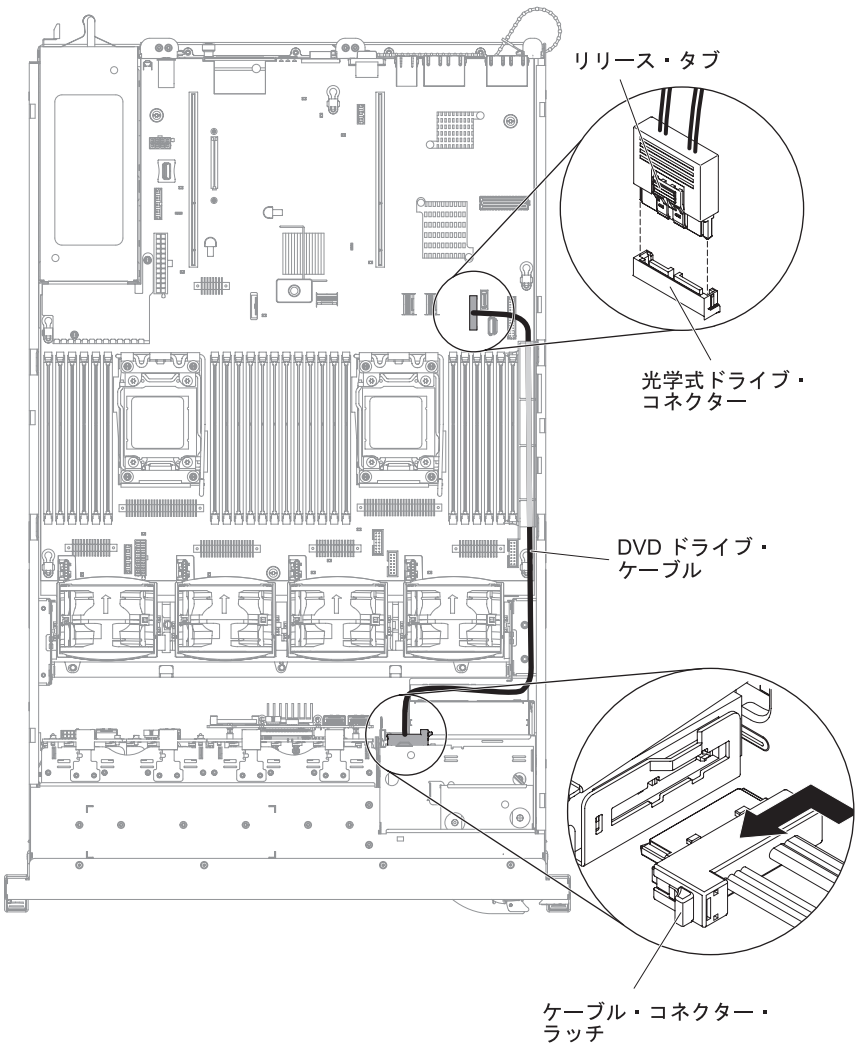


図 37. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3) 、800、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-6400、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
  - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに以下の形式で記載されています。

    ggggg eRxff PC3*v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

    ここで、

    - *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
    - *eR* はランク数です。

      1R = single-rank

      2R = dual-rank

      4R = quad-rank
    - *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。

      x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)

      x8 = x8 編成

      x16 = x16 編成
    - *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
      - ブランク = 1.5 V 指定
      - L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

      注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずです。これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。
    - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

      6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

- *m* は、DIMM のタイプです。

  E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

  L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)

  R = Registered DIMM (RDIMM)

  U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。 ラベルには、情報が xxxxx nRxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx の形式で示されています。6 番目の数値の位置にある数字は、DIMM が single-rank (n=1) か、dual-rank (n=2) か、あるいは quad-rank (n=4) を表します。

- チャネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
  - チャネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
  - チャネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します
  - チャネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
  - サーバー内のすべてのチャネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
  - registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサー、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、Intel Xeon™ E5-2600 シリーズのマイクロプロセッサーを搭載したサーバーは、以下の条件が満たされている場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で稼働します。
  - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-ranl、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- このサーバーは、最大 16 個の dual-rank UDIMM をサポートします。サーバーは、チャネルごとに最大 2 個の UDIMM をサポートします。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank、または 16 個の quad-rank RDIMM をサポートします。 このサーバーは、同じチャネル内で 3 つの quad-rank RDIMM をサポートしません。

- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 7. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	dual-rank UDIMM	4 GB	64 GB
24	single-rank RDIMM	2 GB	48 GB
24	single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
24	HCDIMM	16 GB	384 GB
24	HCDIMM	32 GB	768 GB
16	quad-rank RDIMM	8 GB	128 GB
24	quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB

- このサーバーで使用できる UDIMM オプションは、4 GB です。 このサーバーは、UDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このサーバーで使用可能な HCDIMM オプションは、16 GB および 32 GB です。このサーバーは、HCDIMM を使用した場合、最小 16 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: サーバーで 16 GB HCDIMM と 32 GB HCDIMM を混用しないでください。
- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。このサーバーは、LRDIMM を使用した最小 32 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行します。 追加情報については、 160 ページの『サーバーの構成』を参照してください。
- それぞれのマイクロプロセッサーごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサーについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、UDIMM、HCDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサーから最も遠い DIMM コネクターに取り付けてください。

注:

1. マイクロプロセッサー 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサー 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサー 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

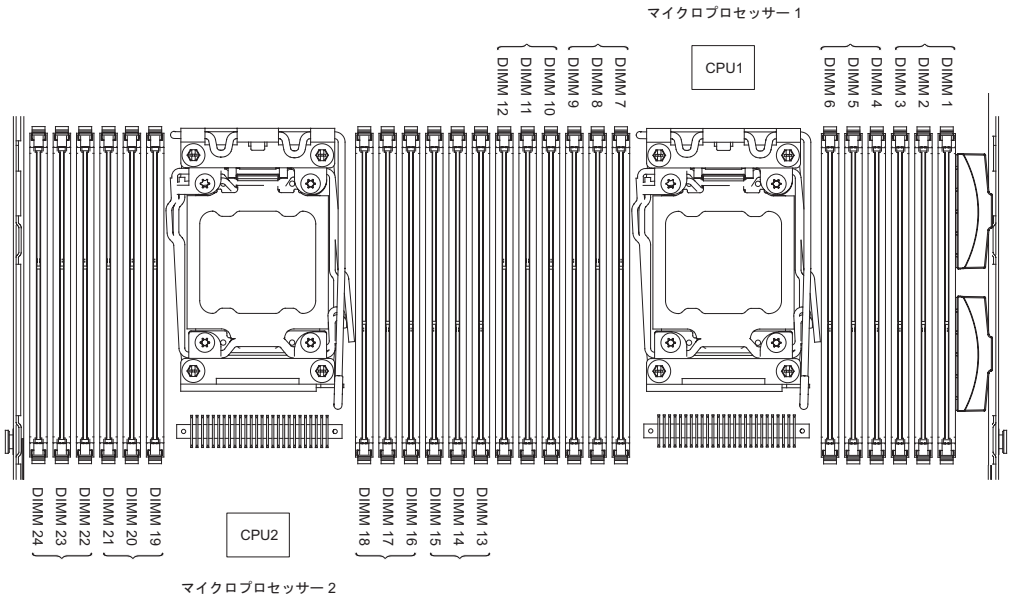


図 38. DIMM コネクターの位置

DIMM 取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサーのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 8. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**DIMM コネクター取り付け順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	1、4、9、12、2、5、8、11、3、6、7、10
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	1、13、4、16、9、21、12、24、2、14、5、17、8 20、11、23、3、15、6、18、7、19、10、22

メモリー・ミラーリング・チャネル

メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、データが 2 つのチャネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。 Setup ユーティリティーを使用してメモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にするには、「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択します。 詳しくは、166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャネルは、すべてのチャネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にした場合、最大使用可能メモリーは取り付け済みのメモリーの半分に減少します。 例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリング・チャネルを使用すると 32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。
- UDIMM の場合、マイクロプロセッサー 1 用の DIMM コネクター 3、6、7、および 10 と、マイクロプロセッサー 2 用の DIMM コネクター 15、18、19、および 22 は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは使用されません。

次の図には、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

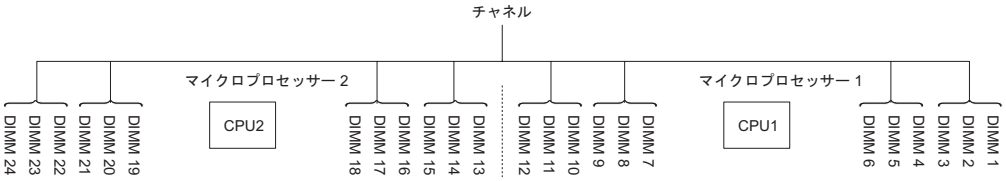


図 39. 各メモリー・チャネルのコネクター

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 9. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM の数	**取り付け済みのマイクロプロセッサー数**	**DIMM コネクター**
最初の DIMM ペア	1	1, 4
2 番目の DIMM ペア	1	9, 12
3 番目の DIMM ペア	1	2, 5
4 番目の DIMM ペア	1	8, 11
5 番目の DIMM ペア	1	3, 6
6 番目の DIMM ペア	1	7, 10
7 番目の DIMM ペア	2	13, 16
8 番目の DIMM ペア	2	21, 24

表 9. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
9 番目の DIMM ペア	2	14, 17
10 番目の DIMM ペア	2	20, 23
11 番目の DIMM ペア	2	15, 18
12 番目の DIMM ペア	2	19, 22
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・ランク・スペアリング

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます。詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ランク・スペアリング機能を使用する場合は、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ランク・スペアリング機能は、Intel Xeon™ E5-2600 シリーズのマイクロプロセッサーを搭載したサーバー・モデルでサポートされます。
- メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

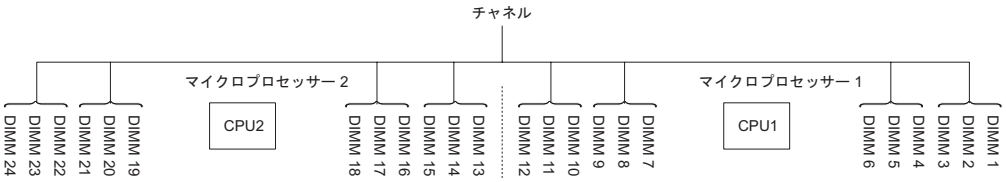


図 40. 各メモリー・チャネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 10. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1、2
2 番目の DIMM ペア	1	4、5
3 番目の DIMM ペア	1	8、9
4 番目の DIMM ペア	1	11、12

表 10. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
5 番目の DIMM ペア	1	7, 10
6 番目の DIMM ペア	1	3, 6
7 番目の DIMM ペア	2	13, 14
8 番目の DIMM ペア	2	16、17
9 番目の DIMM ペア	2	20、21
10 番目の DIMM ペア	2	23、24
11 番目の DIMM ペア	2	19, 22
12 番目の DIMM ペア	2	15, 18
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ランク・スペアリング・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り付けます。

このタスクについて

- 追加のメモリー・モジュールを取り付ける前に、 10 ページの表 2で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 1 つ以上のアダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられている場合、ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。

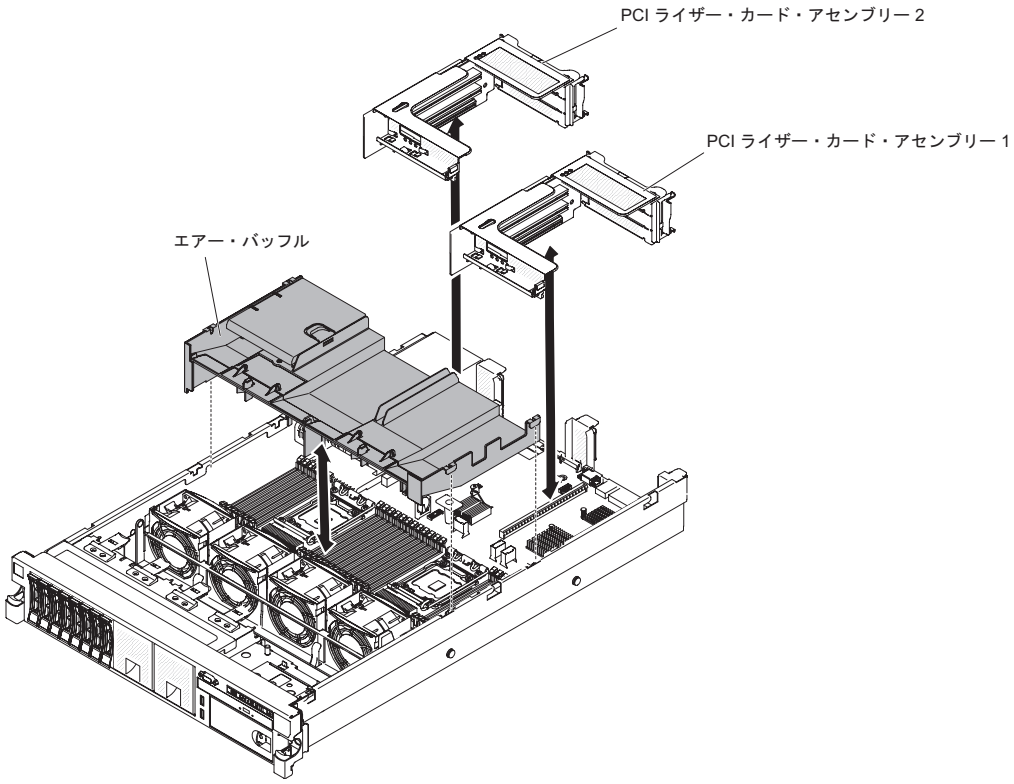


図 41. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

5. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

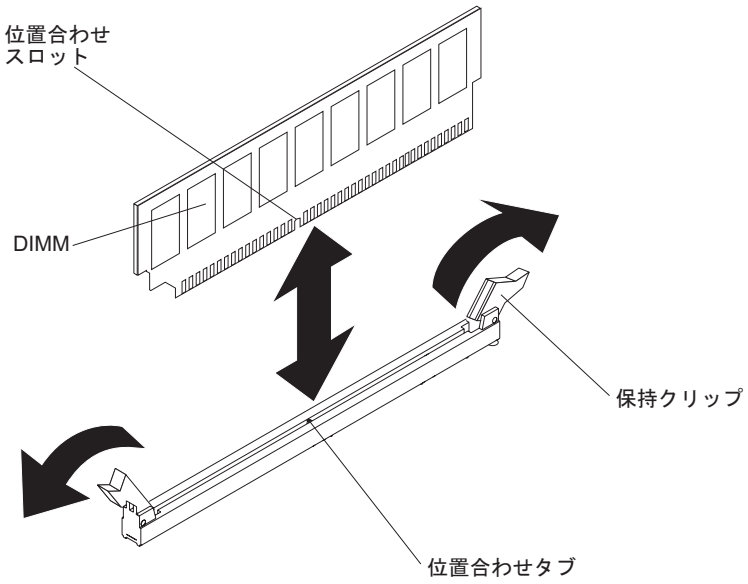


図 42. DIMM の取り外し

7. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 次に DIMM をパッケージから取り出します。
8. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
9. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、 37 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照)。
10. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

    注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
11. エアー・バッフルを取り付けます (291 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
12. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外した場合、それを取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

アダプターの取り付け

次の図は、サーバー背面にある PCI アダプター拡張スロットを示しています。

このタスクについて

表 11. 各スロットでサポートされるカードの最大寸法 (背面図)

PCI ライザー・カード・アセンブリー 1		PCI ライザー・カード・アセンブリー 2	
1	フルハイト、フルサイズまで対応	4	フルハイト、フルサイズまで対応
2	フルハイト、フルサイズ	5	フルハイト、フルサイズまで対応
3	フルハイト、フルサイズ	6	フルハイト、フルサイズ

注: ServeRAID-M5110 と x3650 M4 追加 8 HDD アセンブリー・オプション・キット (2.5 型) を取り付ける場合、 PCI スロット 2 にのみ取り付けることができます。ServeRAID-M5120 または IBM LLM-SM デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプターを取り付ける場合、PCI スロット 1、2、4、または 5 にのみ取り付けることができます。

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- この説明のほかに、アダプターに付属の資料に記載されている説明に従います。
- このサーバーは、システム・ボード上に 2 つの内部 SAS コネクターと 2 つの SAS/SATA RAID ライザー・カード・スロットを備えています。 内部 SAS/SATA RAID コネクターとライザー・カード・スロットの位置については、37 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照してください。 IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターを、オプションの IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターにこのスロットの中で取り替えることができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (http://www.ibm.com/supportportal/) を参照してください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- Quadro アダプターのいずれかが取り付けられている場合、メモリー・モジュールを取り付ける前に次の表を確認してください。

表 12. NVIDIA Quadro ビデオ・アダプター構成

説明	サポートされる最大合計メモリー・サイズ
Quadro 600 アダプター	128 GB
Quadro 2000 アダプター	512 GB
Quadro 4000 アダプター	512 GB
Quadro 6000 アダプター	512 GB

- すべてのアドオン・ビデオ・アダプターで、高解像度ビデオ出力コネクターおよびステレオ・コネクターはいずれもサポートされません。
- このサーバーはレガシー 5V PCI アダプターをサポートしません。

- PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。 ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- 追加のアダプターを取り付ける前に、 10 ページの表 2で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

次の図は、PCI ライザー・カード・アセンブリー上のアダプター・コネクターを示しています。

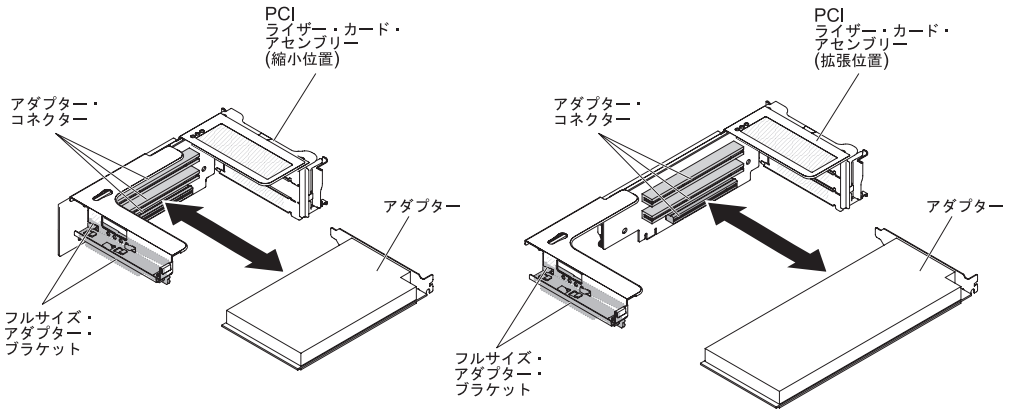


図 43. PCI ライザー・カード・アダプターのコネクター

アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターを取り付ける拡張スロットを決定します。
5. アダプターを PCI 拡張スロット 1、2、または 3 に取り付ける場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します。アダプターを PCI 拡張スロット 4、5、または 6 に取り付ける場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します。 43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照してください。
6. ブラケットを邪魔にならない位置まで回転させます。
7. 拡張スロット・カバーを PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張スロットから抜き取ります。

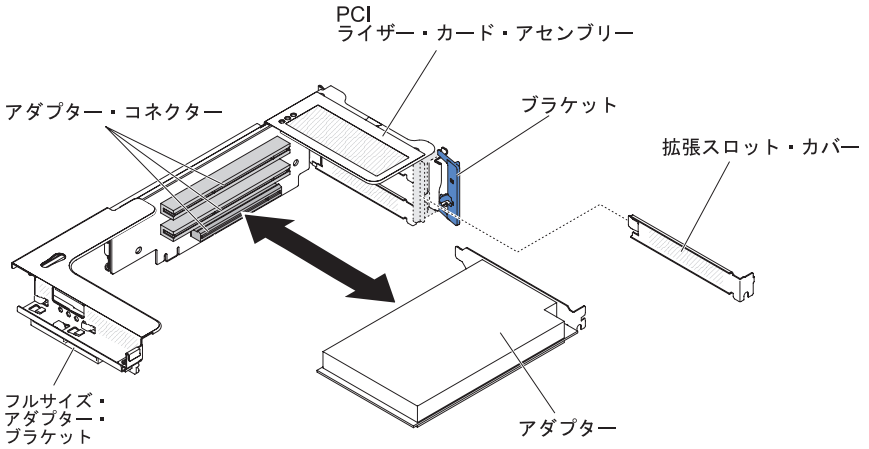


図 44. アダプターの取り付け

8. アダプターを取り付けます。
   a. ライザー 1 の場合: このアダプターがフルサイズのアダプターで、それをライザー・カード上段の拡張スロットに取り付ける場合、ライザー・カード・アセンブリー上面の下からフルサイズ・アダプター・ブラケットを取り外し、ライザー・カード・アセンブリー上段の拡張スロットの端に取り付けてください。 手順については、 45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張』を参照してください。
   b. ライザー 2 の場合: このアダプターがフルサイズのアダプターで、それをライザー・カード上段の拡張スロットに取り付ける場合、ブラケットはデフォルトでケージ上にあります。ブラケットをライザー・カード・アセンブリー上段の拡張スロットの端に取り付けてください。 手順については、 45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張』を参照してください。

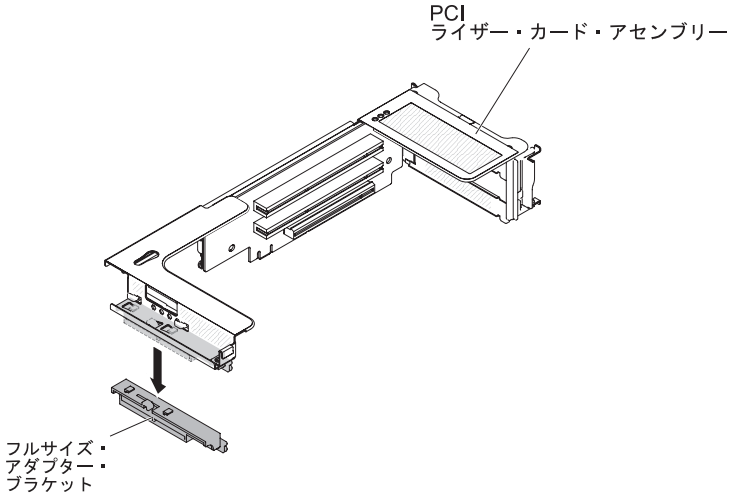


図 45. PCI ライザー・カード・アセンブリー

   c. PCI コネクターの位置を、ライザー・カード上のアダプター・コネクター、およびライザー・カード・アセンブリー端の外側にあるガイドと合わせます。

d. ライザー・カードの PCI コネクターにアダプターをしっかりと押し込みます。

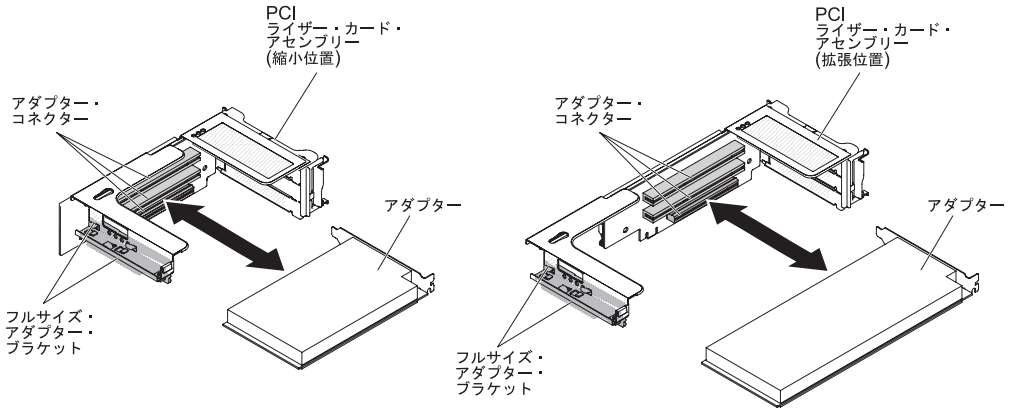


図 46. PCI ライザー・カード・アダプターのコネクター

9. 必要なケーブルをアダプターに接続します。

   重要:

   - ケーブルを配線するときは、すべてのコネクターや、ファンのまわりの通気スペースをふさがないようにしてください。
   - ケーブルが PCI ライザー・カード・アセンブリーの下にあるコンポーネントの上部に配線されていないことを確認してください。
   - ケーブルがサーバー・コンポーネントに挟まれていないことを確認してください。

10. PCI ライザー・カード・アセンブリーと、システム・ボード上の選択した PCI ライザー・カード・コネクターの位置を合わせます。

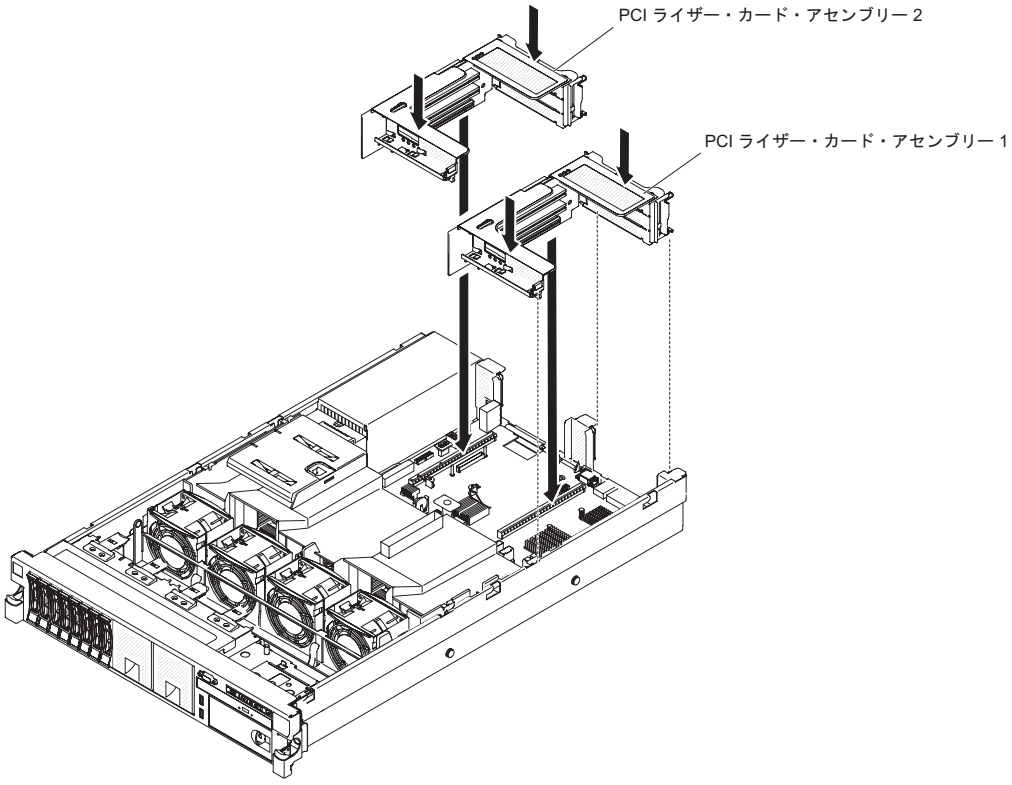


図 47. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

- PCI ライザー・カード・コネクター 1: アセンブリー側面にある 2 つの位置合わせのスロットを、シャーシ側面にある 2 つの位置合わせのブラケットに注意深く差し込み、アセンブリー後部とサーバー後部のガイドの位置を合わせます。
- PCI ライザー・カード・コネクター 2: ライザー・カード・アセンブリーの下端 (接点部分) とシステム・ボード上の PCI ライザー・カード・コネクターの位置を注意深く合わせ、アセンブリー後部とサーバー後部のガイドの位置を合わせます。

11. アセンブリーを押し下げます。 ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上の PCI ライザー・カード・コネクターに完全に収まっていることを確認します。
12. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプターの取り付け

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプターのを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. スーパーキャップ・ケーブルを ServeRAID アップグレード・アダプターに接続します。

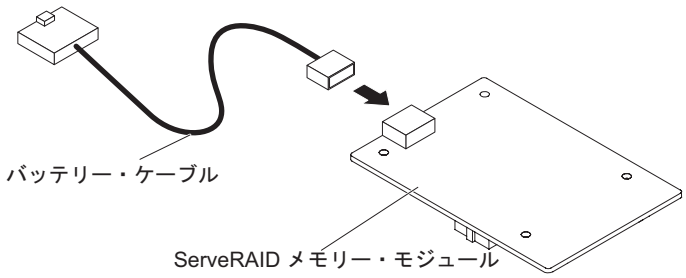


図 48. ServeRAID アップグレード・アダプターおよびスーパーキャップ・ケーブル

5. 3 つのペグを ServeRAID アップグレード・アダプターに取り付け、ServeRAID アップグレード・アダプターをシステム・ボードに取り付けます。

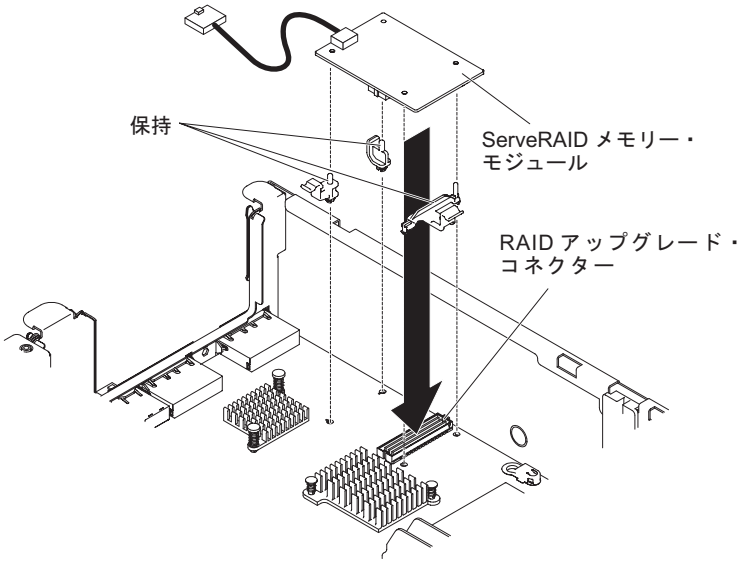


図 49. ServeRAID アップグレード・アダプターおよびスーパーキャップ・ケーブルの取り付け

6. スーパーキャップ・ケーブルのもう一方の端をバッテリーに接続します。

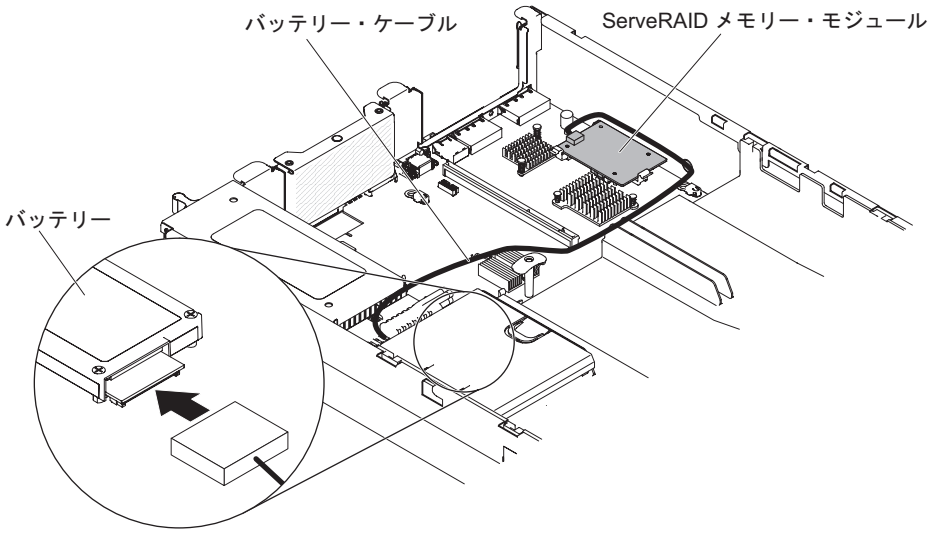


図 50. スーパーキャップ・ケーブルの接続

注: バッテリーが正しく装着されていることを確認します (『リモート・バッテリー・トレイへの ServeRAID SAS コントローラーのバッテリー取り付け』を参照)。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

リモート・バッテリー・トレイへの ServeRAID SAS コントローラーのバッテリー取り付け

以下の情報を使用して、リモート・バッテリー・トレイに ServeRAID SAS コントローラー・バッテリーを取り付けます。

このタスクについて

注: 本書では、Intelligent Battery Backup Unit (iBBU) を略してバッテリー *(battery)* と記載することがあります。

バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。バッテリーは、ファン・ケージの近くに取り付ける必要があります。

RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

注: バッテリーが付属した ServeRAID-M5100 Series 512 MB キャッシュ RAID 5 アップグレードを取り付ける場合は、代わりに ServeRAID SAS コントローラー・リモート・バッテリー保持機構にバッテリーを取り付ける必要があります (『オプ

ションの ServeRAID SAS コントローラー・バッテリー・ホルダーの取り付け』を参照)。

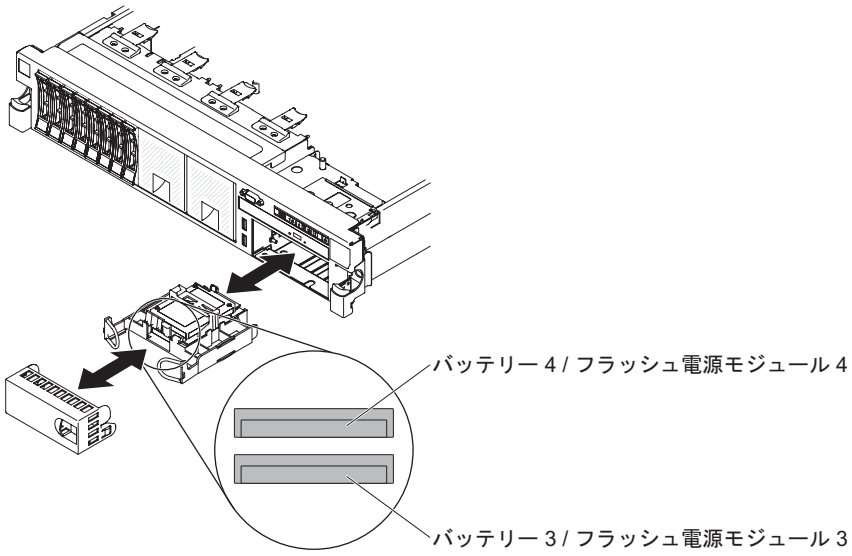


図 51. リモート・バッテリー・トレイへの ServeRAID SAS コントローラーのバッテリー取り付け

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての電源コードおよび外部装置を切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. バッテリー・ケーブルの一方の端を ServeRAID SAS コントローラーのバッテリー・コネクターに接続します。
5. リモート・バッテリー・ケーブルをシャーシに沿って配線します。

   重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。
6. 次のように、バッテリーをファン・ケージの近くに取り付けます。
   a. バッテリー・ケーブル・コネクターをバッテリー・ホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリー・ホルダー内にバッテリーを取り付け、バッテリーがバッテリー・ホルダーにしっかりと固定されていることを確認します。

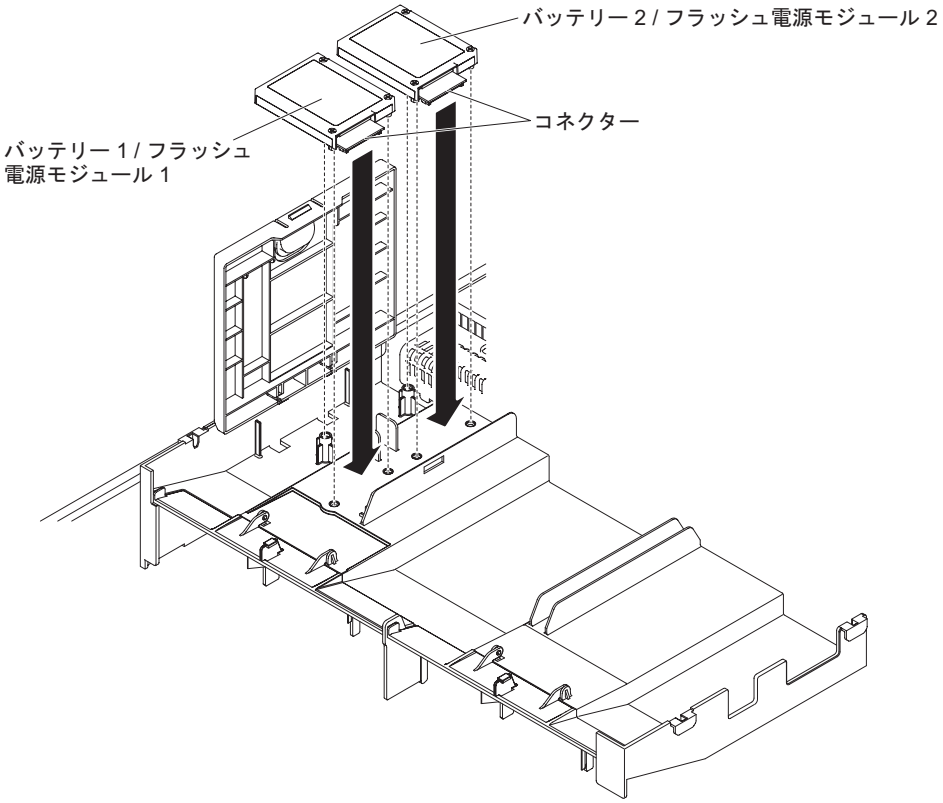


図 52. RAID アダプター・バッテリーの取り付け

注: リモート・バッテリーの位置は、取り付けるリモート・バッテリーのタイプによって異なります。

b. バッテリー・ケーブルのもう一方の端をバッテリーのバッテリー・ケーブル・コネクターに接続します。

c. リリース・タブがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリー保持クリップが所定の位置にしっかりと保持されるまで、リリース・タブをサーバーの前方に押しながらバッテリー保持クリップを下に収納します。

注: バッテリーは、通常操作の状態において最低 6 時間は充電する必要があります。 お客様のデータを保護するために、ServeRAID コントローラー・ファームウェアは、バッテリー装置が十分に充電されるまで書き込みポリシーをライトスルーに変更します。 バッテリー装置が充電されると、ServeRAID コントローラー・ファームウェアは書き込みポリシーをライトバックに変更します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り付け

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下のデュアル・ポート・ネットワーク・アダプターのいずれかを購入し、サーバーに 2 つのネットワーク・ポートを追加することができます。デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター・オプションを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

表 13. ネットワーク・コネクターでサポートされるデュアル・ポート・ネットワーク・アダプター

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター	オプションの部品番号	FRU の部品番号	注釈
Mellanox ConnectX-3 デュアル・ポート QDR/FDR10 Mezz カード	90Y6338	90Y4956	
Qlogic デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA	90Y6454	90Y5099	4 つのファンの取り付けが必要。
Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III	90Y6456	90Y5100	
デュアル・ポート FDR 組み込みアダプター	00D4143	90Y6606	
注: IBM System x3650 M4 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 46W8422) を購入して、サーバー用の追加ファンを入手することができます。			

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

- ネットワーク・アダプターを構成するには、以下のステップを実行します。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択します。
  2. 「**Network Device List**」から、ネットワーク・アダプターを 1 つ選択します。

     注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。
  3. ネットワーク・アダプター設定を構成するには、Enter キーを押してください。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の NIC/iSCSI/FCoE を変換するには、以下のステップを実行します。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』 を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択し、Enter キーを押します。
  2. 「**Network Device List**」から「Emulex network adapter」を選択します。

注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。

3. Enter キーを押して Emulex ネットワーク・アダプターを構成し、「**Personality**」を選択して Enter キーを押し、設定を変更します。
   - NIC
   - iSCSI (FoD の取り付け後に選択可能になります)
   - FCoE (FoD の取り付け後に選択可能になります)

- IBM Web サイトから iSCSI および FCoE の最新バージョンのドライバーをダウンロードするには、以下のステップを実行します。
  1. http://www.ibm.com/support/fixcentral/ に進みます。
  2. 「**Product support**」 > 「**System x**」 > 「**Product family**」 > **System x3650 M4 > 7915**をクリックします。
  3. 「**Operating system**」メニューから、ご使用のオペレーティング・システムを選択して「**Search**」をクリックすると、使用可能なドライバーが表示されます。
  4. 最新バージョンのドライバーをダウンロードします。
     - Emulex iSCSI デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)
     - Emulex FCoE デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)

  注: IBM Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III のポート 0 は、共有システム管理として構成することができます。
- サーバーがスタンバイ・モードである場合、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の両方のポートが、100M 接続速度 (Wake on LAN 機能対応) で機能します。

以下のいずれかのエラーが発生すると、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III は自動的に使用不可になります。

- エラー・ログが、イーサネット・アダプターに対する温度警告を示している。
- すべてのパワー・サプライが取り外されたか、サーバーが給電部から切り離されている。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付けには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・コネクター 2 から PCI ライザー・カード・アセンブリー (取り付けられている場合) を取り外します (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。

5. シャーシ後部のアダプター・フィラー・パネルを取り外します (まだ取り外していない場合)。

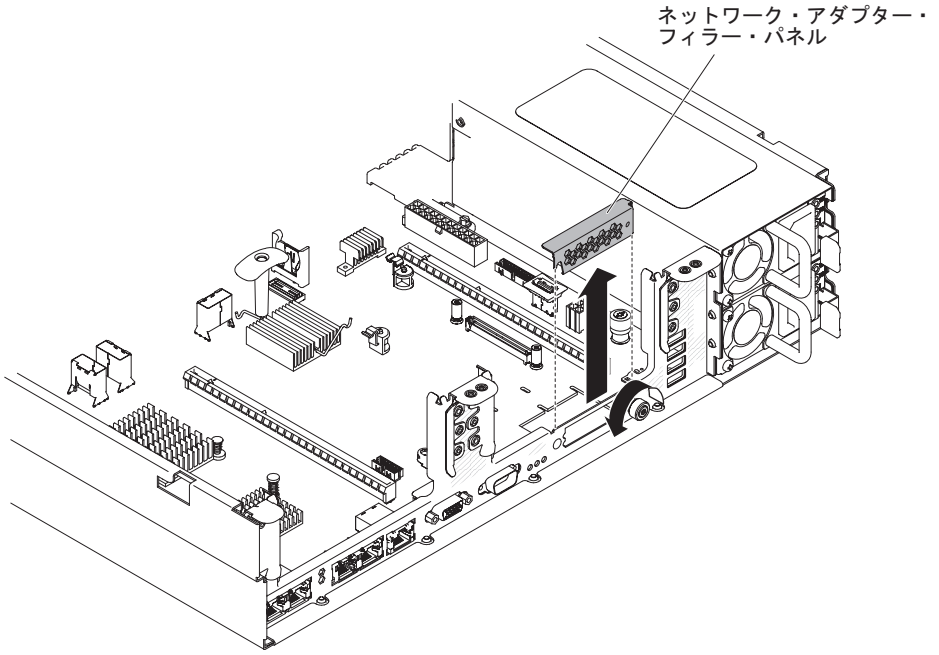


図 53. アダプター・フィラー・パネルの取り外し

6. 新しいアダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターをパッケージから取り出します。
7. アダプター上のポート・コネクターがシャーシのピンおよびつまみねじと並ぶように、アダプターを位置合わせします。次に、アダプターのコネクターをシステム・ボード上のアダプター・コネクターと位置合わせします。

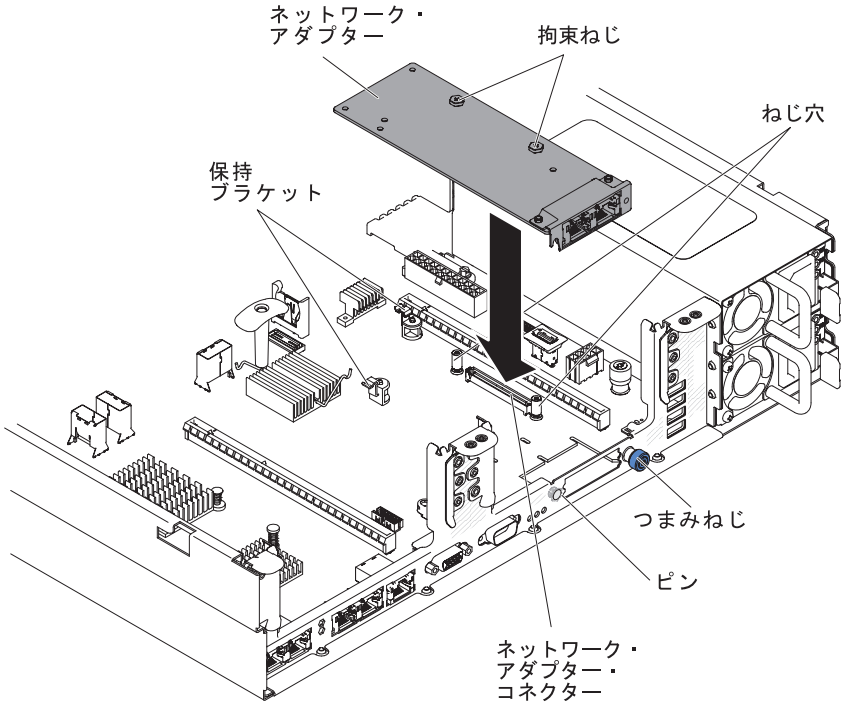


図 54. ネットワーク・アダプターの取り付け

8. ピン、およびブラケットがアダプターとしっかりとかみ合うまで、アダプターをしっかりと押します。アダプターがシステム・ボード上のコネクターにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

   重要: アダプター上のポート・コネクターが、サーバー後部のシャーシと適切に位置合わせされていることを確認してください。 アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボードまたはアダプターが損傷する可能性があります。
9. シャーシ背面のつまみねじを締めます。
10. ネットワーク・アダプターの 2 つの拘束ねじを締めます。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを以前に取り外していた場合は、PCI ライザー・コネクター 2 に再取り付けします (333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けます。

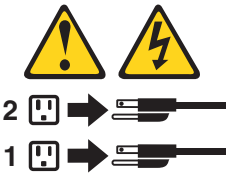
このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、 10 ページの表 2で詳細な構成を確認してください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが標準で搭載されています。入力電圧は、100-127 V AC または 200-240 V AC の自動検知です。
- サーバーが正しく稼働することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは定格 (ワット数) が同じでなければなりません。例えば、550 ワットのパワー・サプライと 750 ワットのパワー・サプライをサーバー内で混用することはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

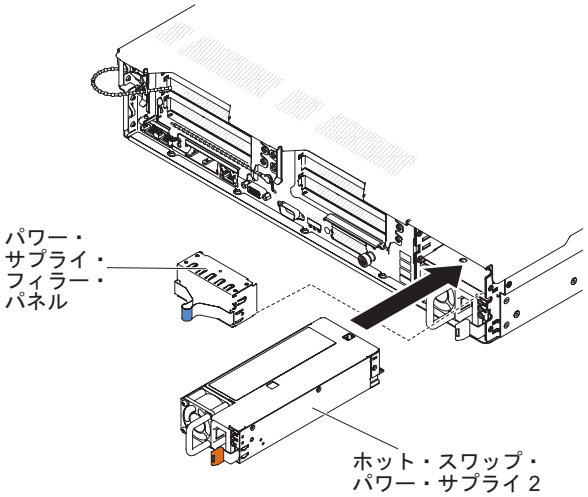


図 55. パワー・サプライの取り付け

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。

3. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。
4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。

   重要: サーバー内に異なるワット数のパワー・サプライを取り付けないでください。
5. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
6. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。
7. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。
8. AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
9. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

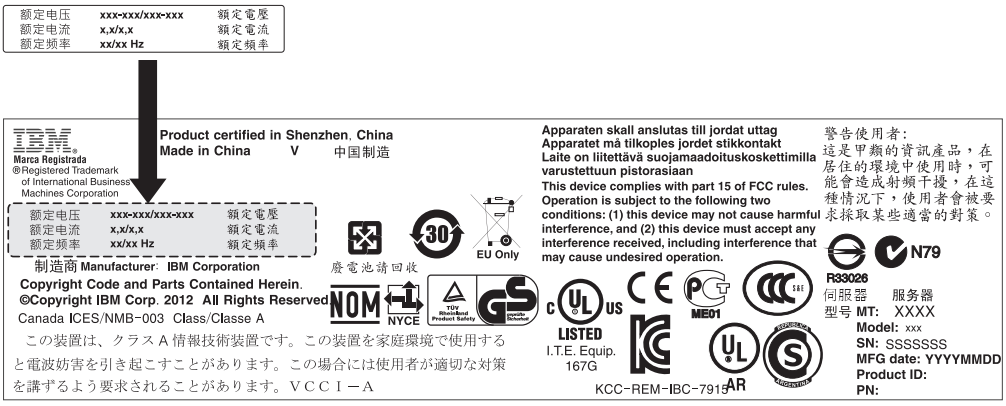


図 56. 電源情報ラベル

10. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

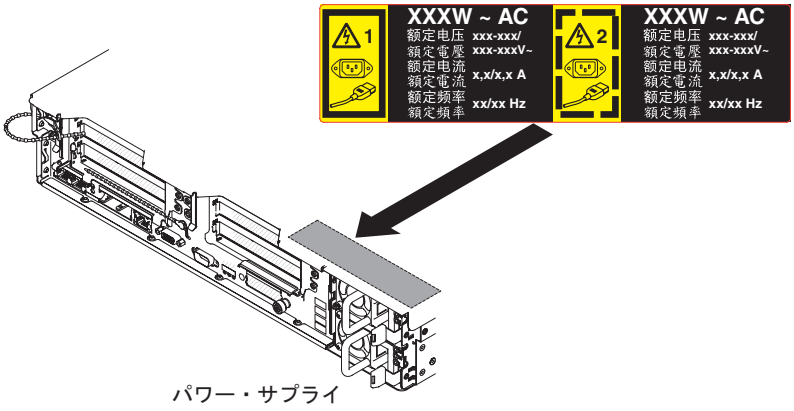


図 57. 冗長電源情報ラベルの添付

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り付けます。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、 10 ページの表 2で詳細な構成を確認してください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが標準で搭載されています。入力電圧は、-48 V DC または -60 V DC の自動検知です。
- サーバーに DC パワー・サプライを取り付ける前に、すべての AC パワー・サプライを取り外す必要があります。同じサーバー内で AC パワー・サプライと DC パワー・サプライの両方を使用しないでください。最大 2 つの DC パワー・サプライまたは最大 2 つの AC パワー・サプライを取り付けますが、組み合わせることはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- 必要な電源ケーブルは、お客様の責任で準備してください。

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- **定格が 25 アンペアの回路ブレーカーを使用してください。**
- **90° C で 2.5 mm^2 (12 AWG) の銅線を使用してください。**
- **配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めます。**

詳しくは、以下の『安全 34』を参照してください。

- 給電部で丸形端子が必要な場合は、圧着工具を使用して、丸形端子を電源コードのワイヤーに取り付けてください。丸形端子は、UL 規格認定取得済みでなければならず、上記の注記で説明しているワイヤーに対応している必要があります。

安全 29:

注意:
この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。 DC システムが他の場所に接地されていないこと。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機または切断機を設置しないこと。

安全 31

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地された給電部に接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線された給電部に接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている AC 電源コード、DC 給電部、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:

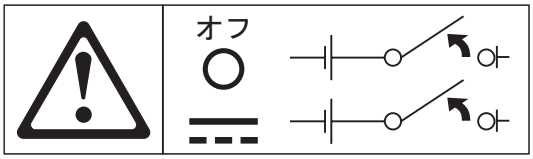
1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
2. 製品に信号ケーブルを接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
   - AC システムの場合は、装置の電源ソケットを使用します。
   - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の正しい極性を確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 他の装置に信号ケーブルを接続します。
5. それらの装置の給電部に電源コードを接続します。
6. すべての給電部の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
   - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、あるいは AC 電力配分装置で電源を遮断します。
   - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 給電部を切り離すか、給電部の電源をオフにします。その後、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33

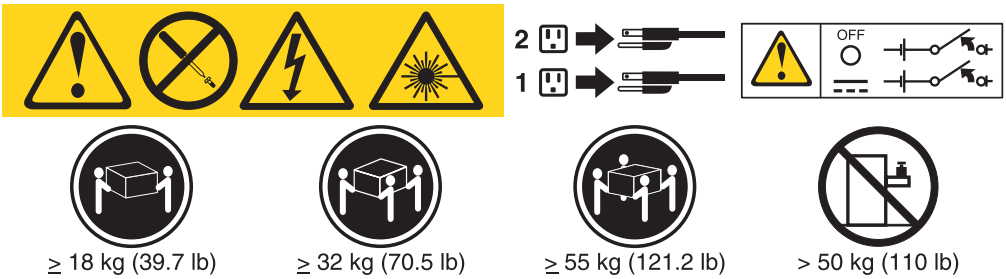
注意:
この製品には、電源制御ボタンが備わっていません。ブレードの電源をオフにしたり、電源モジュールや I/O モジュールを取り外しても、製品への電流はオフになりません。この製品には、複数の電源コードが使用されている場合があります。この製品から完全に電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 34

注意:
感電、または危険なエネルギーにさらされるリスクを避けるため、次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は正しく接地された Safety Extra Low Voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生しても、その出力電圧が安全レベルの 60 V DC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**
- **分岐回路の過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**
- **銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**
- **配線端子のねじに必要なトルク値については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り付けるには、次の手順を実行します。

重要: IBM サービス技術員以外では、トレーニングを受けたサービス担当員のみが、-48 ボルト DC パワー・サプライの取り付けおよび取り外し、-48 ボルト DC 給電部の接続および切り離しを行うことを許可されています。 IBM サービス技術員は、-48 ボルト電源ケーブルの取り付けおよび取り外しの認定や許可を受けていません。トレーニングを受けたサービス担当員のみが -48 ボルト電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを行っていることは、お客様の責任で確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 新規のパワー・サプライを接続する DC 給電部の回路ブレーカーをオフにします。 DC 給電部から電源コードを切り離します。
4. 新規のパワー・サプライに DC 電源ケーブルを接続します。

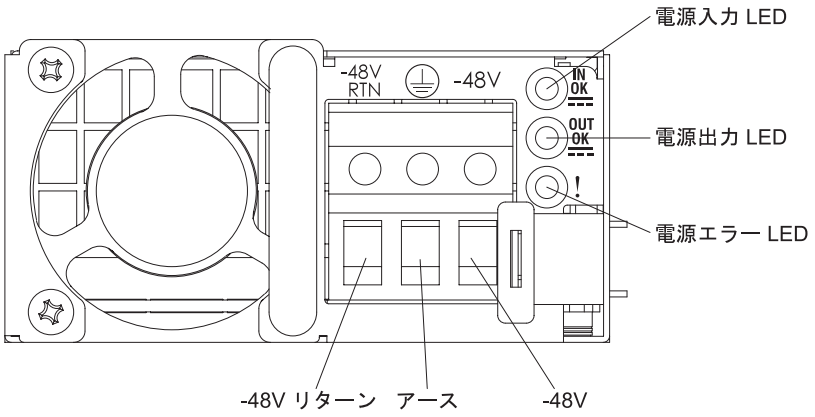


図 58. DC パワー・サプライ背面図

5. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

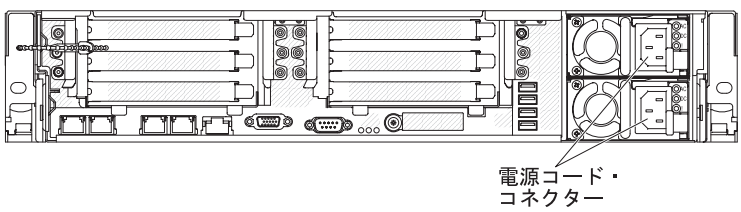


図 59. パワー・サプライの取り付け

6. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。
7. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
8. DC 電源ケーブルの他方の端を DC 給電部に接続します。ワイヤーを適切な長さに切り取ります。ただし、150 mm より短く切り取らないでください。給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は、UL 規格認定取得済みでなければならず、 83 ページの『ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け』 ページで説明しているワイヤーに対応している必要があります。終端がピラー・タイプまたはスタッド・タイプの最小公称ねじ径は、4 mm でなければなりません。終端がねじタイプのねじ径は、5.0 mm でなければなりません。
9. 新規のパワー・サプライを接続した DC 給電部の回路ブレーカーをオンにします。
10. パワー・サプライ上の緑色の電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
11. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

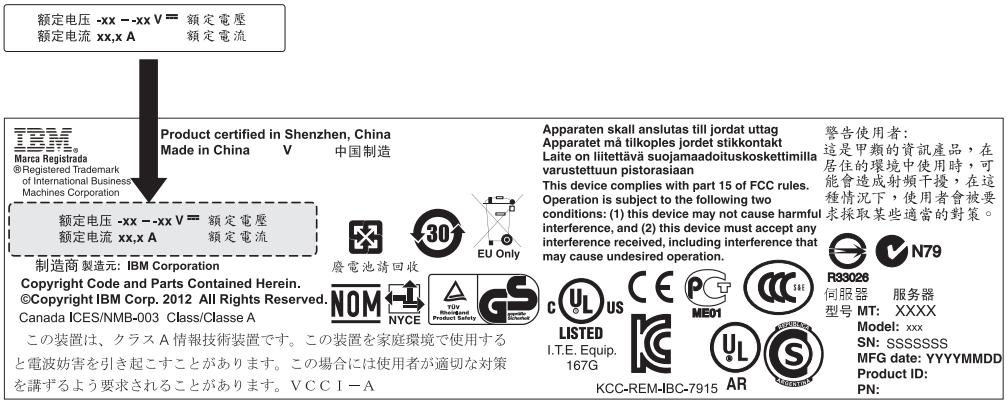


図 60. 電源情報ラベル

12. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

図 61. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ・ファンの取り付け

ホット・スワップ・ファンを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーには、標準で 3 個の交換可能なダブル・ファンが付属しています。適切な冷却を確保するために、このサーバーでは常に 4 個のファンが取り付けられている必要があります。

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを追加で取り付けるには、次のステップを行います。

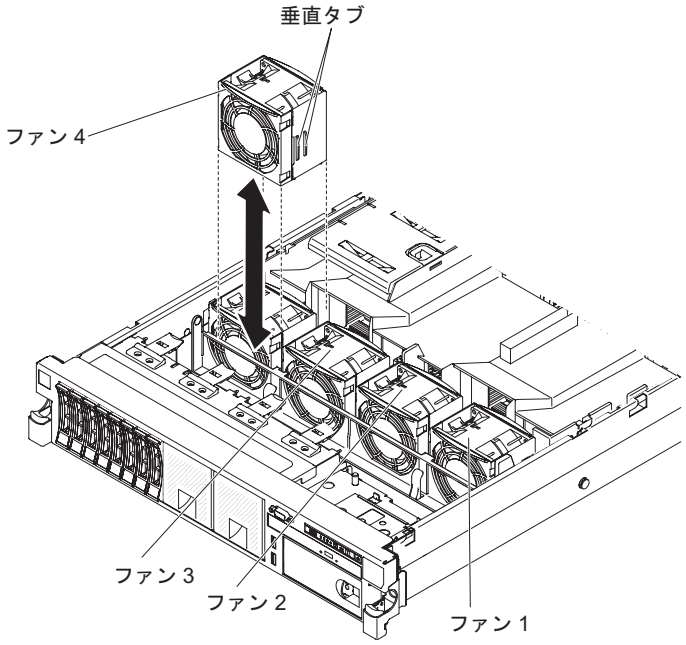


図 62. ファンの取り付け

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。

   重要: 適切なシステムの冷却を確保するために、この手順の間、30 分を超えてトップ・カバーを取り外したままにしないでください。
3. エアー・バッフルを回転させて上げます。
4. システム・ボード上のファン・コネクターとファン下部のコネクターの位置を合わせるように、新しいファンの向きをファン・ブラケット内の位置で合わせます。
5. ファンの垂直タブを、ファン・ケージ・ブラケットのスロットと位置合わせします。

6. 新しいファンをシステム・ボードのファン・コネクターに押し込みます。ファン上面を押し下げ、ファンを完全に差し込みます。システム・ボード上のファン・コネクター横にある黄色の LED が、オフになることを確認してください。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け

以下の情報を使用して、追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けます。

このタスクについて

IBM System x3650 M4 ホット・スワップ追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付け、サーバーに 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのオプションを追加することができます。サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを注文する場合は、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

- 1 つの 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン
- SAS 拡張アダプター (1)
- M3 x 5 ねじ (4)
- 拡張アダプターに接続する SAS 信号ケーブル (2)

注: 追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、構造部品と Tier 1 部品が含まれます。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

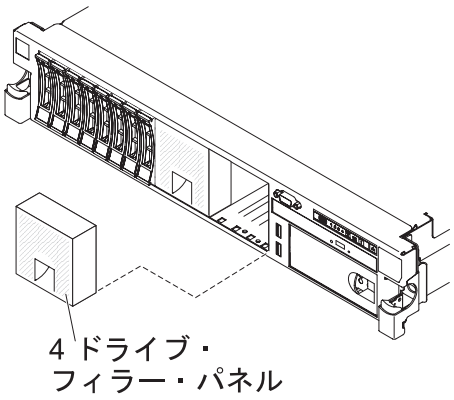


図 63. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. ハード・ディスクあるいはフィラーをサーバーからわずかに引き出し、バックプレーンから外します。詳しくは、298 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照してください。
7. システム・ボードから SAS 信号ケーブルを切り離します。 SAS 信号ケーブルのもう一方の端は、ハード・ディスク・バックプレーンに接続したままにします。
8. ハード・ディスク・バックプレーン 1 をサーバーから取り外します。

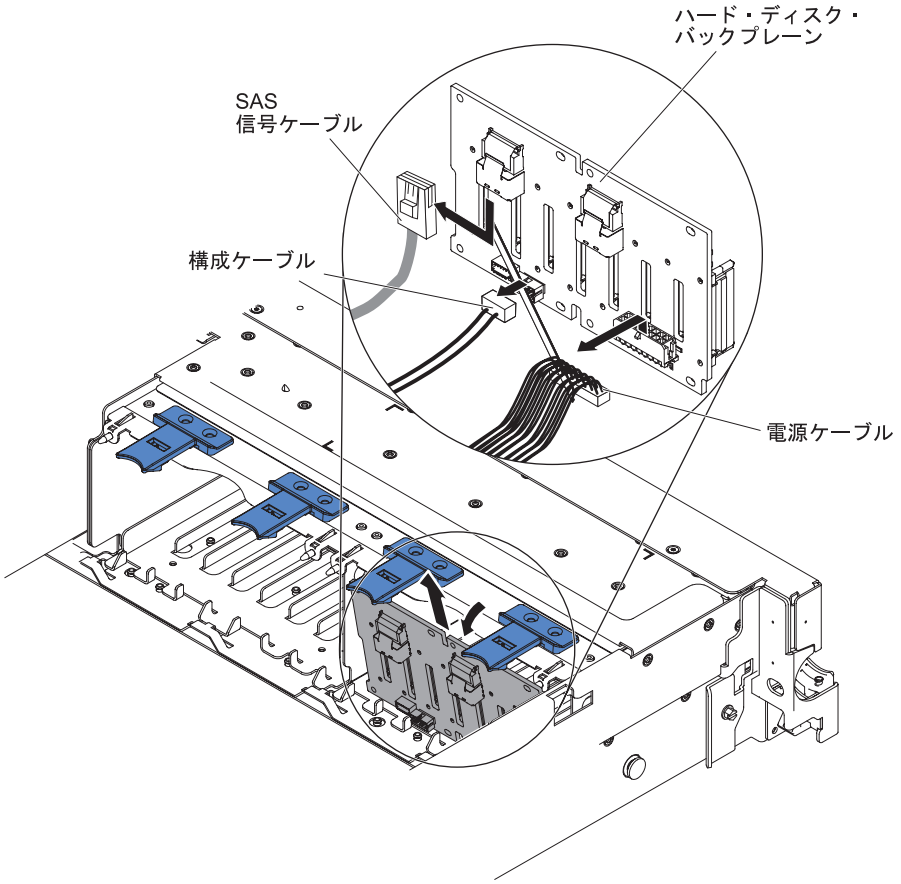


図 64. ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

a. バックプレーン 1 から、以下のケーブルをリストに示す順序で切り離します。
   - 電源ケーブル 1
   - SAS 信号ケーブル 2
   - 構成ケーブル 3

b. バックプレーン 1 をサーバーの後方に引いて持ち上げ、サーバーから取り出します。

9. 新しいバックプレーンをスロット 2 に取り付けます。
   a. SAS 信号ケーブルを新規バックプレーン 2 に接続します。新規バックプレーンは、オプション・キットに付属しています。
   b. 構成ケーブルをバックプレーン 2 に接続します。
   c. オプション・キットに付属のケーブルをバックプレーン 1 に接続します。

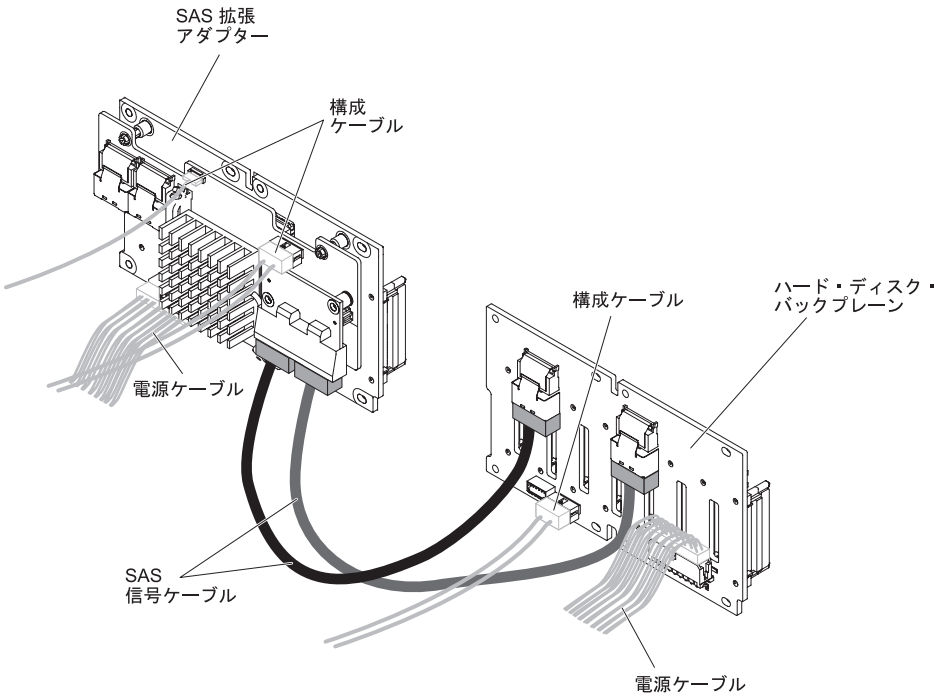


図 65. ケーブルの接続

d. 構成ケーブルおよび電源ケーブルをバックプレーン 1 に接続し直します。

e. 新しいバックプレーンの角度をつけて、光学式ドライブの横にあるシャーシのバックプレーン 2 用スロットに下端の位置を合わせます。

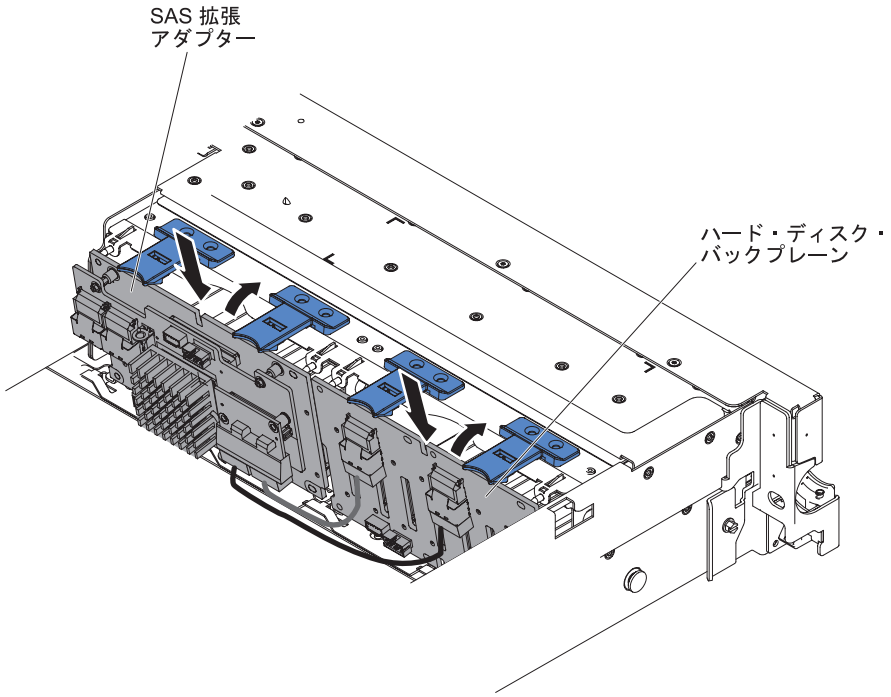


図 66. 新しいバックプレーンの取り付け

f. バックプレーンの角度をつけて、シャーシのバックプレーン 1 用スロットに下端の位置を合わせます。

g. ブラケットがシャーシ上のラッチおよびタブの下に移動するようにバックプレーンを垂直に回転させ、バックプレーン・ブラケットのスロットに固定してください。

10. SAS 信号ケーブルの接続していない方の端をシステム・ボードに接続します。ケーブルは、バッフルのケーブル保持機構の下を通るように配線します。図を参照してください。

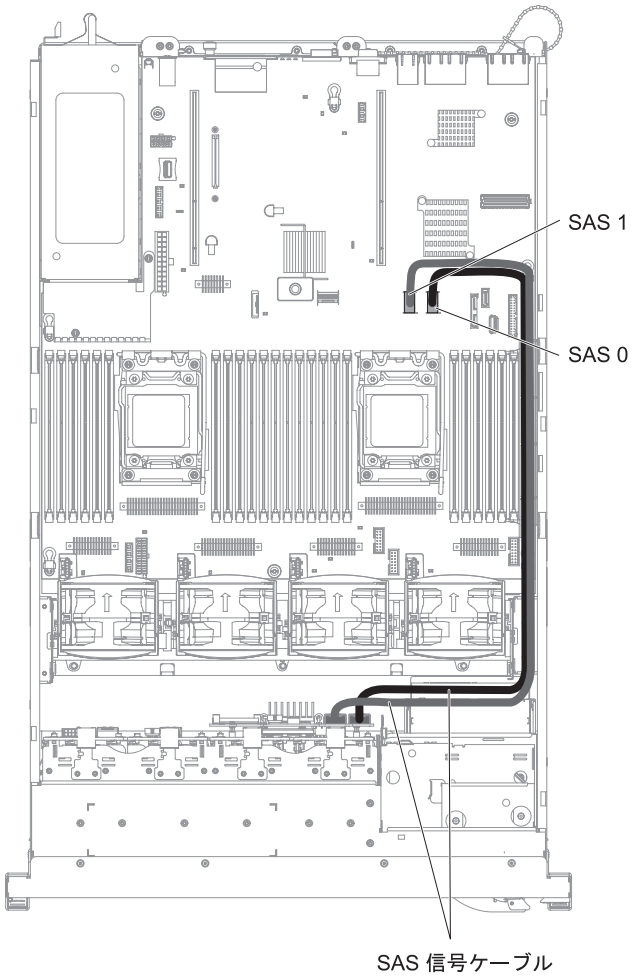


図 67. SAS 信号ケーブルのルーティング

11. 構成ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

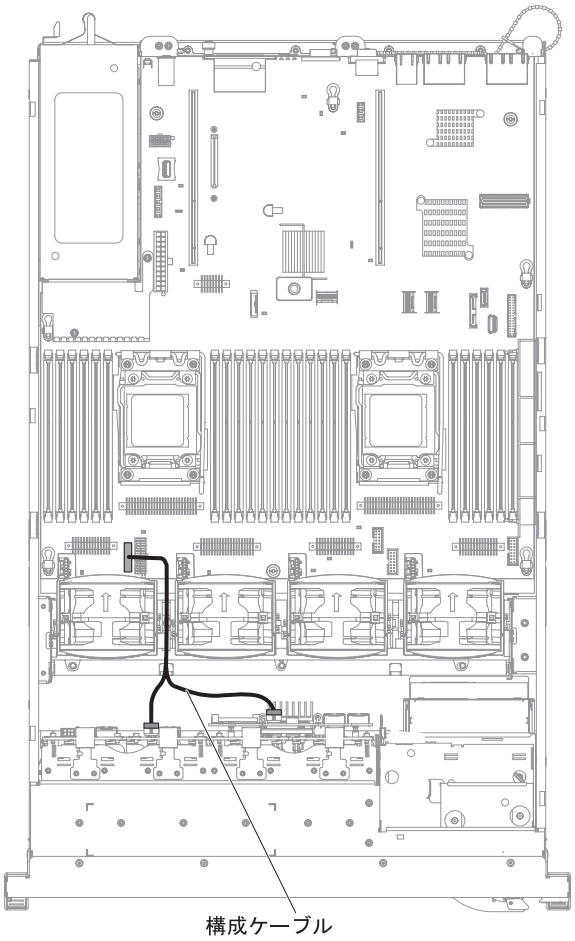


図 68. 構成ケーブルのルーティング

12. SAS 電源ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

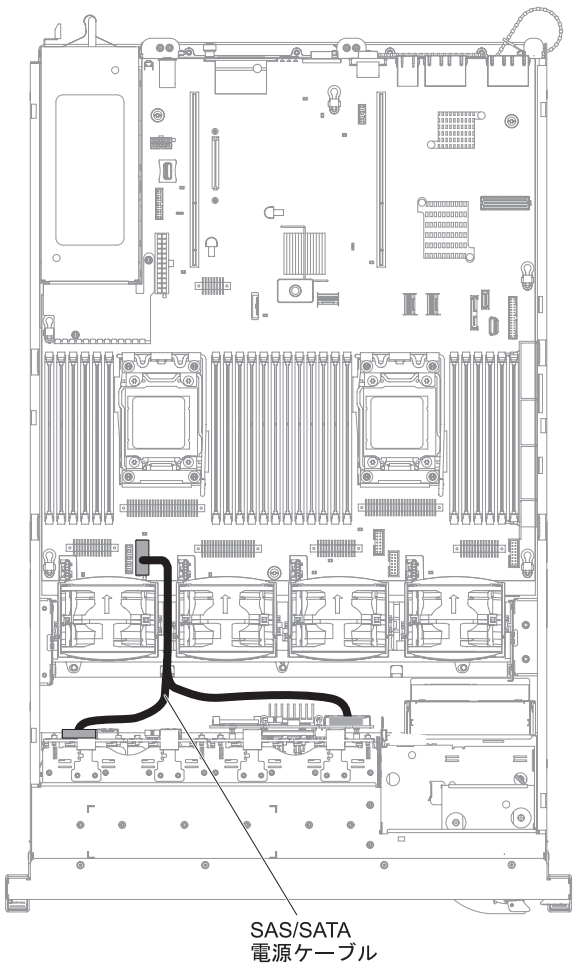


図 69. SAS 電源ケーブルのルーティング

13. ファンを取り外した場合、ファンを取り付けます。
14. ハード・ディスクおよびフィラーを最後までベイに挿入します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットの取り付け

以下の情報を使用して、16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを取り付けます。

このタスクについて

12Gb 用 Expander 付き IBM System x3650 M4 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを取り付けることができます。サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

- エクスパンダー (1)
- バックプレーン接続ケーブル (1)
- ねじ (2)
- 電源ケーブル (1)
- 構成ケーブル (1)
- mini-SAS HD ケーブル (2)
- 2.5 型 HDD フィラー (8)

12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

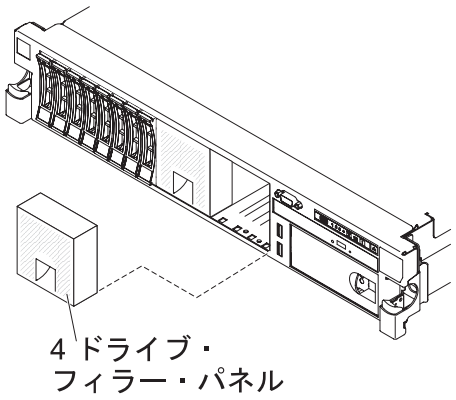


図 70. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. 新しいバックプレーンをスロット 2 に取り付けます。
   a. 以下のケーブルを、リストされた順序で接続します。
      - 構成ケーブル 1
      - Mini-SAS ケーブル 2
      - 電源ケーブル 3
      - バックプレーン接続ケーブル 4

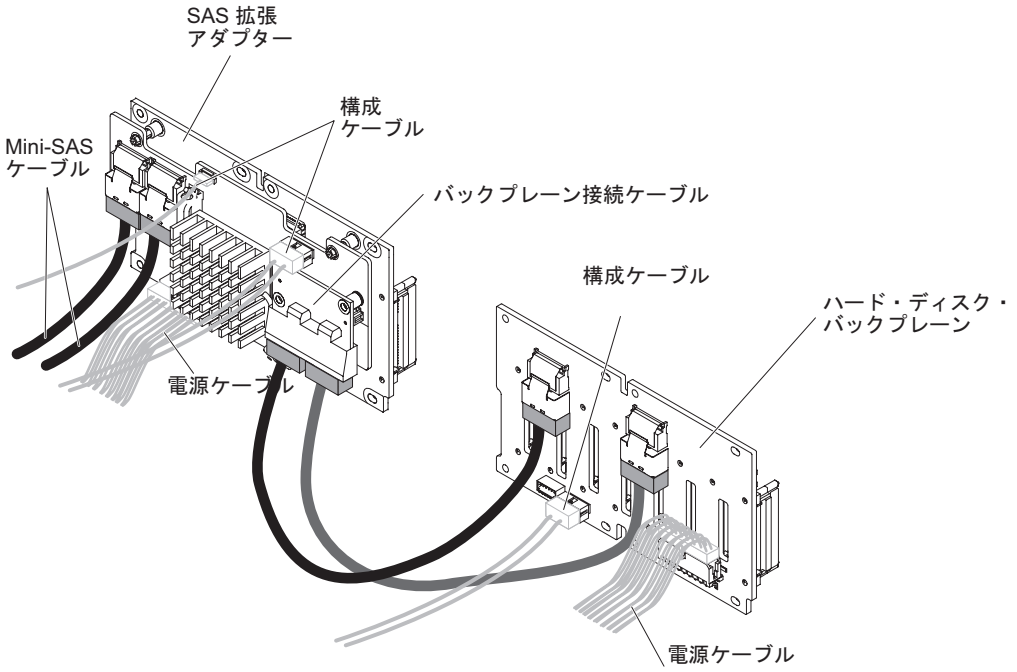


図 71. ケーブルの接続

   b. 新しい Expander の角度をつけて、光学式ドライブの横にあるシャーシのスロットに下端の位置を合わせます。

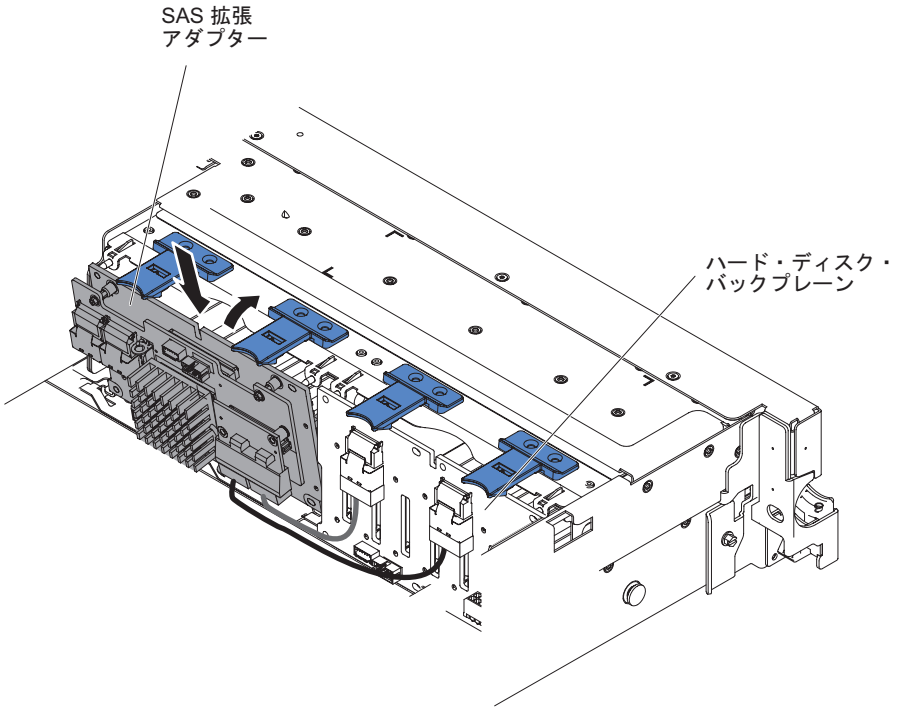


図 72. 新しいバックプレーンの取り付け

c. ブラケットがシャーシ上のラッチおよびタブの下に移動するように Expander を垂直に回転させ、バックプレーン・ブラケットのスロットに固定してください。

7. RAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、RAID アダプターをパッケージから取り出します。
8. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
9. PCI ライザー・カードのコネクターに、RAID アダプターを取り付けます (67 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。

   重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
10. mini-SAS 信号ケーブルを RAID アダプター上のコネクターに接続します。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを位置合わせし、サーバーに取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

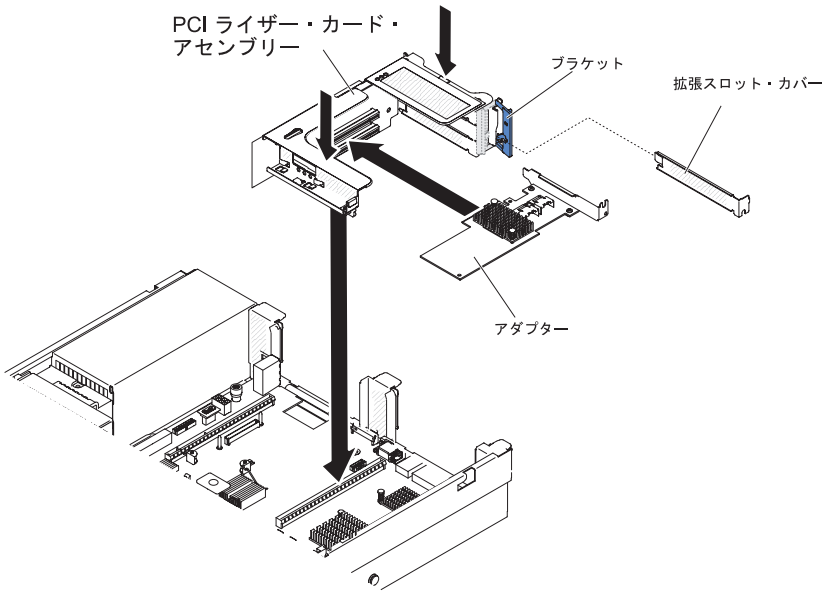


図 73. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

12. ケーブルを、ケーブル保持機構の下を通して配線します。

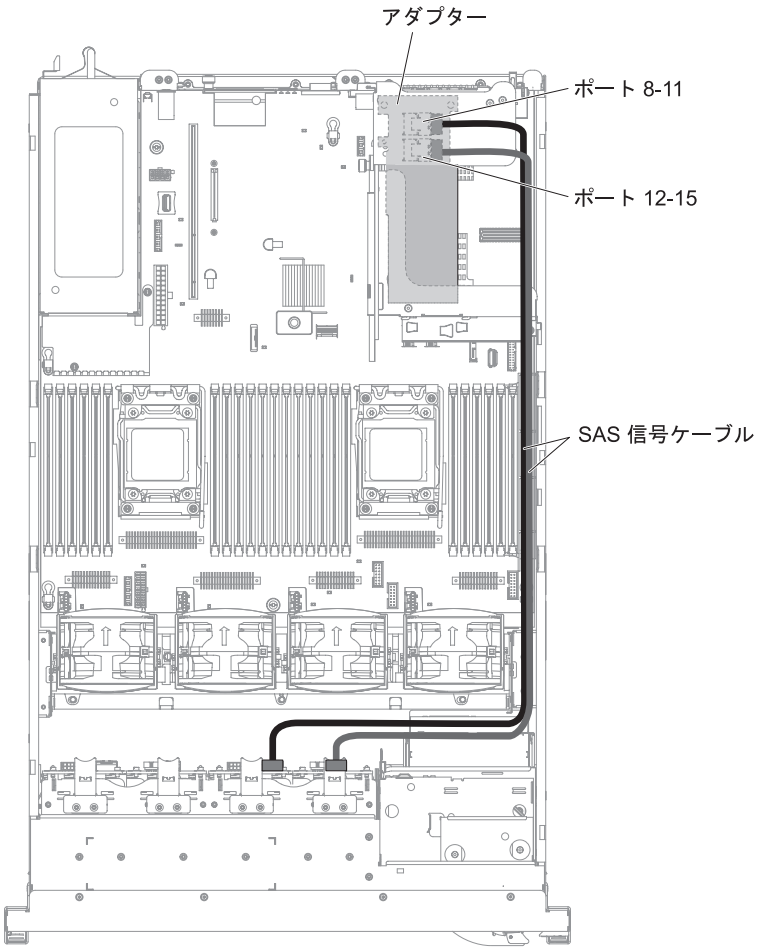


図 74. Mini-SAS 信号ケーブルのルーティング

13. 構成ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

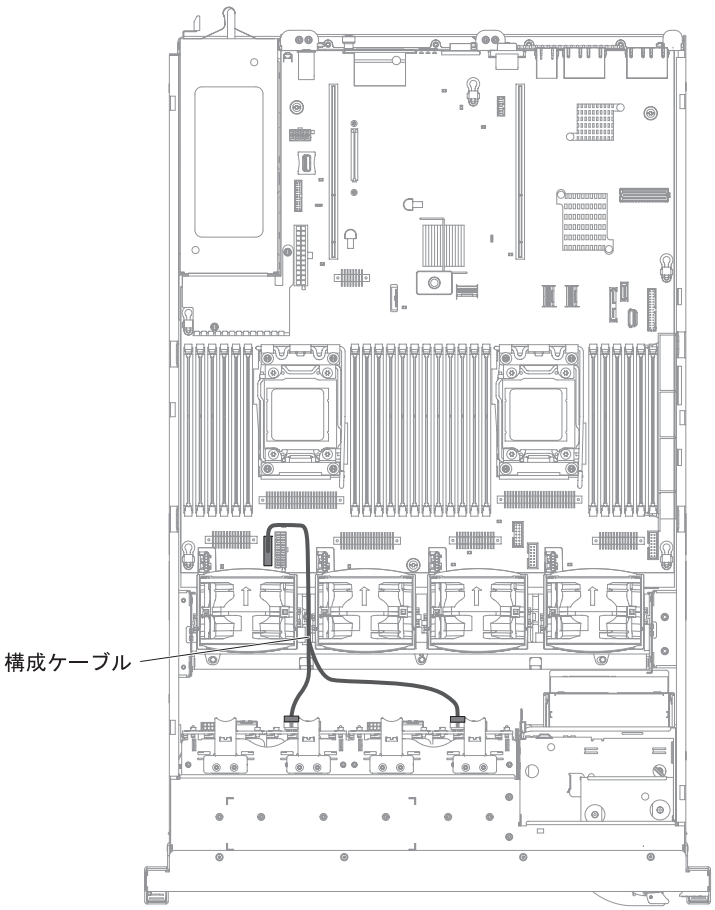


図 75. 構成ケーブルのルーティング

14. SAS 電源ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

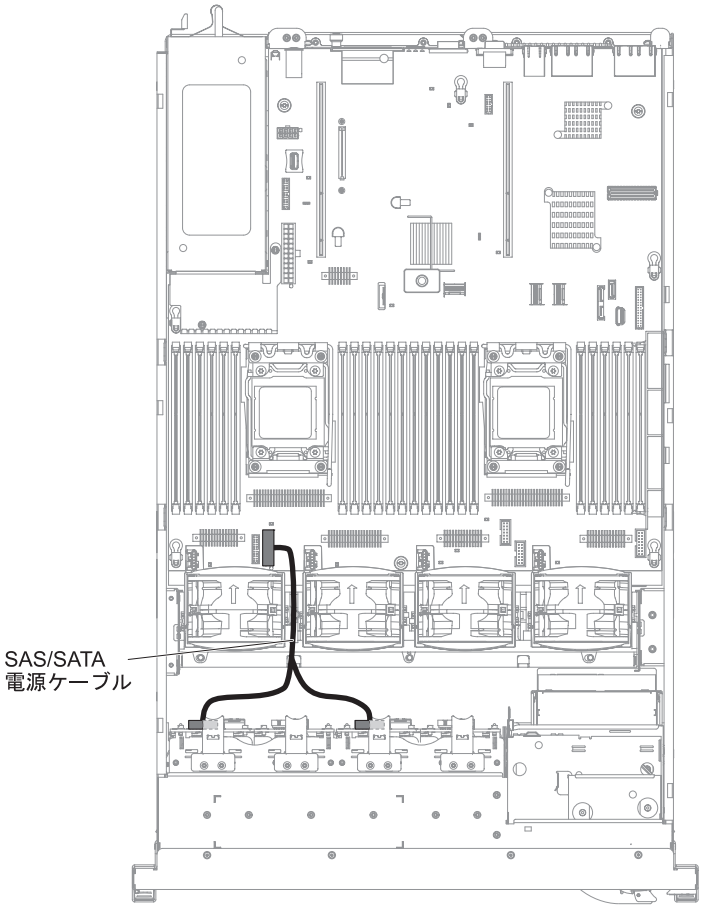


図 76. SAS 電源ケーブルのルーティング

15. ファンを取り外した場合、ファンを取り付けます。
16. ハード・ディスクおよびフィラーを最後までベイに挿入します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け

以下の情報を使用して、ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けます。

このタスクについて

IBM System x3650 M4 ホット・スワップ ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けることができます。サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。ServeRAID アダプター・オプション付き追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを発注する場合は、お客様の IBM 営業担当員または特約店にお問い合わせください。

ServeRAID アダプター・オプション付き追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

- 8 個の空の EMC フィラー
- SAS 信号ケーブル (2)
- 構成ケーブル (1)
- 内部電源ケーブル (1)
- 1 つの 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン
- RAID アダプター (部品番号 00D7082 または 46M0912) (1)

  注: RAID アダプターは、別のオプション・キットに付属しています。帯電気防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。

ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、以下のステップを実行します。

注: RAID アダプターは、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 のみに取り付けることができます。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

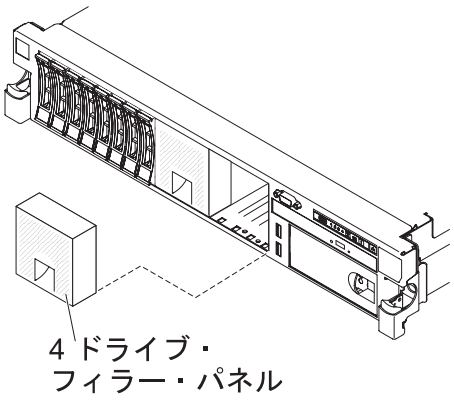


図 77. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. 新しいバックプレーンをスロット 2 に取り付けます。

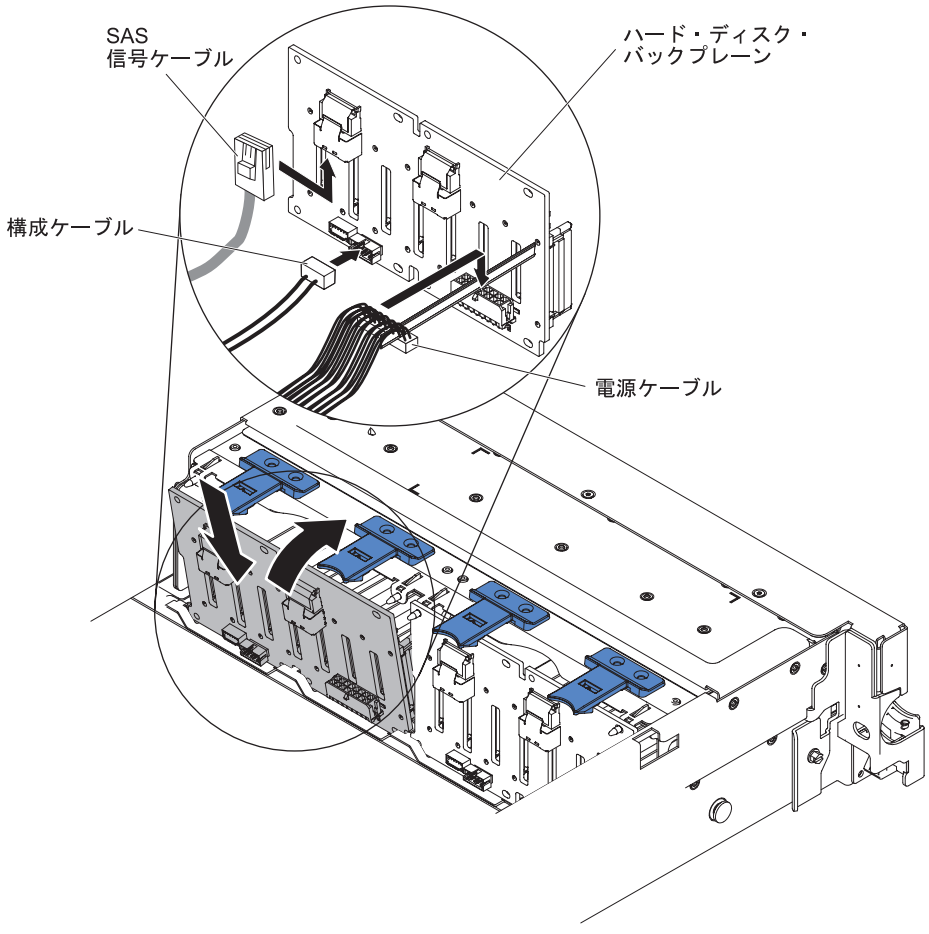


図 78. 新しいバックプレーンの取り付け

a. 以下のケーブルを、リストされた順序で接続します。
   - 構成ケーブル 1
   - SAS 信号ケーブル 2

- 電源ケーブル 3

b. 新しいバックプレーンの角度をつけて、光学式ドライブの横にあるシャーシのバックプレーン 2 用スロットに下端の位置を合わせます。

c. ブラケットがシャーシ上のラッチおよびタブの下に移動するようにバックプレーンを垂直に回転させ、バックプレーン・ブラケットのスロットに固定してください。

7. RAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、RAID アダプターをパッケージから取り出します。
8. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
9. PCI ライザー・カードのコネクターに、RAID アダプターを取り付けます (67 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。

   注: RAID アダプター (部品番号 00D7082) を PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付ける際は、スロット 1 またはスロット 2 のみに取り付けることができます。
   重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
10. 次のようにして、SAS 信号ケーブルを RAID アダプター上のコネクターに接続します。

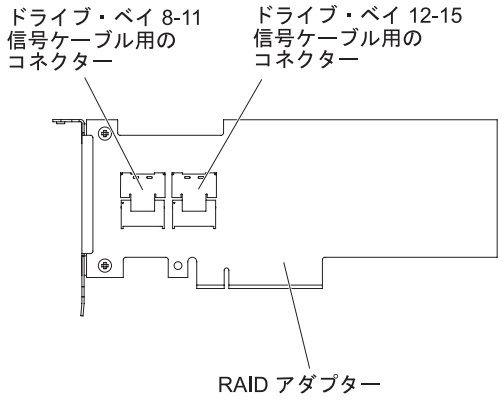


図 79. RAID アダプター (部品番号 46M0912)

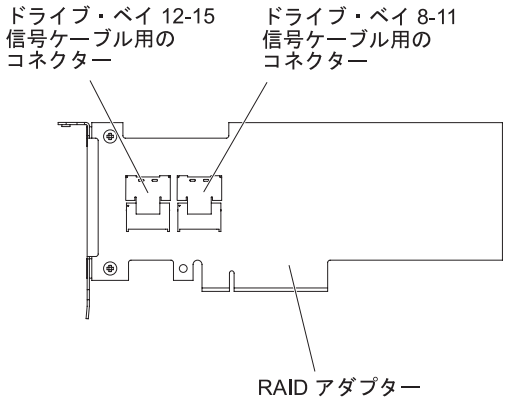


図 80. RAID アダプター (部品番号 00D7082)

a. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 8 から 11 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。

b. もう 1 本の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 12 から 15 用のもう 1 つの SAS コネクターに接続します。

11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを位置合わせし、サーバーに取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

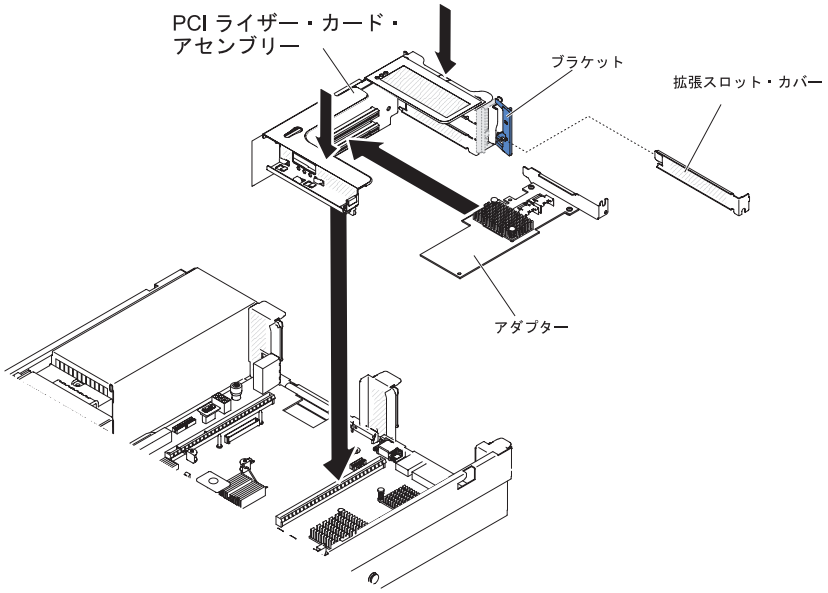


図 81. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

12. ケーブルを、ケーブル保持機構の下を通して配線します (RAID アダプター (部品番号 46M0912) を例に示します)。

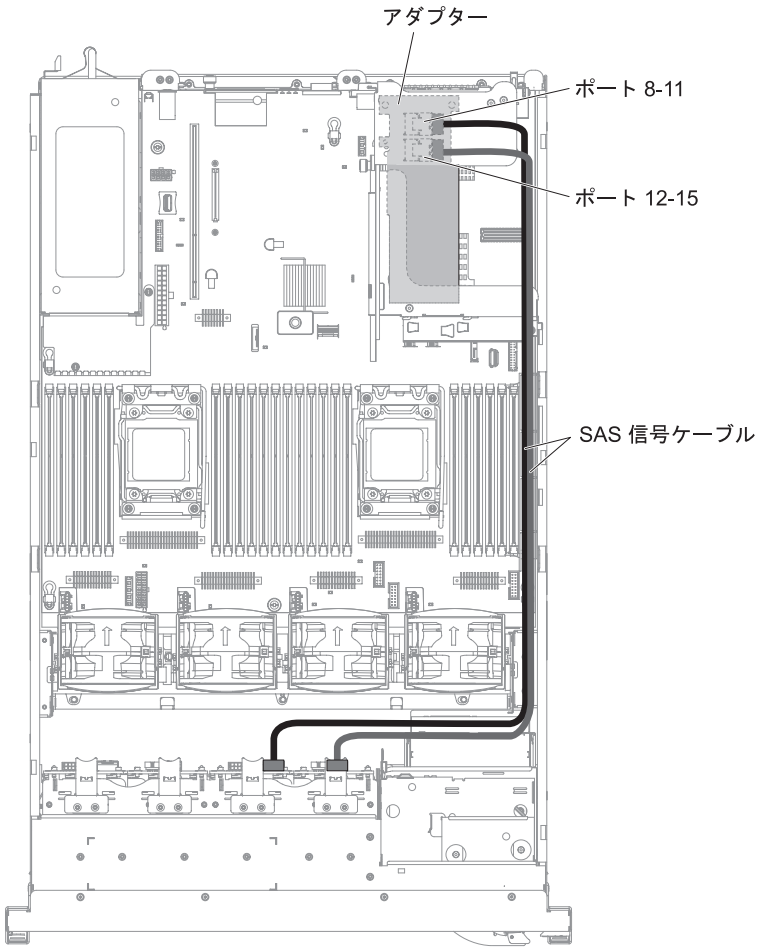


図 82. SAS 信号ケーブルのルーティング

13. 構成ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

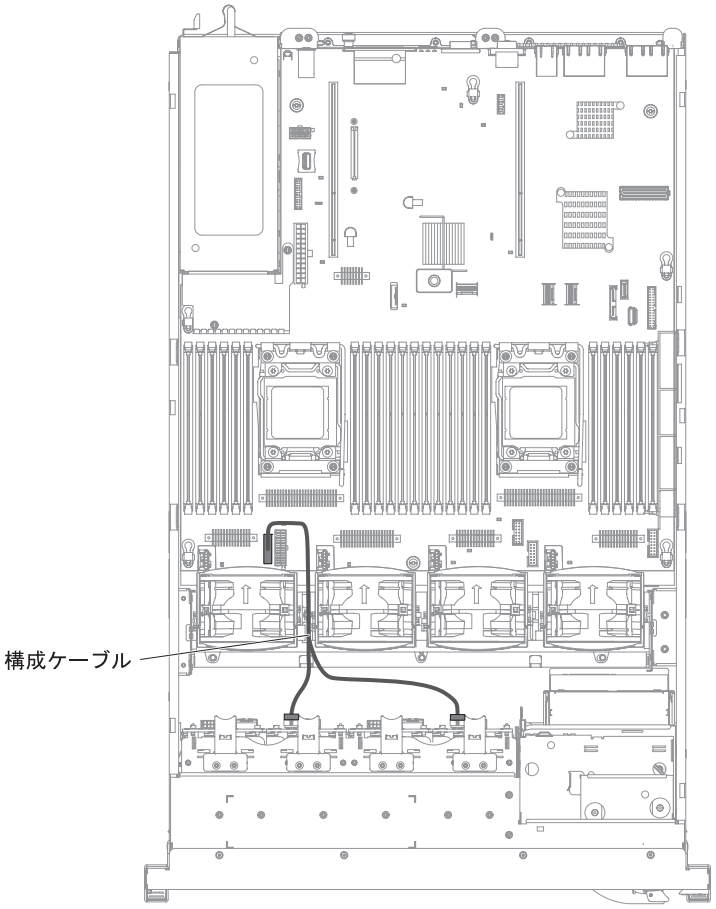


図 83. 構成ケーブルのルーティング

14. SAS 電源ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

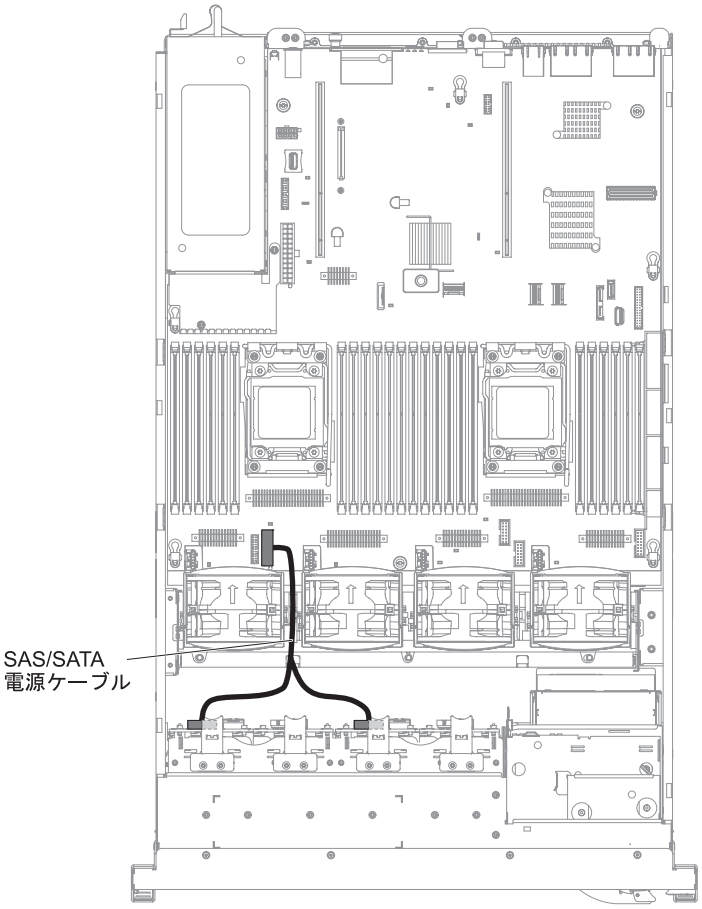


図 84. SAS 電源ケーブルのルーティング

15. ファンを取り外した場合、ファンを取り付けます。
16. ハード・ディスクおよびフィラーを最後までベイに挿入します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットの取り付け

以下の情報を使用して、12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを取り付けます。

このタスクについて

12Gb/6Gb RAID 用 IBM System x3650 M4 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを取り付けることができます。サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

- ホット・スワップ HDD バックプレーン (1)
- 電源ケーブル (1)
- 構成ケーブル (1)
- mini-SAS ケーブル (2)
- 2.5 型 HDD フィラー (8)

12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キットを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

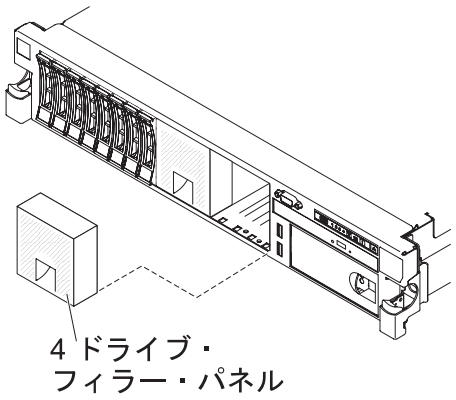


図 85. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. 新しいバックプレーンをスロット 2 に取り付けます。

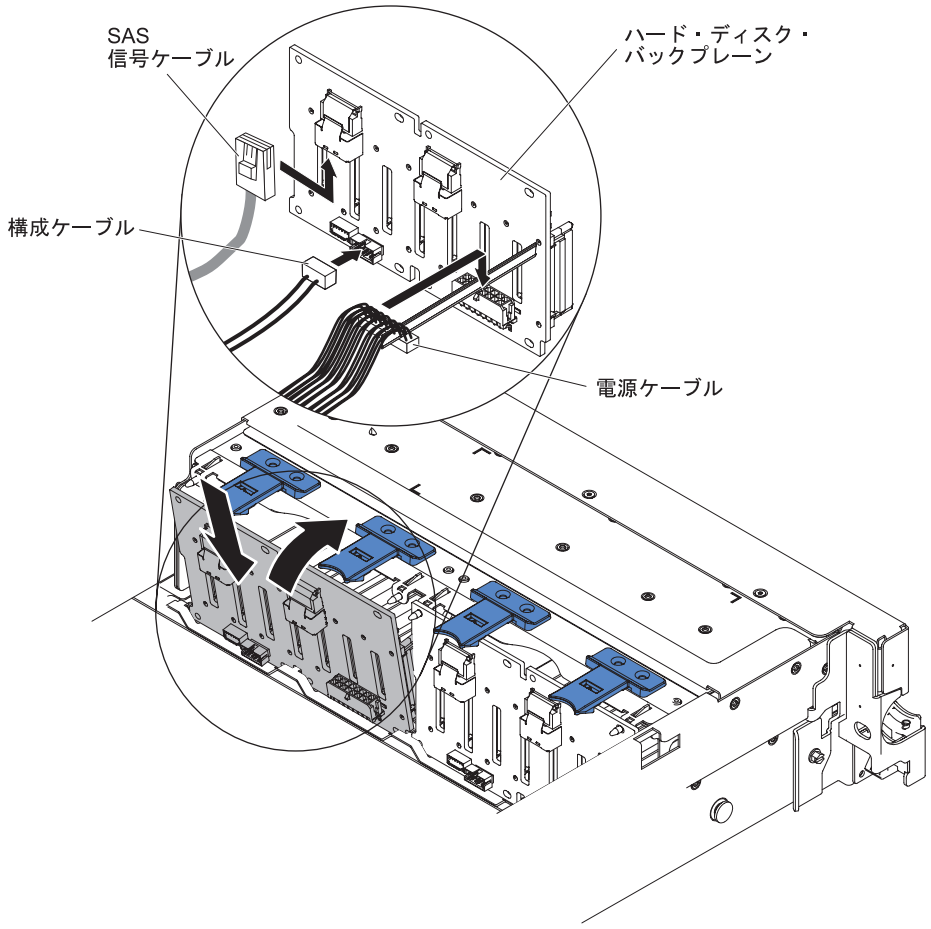


図 86. 新しいバックプレーンの取り付け

a. 以下のケーブルを、リストされた順序で接続します。
   - 構成ケーブル 1
   - Mini-SAS 信号ケーブル 2

- 電源ケーブル 3

b. 新しいバックプレーンの角度をつけて、光学式ドライブの横にあるシャーシのバックプレーン 2 用スロットに下端の位置を合わせます。

c. ブラケットがシャーシ上のラッチおよびタブの下に移動するようにバックプレーンを垂直に回転させ、バックプレーン・ブラケットのスロットに固定してください。

7. RAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、RAID アダプターをパッケージから取り出します。
8. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
9. PCI ライザー・カードのコネクターに、RAID アダプターを取り付けます (67 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。

   重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
10. mini-SAS 信号ケーブルを RAID アダプター上のコネクターに接続します。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを位置合わせし、サーバーに取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

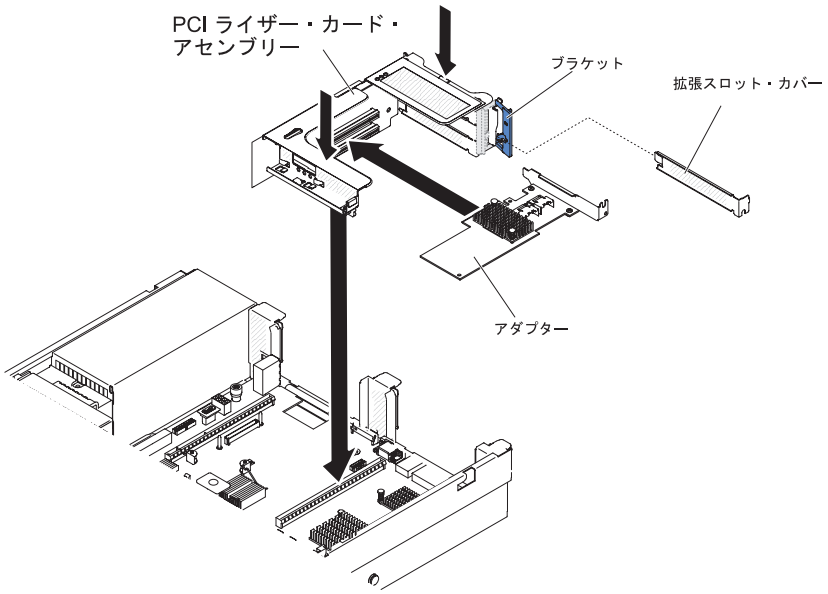


図 87. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

12. ケーブルを、ケーブル保持機構の下を通して配線します。

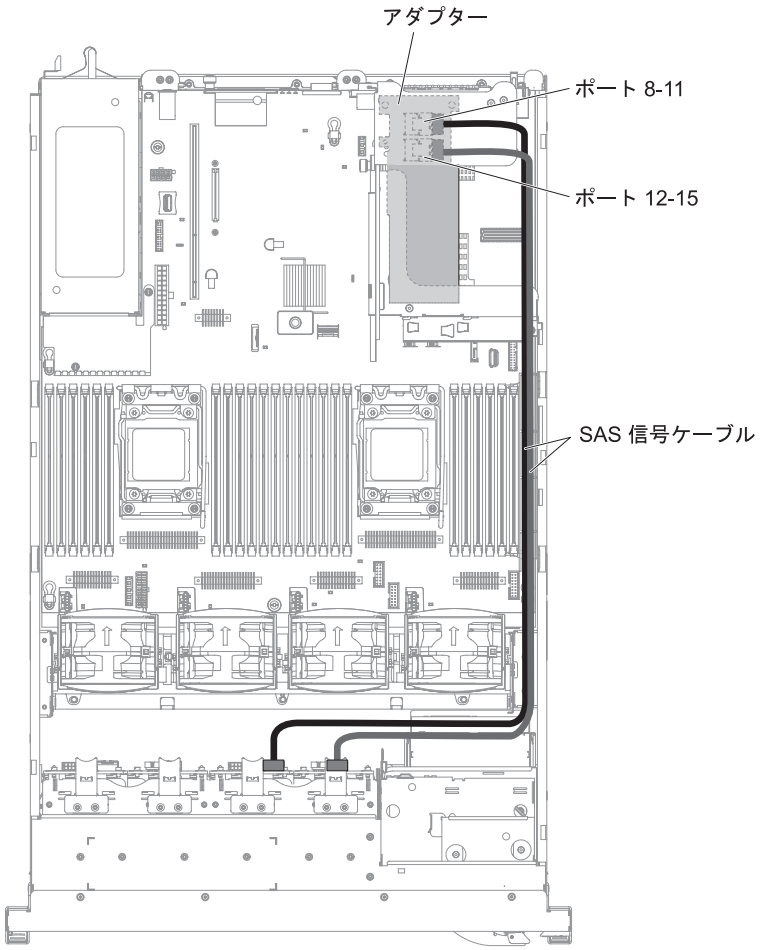


図 88. Mini-SAS 信号ケーブルのルーティング

13. 構成ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

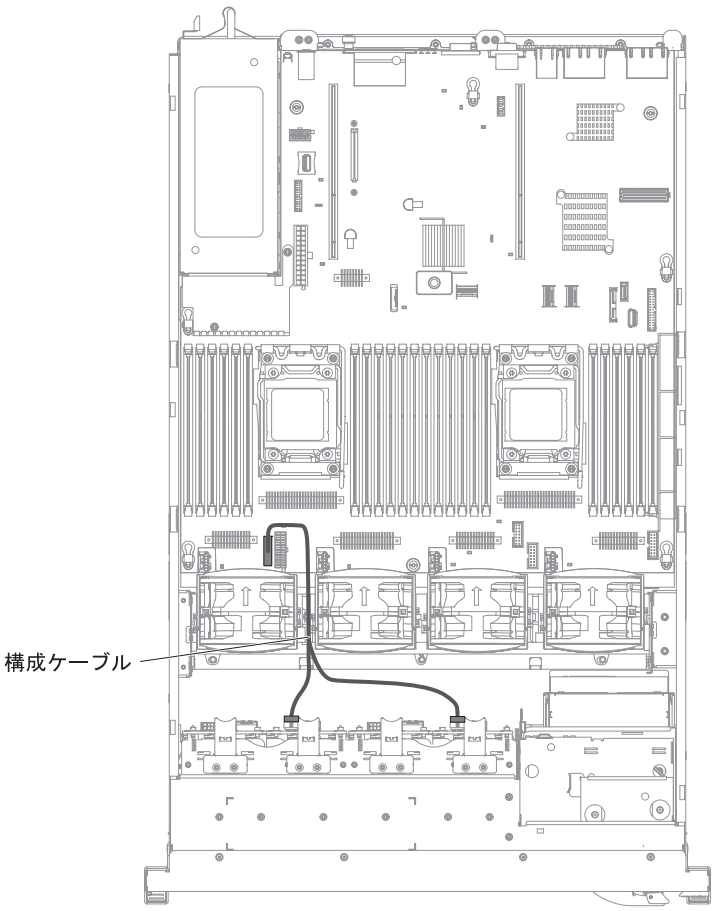


図 89. 構成ケーブルのルーティング

14. SAS 電源ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

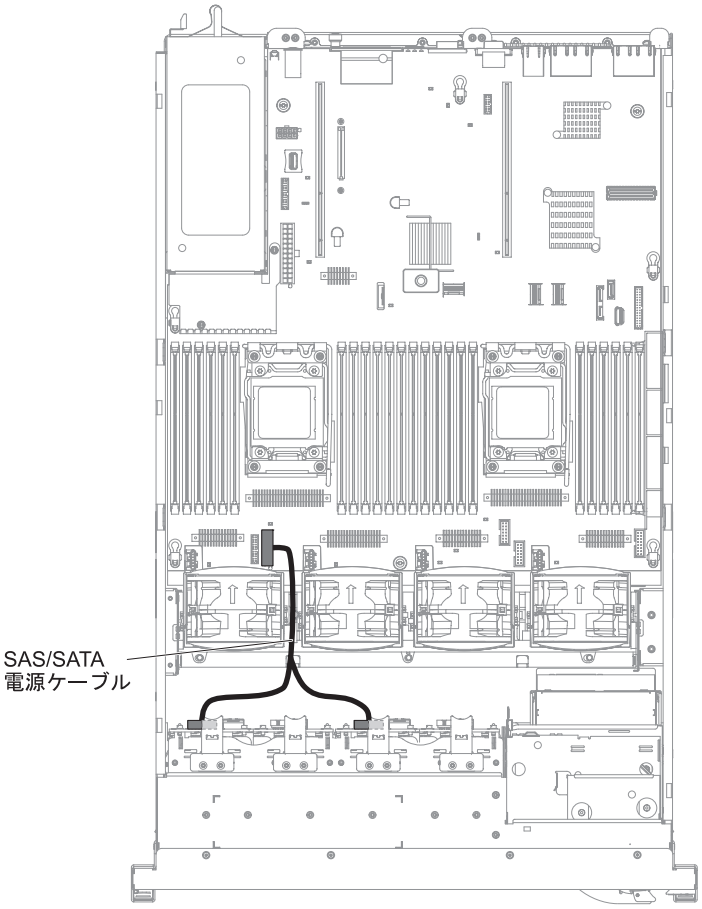


図 90. SAS 電源ケーブルのルーティング

15. ファンを取り外した場合、ファンを取り付けます。
16. ハード・ディスクおよびフィラーを最後までベイに挿入します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け

以下の情報を使用して、6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けます。

このタスクについて

IBM System x3650 M4 ホット・スワップ 6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けることができます。サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを注文する場合は、お客様の IBM 営業担当員または特約店にお問い合わせください。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

注: このキットを取り付けるには、事前に SAS ケーブル・オプション (部品番号 00D9532) を購入する必要があります。

- 8 個の空の EMC フィラー
- SAS 信号ケーブル (SAS ケーブル・オプションのケーブルも含む)
- 構成ケーブル (1)
- 内部電源ケーブル (1)
- 1 つの 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン
- RAID アダプター (部品番号 46M0912) (2)

  注: RAID アダプターは、別のオプション・キットに付属しています。帯電気防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

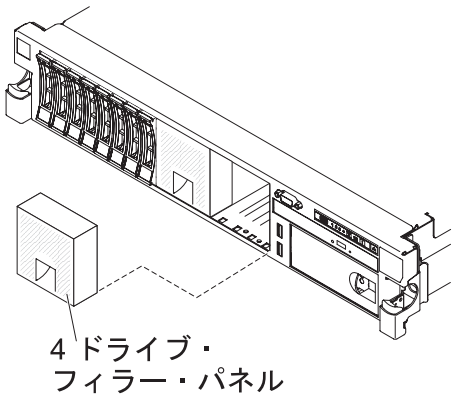


図 91. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. バックプレーンとシステム・ボードを接続している 2 本の SAS ケーブルを取り外します。

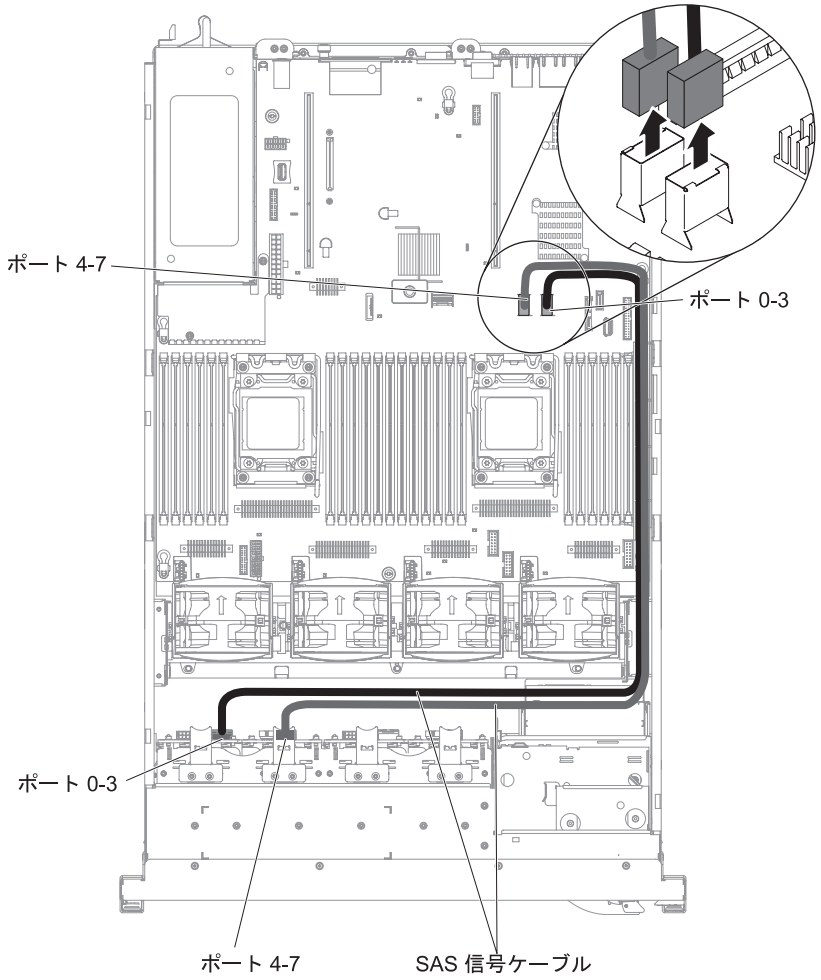


図 92. SAS ケーブルの取り外し

7. 2 本の SAS ケーブル (925 mm) を SAS ケーブル・オプションから取り外し、それをバックプレーンに接続します。

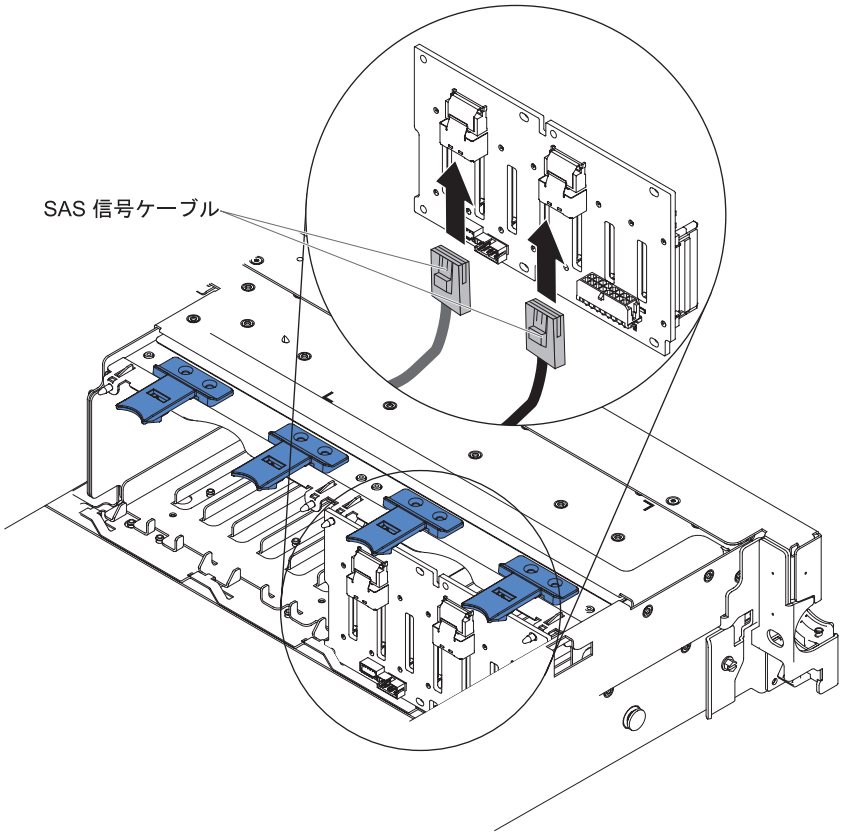


図 93. SAS ケーブル接続

8. RAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、RAID アダプターをパッケージから取り出します。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
10. PCI ライザー・カードのコネクターに、RAID アダプターを取り付けます (67 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。

    重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
11. 次のようにして、SAS 信号ケーブルを RAID アダプター上のコネクターに接続します。
    a. SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 0 から 3 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。
    b. もう 1 本の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 4 から 7 用のもう 1 つの SAS コネクターに接続します。

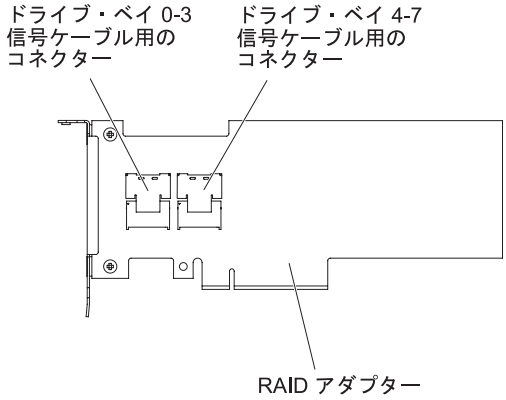


図 94. RAID アダプター・コネクター

12. PCI ライザー・カード・アセンブリーを位置合わせし、サーバーに取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

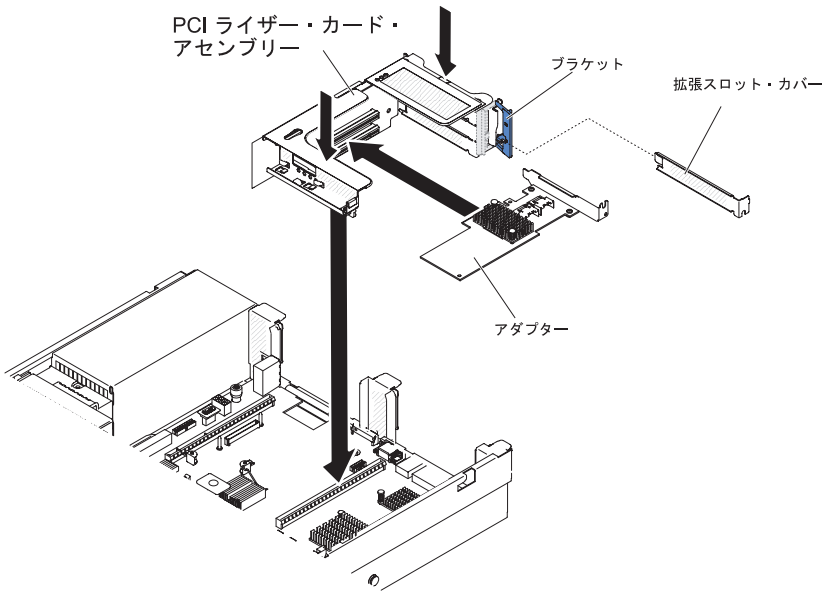


図 95. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

13. ケーブルを、ケーブル保持機構の下を通して配線します。

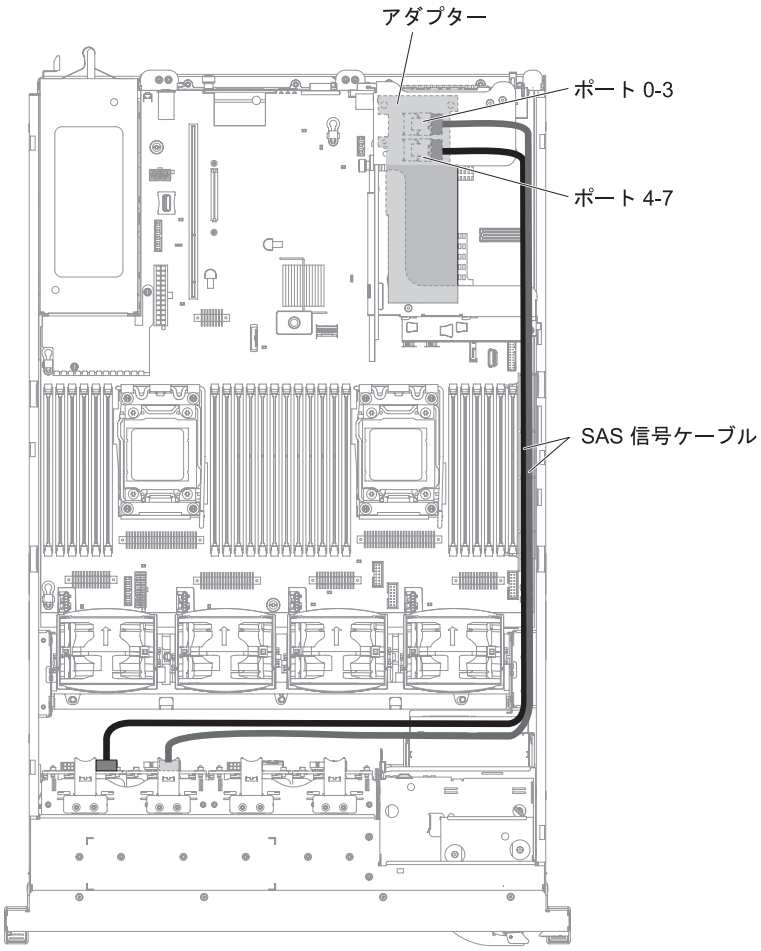


図 96. SAS 信号ケーブルのルーティング

14. 2 つ目のバックプレーンの取り付け、ケーブル配線の調整、ファンの取り付け、およびハード・ディスクの取り付けについては、 104 ページの『ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットの取り付け』 セクションのステップ 6 を参照してください。以下の図は、RAID アダプターとバックプレーンの 2 つ目のセットにおけるケーブル配線を示しています。

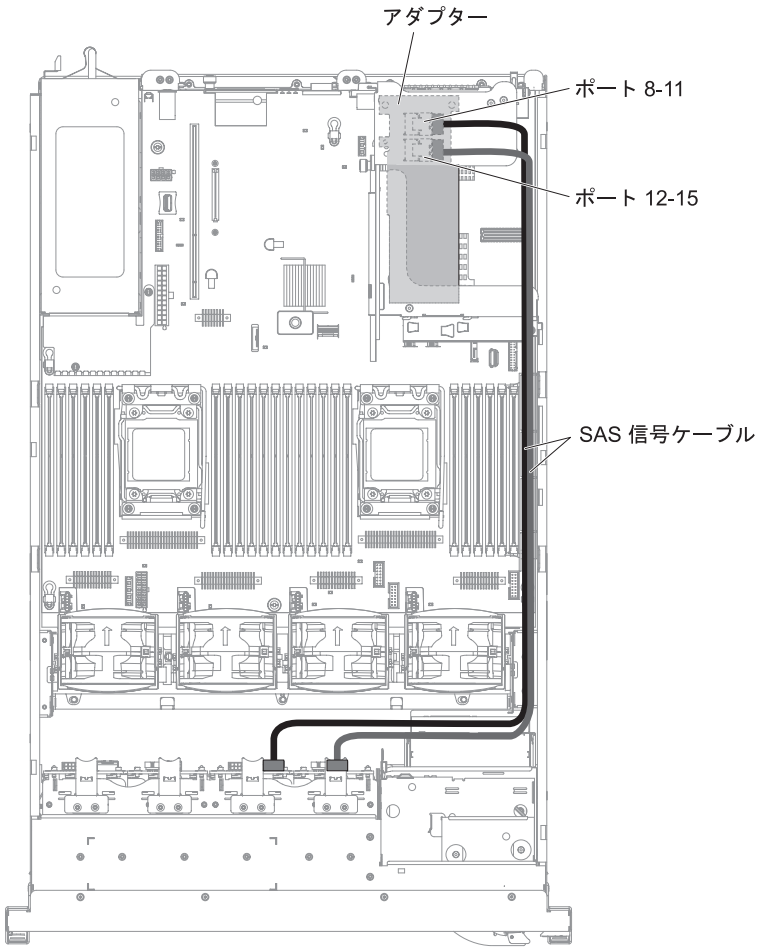


図 97. RAID アダプターとバックプレーンの 2 つ目のセットにおけるケーブル配線

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD の取り付け

以下の情報を使用して、6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD を取り付けます。

このタスクについて

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD を注文する場合は、お客様の IBM 営業担当員または特約店にお問い合わせください。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション・キット付きの 2 x 8 1.8 型 SSD には、以下のコンポーネントが含まれています。

- SAS 信号ケーブル (4)

- 構成ケーブル (2)
- 内部電源ケーブル (1)
- eXFlash 1.8 型ドライブ・ケージおよびバックプレーンのアセンブリー (2)
- RAID アダプター (部品番号 46M0912) (2)

注: RAID アダプターは、別のオプション・キットに付属しています。帯電気防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD をサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

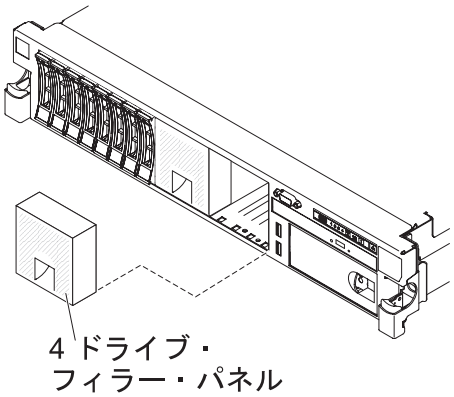


図 98. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. 新しいバックプレーン・アセンブリーを取り付けます。

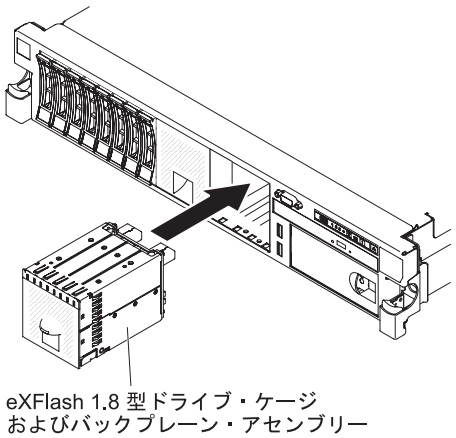


図 99. 新しいバックプレーン・アセンブリーの取り付け

7. 以下のケーブルを、リストされた順序で接続します。
   - 構成ケーブル 1
   - SAS 信号ケーブル 2
   - 電源ケーブル 3

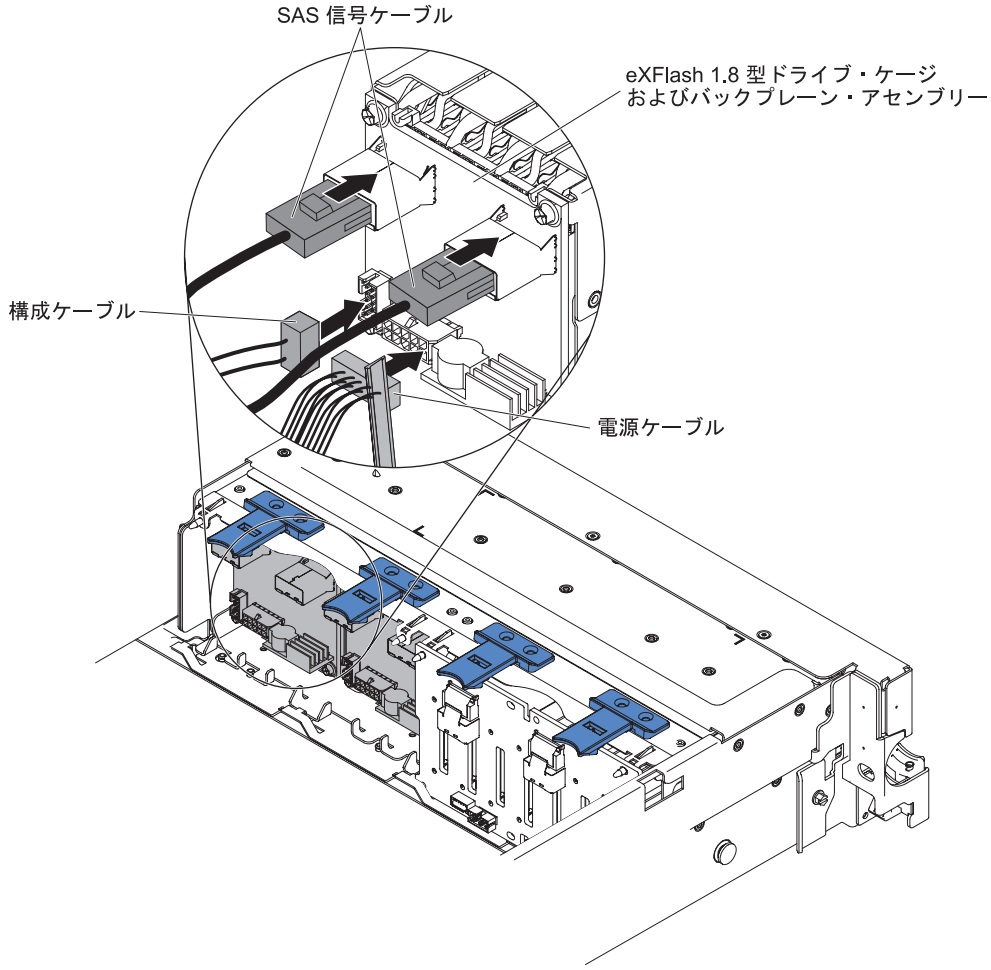


図 100. ケーブル接続

8. RAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、RAID アダプターをパッケージから取り出します。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
10. 両方の RAID アダプターを、PCI ライザー・カードのコネクターに取り付けます (67 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。

    重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
11. 次のようにして、SAS 信号ケーブルを RAID アダプター上のコネクターに接続します。
    a. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 8 から 11 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。
    b. もう 1 本の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 12 から 15 用のもう 1 つの SAS コネクターに接続します。

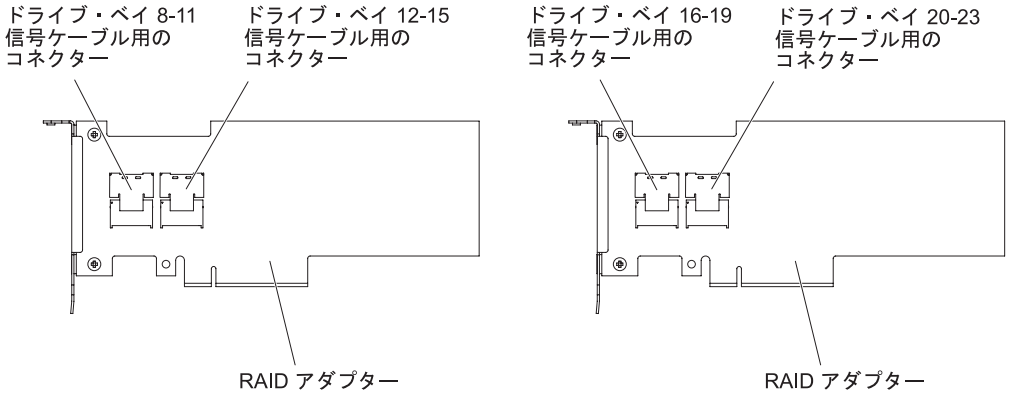


図 101. RAID アダプター・コネクター

c. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 16 から 19 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。

d. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 20 から 23 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。

12. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を位置合わせし、サーバーに取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

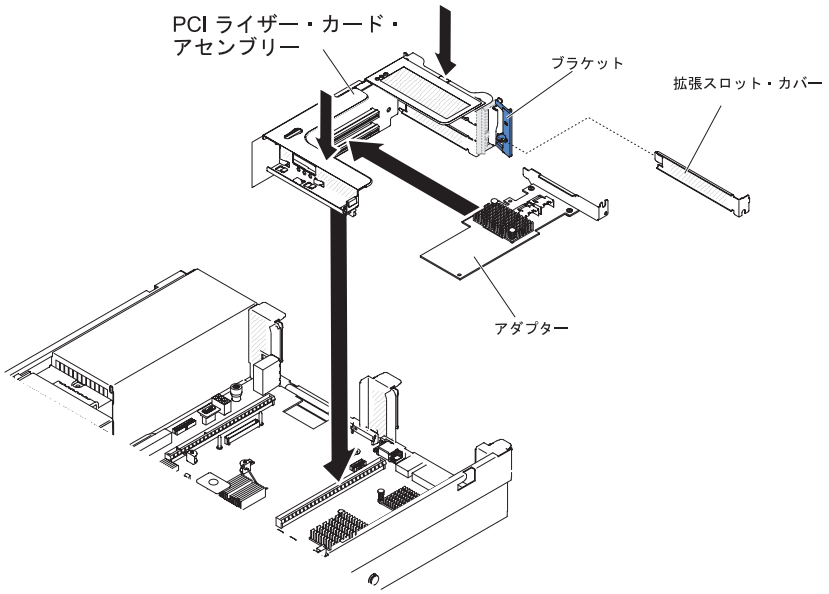


図 102. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

13. ケーブルを、ケーブル保持機構の下を通して配線します。

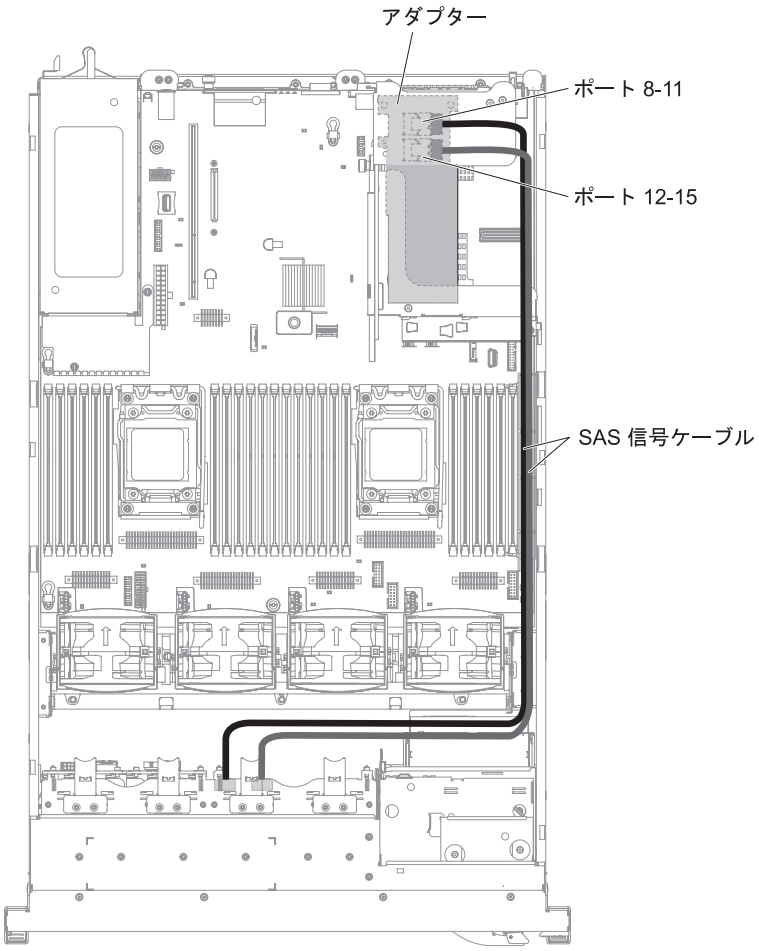


図 103. SAS 信号ケーブルのルーティング

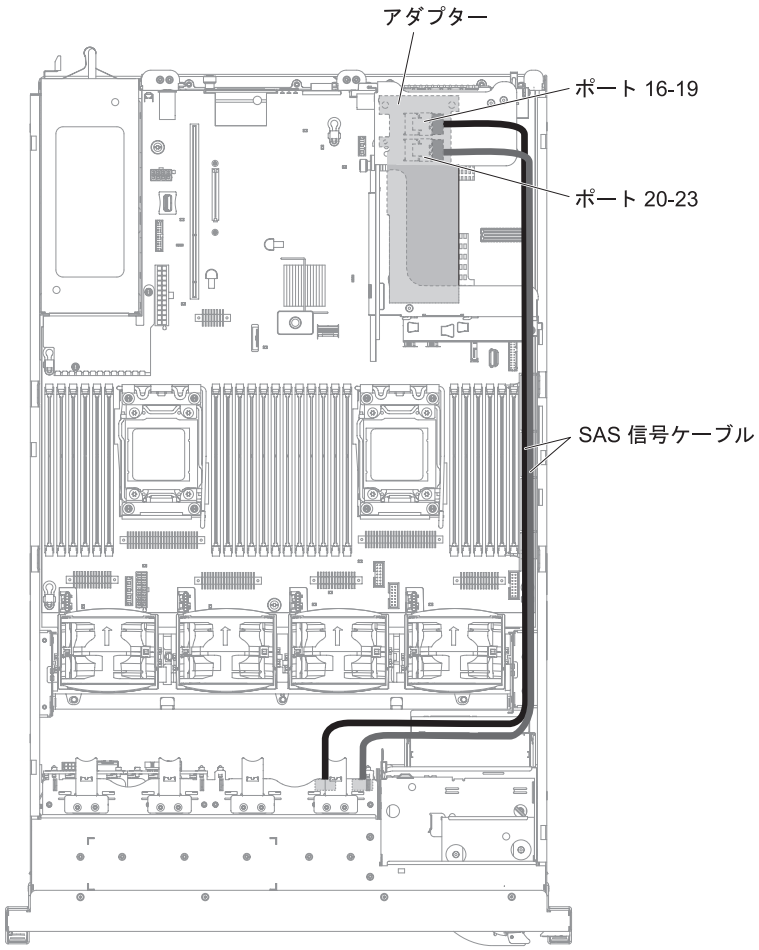


図 104. SAS 信号ケーブルのルーティング

14. 構成ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

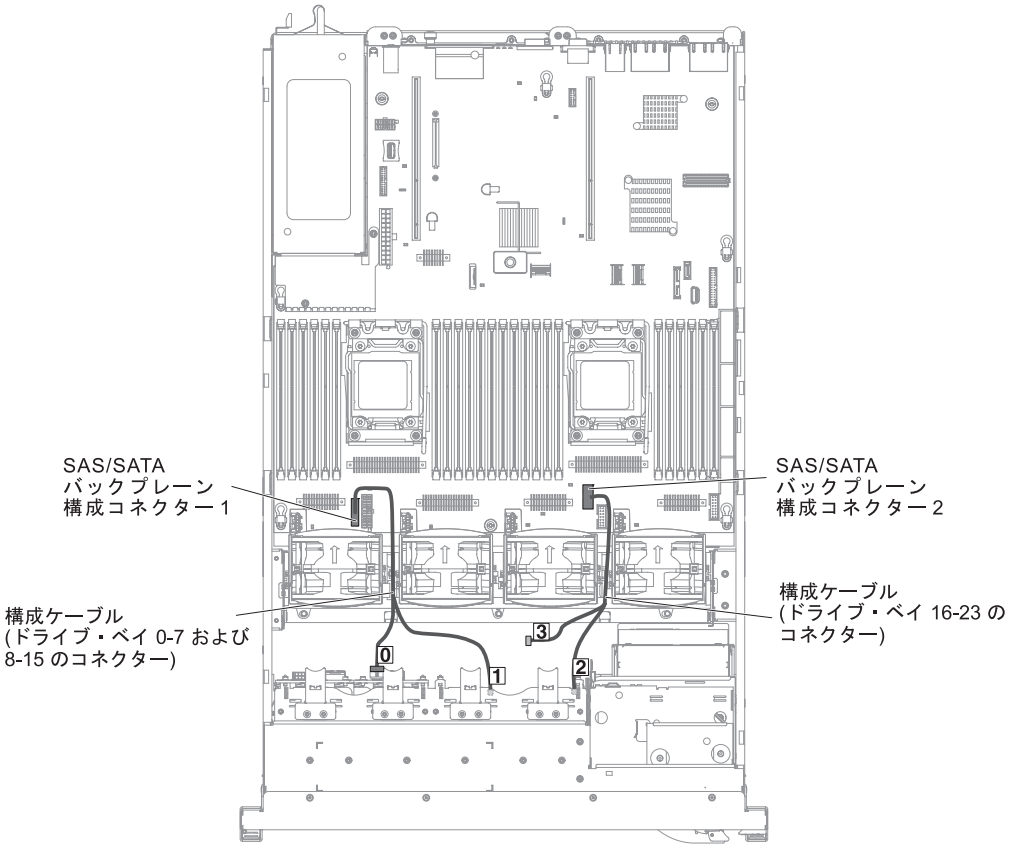


図 105. 構成ケーブルのルーティング

注: ラベル 3 のケーブル・セグメントは、接続しないでおきます。

15. SAS 電源ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

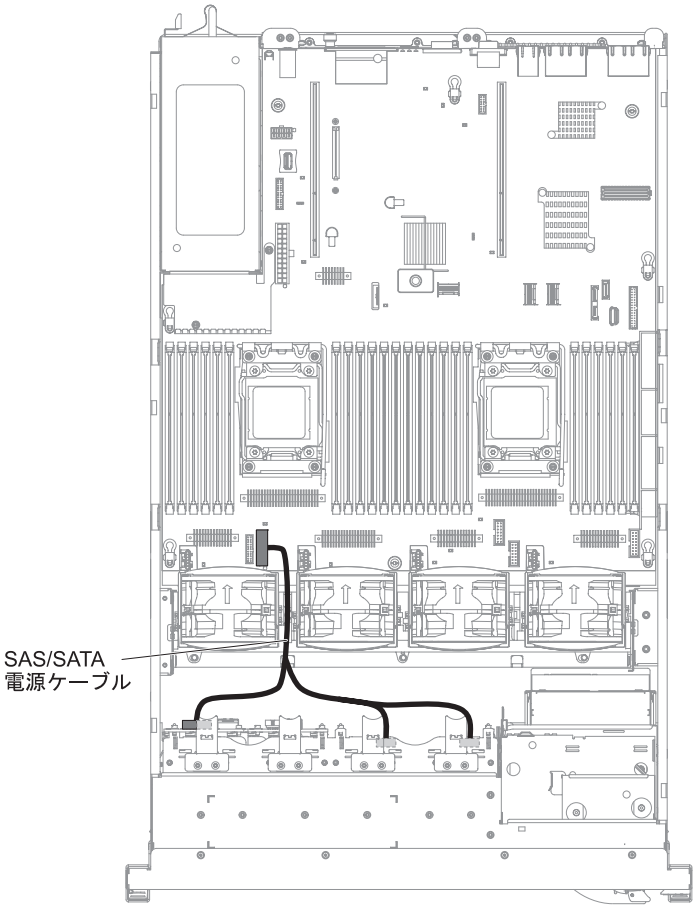


図 106. SAS/SATA 電源ケーブルのルーティング

16. ファンを取り外した場合、ファンを取り付けます。
17. ハード・ディスクおよびフィラーを最後までベイに挿入します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD の取り付け

以下の情報を使用して、6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD を取り付けます。

このタスクについて

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD を注文する場合は、お客様の IBM 営業担当員または特約店にお問い合わせください。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション・キット付きの 4 x 8 1.8 型 SSD には、以下のコンポーネントが含まれています。

- SAS 信号ケーブル (4)
- 構成ケーブル (1)
- eXFlash 1.8 型ドライブ・ケージおよびバックプレーンのアセンブリー (2)
- RAID アダプター (部品番号 46M0912) (2)

  注: RAID アダプターは、別のオプション・キットに付属しています。帯電気防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。

6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD をサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 2 つの 4 ドライブ・フィラー・パネルを取り外します (このフィラー・パネルは、フロント・ベゼルのドライブ・ベイ 7 の右側、ID 8 から 15 の位置にあります)。

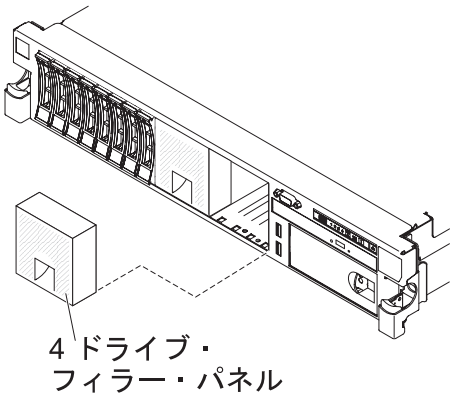


図 107. フィラー・パネル

5. 作業スペースを広げるために、ファン 2 および 3 を取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. 新しいバックプレーン・アセンブリーを取り付けます。

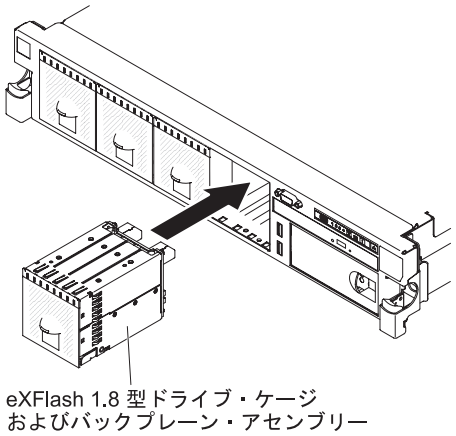


図 108. 新しいバックプレーン・アセンブリーの取り付け

7. 以下のケーブルを、リストされた順序で接続します。
   - 構成ケーブル 1
   - SAS 信号ケーブル 2
   - 電源ケーブル 3

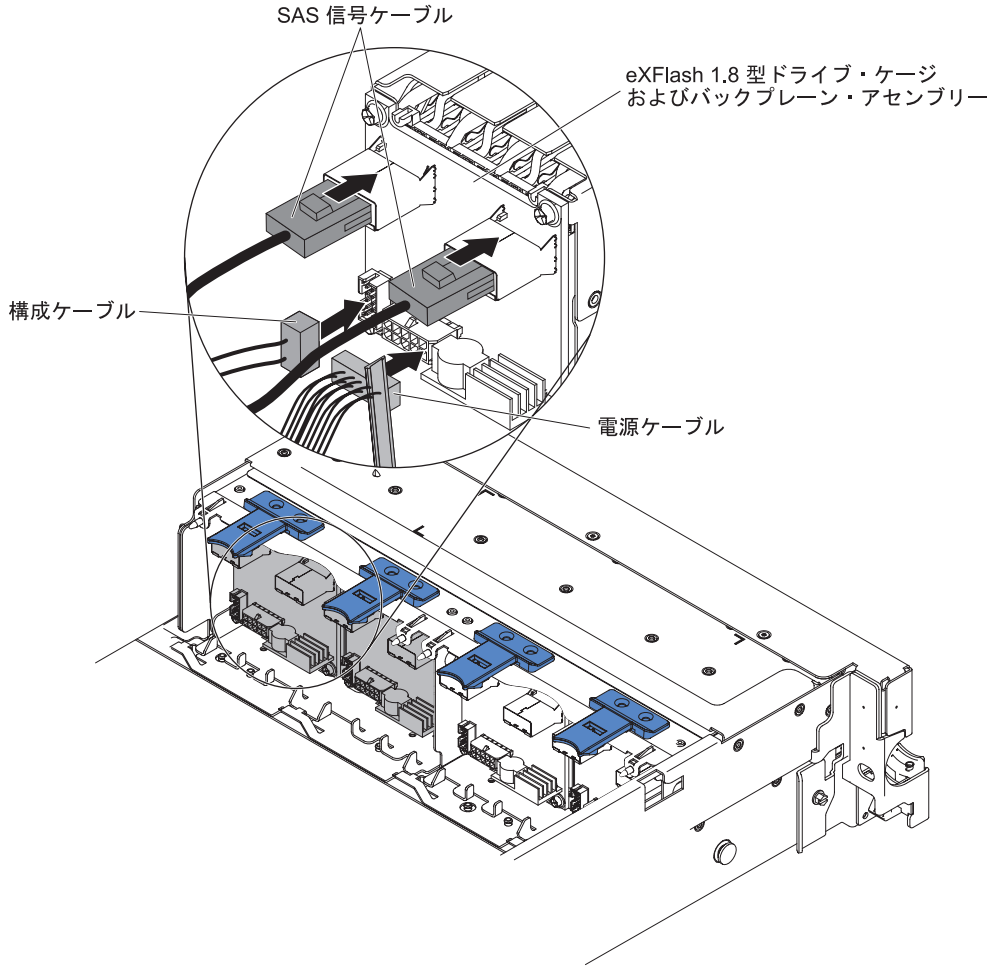


図 109. ケーブル接続

8. RAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、RAID アダプターをパッケージから取り出します。
9. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
10. 両方の RAID アダプターを、PCI ライザー・カードのコネクターに取り付けます (67 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。

    重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
11. 次のようにして、SAS 信号ケーブルを RAID アダプター上のコネクターに接続します。
    a. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 16 から 19 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。
    b. もう 1 本の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 20 から 23 用のもう 1 つの SAS コネクターに接続します。

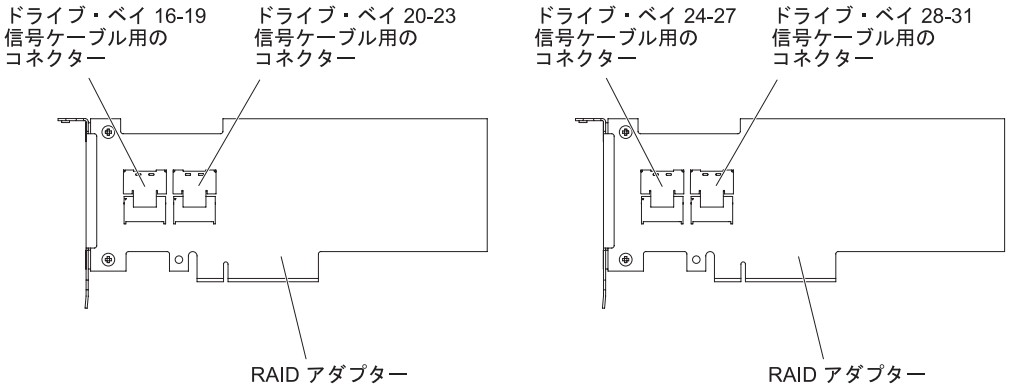


図 110. RAID アダプター・コネクター

c. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 24 から 27 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。

d. オプション・キットに付属の SAS 信号ケーブルを、ドライブ・ベイ 28 から 31 用の RAID アダプター・コネクターに接続します。

12. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を位置合わせし、サーバーに取り付けます (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

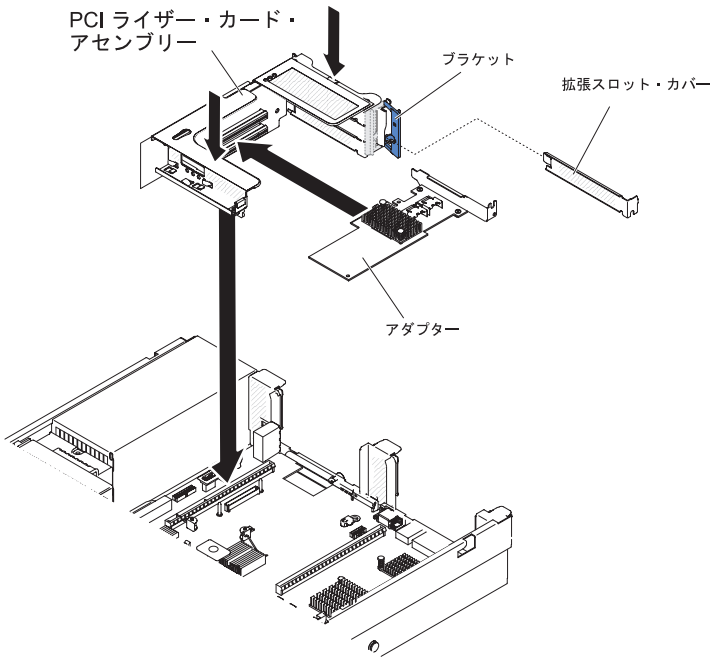


図 111. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

13. ケーブルを、ケーブル保持機構の下を通して配線します。

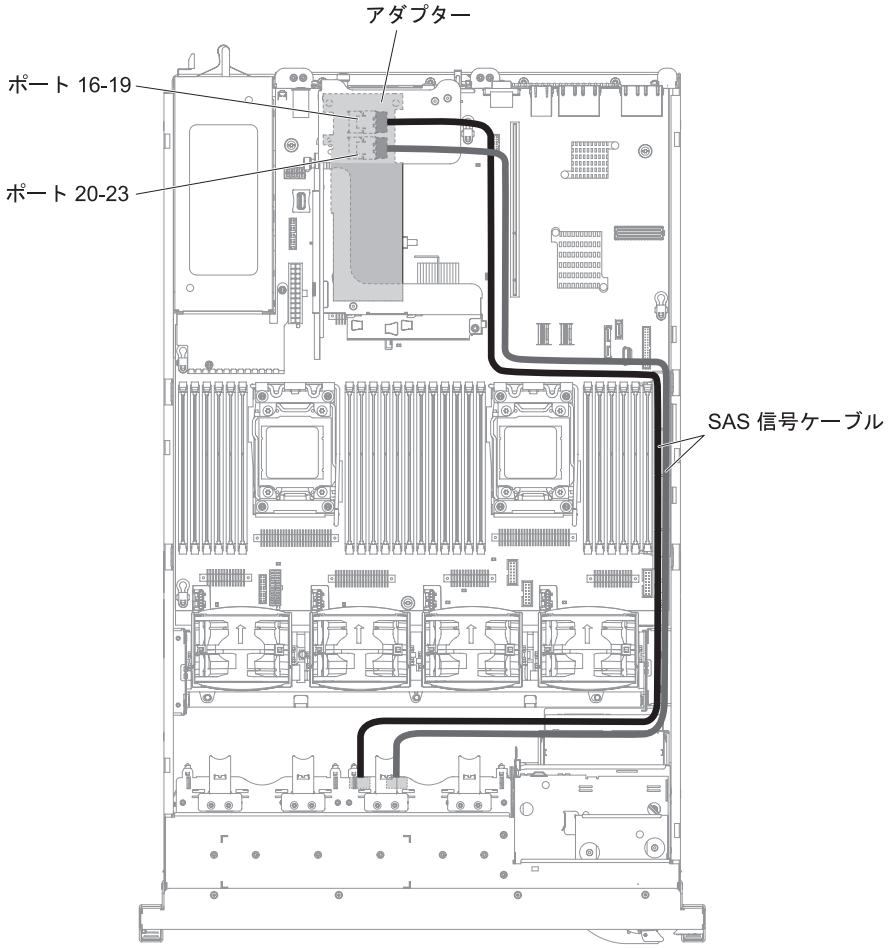


図 112. SAS 信号ケーブルのルーティング

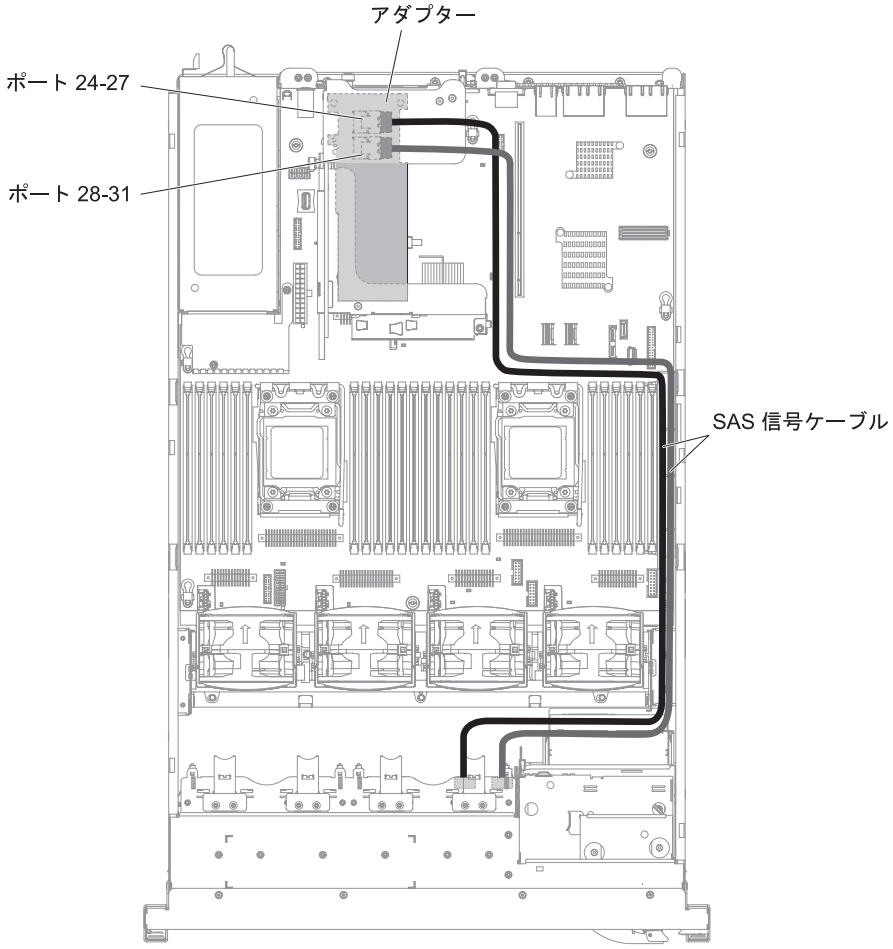


図 113. SAS 信号ケーブルのルーティング

14. 構成ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

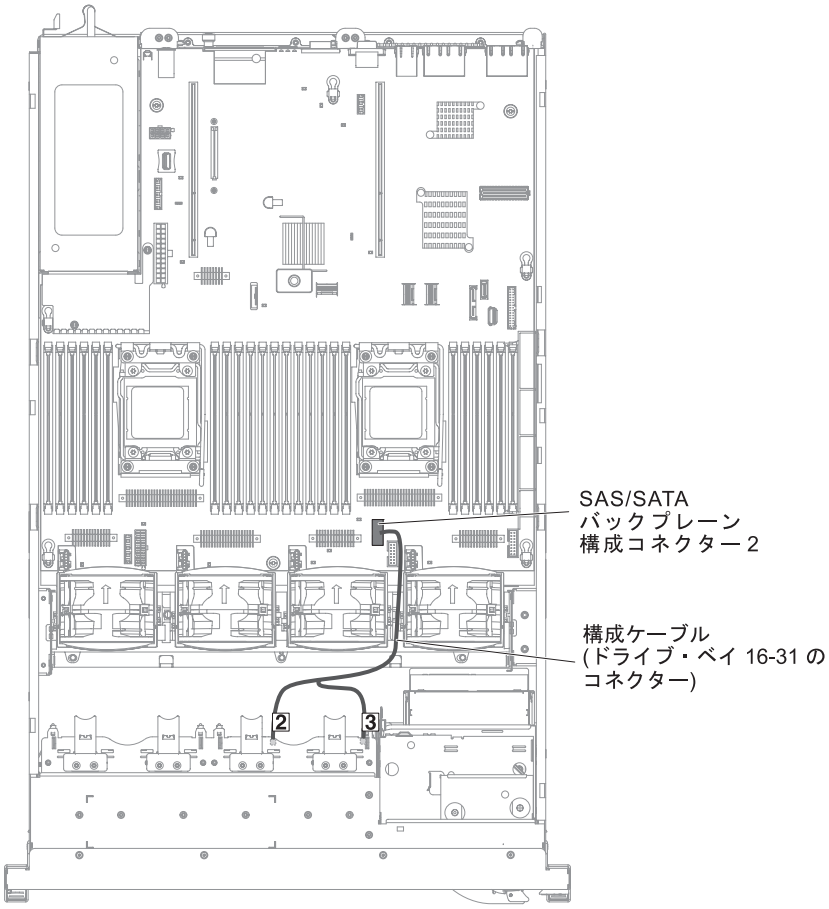


図 114. 構成ケーブルのルーティング

15. SAS 電源ケーブルがバックプレーンおよびシステム・ボードに接続されていることを確認します。

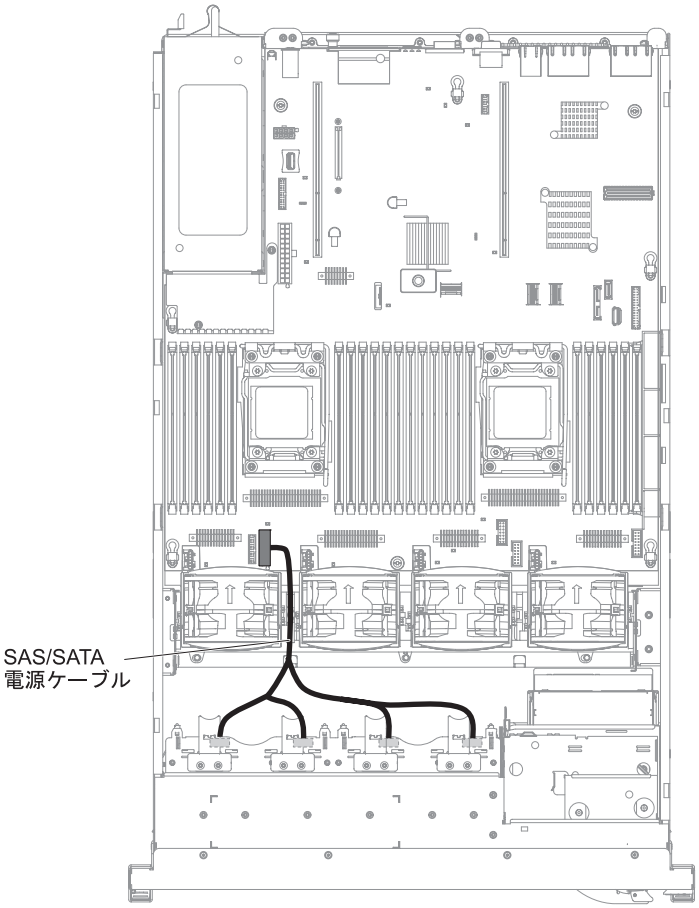


図 115. SAS/SATA 電源ケーブルのルーティング

16. ファンを取り外した場合、ファンを取り付けます。
17. ハード・ディスクおよびフィラーを最後までベイに挿入します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションのテープ・ドライブの取り付け

以下の情報を使用して、オプションのテープ・ドライブを取り付けます。

このタスクについて

IBM System x3650 M4 RDX-DDS 内部使用可能化キットは、IBM テープ・ドライブを IBM System x3650 M4 サーバー内に取り付ける際に使用します。 IBM System x3650 M4 RDX-DDS 内部使用可能化キットは、以下のテープ・ドライブとのみ互換性があります。

- IBM DDS 第 5 世代 (DDS/5) SATA テープ・ドライブ
- IBM DDS 第 6 世代 (DDS/6) USB テープ・ドライブ
- IBM RDX USB 取り外し可能ハード・ディスク

RDX-DDS 内部使用可能化キットには、以下のコンポーネントが含まれています。

- テープ使用可能化トレイ (1)
- SAS 信号ケーブル (USB テープ・ドライブ専用) (1)
- テープ・ドライブ電源ケーブル (1)
- M3 x 6 ねじ (4)

次の図は、オプションのテープ・ドライブを取り付ける方法を示しています。

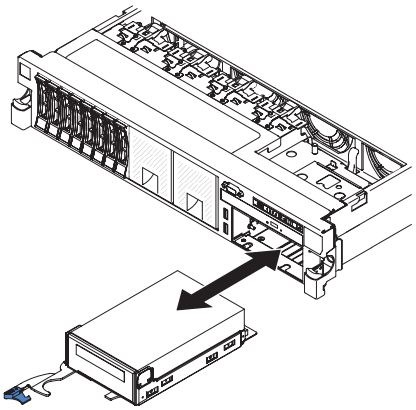


図 116. テープ・ドライブの取り付け

SATA または USB テープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 以下の図で示すように、テープ・ドライブをトレイに取り付けます。テープ・ドライブに金属のスペーサーが取り付けられていた場合、テープ・ドライブをトレイに取り付ける前に、そのスペーサーを取り外してください。

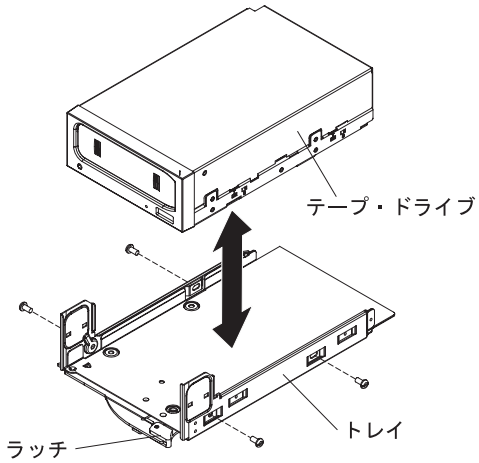


図 117. トレイへのテープ・ドライブの取り付け

4. ドライブに付属の説明に従ってドライブを準備して、スイッチまたはジャンパーを設定します。
5. 以下のテープ使用可能化キットのケーブルを、システム・ボードのコネクターに接続します。
   - SAS 信号ケーブルをシステム・ボード上の SAS コネクターに接続
   - テープ・ドライブ電源ケーブルをシステム・ボードに接続

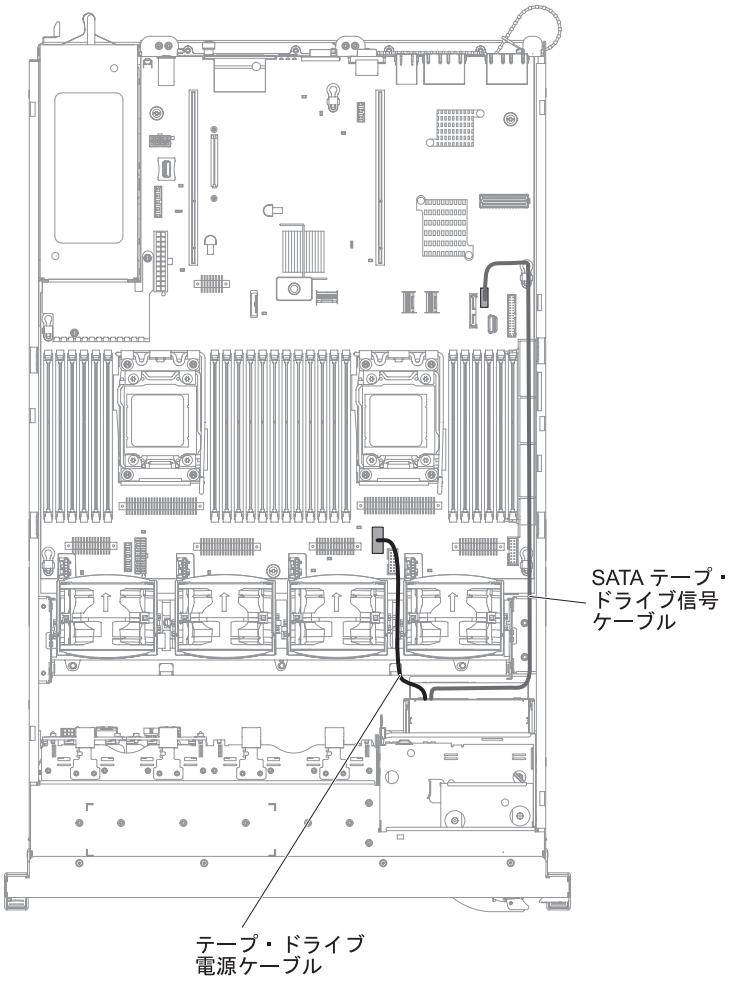


図 118. ケーブル接続

6. テープ・ドライブ・ベイにテープ・ドライブ・アセンブリーの大部分を押し入れます。
7. SAS 信号ケーブルおよび電源ケーブルをテープ・ドライブの背面に接続します。

   重要: テープ・ドライブ・アセンブリーをテープ・ドライブ・ベイに挿入する前に、すべてのケーブルがアセンブリーの下に置かれていることを確認してください。 ケーブルが下に置かれていないと、損傷する可能性があります。
8. テープ・ドライブ・アセンブリーをスライドさせ、テープ・ドライブ・ベイに最後まで差し込みます。
9. ラッチを閉じた (ロックされた) 位置に押します。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ装置の取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまで USB コネクターに押し入れます。
6. 青色のロック・カラーを引き上げて、フラッシュ・デバイスを USB コネクターにロックします。

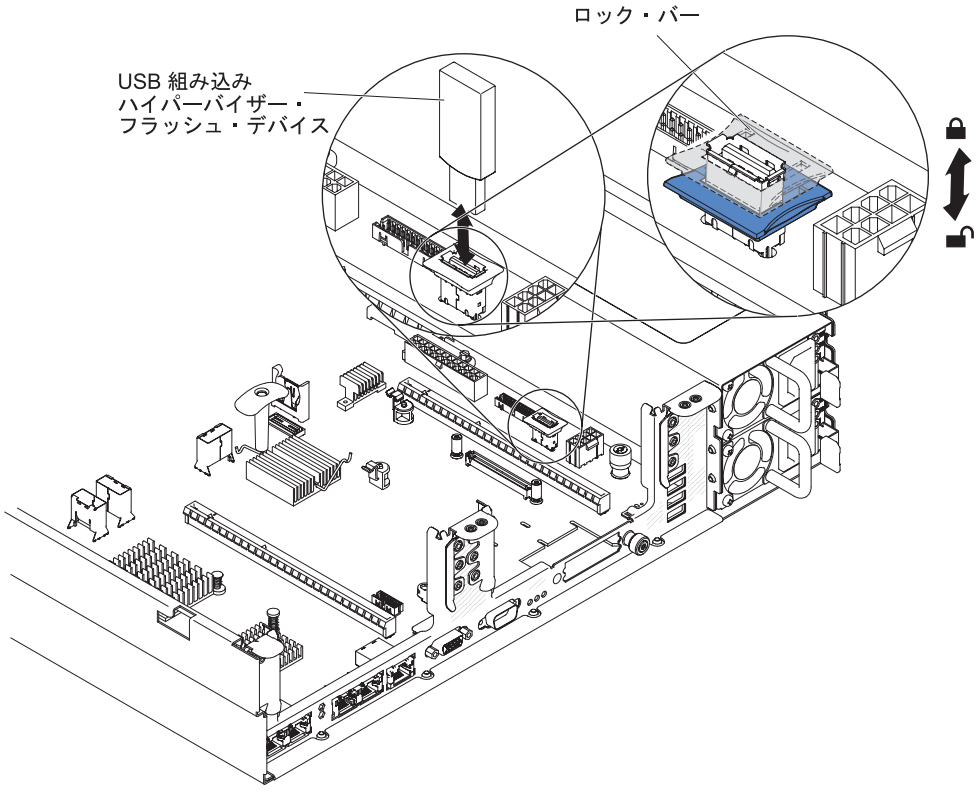


図 119. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

注: ハイパーバイザー USB ドライブから起動して、サーバーを構成する必要があります。組み込みハイパーバイザーの使用可能化については、 159 ページの『第 3 章 構成情報と説明』を参照してください。

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプの説明と、マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- マイクロプロセッサーの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

  重要: マイクロプロセッサーを取り付ける場合は、必ず、マイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- このサーバーは、LGA 2011 用に設計された最大 2 つの Intel Xeon™ E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサーを混用しないでください。
- 最初のマイクロプロセッサーは、必ず、システム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 1 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける際、最初のマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、追加のメモリーと 4 つ目のファンも取り付ける必要があります。 取り付け順序の詳細は、 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 追加のマイクロプロセッサーを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサーを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーの混用はサポートされています。

- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーを混用する場合、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサーを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサー電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/supportportal/に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサー速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサー周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、151 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

  注: マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。
- オプションの追加マイクロプロセッサーを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

マイクロプロセッサー取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

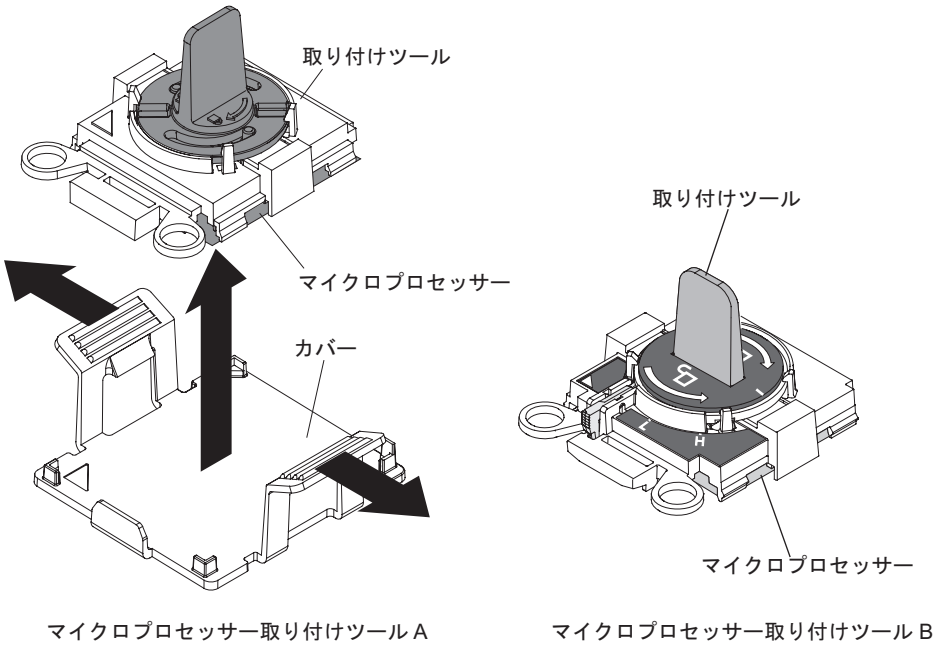


図 120. マイクロプロセッサー取り付けツール

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法の詳細については、 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを開いた位置まで回転させます。

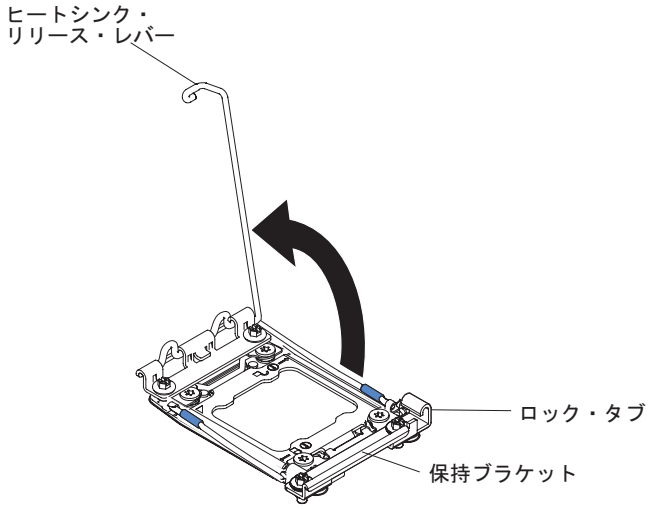


図 121. ヒートシンク・レバーの回転

6. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

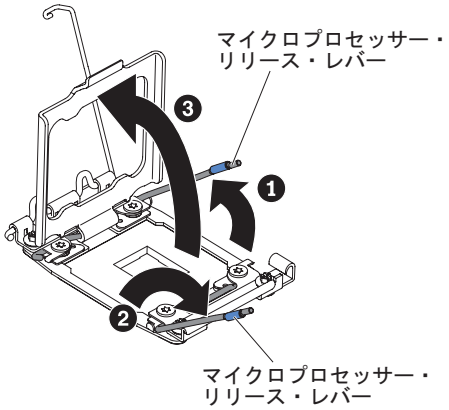


図 122. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触らないでください。

7. 次のように、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。
   a. 新規のマイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、マイクロプロセッサーを慎重にパッケージから取り出します。

b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

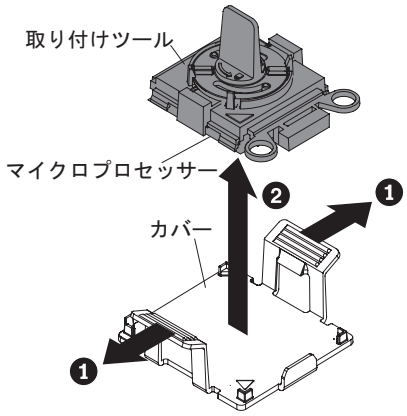


図 123. 取り付けツール・カバーの取り外し

注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

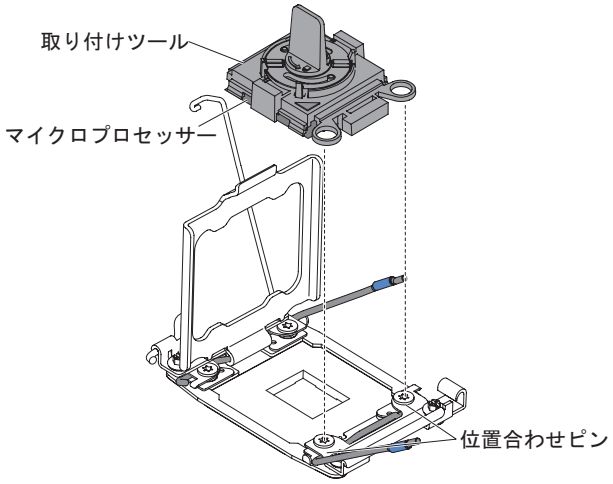


図 124. 取り付けツールの位置合わせ

d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り付けます。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー・ツール・アセンブリーのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入され

るまで回転させます。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

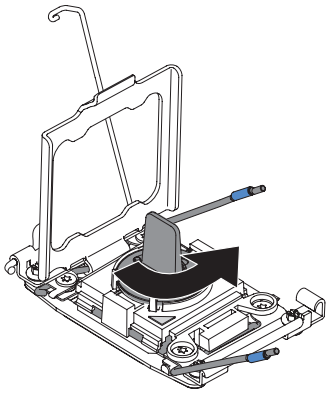


図 125. 取り付けツール・ハンドルの調整

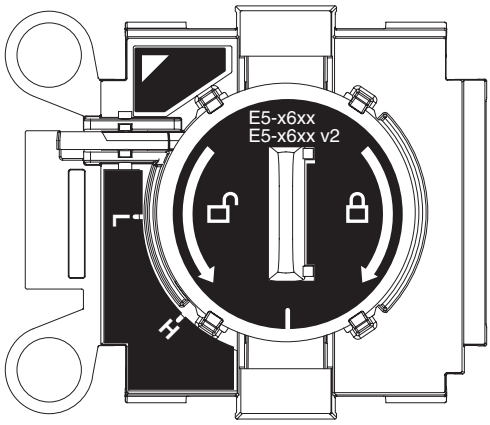


図 126. 取り付けツール B

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサーが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が品質が劣化します。

8. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。 ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

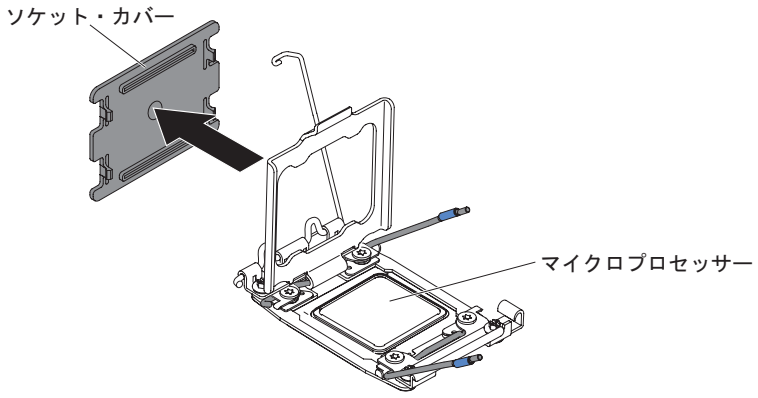


図 127. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法については、41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

9. 次のように、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

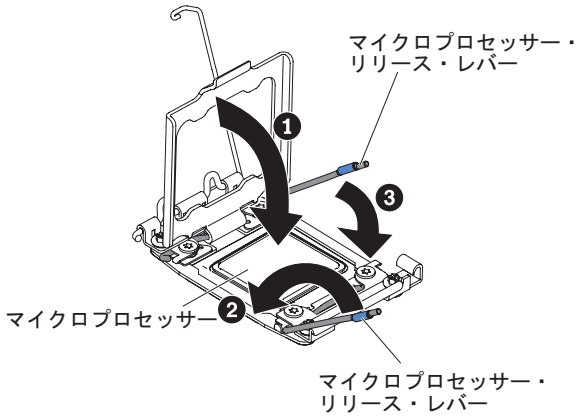


図 128. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

   a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
   b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
   c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

10. ヒートシンクを取り付けます。

    重要:

    - プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
    - プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。 詳しくは、 151 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

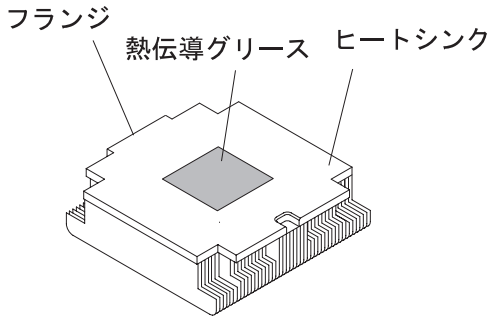


図 129. 熱伝導グリース

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。
b. マイクロプロセッサーの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

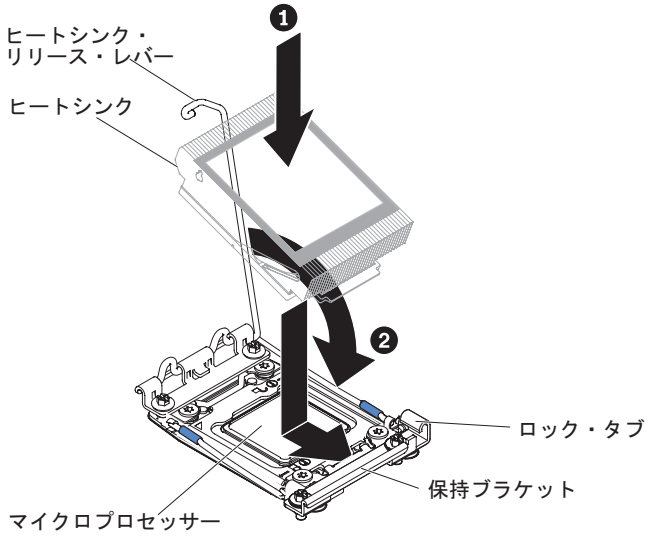


図 130. ヒートシンクの取り付け

c. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサー上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
d. ヒートシンクをしっかりと押します。
e. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを閉じた位置に回転し、ロック・タブの下にフックさせます。

11. 2 個目のマイクロプロセッサーを取り付けた場合は、4 個目のファンを取り付けます (372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。

タスクの結果

取り付けたり取り外したりするデバイスが他にある場合、ここで実行します。そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサーに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドの清潔な部分で、マイクロプロセッサーの熱伝導グリースをふき取ります。熱伝導グリースをすべて除去したら、クリーニング・パッドを破棄します。
5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

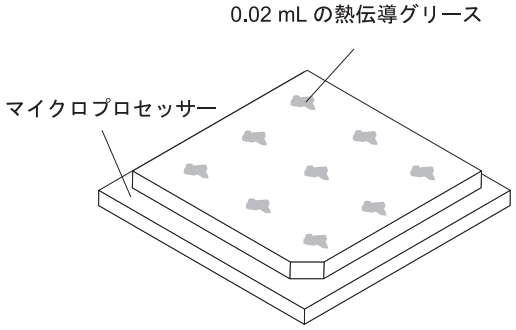


図 131. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

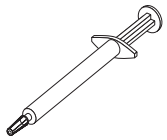


図 132. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (10 (399 ページ)を参照)。

取り付けの完了

以下の情報を使用して、取り付けを完了します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、次のステップを実行してください。

手順

1. エアー・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (153 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
2. いずれかの PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外した場合、ライザー・カード・アセンブリーを再取り付けしてください (154 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
3. サーバー・カバーを取り外した場合は、再取り付けします (155 ページの『カバーの交換』を参照)。
4. サーバーをラック・キャビネットに取り付けます (手順については、サーバーに付属の「*ラック搭載手順*」を参照)。
5. ケーブルおよび電源コードを再接続します (156 ページの『外部ケーブルの接続』を参照)。
6. サーバー構成を更新します (157 ページの『サーバー構成の更新』を参照)。
7. 必要に応じて、サーバーを元のラックの中にスライドさせます。
8. サーバーを始動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。

9. (IBM ビジネス・パートナーのみ) 30 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加ステップを実行します。

タスクの結果

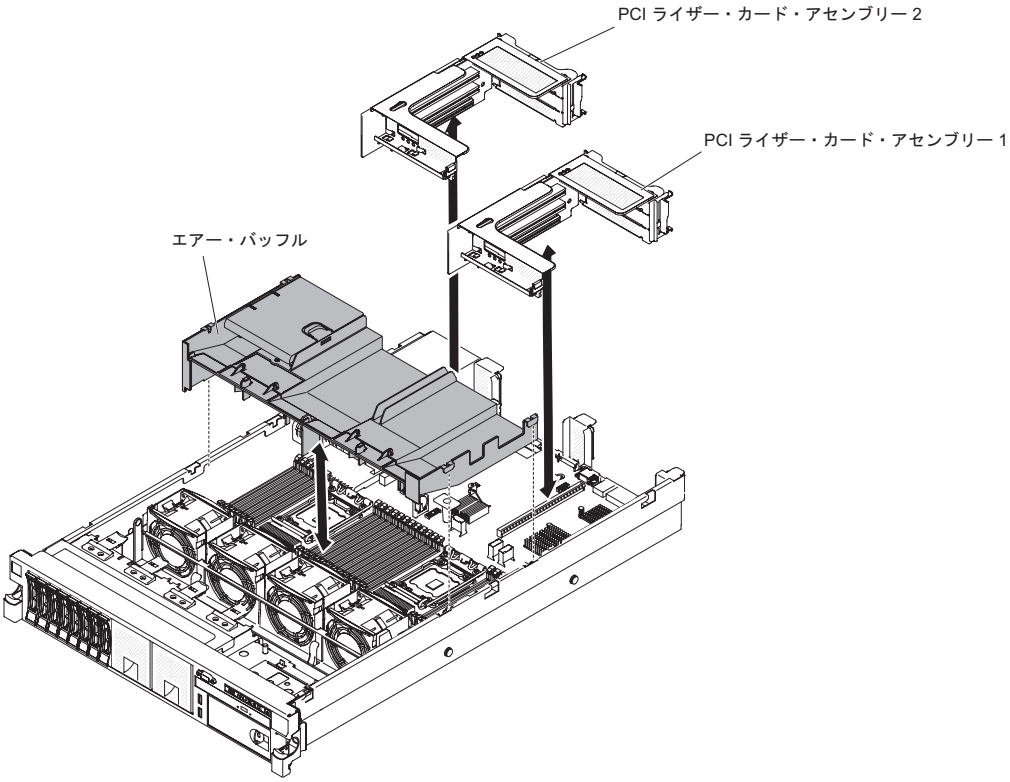
エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

このタスクについて

エアー・バッフルを再取り付けするには (既に取り外した場合)、以下のステップを実行します。

図 133. エアー・バッフルの取り付け



手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 が拡張されており、エアー・バッフルに載る位置にある場合は、必ず PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。

4. エアー・バッフル・ピンをシャーシ両側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、エアー・バッフルをサーバー内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

   注: 適切な冷却を確保するために、エアー・バッフルを取り付ける前に DIMM コネクターの両端の保持クリップを閉じます。

5. 必要な場合、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り付けます (『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

   重要: 冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にエアー・バッフルを元の位置に戻してください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

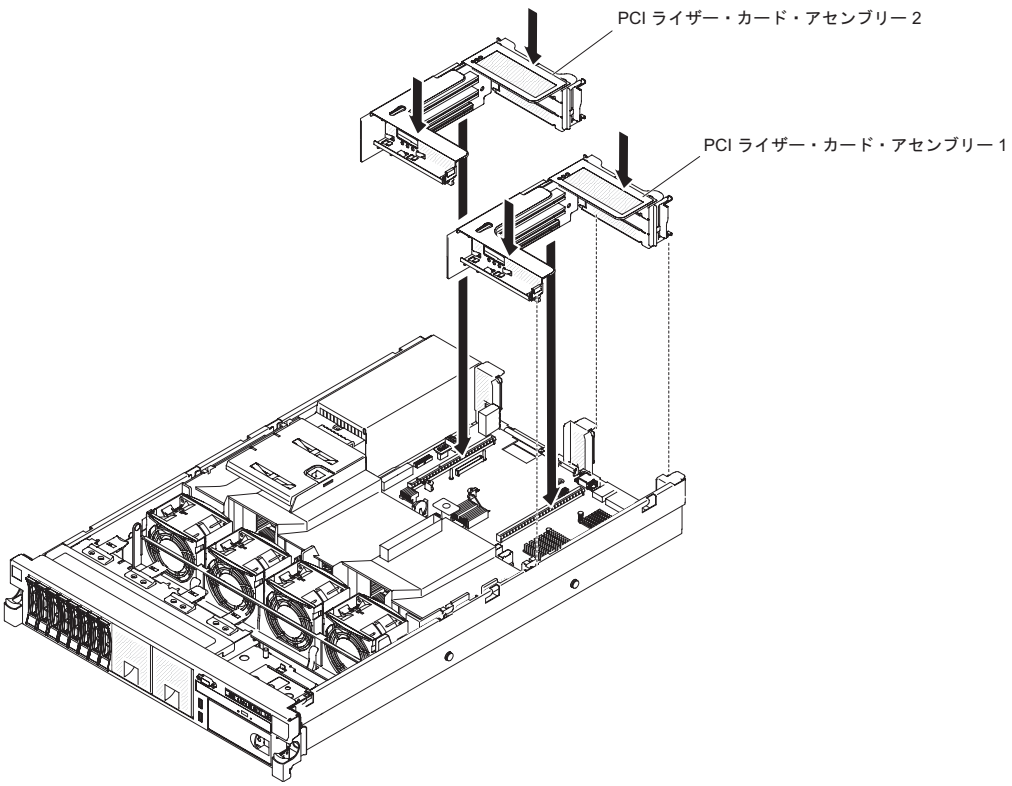


図 134. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. サーバーとすべての周辺装置の電源がオフになっていること、および電源コードとすべての外部ケーブルが切り離されていることを確認します。
3. すべてのアダプターを再取り付けし、他の手順で取り外したすべての内部ケーブルを再接続します。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーと、システム・ボード上の選択した PCI ライザー・カード・コネクターの位置を合わせます。
   - PCI ライザー・カード・コネクター 1: アセンブリー側面にある 2 つの位置合わせのスロットを、シャーシ側面にある 2 つの位置合わせのブラケットに注意深く差し込みます。
   - PCI ライザー・カード・コネクター 2: ライザー・カード・アセンブリーの下端 (接点部分) とシステム・ボード上の PCI ライザー・カード・コネクターの位置を注意深く合わせます。
5. アセンブリーを押し下げます。 ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターにしっかりと固定されたことを確認してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 152 ページの『取り付けの完了』に進みます。

カバーの交換

カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

   重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。 すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難になります。
2. カバーをサーバー上部に置きます。
3. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。
4. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
5. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチを押し下げます。

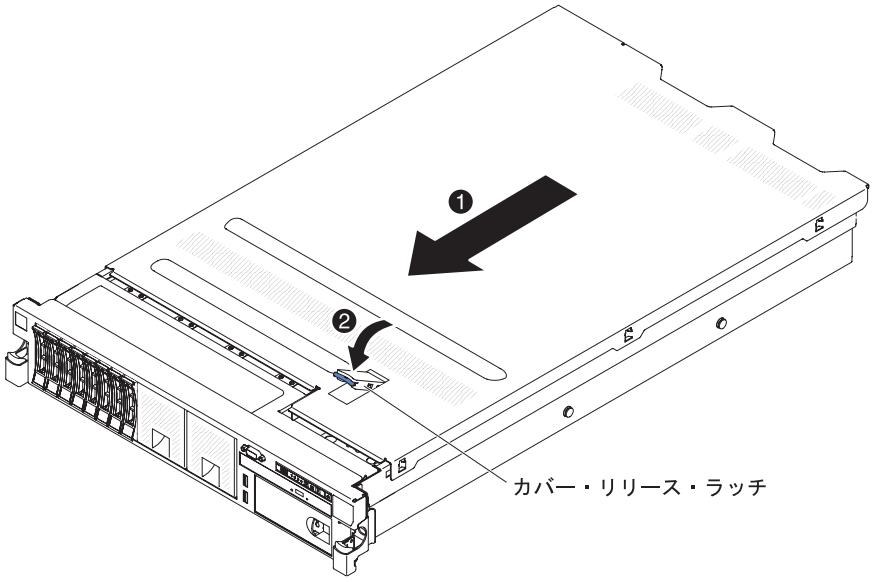


図 135. カバーの取り付け

6. サーバーをラックの奥までスライドさせると、ラッチが掛かります。

外部ケーブルの接続

次の図は、サーバーの入出力コネクターの位置を示します。

次の図は、サーバーの前面および背面の入出力コネクターの位置を示します。

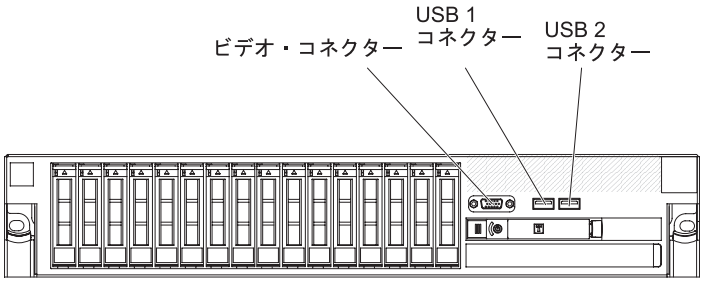


図 136. 前面図

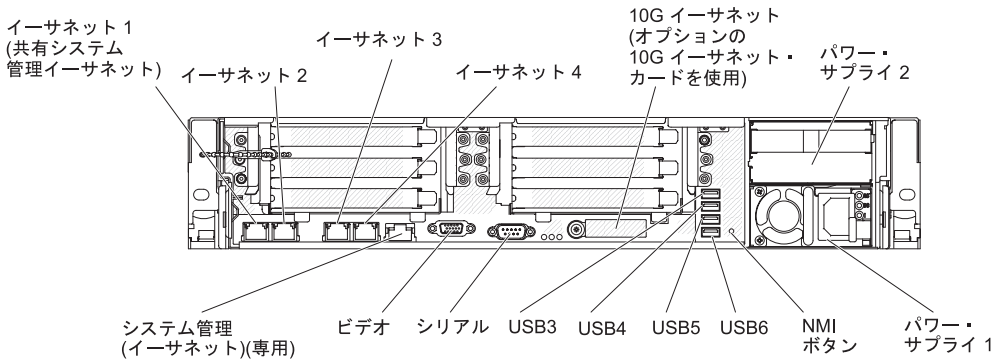


図 137. 背面図

ケーブルの接続または取り外し時は、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。

詳しいケーブル配線の手順については、外付けデバイスに付属の資料を参照してください。 ケーブルの配線作業は、デバイスを取り付ける前に行ったほうが簡単な場合があります。

サーバーにオペレーティング・システムがインストール済みである場合、追加の配線手順については、そのオペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。

サーバー構成の更新

以下の情報を使用して、サーバー構成を更新します。

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。 このとき新しい構成設定値を保存できるように、Setup ユーティリティーが自動的に開始します。

オプション装置の中には、デバイス・ドライバーをインストールしなければならないものがあります。 デバイス・ドライバーのインストールについては、その装置に付属の資料を参照してください。

サーバーにオプションの RAID アダプターが装備されていて、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行った場合は、RAID アダプターに付属の資料を参照して、ディスク・アレイの再構成に関する説明を確認してください。

SAS ライザー・カードに USB ハイパーバイザー・メモリー・キーの取り付けを行った場合は、ハイパーバイザー・メモリー・キーに付属しているユーザーズ・ガイドを参照してください。ハイパーバイザーは、サーバー上でゲスト・オペレーティング・システムを稼働することができます。

内蔵 Gigabit Ethernet コントローラーの構成については、181 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、ファームウェアを更新します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更ヒストリー・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバー・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 Update*Xpress* システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーを使用して、Update*Xpress* システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

© Copyright IBM Corp. 2013

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティー**

  Setup ユーティリティーは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティーを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

  Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。 このプログラムの使用法について詳しくは、 174 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。 この CD の使用については、 163 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM FastSetup**

IBM FastSetup は、選択された IBM BladeCenter シャーシ、サーバー、およびコンポーネントの保守および実装を単純化するのに役立つ、無料のソフトウェア・ツールです。直観的に使用できるグラフィカル・インターフェースが、ディスカバリー、アップデート、および構成を含むサーバー・セットアップのすべてのフェーズを初期設定します。機能には、複数のサーバーへの設定の複写および実践の時間とユーザー・エラーを減らす自動化を可能にする、テンプレートが含まれています。ウィザードおよびその他のデフォルトの設定値により、カスタマイズ機能が使用可能になります。操作回数が少なく、1 回の設定で済み、あとは気にせずにすむ機能によって、何日もかかっていたサーバー・セットアップの実践時間が分単位に短縮され、特に大規模な実装では効果が大きくなります。このツールについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?brand=5000008&Indocid=TOOL-FASTSETを参照してください。

- **統合管理モジュール**

  統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。 IMM の使用については、 175 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクター 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、 180 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

  リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

  – システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
  – リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
  – リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
  – ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

  IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャ

ー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、 177 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

  イーサネット・コントローラーの構成については、 181 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 181 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 181 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラム**

  このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段として使用します。 ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、 182 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

  RAID アレイの構成については、 182 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

  次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 14. RAID アレイを構成および管理するためのサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-H1110 アダプター	LSI ユーティリティー (Setup ユーティリティー、Ctrl+C を押す)、ServerGuide、ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)	MegaRAID Storage Manager (MSM)、ストレージ管理用の SAS2IRCU (コマンド・ライン) ユーティリティー

表 14. RAID アレイを構成および管理するためのサーバー構成とアプリケーション (続き)

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5088601 にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5073015 にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。 ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。 ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下のフィーチャーを実行します。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバーの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付と時刻の設定
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバーの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成の概要

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスケットは必要ありません。 この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide 標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。 このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。 このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。 (インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。 次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバーがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。 この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、http://www.ibm.com/supportportal/ からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

- **System Information**

  サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。 Setup ユーティリティーの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。 この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

  – **System Summary**

    マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

  – **Product Data**

    システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

  サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Adapters and UEFI Drivers**

    サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

  – **Processors**

    プロセッサーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Memory**

    この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

  – **Devices and I/O Ports**

    この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、

SATA 光ディスク・ドライブ・チャネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

  消費量、プロセッサー、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

  オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

  この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

  - **Force Legacy Video on Boot**

    この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

  - **Rehook INT 19h**

    装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。 デフォルトは「**Disable**」です。

  - **Legacy Thunk Support**

    UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

  - **Infinite Boot Retry**

    UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

  - **BBS Boot**

    BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

  Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

  Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Power Restore Policy**

    電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

  - **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

  この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

  IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

  IMM をリセットするには、この項目を選択します。

– **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

  POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  • **POST Attempts Limit**

    Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

  システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  • **POST Watchdog Timer**

    この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

  • **POST Watchdog Timer Value**

    この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

  • **Reboot System on NMI**

    この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。 **Enable** (使用可能) がデフォルトです。

  • **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (*時:分:秒*) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。 サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。 エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、172 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。 詳しくは、173 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、173 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティーの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。 詳しくは、174 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。 詳しくは、174 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。
- **Restore Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。
- **Load Default Settings**

  変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。
- **Exit Setup**

  この選択項目を選択し、Setup ユーティリティーを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティーのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザー用に始動パスワードを設定し、システム管理者用に管理者パスワードを設定している場合は、いずれかのパスワードを入力することによりシステムの始動を完了できます。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティーの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。 パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW3) の始動パスワード・スイッチ (スイッチ 4) の位置を変更して、始動パスワード検査をバイパスします (詳しくは、35 ページの表 5 を参照)。

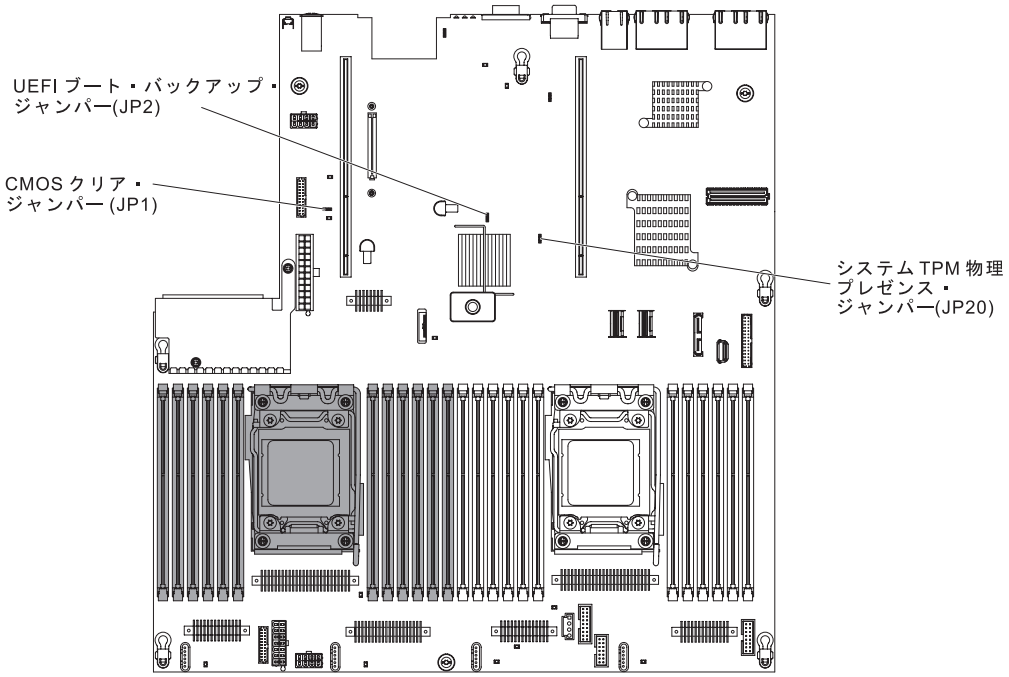


図 138. システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW3 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW3) の始動パスワード・スイッチ (スイッチ 4) を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に Setup ユーティリティーを開始し、始動パスワードを再設定することができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。 パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。 システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. プロンプトの「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をバックアップの位置 (ピン 2 および 3) に配置します。UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)の位置については、34 ページの『システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン』を参照してください。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。 1 次コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) を 1 次の位置に戻します (ピン 1 および 2)。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサー構成で 1 個のマイクロプロセッサーが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサー使用不可および再始動。 1 個のマイクロプロセッサーが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサーを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサーを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、

IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。 そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。 ASR は IPMI でサポートされています。

- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサー、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティー・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

  コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの

識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

  リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれでも SOL 接続にアクセスできます。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は 『IMM-』 (IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加) です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に 『FF』 と 『FE』 を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。 IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティーを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。 素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティーを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「**アドレス**」または「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

   注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。 DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。 IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。
2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。 ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

   注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSW0RD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。
3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ 『Booting OS or in unsupported OS』 が表示される場合は、Windows 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクターに取り付けることができます (これらのコネクターの位置については、32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。 上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または

「*VMware vSphere Installation and Setup Guide*」(http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf) を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバーおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

統合管理モジュールに組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。

Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。

Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティーを使用して、RAID アレイを構成するユーティリティーにアクセスすることができます。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。 詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。 RAID コントローラーのユーティリティーにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティーの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティーにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成できます。 リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。 すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。 ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

IBM Systems Director を更新するには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
   a. http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html にアクセスします。
   b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**更新の表示**」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「Install」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

汎用固有 ID (UUID) を更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。 ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスします。

b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。

c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。

d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。

e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。

2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - ibm_rndis_server_os.inf
     - device.cat
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - cdc_interface.sh
4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。`asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

   ここで、

   <uuid_value>
   ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     `[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]`

     ここで、

     imm_internal_ip
     IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

     imm_user_id
     IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

     imm_password
     IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```
ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
  ```

  KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

  注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

  a. http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスします。
  b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
  e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

imm_external_ip
外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id
IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。

d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。

e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。

2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - ibm_rndis_server_os.inf
     - device.cat
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - cdc_interface.sh
4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

   ```
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
   ```

   ここで、

   <m/t_model>
   サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。`mtm xxxxyyy` と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

   <s/n> サーバーのシリアル番号。`sn zzzzzzz` と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

   <asset_method>
   サーバーの資産タグ番号。`asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa` と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     ```
     [host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
     ```

     ここで、

imm_internal_ip
IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id
IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

  注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

  a. http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスします。
  b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。

e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
  ```
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_external_ip
  外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
  --user <imm_user_id> --password <imm_password>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
  --user <imm_user_id> --password <imm_password>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
  --user <imm_user_id> --password <imm_password>
  ```

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
  ```
- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、 971 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』 を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
   - ハードウェア・コンポーネント
   - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
   - システム・ソフトウェア
   - UEFI ファームウェア
   - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
   - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、 202 ページの『Light Path 診断』を参照してください。
   - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、 217 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
   - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

© Copyright IBM Corp. 2013

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。 DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

   最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。 ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

   重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

   a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、 および 159 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMCを参照してください。

      リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

   b. **手動のシステム更新をインストールします。**

      1) **既存のコード・レベルを判別します。**

         DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。 このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

   a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。 サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

   b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。 チェックアウト手順の実行については、197 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、159 ページの『第 3 章 構成情報と説明』を参照してください。

6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

   RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

   オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。 トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、 225 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

   単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。 最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。 その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

   問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_requestにアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、System x3650 M4 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM System x3650 M4 サーバーで使用可能な Service Bulletin を見つけるには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスして 7915、および retain で検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。 これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。 問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

  例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサー内またはマイクロプロセッサー・ソケット内にある可能性があります。 マイクロプロセッサー問題の診断については、 234 ページの『マイクロプロセッサー問題』を参照してください。
- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

  重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、 225 ページの『現象別トラブルシューティング』および 254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、 251 ページの『電源の問題の解決』、 239 ページの『電源問題』、および 212 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、 217 ページの『イベント・ログ』および 871 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
   - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
   - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
   a. パワー・サプライ LED を検査します (212 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
   b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
   c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/で確認します。
   d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
   e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
   f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
   g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、 225 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
   h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (202 ページの『Light Path 診断』を参照)。
   i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
      - POST の正常終了 (詳しくは、 220 ページの『POST』を参照)
      - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 225 ページの『現象別トラブルシューティング』での障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、 254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
  - DSA がエラーを報告する場合は、 871 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』 の指示に従ってください。
  - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、 254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つツールについて説明しています。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、 202 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

- **イベント・ログ**

  イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、 217 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **統合管理モジュール II**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  - Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
  - Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
  - 共通情報モデル (CIM)
  - Web ブラウザー

  統合管理モジュール II (IMM2) についての詳細は、 175 ページの『統合管理モジュールの使用』、 411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis**

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

– DSA Portable

  DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

  - ドライブのヘルス情報
  - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
  - IMM2 構成情報
  - IMM2 環境情報
  - 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
  - インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
  - カーネル・モジュール
  - Light Path 診断の状況
  - マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
  - ネットワーク・インターフェースおよび設定
  - オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
  - RAID コントローラー構成
  - サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
  - システム構成
  - 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

  DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信する (IBM サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

  注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。 DSA の資料およびダウンロード情報については、http://www.ibm.com/systems/management/を参照してください。

  追加情報については、 221 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 871 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

– DSA Preboot

  DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。 DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

  - ドライブのヘルス情報
  - IMM2 構成情報

- IMM2 環境情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサー
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ
8. LSI コントローラー
9. Broadcom ネットワーク・アダプター
10. FusionIO ストレージ
11. Intel GPU
12. Nvidia GPU

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、 223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

- **現象別トラブルシューティング**

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。 詳しくは、 225 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、フロント・パネル、Light Path 診断パネルのパスに沿って、次に障害が起こったコンポーネント上で、LED が点灯します。多くの場合、LED を所定の順序で見ていくことによりエラーの原因を突き止めることができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していれば、点灯したままになっています。

サーバーの内部の Light Path 診断 LED を確認する前に、『安全について』(vii ページの『安全について』) および 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で Light Path 診断 LED を見てください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルを見ます。
   - チェック・ログ LED が点灯している場合、サーバーの分離されていない障害状態に関する情報が IMM イベント・ログまたはシステム・イベント・ログで入手可能であることを示しています。
   - システム・エラー LED が点灯している場合は、エラーが発生したことを示します。ステップ 2 に進んでください。

   次の図はオペレーター情報パネルを示しています。

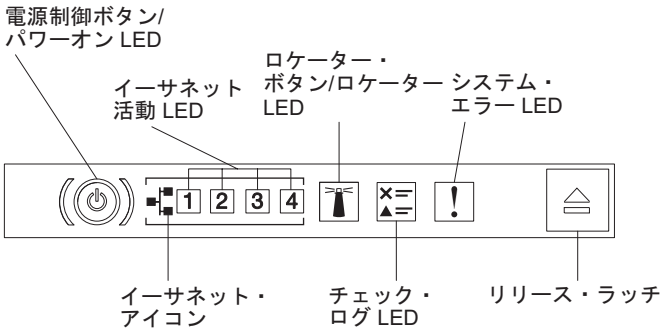


図 139. オペレーター情報パネル

2. Light Path 診断パネルを見るには、オペレーター情報パネルにある青色のリリース・ラッチを押します。 パネルを手前に引いて、オペレーター情報パネルのヒンジがサーバーのシャーシから離れるまで引き出します。 パネルを引き下げて、Light Path 診断のパネル情報が確認できるようにします。これで、Light Path 診断パネルが見えるようになります。 このパネル上の点灯した LED は、発生したエラーのタイプを示しています。

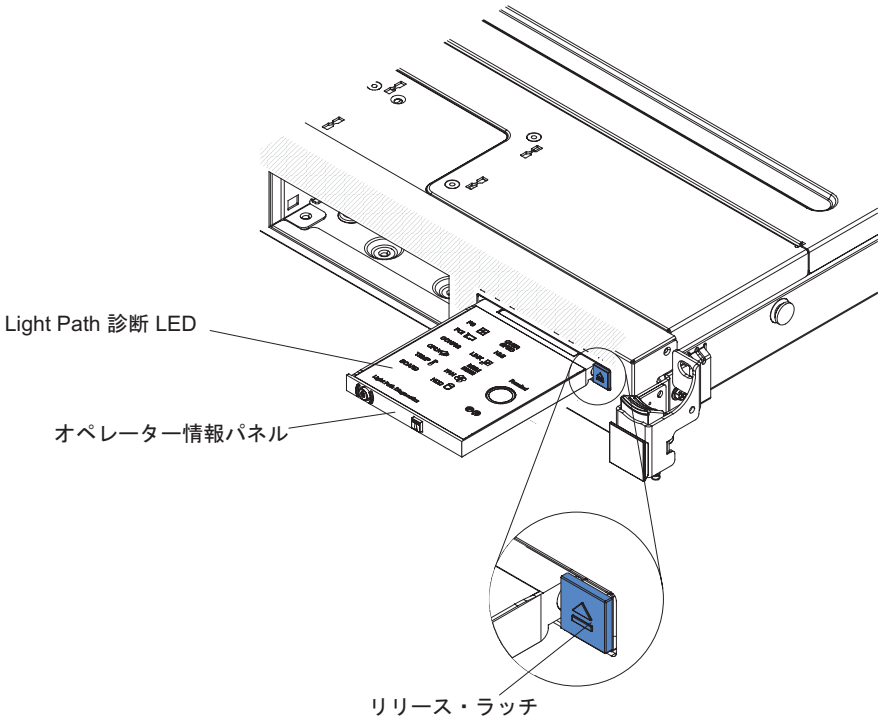


図 140. Light Path 診断パネルの解放

次の図は、Light Path 診断パネルを示しています。

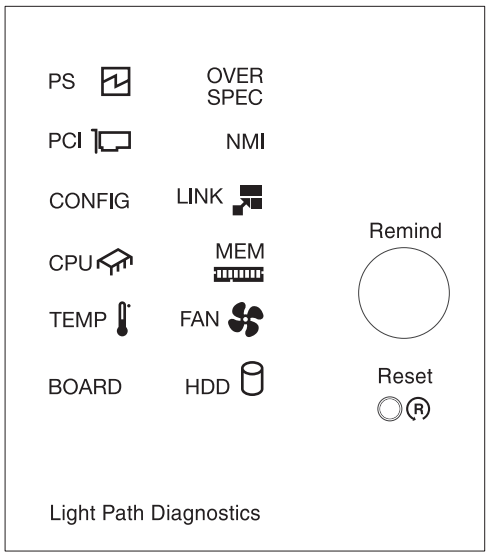


図 141. Light Path 診断パネル

点灯している LED をメモし、Light Path 診断パネルをサーバーに再取り付けします。

- **リマインド・ボタン:** このボタンを押すと、前面情報パネルのシステム・エラー LED/チェック・ログ LED がリマインド・モードになります。 システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードにすることによって、最近起こった障害を認知しているが、問題を訂正するための即時アクションはと

らないということを確認します。リマインド・モードでは、以下のいずれかの条件が満たされるまでシステム・エラー LED が 2 秒ごとに点滅します。

- 既知のエラーがすべて訂正される。
- サーバーが再始動される。
- 新たなエラーが発生し、システム・エラー LED が再び点灯する。

- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。 リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルには、Light Path 診断パネル上の LED に対応する内部コンポーネントの概要が示されています。多くの場合、この情報と 205 ページの『Light Path 診断 LED』の情報によって、エラーを診断するための十分な情報が得られます。

3. サーバーのカバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED があり、点灯して問題の場所を示します。

   注: ハード・ディスクおよびパワー・サプライ上の LED を見るには、サーバーのカバーを取り外す必要はありません。

   下図は、システム・ボード上の LED を示しています。

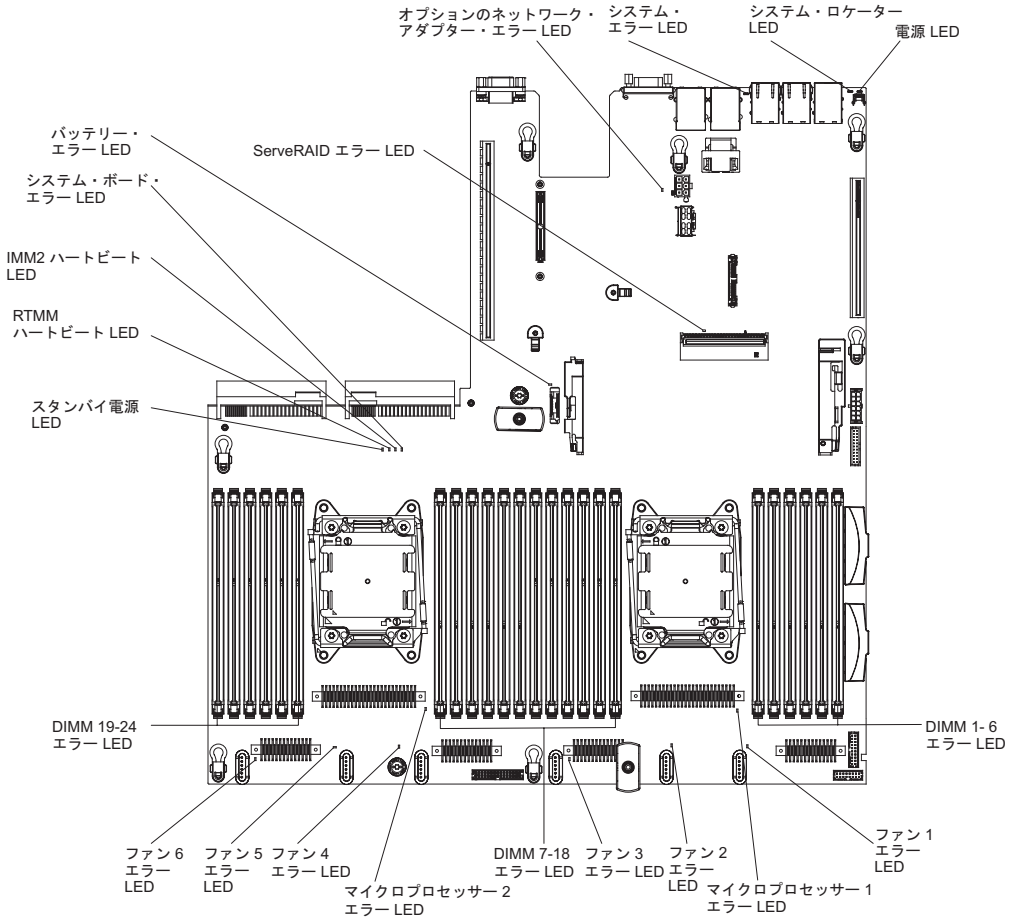


図 142. システム・ボード・エラー LED

Light Path 診断 LED

このセクションでは、Light Path 診断パネルの LED と、検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明しています。

システム・ボード LED の位置の追加情報については、 18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』および 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

表 15. Light Path 診断パネル LED

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
チェック・ログ LED	エラーが発生し、特定の手順を実行しなければ切り分けを行えません。	1. IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログをチェックし、エラーに関する情報がないかを確認します。 2. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。

表 15. Light Path 診断パネル LED (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

LED	説明	処置
システム・エラー LED	エラーが発生しました。	1. Light Path 診断 LED を確認し、指示に従います。 2. IMM2 システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログをチェックし、エラーに関する情報がないかを確認します。 3. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。
PS	PS LED のみが点灯している場合は、パワー・サプライに障害が発生しています。	システムがパワー・サプライ・エラーを検出した可能性があります。以下のステップを実行して、問題を修正します。 1. 黄色の LED が点灯しているパワー・サプライをチェックします (212 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. パワー・サプライが正しく取り付けられており、正常な AC コンセントに接続されていることを確認します。 3. いずれかのパワー・サプライを取り外して、障害のあるパワー・サプライを特定します。 4. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ AC 入力電圧のパワー・サプライであることを確認します。 5. 障害を起こしたパワー・サプライを交換します。
	PS + CONFIG PS LED と CONFIG LED の両方が点灯している場合は、パワー・サプライ構成が無効です。	PS LED と CONFIG LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。 サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ定格 (ワット数) のパワー・サプライであることを確認します。
OVER SPEC	システム電力使用量がパワー・サプライの過電流保護ポイントに到達したか、パワー・サプライが損傷しています。	1. Pwr Rail (A、B、C、D、E、F、G、および H) エラーが検出されなかった場合は、以下のステップを実行します。 a. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 b. 障害を起こしたパワー・サプライを交換します。 2. Pwr Rail (A、B、C、D、E、F、G、および H) エラーも検出された場合は、 239 ページの『電源問題』および 251 ページの『電源の問題の解決』にリストされている処置に従ってください。

表 15. Light Path 診断パネル LED (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
PCI	PCI カード、PCI バス、またはシステム・ボードでエラーが発生しました。 障害のある PCI スロットの横にある LED が追加で点灯します。	1. ライザー・カードの LED、ServeRAID のエラー LED、およびデュアル・ポート・ネットワーク・アダプターのエラー LED をチェックして、エラーの原因となったコンポーネントを識別します。 2. システム・エラー・ログを検査して、エラーに関する情報があるかどうか確認します。 3. LED およびシステム・エラー・ログの情報を使用して障害のあるコンポーネントを切り分けることができない場合は、コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、コンポーネントを取り外すたびにサーバーを再始動します。 4. 以下のコンポーネントを示された順序で交換し、その都度サーバーを再始動します。 • PCI ライザー・カード • ServeRAID アダプター • オプションのネットワーク・アダプター • (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 5. 障害が残る場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
NMI	マスク不能割り込みが発生したか、NMI ボタンが押されました。	1. システム・エラー・ログでエラーについての情報を確認します。 2. サーバーを再始動します。

表 15. Light Path 診断パネル LED (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
CONFIG	CONFIG + PS 無効な電源構成エラーが発生しました。	CONFIG LED と PS LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。 サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同じ定格 (ワット数) のパワー・サプライであることを確認します。
	CONFIG + CPU ハードウェア構成エラーが発生しました。	CONFIG LED および CPU LED が点灯している場合は、以下の手順を実行して問題を修正します。 1. 取り付けたばかりのマイクロプロセッサーが相互に互換性のあることを確認します (マイクロプロセッサー要件の追加情報については、 393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。 3. システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログで示されているコンポーネントをすべて交換します。
	CONFIG + MEM ハードウェア構成エラーが発生しました。	CONFIG LED と MEM LED が点灯している場合は、Setup ユーティリティーのシステム・イベント・ログまたは IMM2 エラー・メッセージを確認します。 849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』で指示されているステップに従います。
LINK	予約済み	

表 15. Light Path 診断パネル LED (続き)

• **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
LED	**説明**	**処置**
CPU	CPU LED のみが点灯している場合、マイクロプロセッサーに障害があります。	CONFIG LED が点灯していない場合は、マイクロプロセッサー障害が発生しています。以下のステップを実行してください。 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード上の点灯した LED によって示される、障害のあるマイクロプロセッサーおよびそのヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けおよび要件については、 393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照してください。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーを交換します (388 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 3. 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
	CPU + CONFIG CPU LED と CONFIG LED の両方が点灯している場合は、マイクロプロセッサー構成が無効です。	CONFIG LED と CPU LED が点灯している場合、システムが無効なマイクロプロセッサー構成エラーを発行しています。 以下のステップを実行して、問題を修正します。 1. 取り付けたばかりのマイクロプロセッサーが相互に互換性のあることを確認します (マイクロプロセッサー要件の追加情報については、 393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。 3. システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログで示されているコンポーネントをすべて交換します。

表 15. Light Path 診断パネル LED (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

LED	説明	処置
MEM	MEM LED のみが点灯している場合は、メモリー・エラーが発生しています。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 CONFIG LED が点灯していない場合、システムがメモリー・エラーを検出した可能性があります。 以下のステップを実行して、問題を修正します。 1. サーバー・ファームウェアを最新レベルに更新します (159 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. LED が点灯している DIMM の取り付け直しまたはスワップを行います。 3. Setup ユーティリティーまたは IMM エラー・メッセージでシステム・イベント・ログを確認します。 849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』で指示されているステップに従います。 4. 障害を起こしている DIMM を交換します (321 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
	MEM + CONFIG MEM LED と CONFIG LED の両方が点灯している場合は、メモリー構成が無効です。	MEM LED と CONFIG LED が点灯している場合は、Setup ユーティリティーのシステム・イベント・ログまたは IMM2 エラー・メッセージを確認します。 849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』で指示されているステップに従います。
TEMP	システムまたはシステム・コンポーネントの温度がしきい値レベルを超えました。 障害のあるファンが原因で TEMP LED が点灯している可能性があります。	1. ヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 2. ファンが障害を起こしたかどうかを調べます。 障害を起こしている場合は交換してください。 3. 室温が高すぎないことを確認してください。サーバーの温度については、 8 ページの『サーバーの機能および仕様』を参照してください。 4. 通風孔がふさがれていないことを確認してください。 5. ヒートシンク、アダプターのファン、およびオプションのネットワーク・アダプターが正しく装着されていることを確認します。 ファンが障害を起こした場合は、それを交換します。 6. 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスしてください。

表 15. Light Path 診断パネル LED (続き)

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

LED	説明	処置
FAN	ファンが障害を起こしたか作動速度が遅すぎます。または取り外されました。 TEMP LED も点灯している場合があります。	1. サーバー、 352 ページの表 26に記載されているアダプターが取り付けられているかどうかをチェックします。取り付けられている場合には、4 個のファンが取り付けられた構成でサーバーがコンパイルすることを確認します。 2. システム・ボード上のファン・コネクター付近の LED が点灯し、障害のあるファンが示されるので、これを取り付け直します。 3. 障害を起こしているファンを交換します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。
BOARD	システム・ボードまたはシステム・バッテリーでエラーが発生しました。	1. システム・ボード上の LED をチェックして、エラーの原因となっているコンポーネントを識別します。BOARD LED は、以下のどの理由でも点灯します。 • バッテリー • (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 2. システム・エラー・ログを検査して、エラーに関する情報があるかどうか確認します。 3. 次の障害のあるコンポーネントを交換します。 • バッテリー (381 ページの『システム・バッテリーの取り外し』および 383 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照) • (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。
HDD	ハード・ディスクに障害が発生したか、あるいは欠落しています。	1. 状況 LED が点灯しているドライブについて、ハード・ディスクの LED をチェックし、ハード・ディスクを取り付け直します。 2. ハード・ディスク・バックプレーンを取り付け直します。 3. 詳しくは、 205 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。 4. エラーが続く場合、以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスクを交換します。 b. ハード・ディスク・バックプレーンを交換します。 5. 問題が解決しない場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-CALL にアクセスします。

パワー・サプライ LED

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- マイクロプロセッサー・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサー
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 冷却ファン 4 個 (ファン 1、2、3、および 5)
- PCI コネクター 1 に 1 個の PCI ライザー・カード・アセンブリー

AC パワー・サプライ LED:
パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源がオンになっている必要があります。

次の図は、AC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

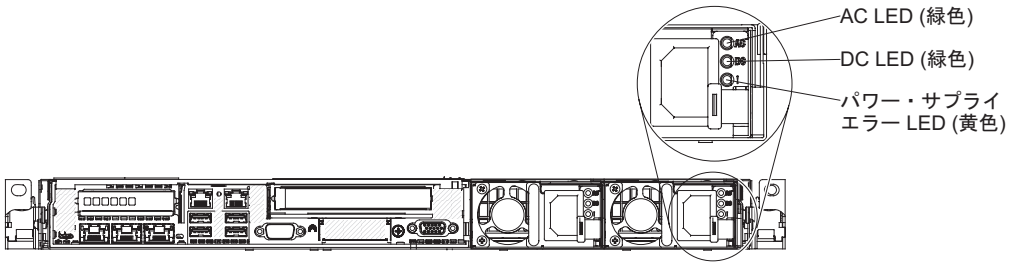


図 143. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オン	オフ	正常動作。		

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 給電部の問題。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オフ	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サプライに障害が発生しています。	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. 239 ページの『電源問題』の処置に従います。 3. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯している場合は、 205 ページの『Light Path 診断 LED』の処置に従います。 4. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯していない場合は、システム・ボード上のエラー LED および IMM2 エラー・メッセージを確認します。問題が解決するまで、239 ページの『電源問題』および 251 ページの『電源の問題の解決』のステップに従います。	一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	

DC パワー・サプライ LED:

次の図は、DC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

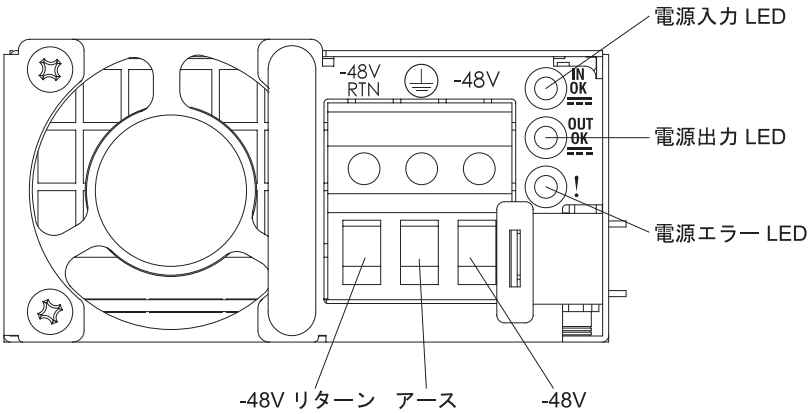


図 144. DC パワー・サプライ LED

次の表は、DC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

DC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
IN OK	OUT OK	エラー (!)			
オン	オン	オフ	正常動作。		
オフ	オフ	オフ	サーバーへの DC 電源供給がないか、DC 給電部の問題。	1. サーバーへの DC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	DC 電源を接続していないときは、これは正常な状態です。
オフ	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	

DC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
IN OK	OUT OK	エラー (!)			
オフ	オン	オフ	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サプライに障害が発生しています。	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. 239 ページの『電源問題』の処置に従います。 3. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯している場合は、 205 ページの『Light Path 診断 LED』の処置に従います。 4. Light Path 診断の OVER SPEC LED が点灯していない場合は、システム・ボード上のエラー LED および IMM2 エラー・メッセージを確認します。問題が解決するまで、239 ページの『電源問題』および 251 ページの『電源の問題の解決』のステップに従います。	一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、 36 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください)。

表 16. システム・パルス LED

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	以下のステップは、IMM2 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1HZ) で点滅を開始すると、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI ライザー・カード LED

次の図は、PCI ライザー・カード LED の位置を示しています。

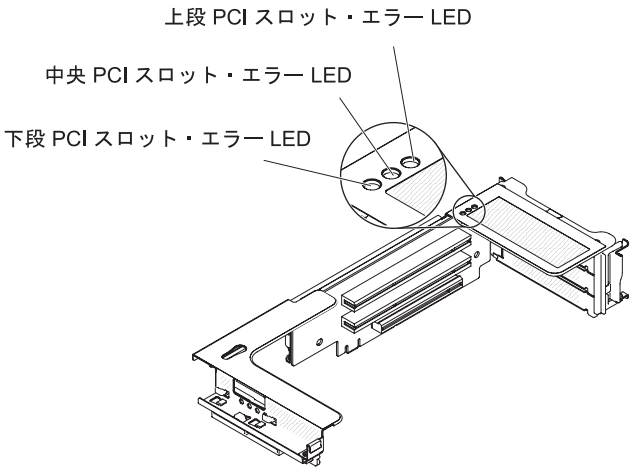


図 145. PCI ライザー・カード LED

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されるエラー・コードとメッセージ。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。 POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (166 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。 システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

  システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。 ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。 エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。 システム・イベント・ログについて詳しくは、411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

  メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

  一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。 設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。
- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブ

セットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。 詳しくは、 179 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。 IMM エラー・メッセージについて詳しくは、 411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、 221 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および診断メッセージを参照してください。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。 IPMI の概要については、

http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、 179 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 17. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「**イベント・ログ**」ページに進みます。 詳しくは、 178 ページの『IMM ホスト名の取得』および 179 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

表 17. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、 223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、 218 ページの『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択してから、**Enter** キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、 217 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、診断メッセージを参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、254 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

  DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。 このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。 このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

  サーバーを再始動できない場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

  DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。 DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。 詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。 このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

  DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

  - Emulex ネットワーク・アダプター
  - 光ディスク装置 (CD または DVD)
  - テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
  - メモリー
  - マイクロプロセッサー
  - チェックポイント・パネル
  - I2C バス
  - SAS ドライブおよび SATA ドライブ

  サーバーを再始動できる場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSAに進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。 問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

   注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムのロード中は正常な動作です。 ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。
4. オプションとして、「**Quit to DSA**」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。
5. 「**gui**」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。 ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。 その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。 通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。 問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www.ibm.com/support/electronic/portal/ にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、 849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』、 411 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および 診断メッセージを参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 診断メッセージを、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、 193 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (202 ページの『Light Path 診断』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、診断メッセージを参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

タスクの結果

CD/DVD ドライブの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
オプションの DVD ドライブが認識されない。	1. 次の点を確認します。 • DVD ドライブが接続されている (1 次または 2 次) SATA コネクターが、Setup ユーティリティーで使用可能にされている。 • ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 • DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 3. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DVD ドライブ b. DVD ドライブ・ケーブル 4. ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	1. CD または DVD をクリーニングします。 2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 3. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 4. DVD ドライブを取り付け直します。 5. DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 3. DVD ドライブを取り付け直します。 4. DVD ドライブを交換します。

一般的な問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサーまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、 260 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、 256 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。	障害のあるハード・ディスクを交換します (298 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』 および 299 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
新たに取り付けたハード・ディスクが認識されない。	1. 取り付けたハード・ディスクまたは ServeRAID アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプションのデバイスのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。 2. 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。 LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 3. LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 4. 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA 診断プログラムを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 • いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 5 に進む)。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。 LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 5 に進んでください。 LED の活動に変化がある場合は、ステップ 2 に戻ります。 5. ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。 正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。 6. バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 7. バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 8. バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 • サーバーに 8 つのホット・スワップ・ベイがある場合: a. 対象のバックプレーン信号ケーブルを交換します。 b. 対象のバックプレーンを交換します。 9. 255 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
複数のハード・ディスクに障害が起こりました。	ハード・ディスク、SAS/SATA アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 **重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	1. ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 2. 255 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	1. ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 2. SAS/SATA アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA プリブート診断プログラムを実行して、エラー・ログを収集します (223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • ハード・ディスク・エラー・ログがある場合は、該当するハード・ディスクを交換します。 • ハード・ディスク・エラー・ログがない場合は、該当するバックプレーンを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	1. 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 a. サーバーの電源をオフにします。 b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 c. バックプレーンの信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 d. ハード・ディスクを取り付け直します。 e. サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 2. 255 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

ハイパーバイザーの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの <F12> Select Boot Device で選択されていることを確認します。 2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します (379 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 380 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換』を参照)。 3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	1. 次の点を確認します。 • すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 • サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 2. システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログを検査します (217 ページの『イベント・ログ』を参照)。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**System Recovery**」 > 「**POST Watchdog Timer**」の順にクリックして、POST ウォッチドッグの設定を確認します)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「**POST Watchdog Timer**」) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、 849 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 診断メッセージを参照してください。 2. どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (217 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 2. USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティーを実行してキーボードなし操作を有効にします。 3. USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 4. キーボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネルのエラー LED が何も点灯していない。 • システム・ボードの DIMM エラー LED が何も点灯していない。 • メモリー・ミラーリング・チャネルが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。 サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 • サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがありません。 2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 3. POST エラー・ログを確認します。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。その後、Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 4. Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します (223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にし、サーバーを再始動します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
1 つのチャネル内の複数の DIMM で障害の発生が確認された。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 識別された中から最も大きい番号の DIMM を取り外し、同一で良品と判明している DIMM と取り替えて、サーバーを再始動します。 解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクターに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。 障害を起こした各 DIMM を、同一で正常と判明している DIMM と交換し、各 DIMM を交換するごとにサーバーを再始動します。 取り外したすべての DIMM のテストが完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 確認された DIMM のうち、最も数字の大きいものを交換し、サーバーを再始動します。 解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサー問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (202 ページの『Light Path 診断』を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサーをサポートし、マイクロプロセッサーの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサー情報を表示するには、Setup ユーティリティーを実行し、「**System Information**」 > 「**System Summary**」 > 「**Processor Details**」と選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。 モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属の説明書を参照してモニターのテストおよび調整を行ってください。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。 2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。 IMM2 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 3. サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。 これは、システム・ロード中の正常な動作です。 4. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、 239 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 6. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。 159 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 7. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 9. 254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (223 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。 254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 **重要:** 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 **注:** a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスケット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (159 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Wake on LAN 機能を使用してサーバーを起動できない。	1. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用しており、サーバーがイーサネット 5 コネクターを使用してネットワークに接続されている場合、システム・エラー・ログまたは IMM2 システム・イベント・ログを確認して (217 ページの『イベント・ログ』を参照)、次のことを確認します。 a. Emulex デュアル・ポート 10GBase-T 組み込みアダプターが取り付けられている場合、ファン 3 がスタンバイ・モードで稼働していること。 b. 室温が高すぎないこと (8 ページの『サーバーの機能および仕様』を参照)。 c. 通風孔がふさがれていないこと。 d. エアー・バッフルがしっかりと取り付けられていること。 2. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します (350 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し』および 351 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換』を参照)。 3. サーバーの電源をオフにして給電部から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。 4. 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。 2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照)。 • 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 • 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 • Setup ユーティリティーで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 2. 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 3. 取り付けたばかりの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。 外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンも作動しない (サーバーは始動しない)。 **注:** 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	1. 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。 問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (34 ページの『システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。 それでも問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 2a および 2b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 3. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で異なるパワー・サプライを混用すると、システム・エラーの原因となります (フロント・パネル上のシステム・エラー LED、およびオペレーター情報パネル上の PS LED と CONFIG LED が点灯します)。 4. 次の点を確認します。 • 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 • 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 • DIMM が完全に差し込まれている。 • パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 • マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられている。 5. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. オペレーター情報パネル・コネクター b. パワー・サプライ 6. ステップ 5 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 7. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。 これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 8. 212 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 9. 254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail A エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) IMM イベント・ログに Pwr rail A エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサー 1 を取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail A エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 (388 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail B エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) IMM イベント・ログに Pwr rail B エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサー 2 を取り外します。 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail B エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail B エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 (388 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail C エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM2 イベント・ログに Pwr rail C エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 1 • DIMM 1 から 6 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail C エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail C エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 1 から 6 (321 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』 および 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ファン 1 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) (335 ページの『アダプターの取り外し』および 336 ページの『アダプターの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 251 ページの『電源の問題の解決』にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail D エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr rail D エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 2 • DIMM 7 から 12 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail D エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail D エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 7 から 12 (321 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ファン 2 (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、251 ページの『電源の問題の解決』にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail E エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr rail E エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • オプションの DVD ドライブ (取り付けられている場合) • ハード・ディスク • DIMM 13 から 18 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail E エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail E エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 13 から 18 (321 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • ハード・ディスク • オプションの DVD ドライブ (ある場合) (308 ページの『DVD ドライブの取り外し』および 309 ページの『DVD ドライブの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 251 ページの『電源の問題の解決』にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail F エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr rail F エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 4 • DIMM 19 から 24 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail F エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail F エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • DIMM 19 から 24 (321 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』 および 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』参照) • ファン 4 (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) (335 ページの『アダプターの取り外し』および 336 ページの『アダプターの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 251 ページの『電源の問題の解決』にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail G エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr rail G エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 3 • ハード・ディスク • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail G エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail G エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー • ハード・ディスク • ファン 3 (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) (335 ページの『アダプターの取り外し』および 336 ページの『アダプターの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 251 ページの『電源の問題の解決』にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯する、あるいは IMM イベント・ログに Pwr Rail H エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを切り離します。 2. IMM イベント・ログに Pwr rail H エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 3. サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail H エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (404 ページの『システム・ボードの取り外し』および 407 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 4. コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。 IMM イベント・ログに Pwr Rail H エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。 • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) (335 ページの『アダプターの取り外し』および 336 ページの『アダプターの交換』を参照)。 • オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) (335 ページの『アダプターの取り外し』および 336 ページの『アダプターの交換』を参照)。 5. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、 251 ページの『電源の問題の解決』にある処置に従います。 6. Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED がまだ点灯している場合は、パワー・サプライを交換します。
サーバーの電源がオフにならない。	1. ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 a. `Ctrl+Alt+Delete` を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再始動します。 d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	254 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティーで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。
シリアル装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置が正しいコネクターに接続されているか (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/support/jp/ja/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートし、始動可能 (ブート可能) な CD または DVD ドライブが装備されていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定を変更した場合は、CD または DVD ドライブが始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の CD または DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして設定してあるドライブが 1 つだけであることを確認してください。 その 1 次ドライブから CD を始動してください。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。 サポートされているオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide のバージョンのリンクをクリックしてから、サポートされている Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンしてください。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 • サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 • 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 • このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 3. ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**
- **IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	処置
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

235 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。 例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。

このタスクについて

電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. Light Path 診断パネル上で点灯している LED を確認します (205 ページの『Light Path 診断 LED』を参照)。
4. Light Path 診断パネル上のチェック・ログ LED が点灯している場合は、IMM イベント・ログで Pwr Rail の障害がないかを確認し、以下のステップを実行します。 表 18 は、各 Pwr Rail に関連付けられているコンポーネントと、それらのコンポーネントのトラブルシューティングを行う順序を示しています。
   a. すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを外します (278 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。
   b. Pwr Rail 1 エラーの場合、以下のステップを実行します。
      1) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
      2) (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを交換します。
   c. その他の Rail エラーの場合 (Pwr Rail 1 エラーについては、ステップ 4b を参照)、過電流条件の原因が判明するまで、障害のある Pwr Rail に関連付けられた各コンポーネントを、表 18 に示されている順序で一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

表 18. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	**コンポーネント**
Pwr Rail A エラー	• マイクロプロセッサー 1
Pwr Rail B エラー	• マイクロプロセッサー 2

表 18. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント (続き)

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail C エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるオプションのアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 1 • DIMM 1 から 6
Pwr Rail D エラー	• オプションのデュアル・ポート・ネットワーク・アダプター • ファン 2 • DIMM 7 から 12
Pwr Rail E エラー	• オプションの DVD ドライブ (取り付けられている場合) • ハード・ディスク • DIMM 13 から 18
Pwr Rail F エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるオプションのアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 4 • DIMM 19 から 24
Pwr Rail G エラー	• オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 3 • ハード・ディスク • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー
Pwr Rail H エラー	• オプションの PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているオプションのアダプター (ある場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2

   d. 識別したコンポーネントを交換します。

5. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、 212 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
6. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。 サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、 212 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

このタスクについて

以下の手順を試してみてください。

手順

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
  - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
  - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリー 5 の配線を使用する必要があります。
  - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
  - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
  - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

タスクの結果

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

このタスクについて

障害 (継続的または再現性の低い) の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、250 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。 CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、34 ページの表 4を参照してください。 UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、256 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
   - 外付け装置
   - サージ抑制装置 (サーバー上)
   - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
   - 各アダプター
   - ハード・ディスク
   - メモリー・モジュール。 必要な最小構成は、スロット 1 に 2 GB DIMM です。
4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能ならば、IBM に支援を要求するときにこの情報を準備しておいてください。

モデル名とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載されています。

注: 本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

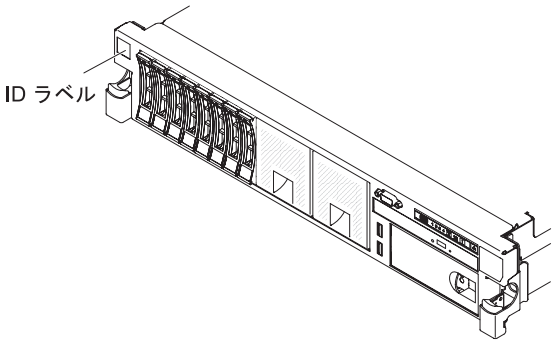


図 146. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは診断テストに失敗しますか?
  - 起こったことは何ですか？ いつ？ どこで？
  - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
  - その障害は再現可能か。
  - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
  - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
  - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)

- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、971 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。 UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、 Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの手動リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. システム・ボード上で UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) を見つけます。

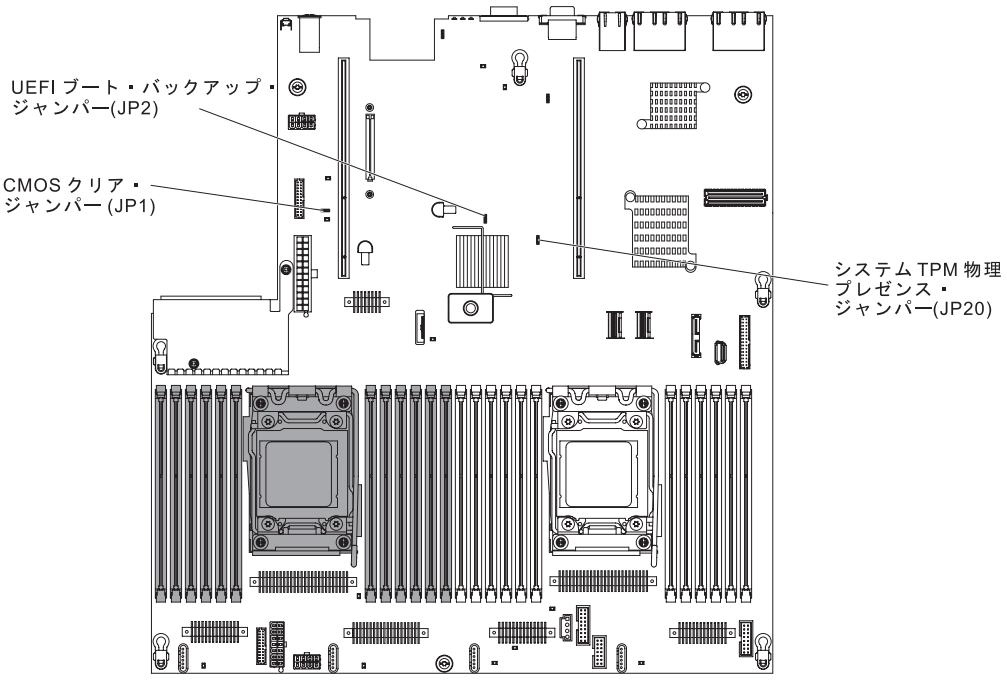


図 147. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。

6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 2 と 3 から基本位置 (ピン 1 と 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (381 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (383 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
19. カバーを再び取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

タスクの結果

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの自動ブート・リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

注: Light Path 診断パネルの BOARD LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または `Booting Backup Image` がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

タスクの結果

アウト・オブ・バンド方式

www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484&brandind=5000008 にある IMM2 の資料 (「*統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド*」) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、 256 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「`Press F3 to restore to primary`」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

Nx 回ブート失敗にはこの情報を使用します。

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 部品リスト、System x3650 M4 Type 7915

System x3650 M4 Type 7915 の部品リスト

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』で特に指定されている場合を除き、System x3650 M4 Type 7915 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

System x3650 M4 Type 7915 の交換可能なサーバー・コンポーネント

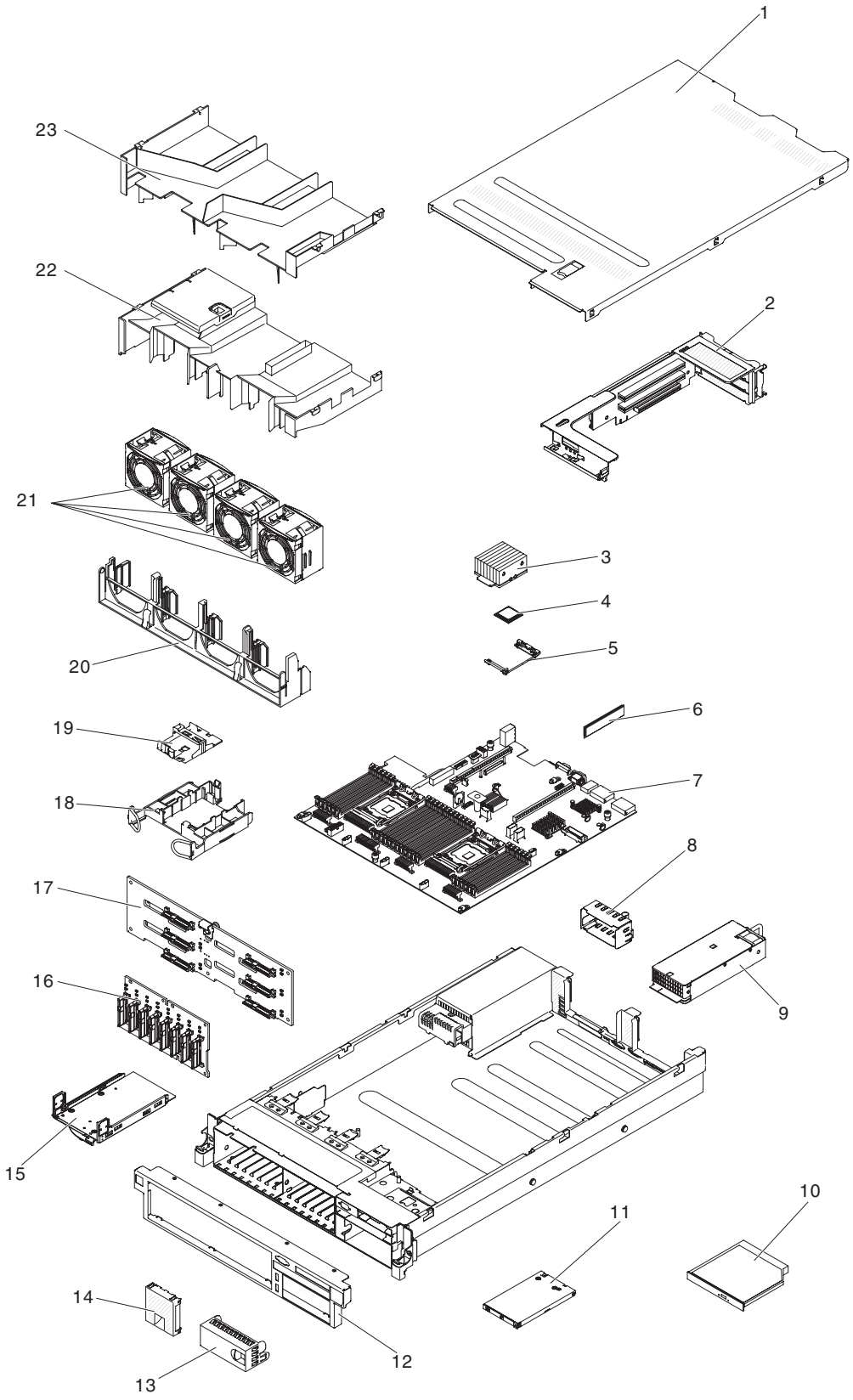
交換可能なコンポーネントは、消耗部品、構造部品、および技術員により交換される部品 (FRU) から構成されています。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、272 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してください。 サービスと支援を受ける方法について詳しくは、971 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、272 ページの『構成部品』を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2013



下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 19. 部品リスト、Type 7915

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	PCI Express ライザー・カード・アセンブリー (x 8)	94Y6704	
2	PCI Express ライザー・カード・アセンブリー (x 16)	94Y6707	
2	PCI-X ライザー・カード・アセンブリー	94Y6706	
2	PCI Express ライザー・カード・アセンブリー (x 16)	00D9530	
3	ヒートシンク、95 ワット		94Y6618
3	ヒートシンク、130 ワット		94Y6614
3	ヒートシンク、135 ワット		94Y6696
	マイクロプロセッサー取り付けツール		94Y9955
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2630L v2、2.4 GHz、15 MB、60 W (6 コア)		00Y2792
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2628L v2、1.9 GHz、20 MB、70 W (8 コア)		00AE525
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2648L v2、1.90 GHz, 25 MB、70 W (10 コア)		00AE523
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2650L v2、1.7 GHz、25 MB、70 W (10 コア)		00Y2793
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2603 v2、1.8 GHz、10 MB、80 W (4 コア)		00Y2778
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2609 v2、2.5 GHz、10 MB、80 W (4 コア)		00Y2779
4	マイクロプロセッサーIntel E5-2620 v2、2.1 GHz、15 MB、80 W (6 コア)		00Y2780
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2630 v2、2.6 GHz、15 MB、80 W (6 コア)		00Y2781
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2640 v2、2.0 GHz、20 MB、95 W (8 コア)		00Y2782
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2650 v2、2.6 GHz、20 MB、95 W (8 コア)		00Y2783
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2660 v2、2.2 GHz、25 MB、95 W (10 コア)		00Y2784
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2670 v2、2.5 GHz、25 MB、115 W (10 コア)		00Y2785
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2680 v2、2.8 GHz、25 MB、115 W (10 コア)		00Y2786
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2695 v2、2.4 GHz、30 MB、115 W (12 コア)		00Y2776
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2637 v2、3.5 GHz、15 MB、130 W (4 コア)		00Y2789
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2643 v2、3.5 GHz、25 MB、130 W (6 コア)		00Y2790
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2667 v2、3.3 GHz、25 MB、130 W (8 コア)		00Y2791

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2690 v2、3.0 GHz、25 MB、130 W (10 コア)		00Y2787
4	マイクロプロセッサー、Intel E5-2697 v2、2.7 GHz、30 MB、1866 MHz、130 W (12 コア)		00Y2777
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2690、2.90 GHz、20 MB、135 W (8 コア)		49Y8115
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2637 3.00 GHz、5 MB、80 W (2 コア)		49Y8124
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2665 2.40 GHz、20 MB、115 W (8 コア)		49Y8142
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650L 1.80 GHz、20 MB、70 W (8 コア)		81Y5160
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2603 1.80 GHz、10 MB、80 W (4 コア)		81Y5161
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2609 2.40 GHz、10 MB、80 W (4 コア)		81Y5163
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2620 2.00 GHz、15 MB、95 W (6 コア)		81Y5164
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630 2.30 GHz、15 MB、95 W (6 コア)		81Y5165
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2640 2.50 GHz、15 MB、95 W (6 コア)		81Y5166
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650、2.00 GHz、20 MB、95 W (8 コア)		81Y5167
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2660 2.20 GHz、20 MB、95 W (8 コア)		81Y5168
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2680 2.70 GHz、20 MB、130 W (8 コア)		81Y5169
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2667 2.90 GHz、15 MB、130 W (6 コア)		81Y5170
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2643、3.30 GHz、10 MB、130 W (4 コア)		81Y5171
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630L 2.00 GHz、15 MB、60 W (6 コア)		81Y5204
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2670 2.60 GHz、20 MB、115 W (8 コア)		81Y9419
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2648L 1.8 GHz、20 MB、70 W (8 コア)		95Y4671
4	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2658 2.1 GHz、20 MB、95 W (8 コア)		95Y4676
5	ヒートシンク・保持モジュール		94Y7739
6	メモリー、2 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1423	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1424	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
6	メモリー、4 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5026	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	49Y1561	
6	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5022	
6	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1425	
6	メモリー、4 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	90Y3180	
6	メモリー、4 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、UDIMM	49Y1422	
6	メモリー、8 GB single-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5038	
6	メモリー、8 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	00D5034	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1415	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D5046	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、UDIMM	00D5018	
6	メモリー、8 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	90Y3111	
6	メモリー、8 GB quad-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1417	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	49Y1565	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	46W0674	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1600MHz、RDIMM	00D4970	
6	メモリー、16 GB dual-rank 1.5 V、DDR3、1866MHz、RDIMM	46W0670	
6	メモリー、16 GB 1.5V DDR3、1333MHz LP HyperCloud DIMM	00D4966	
6	メモリー、32 GB dual-rank 1.35 V、DDR3、1333MHz、RDIMM	90Y3107	
6	メモリー、32 GB 1.5V DDR3、1066MHz LP HyperCloud DIMM	00D5006	
6	メモリー、32 GB quad-rank、1.5 V、DDR3、1866MHz、LRDIMM	46W0763	
7	システム・ボード		00AM209
9	パワー・サプライ、550 ワット、AC - Acbel	94Y8105	
9	パワー・サプライ、550 ワット - Emerson	94Y8065	
9	パワー・サプライ、750 ワット、AC - Delta (この部品は、部品番号 94Y8071 と交換可能です)	94Y8079	
9	パワー・サプライ、750 ワット、AC - Emerson (この部品は、部品番号 94Y8079 と交換可能です)	94Y8071	
9	パワー・サプライ、750 ワット、DC - Emerson	69Y5742	
9	パワー・サプライ、900 ワット、AC - Delta (この部品は、部品番号 94Y8073 と交換可能です)	94Y8067	
9	パワー・サプライ、900 ワット、AC - Emerson (この部品は、部品番号 94Y8067 と交換可能です)	94Y8073	
10	DVD ドライブ、SATA	44W3254	
10	DVD ドライブ、SATA	44W3256	
11	拡張オペレーター情報パネル・キット	00D3863	
11	Operator information panel assembly	90Y5821	
	フィラー、3.5 型ハード・ディスク・ベイ (ホット・スワップ用)	69Y5364	
	フィラー、3.5 型ハード・ディスク・ベイ (シンプル・スワップ用)	69Y5368	
14	フィラー、ハード・ディスク・ベイ (シンプル・スワップ用)	49Y5360	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	テープ・キット (オプション) 以下を含む • 機械的アセンブリー (1) • クランプ、ラウンド・ケーブル (1) • フィラー、テープ・キット 3.5 インチ (1) • ねじ、M3x6 MPC (4)	40K6449	
	追加 8 パック 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン	90Y5875	
16	8 パック 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン	46W9187	
17	6 パック 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン	90Y5091	
20	ファン・ケージ	00AM212	
21	ファン	94Y6620	
	バッテリー、ServeRAID-M5100 シリーズ	81Y4491	
	ハード・ディスク、200 GB SATA	43W7721	
	ハード・ディスク、200 GB SCD	43W7745	
	ハード・ディスク、300 GB SAS	81Y9671	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、146 GB、15 K	90Y8927	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、146 GB、15 K、SED	90Y8945	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 250 GB、7.2 K	81Y9723	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K	90Y8878	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K、SED	90Y8914	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	81Y9727	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、7.2 K	90Y8954	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K	90Y8873	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K、SED	90Y8909	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 900 GB、10 K	81Y9651	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、900 GB、10 K SED	81Y9663	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9691	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9731	
	ハード・ディスク、2.5 型、ホット・スワップ 1 TB、7.2K SAS SAP	90Y8866	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、300 GB、15 K、SAS	49Y6093	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、450 GB、15 K、SAS	49Y6098	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、500 GB、7.2 K、NL SATA	81Y9787	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、600 GB、15 K、SAS	49Y6103	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9791	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K	90Y8568	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K、NL SATA	81Y9795	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K	90Y8573	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K	81Y9799	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K	90Y8578	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、4 TB、7.2K、NL SATA	49Y6003	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、500 GB、7.2 K	81Y9803	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、1 TB、7.2 K	81Y9807	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、2 TB、7.2 K	81Y9811	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、3 TB、7.2 K	81Y9815	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、4 TB、7.2K NL SATA	49Y6013	
	ソリッド・ステート・ドライブ、200 GB	40K6897	
	ソリッド・ステート・ドライブ、50 GB	43W7729	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、64 GB	49Y5835	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、100 GB	00W1121	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、128 GB	00W1223	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、200 GB	49Y6120	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、256 GB	00W1228	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、256 GB	49Y5994	
	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型、SATA、400 GB	49Y6125	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、64 GB	49Y5840	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、100 GB	00W1126	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、100 GB	00W1131	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、128 GB	90Y8649	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、200 GB	49Y6130	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、256 GB	90Y8644	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、400 GB	49Y6135	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、800 GB	49Y6140	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、512 GB	49Y5845	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、256 GB	90Y8664	
	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、128 GB	90Y8669	
	ソリッド・ステート・ドライブの背面パネル・ケージ、1.8 型		59Y6222

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	HBA 4 GB FC PCI-e シングル・ポート・アダプター	00Y5626	
	HBA 4 GB FC PCI-e デュアル・ポート・アダプター	00Y5627	
	NetXtreme II 1000 Express イーサネット・アダプター	39Y6070	
	PRO 1000 PF サーバー・アダプター	42C1752	
	QLogic 10GB CNA	00Y3274	
	QLogic 10 GB デュアル・ポート CNA	42C1802	
	Qlogic 10 GB SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816	
	Qlogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA	90Y4605	
	Qlogic デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA	90Y5099	
	Brocade 10GB SFP+ SR 光トランシーバー	42C1819	
	HBA 10 GB アダプター	42C1822	
	Emulex 8 GB PCIe シングル・ポート・アダプター	42D0491	
	Emulex 8 GB PCIe デュアル・ポート・アダプター	42D0500	
	Qlogic 8 GB シングル・ポート・アダプター	00Y5628	
	HBA 8 GB デュアル・ポート。アダプター	00Y5629	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro 600	43V5931	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro 2000	43V5939	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K200	90Y2379	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K5000	90Y2387	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Tesla K20 (Actively Cooled)	90Y2391	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro FX4000 PCI Express x 16		90Y2330
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro 6000 PCI Express x 16	43V5921	
	FC 4 GB PCIe シングル・ポート・アダプター	43W7510	
	FC 4 GB PCIe デュアル・ポート・アダプター	43W7512	
	6 Gb SAS HBA	46C8935	
	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
	IBM 6 Gb Performance Optimized HBA	46C8937	
	300 GB High IOPS MLC モジュラー・アダプター	90Y4362	
	300 GB High IOPS SLC モジュラー・アダプター	90Y4374	
	365 GB High IOPS MLC Mono adapter	46C9079	
	600 GB High IOPS MLC モジュラー・アダプター	90Y4366	
	785 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9082	
	800 GB High IOPS MLC モジュラー・アダプター	90Y4370	
	10 GB SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	6 Gb SSD HBA	46M0913	
	Brocade 8 GB シングル・ポート・アダプター	46M6061	
	Brocade 9 GB デュアル・ポート・アダプター	46M6062	
	10GbE SW SFP+ トランシーバー	46W4236	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Solarflare SFN5162F MR デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9955	
	Solarflare SFN6122F LL デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C9963	
	デュアル・ポート・アダプター	94Y5166	
	クアッド・ポート・アダプター	94Y5167	
	Broadcom NetXtreme II 10 GB デュアル・ポート BaseT アダプター	49Y7912	
	NetXtreme II 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター	49Y7947	
	NetXtreme II 1000 Express 4 ポート・イーサネット・アダプター	49Y7949	
	X520-DA2 10 GB Express デュアル・ポート SFP+ アダプター	49Y7962	
	X520 デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込みアダプター	49Y7982	
	Brocade HBA 4 GB FC シングル・ポート	59Y1992	
	Brocade HBA 4 GB FC デュアル・ポート	59Y1998	
	HBA 6 GB アダプター SAS	68Y7354	
	IBM LLM-SM デュアル・ポート 10Gbe SFP+ アダプター	00D9502	
	Emulex 16Gb FC 単一ポート HBA	81Y1658	
	Emulex 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1665	
	Brocade 16Gb FC 単一ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	6 GB パフォーマンス最適化 HBA	90Y4356	
	Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III アダプター	90Y5100	
	Emulex 10GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3766	
	Emulex デュアル・ポート 10 GBase-T 組み込みアダプター	90Y5101	
	デュアル・ポート FDR 組み込みアダプター	00J6248	
	Mellanox ConnectX-3 VPI 単一ポート QSFP FDR14 40GbE HCA	00W0039	
	Mellanox ConnectX-3 10 GbE アダプター	00D9692	
	Mellanox ConnectX-3 デュアル・ポート QDR/FDR10 Mezz カード	90Y4956	
	Mellanox ConnectX-3 EN デュアル・ポート QSFP+ 40GbE アダプター	95Y3461	
	アダプター、DVI から VGA への変換アダプター	25R9043	
	ServeRAID-M1015	46C8933	
	ServeRAID-M1015 SAS/SATA アダプター	46M0861	
	ServeRAID-B5015 SSD アダプター	46M0970	
	ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプター	81Y4479	
	ServeRAID M5210 SAS/SATA アダプター	46C9111	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	81Y4485	
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9029	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
	ServeRAID M5200 シリーズ 2GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
	ServeRAID M5110 SAS/SATA アダプター	00AE807	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	熱伝導グリース・キット		41Y9292
	アルコール・ワイプ		59P4739
	バッテリー、ServeRAID	81Y4579	
	USB モジュール・キット	94Y6629	
	電源パドル・カード	69Y5787	
	電源アダプター	44E8879	
	テープ、160 GB カートリッジ	46C5393	
	テープ、320 GB カートリッジ	46C5394	
	テープ、500 GB カートリッジ	46C5395	
	コード、電源コード	39M5377	
	ケーブル、フラッシュ電源モジュール・ケーブル、925 mm (ServRAID M5200 シリーズ・フラッシュ用)	46C9793	
	ケーブル、24 インチ SATA	25R5635	
	ケーブル、SAS Y ケーブル	44E8878	
	ケーブル、SAS Y ケーブル	49Y9901	
	ケーブル、USB	44E8883	
	ケーブル、USB 1 m	44E8893	
	ケーブル、USB	46M6475	
	ケーブル、USB	46M6477	
	ケーブル、USB	81Y3643	
	ケーブル、mini-SAS、820 mm (12Gb RAID 用)	00Y8433	
	ケーブル、mini-SAS HD、925 mm (12Gb RAID 用)	00Y7674	
	ケーブル、SAS 610 mm	00D3276	
	ケーブル、SAS	69Y2281	
	ケーブル、SAS 820 mm	81Y6674	
	ケーブル、SATA スリムライン	81Y6774	
	ケーブル、2.5 型 HDD I2C	46W8469	
	ケーブル、スペック電源アセンブリー	00D3334	
	ケーブル、USB	81Y6770	
	ケーブル、3.5 型 HDD 電源	81Y6771	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ケーブル、3.5 型 HDD バックプレーン	81Y6773	
	ケーブル、3.5 型シンプル・スワップ・パネル	81Y6776	
	ケーブル、2.5 型 HDD 電源	81Y6772	
	ケーブル、2.5 型 HDD I2C	00D3049	
	ケーブル、3-4 I2C	00D3910	
	ケーブル、電源	00D3911	
	ケーブル、Q6000 電源 R2	00D4010	
	ケーブル、mini SAS	00D4012	
	ケーブル・アセンブリー、2.5 型 HDD シングル・スワップ	00D4016	
	ケーブル、1.8 型 SSD ホット・スワップ電源	00D4021	
	ケーブル、Q6000 電源 R1	00D9507	
	ケーブル、VGA	81Y6775	
	ケーブル、2 x 3 VGA 900 mm	90Y5906	
	ケーブル、操作パネル	90Y4768	
	ケーブル、USB 変換	39M2909	
	ケーブル、USB 3.0	46C2598	
	ケーブル、USB A-B RDX	69Y5335	
	ケーブル、USB A-B DDS	94Y6675	
	ケーブル、mini SAS 1 m	39R6530	
	ケーブル、mini SAS 3 m	39R6532	
	ケーブル、シリアル変換	46M4027	
	ケーブル、仮想メディア Gen 2	46M4028	
	ケーブル、グラフィックス電源	49Y4402	
	ケーブル、テープ電源	81Y6789	
	ケーブル、130-155 Searay	90Y4661	
	ケーブル、iBBU09 リモート	90Y7309	
	ケーブル、スーパーキャップ	90Y7310	
	ドライブ、5.25 型、36 GB、USB	99Y3868	
	ドライブ、5.25 型、80 GB、USB	99Y3870	
	内部 RDX USB 3.0 ドライブ・ドック	46C2346	
	外部 RDX USB 3.0 ドライブ・ドック	46C2347	
	外部 RDX 電源アダプター	81Y8905	
	ラベル、3.5 型ハード・ディスク・モデルのサービス	94Y6720	
	ラベル、2.5 型ハード・ディスク・モデルのサービス	94Y6722	
	ラベル、シャーシ	94Y6721	
	ハーフハイト LTO Gen 3 SAS テープ・ドライブ	46X5663	
	ハーフハイト LTO Gen 4 SAS テープ・ドライブ	46X5672	
	ハーフハイト LTO Gen 5 SAS テープ・ドライブ	46X5683	
	ハーフハイト LTO Gen 6 SAS テープ・ドライブ	35P1049	

表 19. 部品リスト、Type 7915 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	USB 光学式ホイール・マウス	39Y9875	
	キーボード、UltraNav USB	40K9400	
	キーボード、USB	42C0060	
	ブランク USB メモリー・キー (VMWare ESXi ダウンロード用)	42D0545	
	スーパーキャップ・パック	47C8696	

構成部品

構造部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。 構造部品は IBM 小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 20. 構造部品、Type 7915

索引	説明	部品番号
	3.5 型トップ・カバー	94Y6616
1	2.5 型トップ・カバー	94Y6622
8	パワー・サプライ・ベイ・フィラー	94Y7610
	ベゼル、6 ハード・ディスク (テープ・ドライブ付き)	94Y6613
12	ベゼル、16 ハード・ディスク (テープ・ドライブ付き)	94Y6623
13	フィラー、テープ・ドライブ・ベイ	41Y8739
18	リモート・バッテリー・トレイ	94Y6615
19	リモート RAID バッテリー・トレイ	94Y7609
22	通気バッフル	94Y6624
23	バッフル	00D9458
	フィラー、DVD ブランク	94Y6718
	フィラー、EMC	44T2248
	フィラー、ファン・ブランク	94Y6736
	フィラー、ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型	49Y4936
	EIA セット・キット	49Y5356
	4 ドライブ・フィラー・パネル、ホット・スワップ	49Y5359
	3.5 型機械的シャーシ	94Y6617
	2.5 型機械的シャーシ	94Y6628
	2.5 型ベア・シャーシ	00J6531
	3.5 型ベア・シャーシ	00J6532
	安全カバー	94Y6619
	スライド・レール・キット、Gen-III	94Y6625
	スライド・レール・キット、汎用	94Y6719
	CMA キット、Gen-III	94Y6626
	CMA キット、Gen-III 2U	94Y6627
	CMA キット、2U/4U	68Y7213

表 20. 構造部品、Type 7915 (続き)

索引	説明	部品番号
	CMA キット	49Y4817
	各種部品キット	94Y6746
	テープ MT ブラケット	41Y7711

構成部品は、以下の手順で注文してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

1. http://www.ibm.com にアクセスしてください。
2. 「**Products**」メニューから「**Upgrades, accessories & parts**」を選択します。
3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。 感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。 これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの 部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P

電源コードの部品番号	説明
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela

電源コードの 部品番号	説明
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240	Brazil

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、 261 ページの『第 5 章 部品リスト、System x3650 M4 Type 7915』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、 971 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

© Copyright IBM Corp. 2013

内部ケーブルのルーティングおよびコネクター

このセクションでは、サーバーに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

以下の注意書きでは、ケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- ケーブルを取り外すには、ケーブルをシャーシ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクターからケーブルを引いて取り外します。 過剰な力でケーブルをコネクターから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- ケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。

一般

DVD ドライブの配線

DVD ドライブに関する内部ルーティングおよびコネクター。

注:

1. オプションの光学式ドライブ・ケーブルを切り離すには、最初にコネクターのリリース・タブを押し、次にシステム・ボードのコネクターからケーブルを切り離す必要があります。 ケーブルは、無理やり切り離さないでください。
2. 図に示された光学式ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。ケーブルが挟まっていないか、およびシステム・ボード上のコネクターを覆っていたり、コンポーネントの障害となっていないか確認してください。

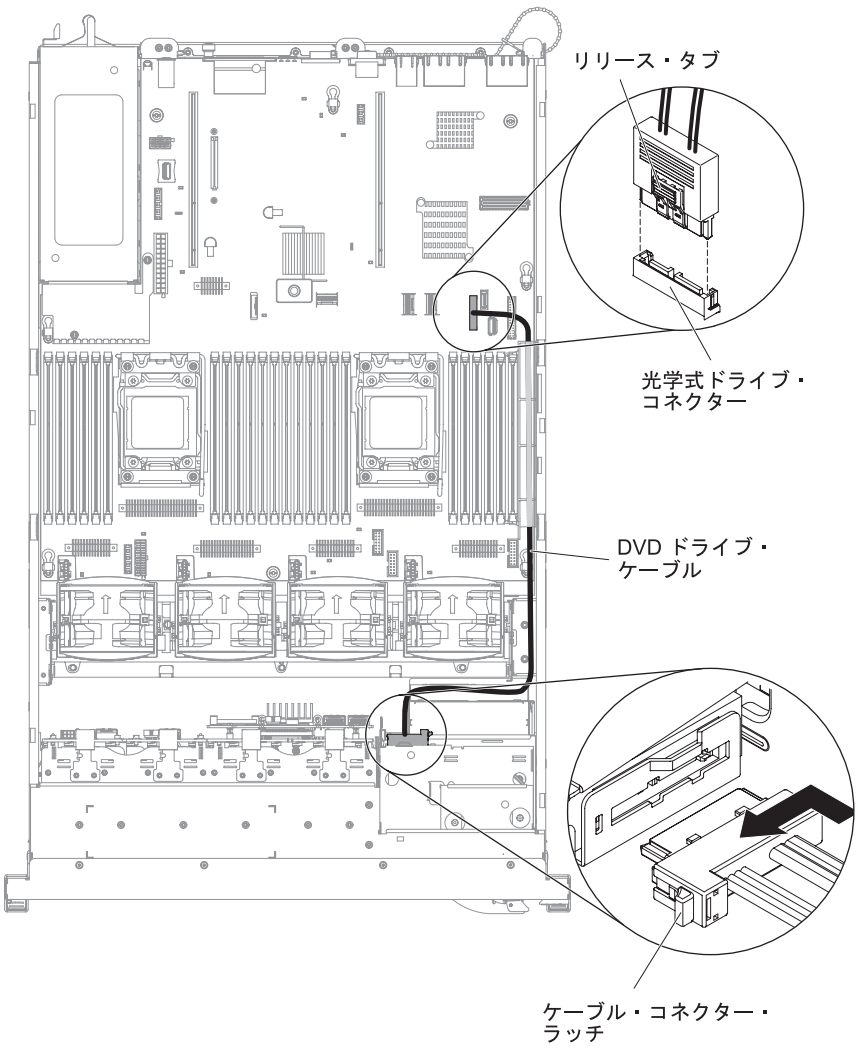


図 148. DVD ドライブのケーブル接続

前面 USB およびビデオ・コネクターの配線

前面 USB およびビデオのケーブルに関する内部ルーティングおよびコネクター。

以下の注意書きでは、前面 USB およびビデオのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- 前面 USB およびビデオのケーブルを取り外すには、ケーブルをシャーシ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクターからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクターから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- 前面 USB およびビデオのケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。 ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。

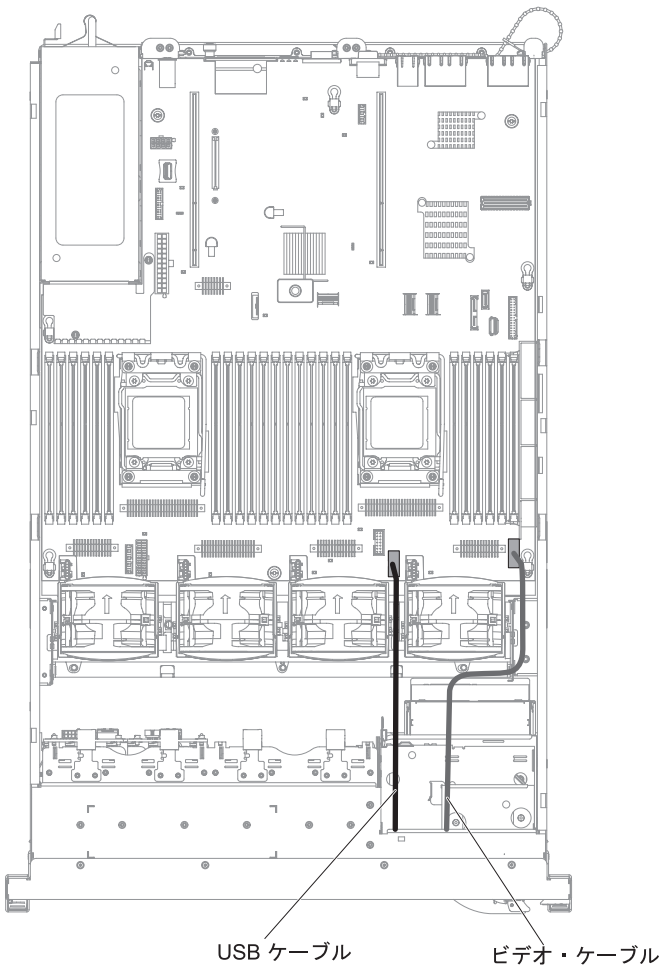


図 149. 前面 USB およびビデオのケーブル接続

オペレーター情報パネルの配線

オペレーター情報パネルに関する内部ルーティングおよびコネクター。

以下の注意書きでは、オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- オプションの光学式ドライブ・ケーブルを取り外すことで、オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けあるいは取り外しを行うためのスペースを確保することができます。
- オペレーター情報パネルのケーブルを取り外すには、ケーブルをファン・ケージ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクターからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクターから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- オペレーター情報パネルのケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。

重要: ケーブルの取り付けや取り外しを慎重に行わないと、システム・ボード上のコネクターが損傷する可能性があります。コネクターが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

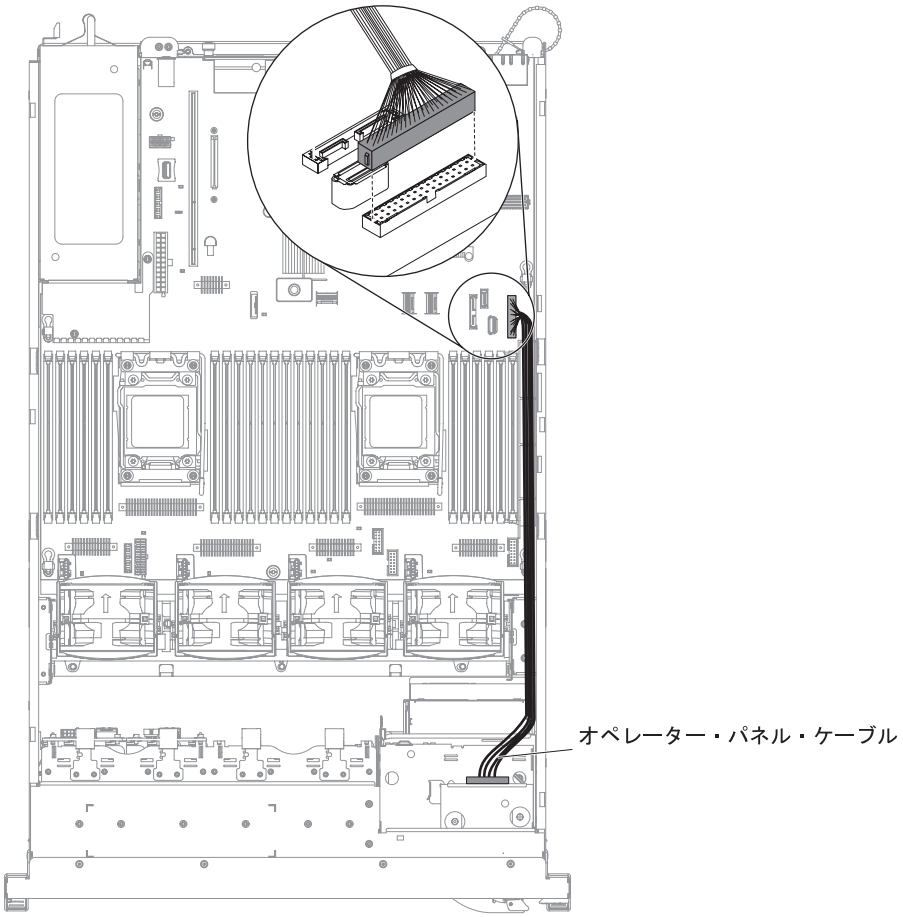


図 150. オペレーター情報パネルのケーブル接続

VGA コネクターの配線

前面 USB およびビデオのケーブルに関する内部ルーティングおよびコネクター。

次の図は、ビデオ・グラフィックス・アダプター (VGA) ケーブルに関する内部ルーティングおよびコネクターを示しています。

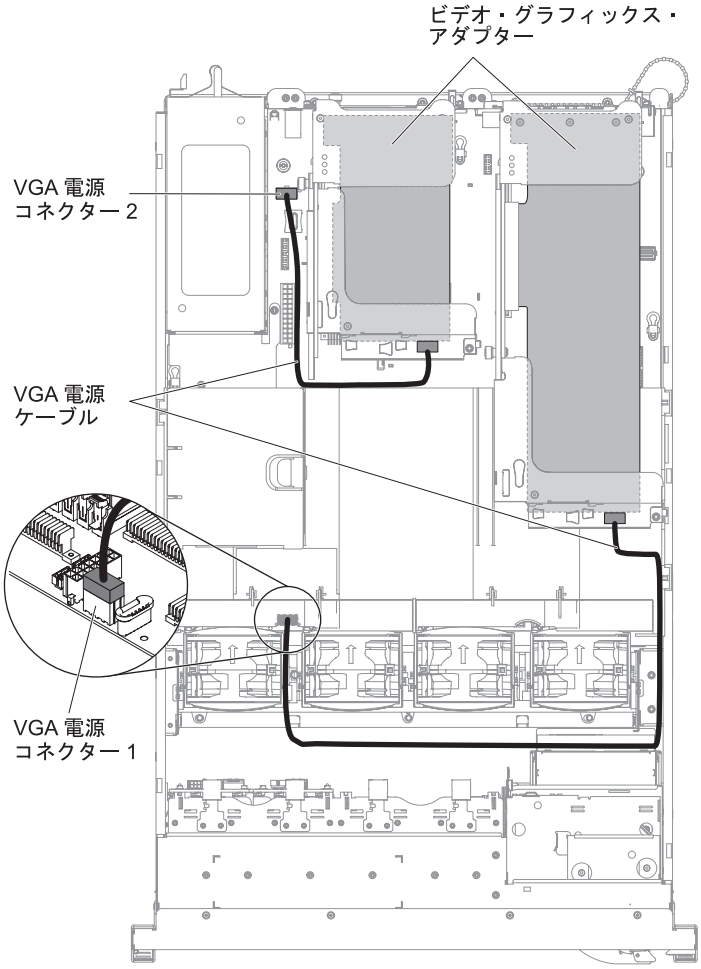


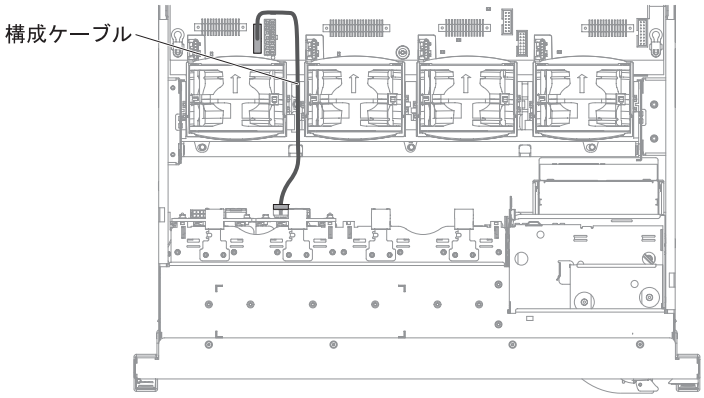
図 151. VGA ケーブル接続

2.5 型ハード・ディスクのケーブル接続

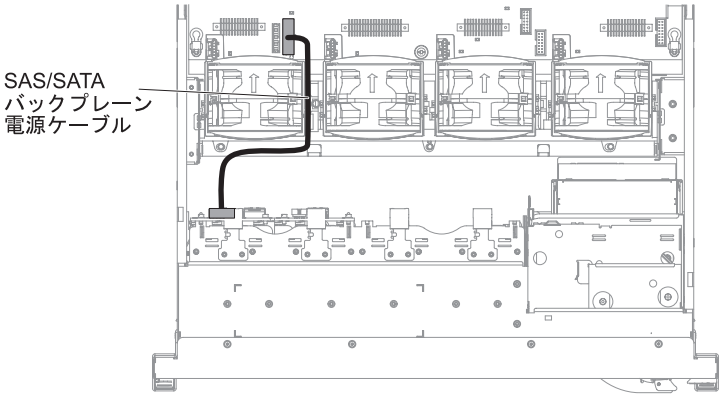
8 ドライブ対応モデル

次の図は、8x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・ベイのモデルの配線情報を示しています。

次の図は、サーバーの構成ケーブルの配線情報を示しています。



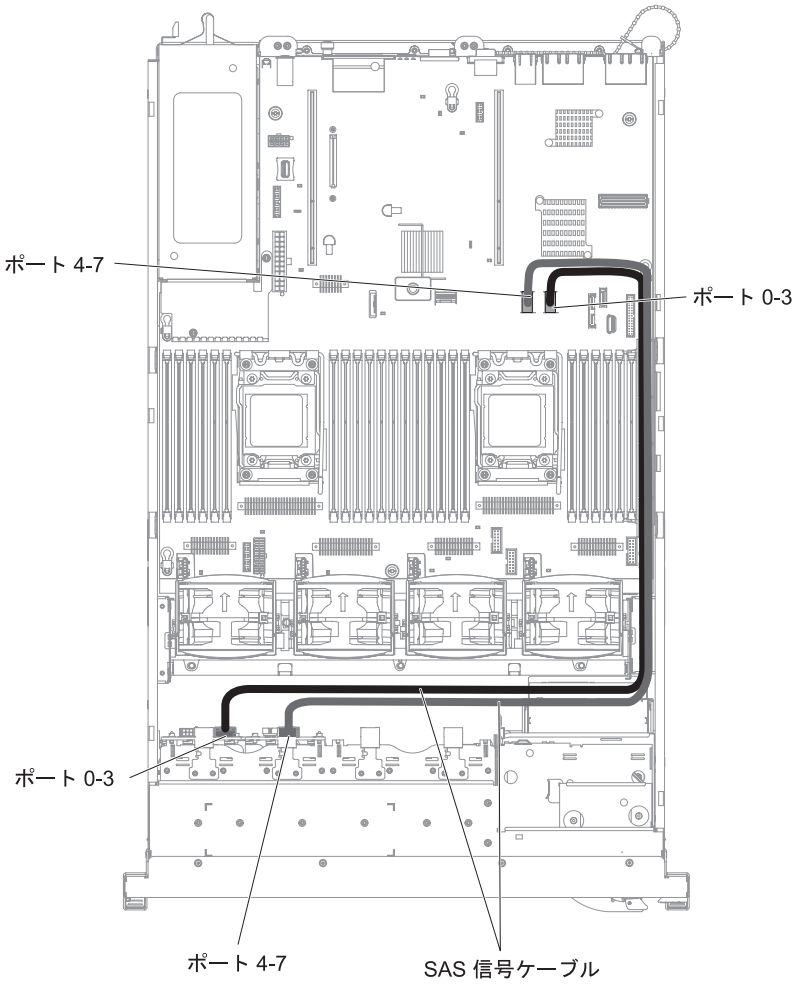
次の図は、サーバーの電源ケーブルの配線情報を示しています。



次の図は、サーバーのハードウェア RAID ケーブルの配線情報を示しています。

注:

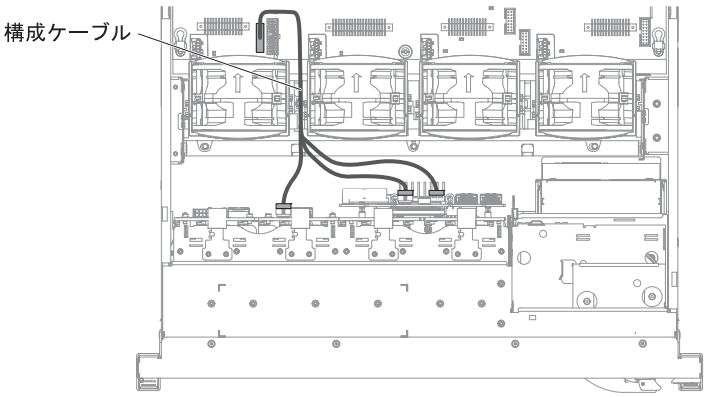
1. SAS 信号ケーブルを接続するには、必ず最初に信号ケーブルを、次に電源ケーブルと構成ケーブルを接続するようにしてください。
2. SAS 信号ケーブルを切り離すには、必ず最初に電源ケーブルを、次に信号ケーブルと構成ケーブルを切り離すようにしてください。



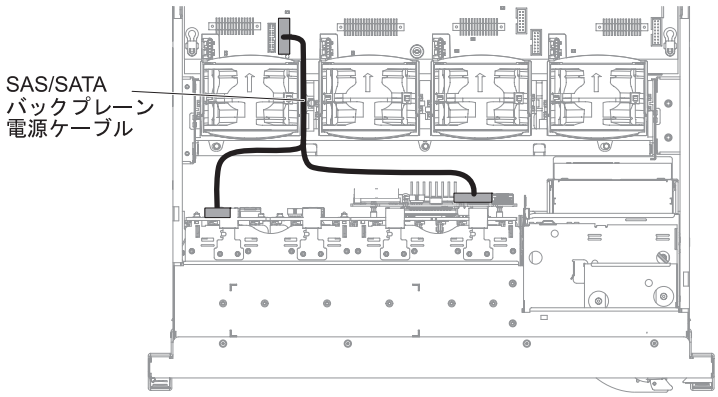
16 ドライブ対応モデル

次の図は、16x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・モデルの配線情報を示しています。

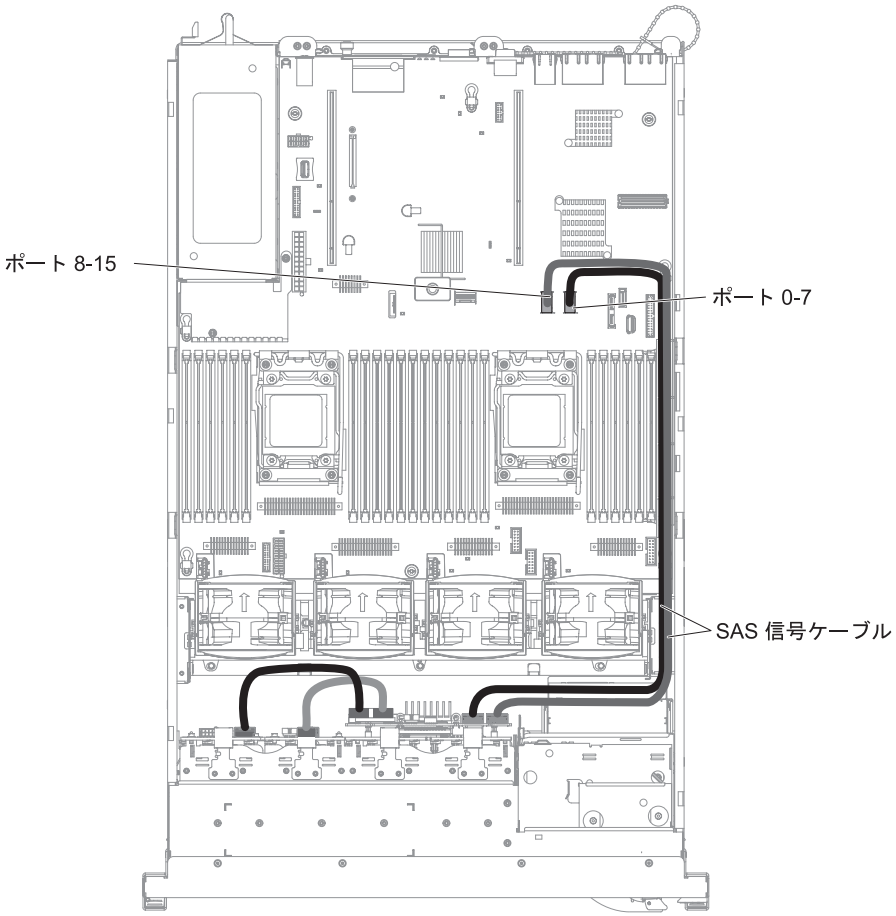
次の図は、サーバーの構成ケーブルの配線情報を示しています。



次の図は、サーバーの電源ケーブルの配線情報を示しています。



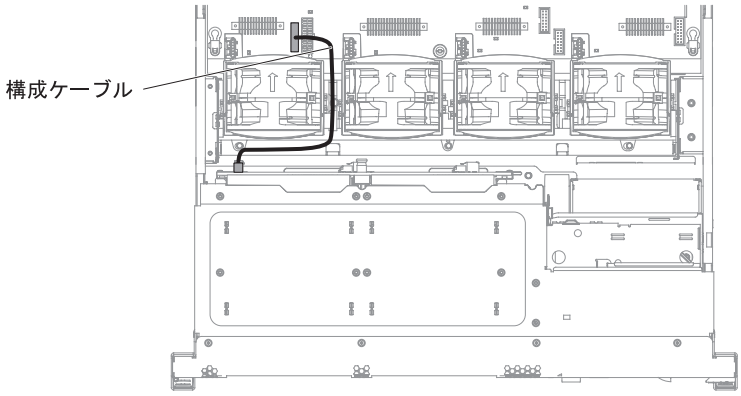
次の図は、サーバーのハードウェア RAID ケーブルの配線情報を示しています。



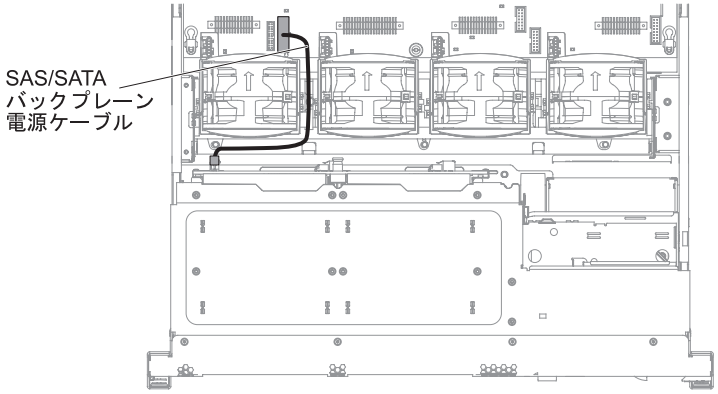
3.5 型ハード・ディスクのケーブル接続

次の図は、3.5 型ドライブ・モデルの配線情報を示しています。

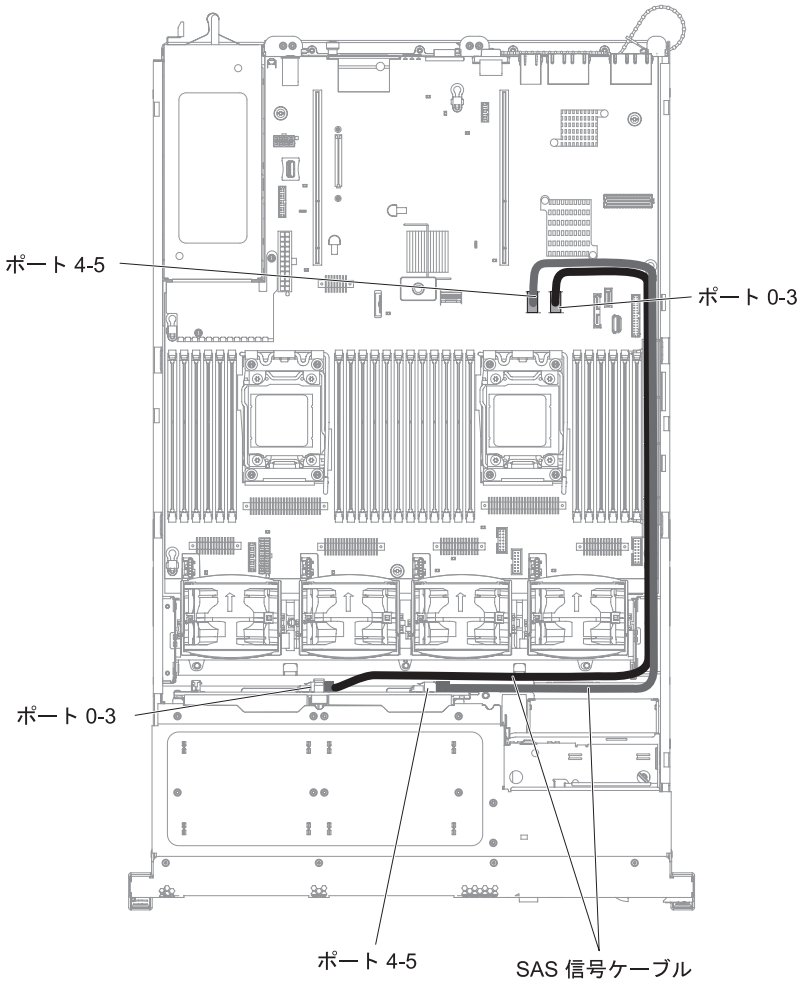
次の図は、サーバーの構成ケーブルの配線情報を示しています。



次の図は、サーバーの電源ケーブルの配線情報を示しています。



次の図は、サーバーのハードウェア RAID ケーブルの配線情報を示しています。



サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内のコンポーネントの取り外しと交換について説明します。

構成部品の取り外しと交換

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。

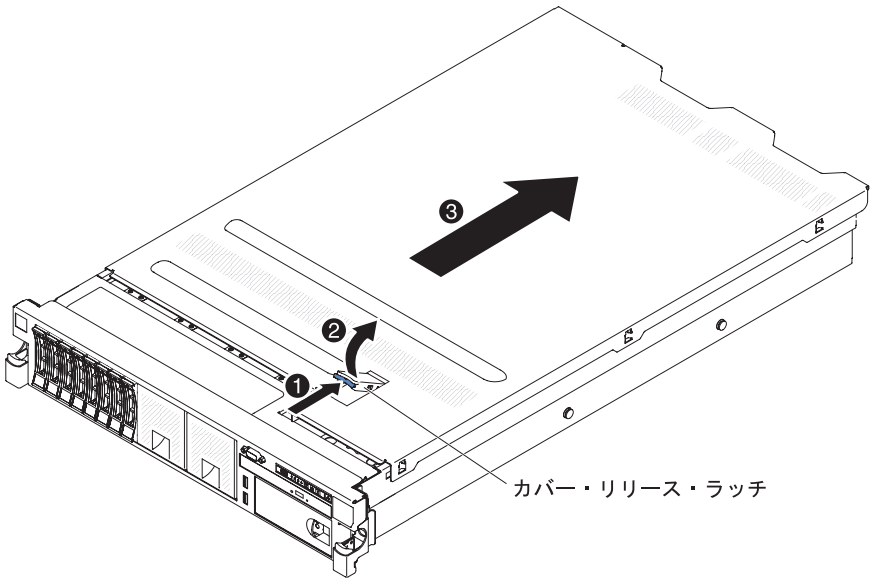


図 152. カバーの取り外し

4. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチをしっかりを引き上げ、カバーをシャーシから外れるまでサーバー後部に向けてスライドさせます。
5. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

タスクの結果

カバーの交換

以下の情報を使用して、サーバー・カバーを交換します。

このタスクについて

サーバー・カバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。 また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

   重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。 すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難になります。
2. カバーをサーバー上部に置きます。
3. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。
4. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
5. カバー上部にある青色のラッチを押し下げます。

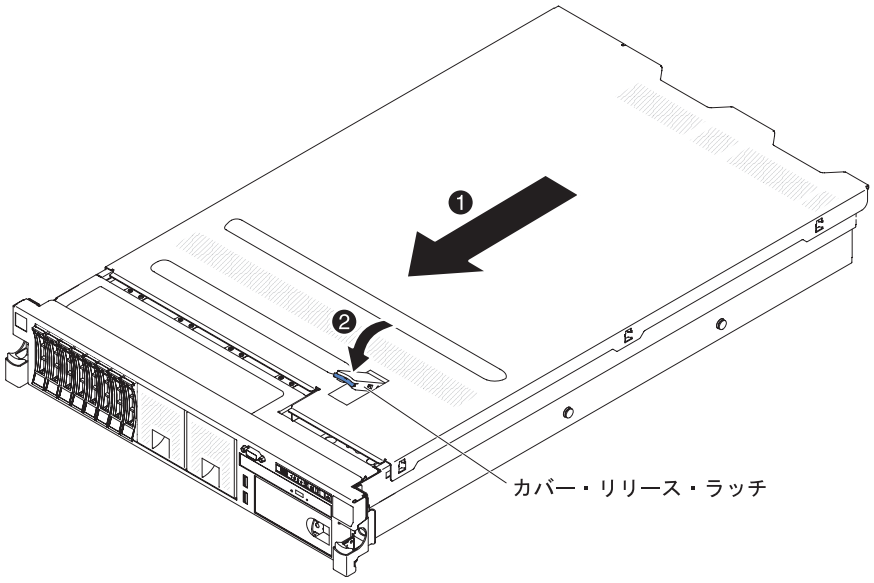


図 153. カバーの取り付け

6. サーバーをラックの奥までスライドさせると、ラッチが掛かります。
7. 外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

エアー・バッフルの取り外し

一部のオプション装置を取り扱う場合、システム・ボード上の特定のコンポーネントまたはコネクターにアクセスするために、最初にエアー・バッフルを取り外す必要があります。 次の図は、エアー・バッフルを取り外す方法を示しています。

このタスクについて

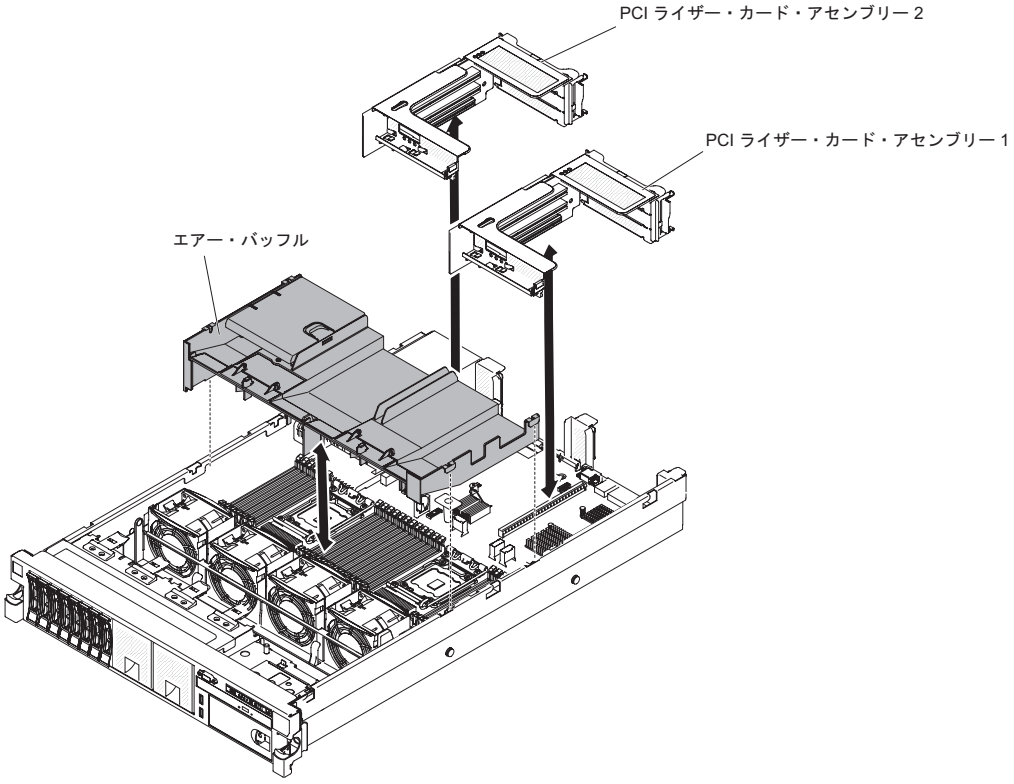


図 154. エアー・バッフルの取り外し

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (27 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフル上部の前面および背面の下に指を入れて、エアー・バッフルを持ち上げてサーバーから取り外します。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

このタスクについて

エアー・バッフルを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフル・ピンをシャーシ両側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、エアー・バッフルをサーバー内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

   注: 適切な冷却を確保するために、エアー・バッフルを取り付ける前に DIMM コネクターの両端の保持クリップを閉じます。

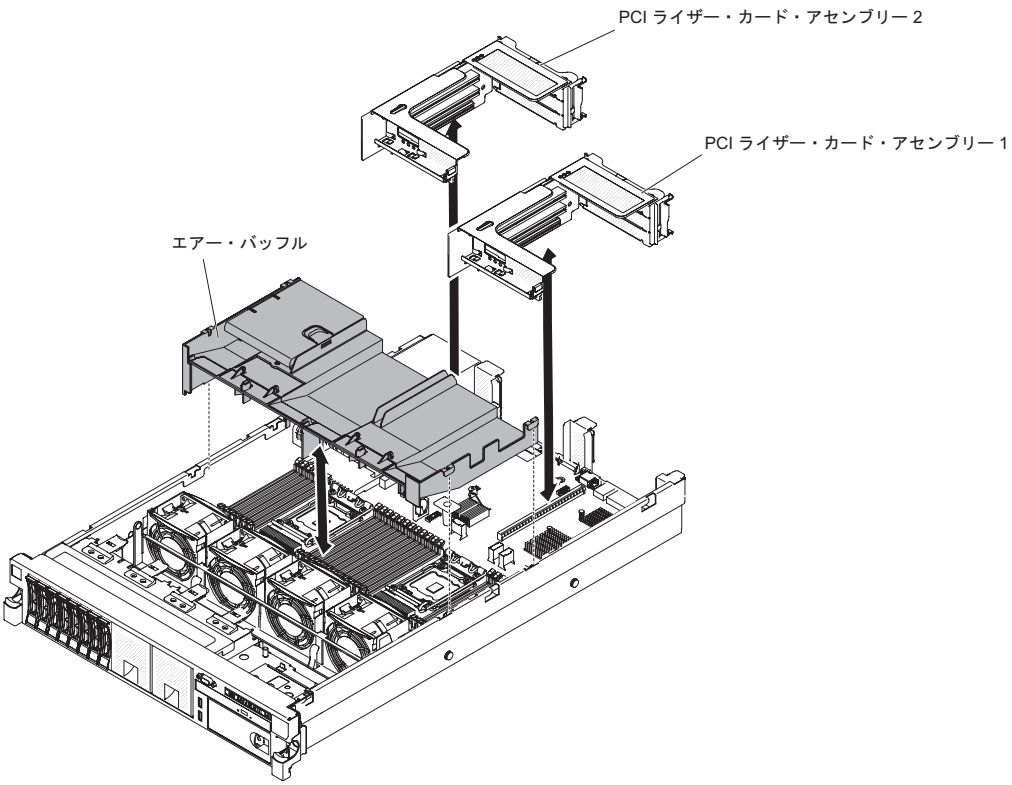


図 155. エアー・バッフルの取り付け

5. PCI ライザー・カード・アセンブリーが拡張位置にある場合は、元に戻します。
6. カバーを再び取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリーがファン・ケージの近くに取り付けられており、それを交換する必要がある場合は、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. フィラーを取り外し、バッテリー・ホルダーのループを相互に引き寄せ、ケージをドライブ・ベイから約 25 mm 引き出します。

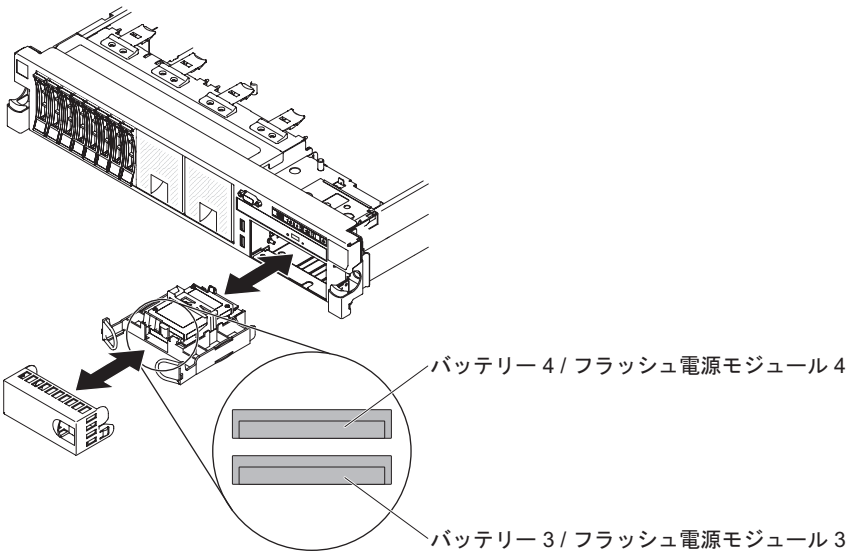


図 156. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

4. バッテリー電源ケーブルを切り離します。
5. ドライブを完全にベイから引き出します。
6. ベイに別のドライブを取り付けない場合は、空のドライブ・ベイにフィラー・パネルを挿入します。

タスクの結果

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部装置を切り離してから、カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. オプションの ServeRAID アダプター・バッテリーを取り付けます (347 ページの『サーバーの RAID アダプターのリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの交換』を参照)。
4. ハンドルをつかみ、ホルダーをスライドさせてベイの途中まで差し込みます。

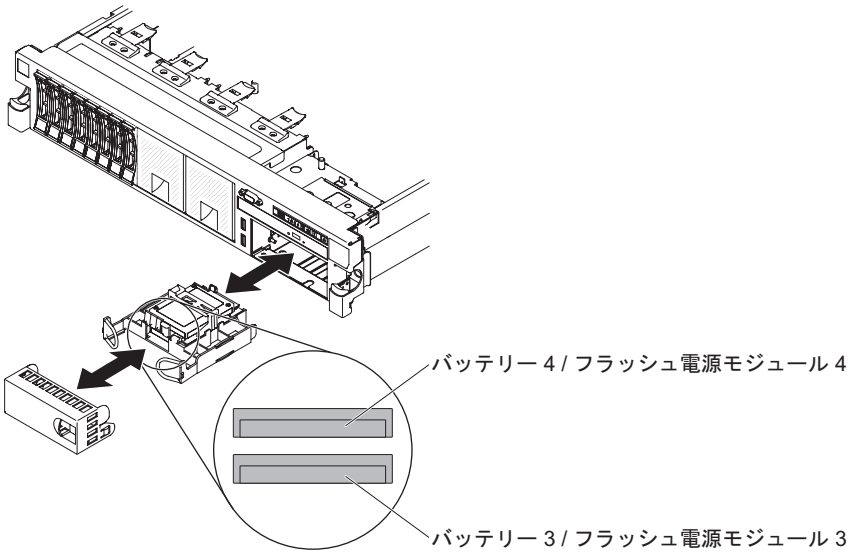


図 157. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り付け

5. バッテリー電源ケーブルを ServeRAID コネクターに接続します。
6. バッテリー・ホルダーがエアー・バッフルにしっかりと固定されていることを確認します。
7. フィラーを取り付けます。
8. カバーを再取り付けします (289 ページの『カバーの交換』参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

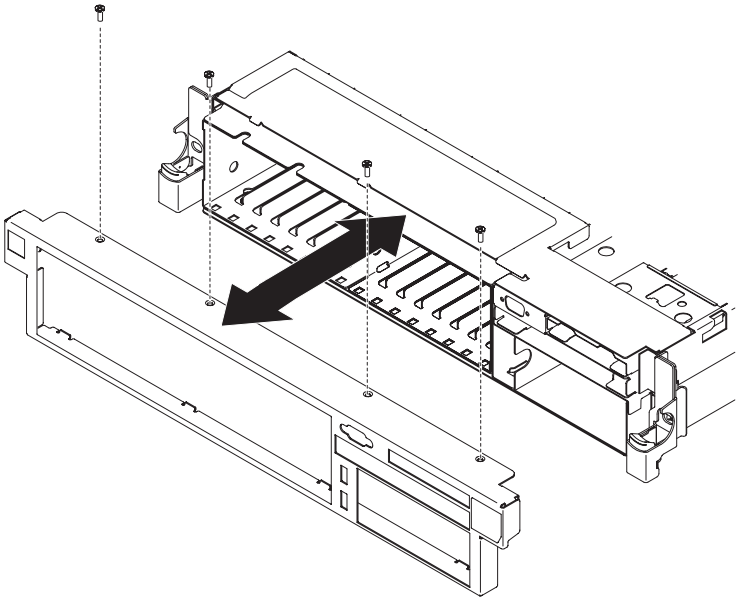


図 158. ベゼルの取り外し

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバー前面に接続されているすべてのケーブルを取り外します。
3. ベゼルからねじを取り外します。
4. ベゼルの上部をサーバーから離します。

ベゼルの交換

ベゼルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り付けるには、次のステップを行います。

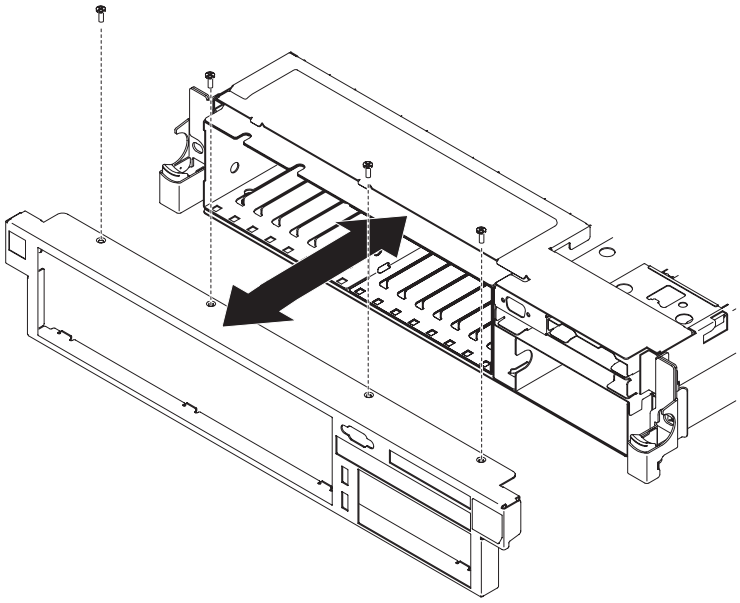


図 159. ベゼルの取り付け

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼル下部のタブをシャーシの下側のスロットに挿入し、ねじで取り付けます。
4. サーバー前面から取り外していたケーブルを接続します。

240 VA 安全カバーの取り外し

240 VA 安全カバーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

240 VA 安全カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 安全カバーからねじを取り外します。

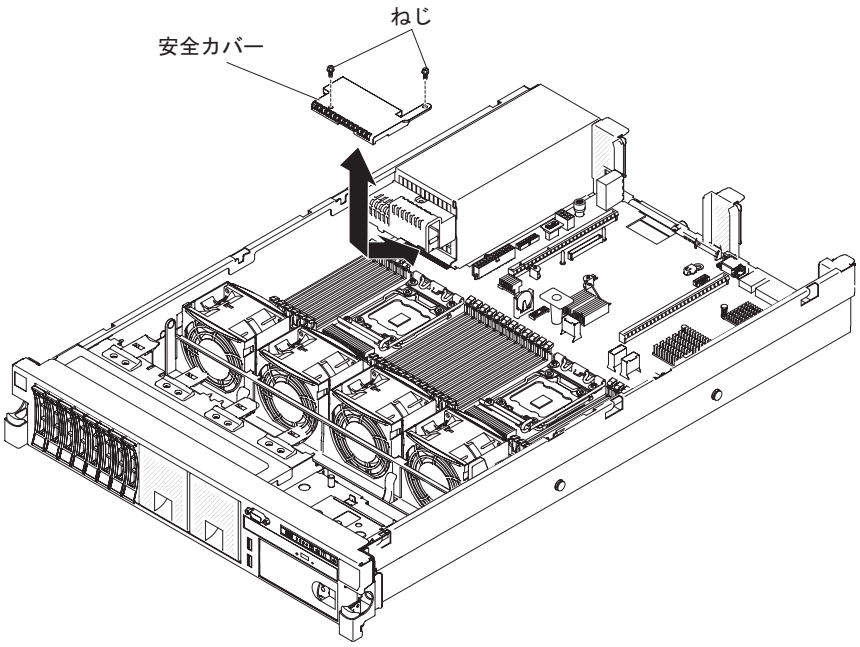


図 160. 240 VA 安全カバーの取り外し

5. ハード・ディスク・バックプレーンの電源ケーブルを安全カバー前面のコネクターから切り離します。
6. カバーを前方にスライドさせてシステム・ボードから外し、持ち上げてサーバーから取り外します。
7. 240 VA 安全カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

240 VA 安全カバーの交換

240 VA 安全カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

240 VA 安全カバーを取り付けるには、次のステップを実行します。

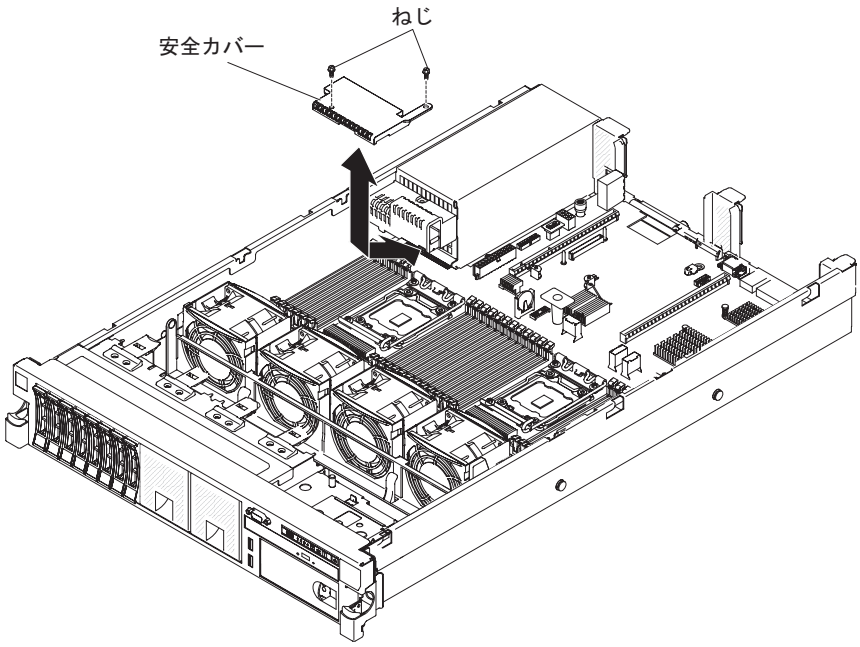


図 161. 240 VA 安全カバーの取り付け

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 安全カバーの下部のタブの位置を調整し、システム・ボードのスロットに挿入します。
4. 安全カバーが固定されるまでサーバーの後方向にスライドさせます。
5. ハード・ディスク・バックプレーンの電源ケーブルを安全カバー前面のコネクターに接続します。
6. 安全カバーにねじを取り付けます。
7. カバーを再取り付けします (289 ページの『カバーの交換』参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- ハード・ディスク・コネクターを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ディスク・ドライブ、ディスク・ドライブ・コントローラー (システム・ボードに組み込まれたコントローラーを含む)、ディスク・ドライブ・バックプレーン、またはディスク・ドライブ・ケーブルを変更する前に、ハード・ディスクに保管されているすべての重要なデータをバックアップしてください。
- RAID アレイのいずれかのコンポーネントを取り外す前には、すべての RAID 構成情報をバックアップしてください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ドライブをサーバーから取り外す前に、特に RAID アレイの一部である場合は、必ずドライブ上のデータを保管したことを確認します。
3. リリース・ラッチ (オレンジ色) を左方にゆっくりとスライドさせて、ドライブ・ハンドルのロックを解除します。

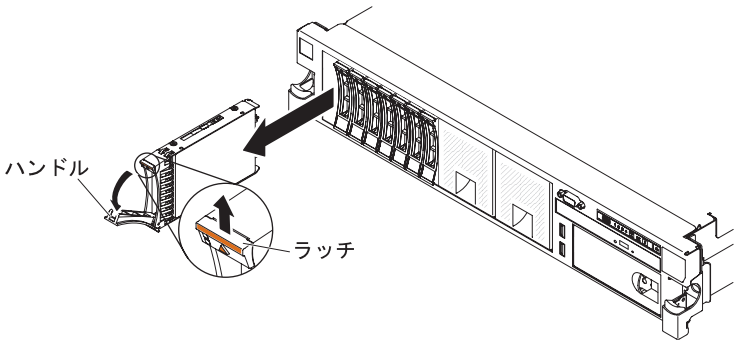


図 162. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

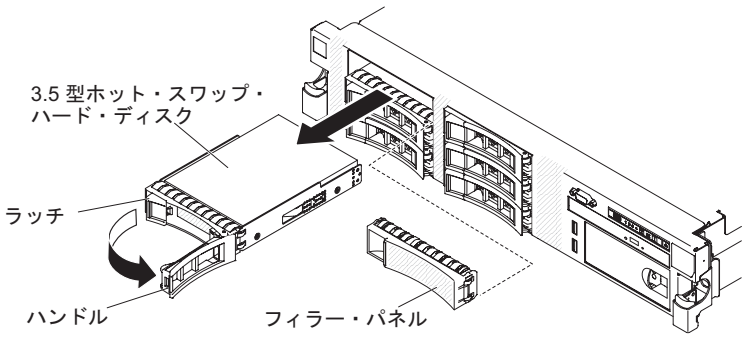


図 163. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. ハンドルをつかんで、ドライブをドライブ・ベイから引き出します。
5. ドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再び取り付けます。
6. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。

- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型または 3 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、 10 ページの表 2 で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

注: ハード・ディスクが 1 つのみの場合は、ベイ 0 (左上) に取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。
   b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

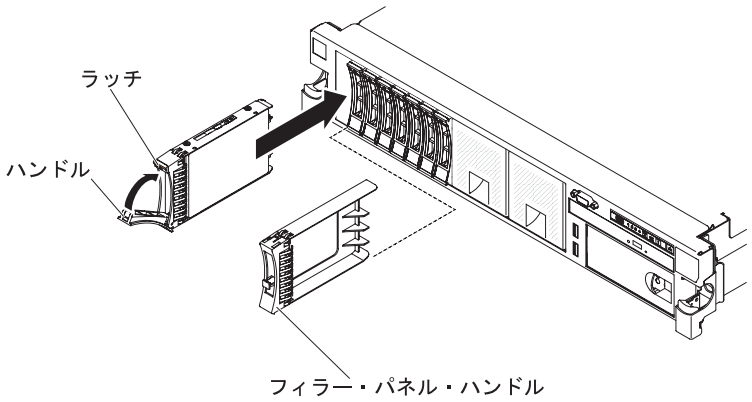


図 164. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

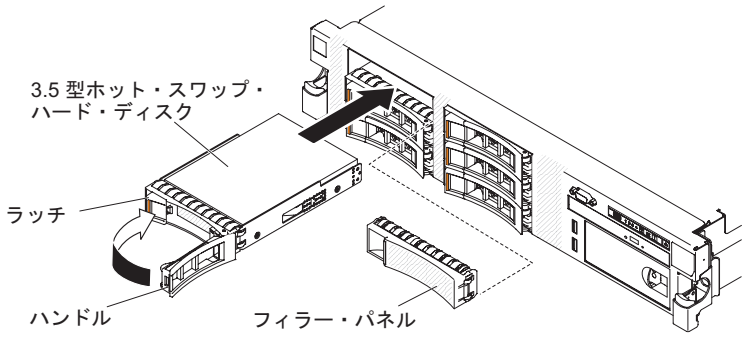


図 165. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
d. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

   注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID アダプター用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。

5. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。
6. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ドライブをサーバーから取り外す際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

注意:

- ハード・ディスク・コネクターを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 指で黒いドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・ラッチを右側へスライドさせてドライブを解放し、ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き出します。

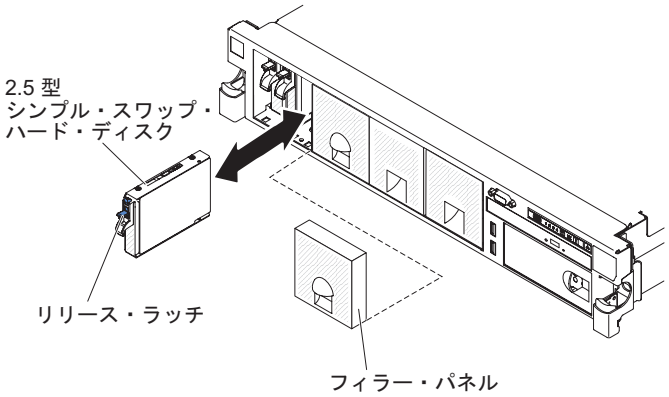


図 166. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

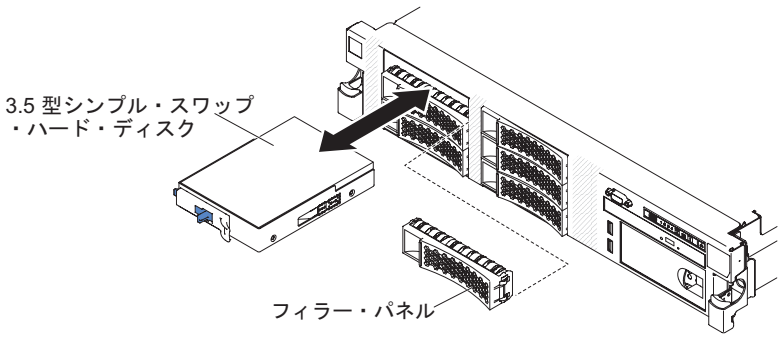


図 167. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
5. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。サポートされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS 装置を取り付けている場合、その装置の SATA ID を必ず設定してください。
- このサーバーには、最大 6 つの 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクが取り付け可能です。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- サーバーのベイ 0 に、1 つの 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクが取り付け可能です。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルでは、非 RAID 構成のみのご提供となります。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ド

ライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

- 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、 10 ページの表 2 で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
5. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

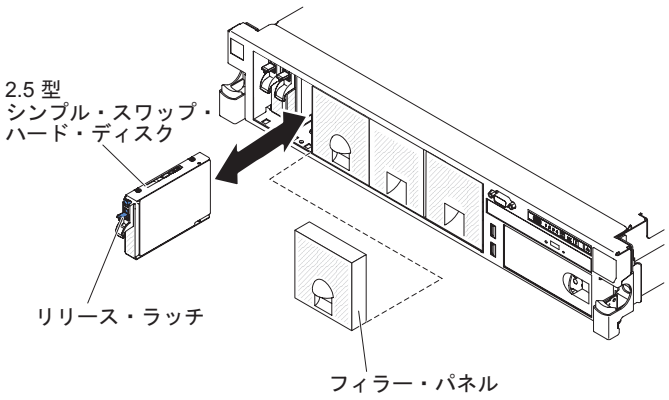


図 168. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

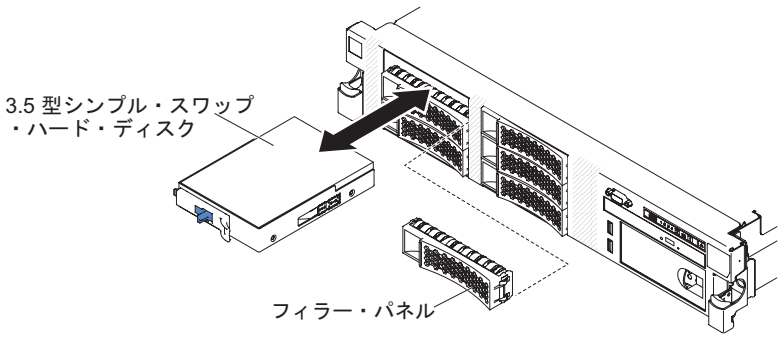


図 169. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

6. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
7. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り外し

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. フィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. リリース・ラッチ (オレンジ色) をゆっくり押して、ドライブ・ハンドルのロックを解除します。

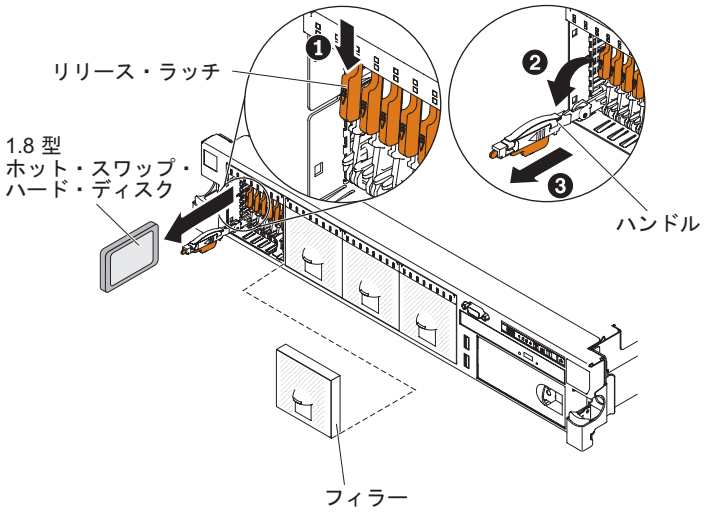


図 170. 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り外し

4. トレイ・ハンドルを、ハンドルが止まるまで引き出します。
5. ドライブをドライブ・ベイから引き出します。
6. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
7. フィラー・パネルを再び取り付けます。
8. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

1.8 型ホット・スワップのソリッド・ステート・ドライブの交換

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

1.8 型ホット・スワップ・ソリッド。ステート・ドライブを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. フィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. 次のようにして、ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
   a. ハンドルが開いた (ロック解除) 位置にあることを確認します。
   b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

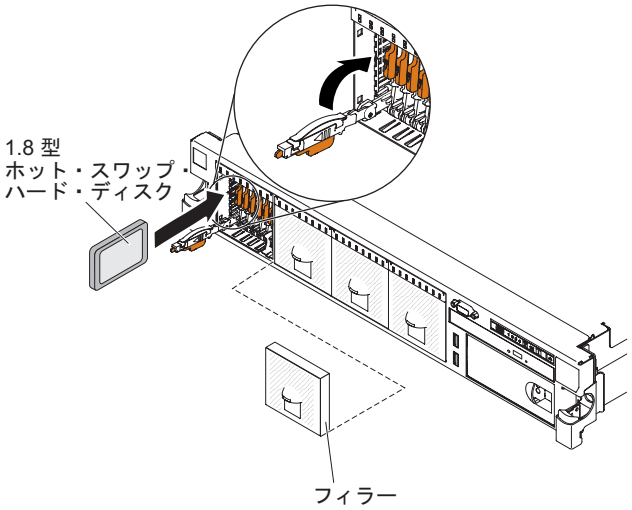


図 171. 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブの取り付け

c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

d. ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。

e. ソリッド・ステート・ドライブの状況 LED をチェックして、ソリッド・ステート・ドライブが正しく作動しているか確認します。ドライブの黄色のソリッド・ステート・ドライブ状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のソリッド・ステート・ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

   注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ソリッド・ステート・ディスク・ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

5. 追加のホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブを取り付ける場合は、ここで実行してください。
6. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DVD ドライブの取り外し

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

オプションの DVD ドライブを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. リリース・タブを下に押したままで、ドライブを背面からスライドさせてベイから抜きます。

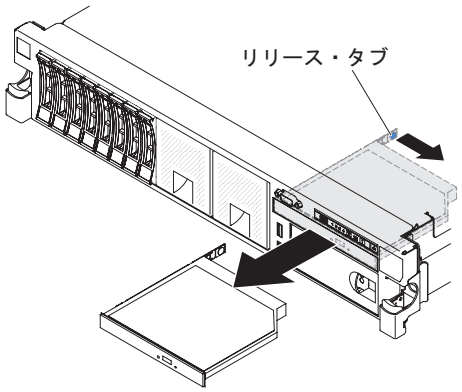


図 172. DVD ドライブの取り外し

5. ドライブの側面からドライブ保持クリップをスライドします。交換用ドライブの取り付け時または DVD ドライブ・フィラー・パネルの交換時に使用するために、このクリップを保管しておきます。

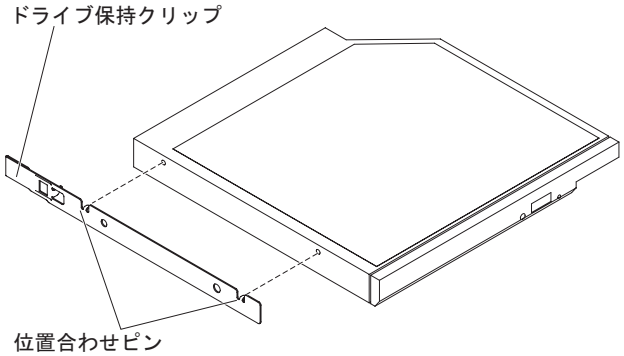


図 173. DVD ドライブ保持クリップの取り外し

6. ステップ 4 (309 ページ) で取り外したドライブ保持クリップを DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面に取り付けます。

7. DVD ドライブ・フィラー・パネルを DVD ドライブ・ベイに差し込み、カチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。
8. DVD ドライブの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

DVD ドライブの交換

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。サポートされるドライブのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- このサーバーは、1 つのウルトラ・スリム SATA 光学式ドライブをサポートします。

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることができません。給電部を切り離す前に、オペレーター情報パネル、Light Path 診断パネル、およびサーバー内部のシステム・ボード上の LED を含めて、どの LED が点灯しているかをメモしておきます。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. DVD ドライブ・フィラー・パネルが付いている場合は、それを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネル背面の青色のリリース・タブを見つけます。次に、タブを押しながら DVD 光学式ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。
5. DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面から保持クリップを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルは、将来の利用に備えて保管しておいてください。

   注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

   安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

6. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい光学式ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、光学式ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
7. ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

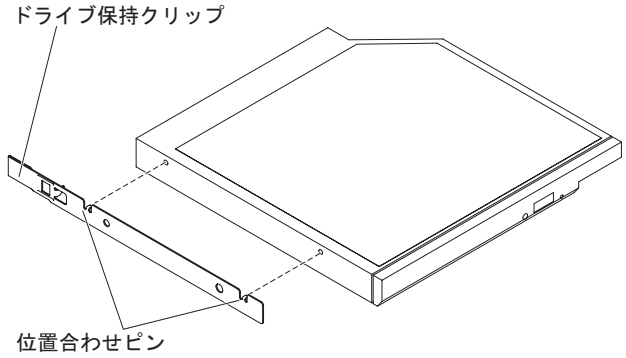


図 174. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

9. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせして光学式ドライブ・ベイに差し込み、DVD ドライブがカチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。
10. DVD ドライブ・ケーブルを接続します (315 ページの『DVD ドライブ・ケーブルの交換』を参照)。次の図は、DVD ドライブ用のケーブル・ルーティングを示しています。

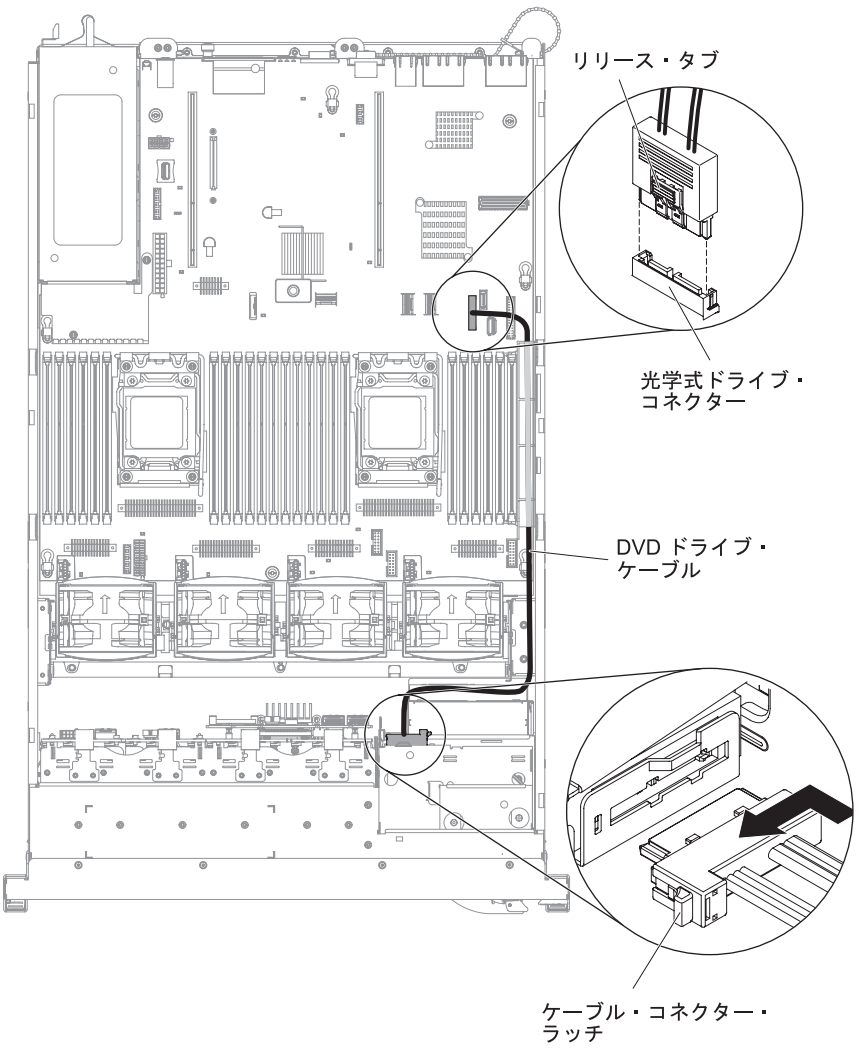


図 175. DVD ドライブのケーブル接続

11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DVD ドライブ・ケーブルの取り外し

DVD ドライブ・ケーブルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ケーブルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. コネクター・リリース・タブを押しながら DVD ドライブ・ケーブルをシステム・ボードのコネクターから取り外します。

   重要: DVD ドライブ・ケーブルをシステム・ボードから切り離すには、コネクター・リリース・タブを押す必要があります。 DVD ドライブ・ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。

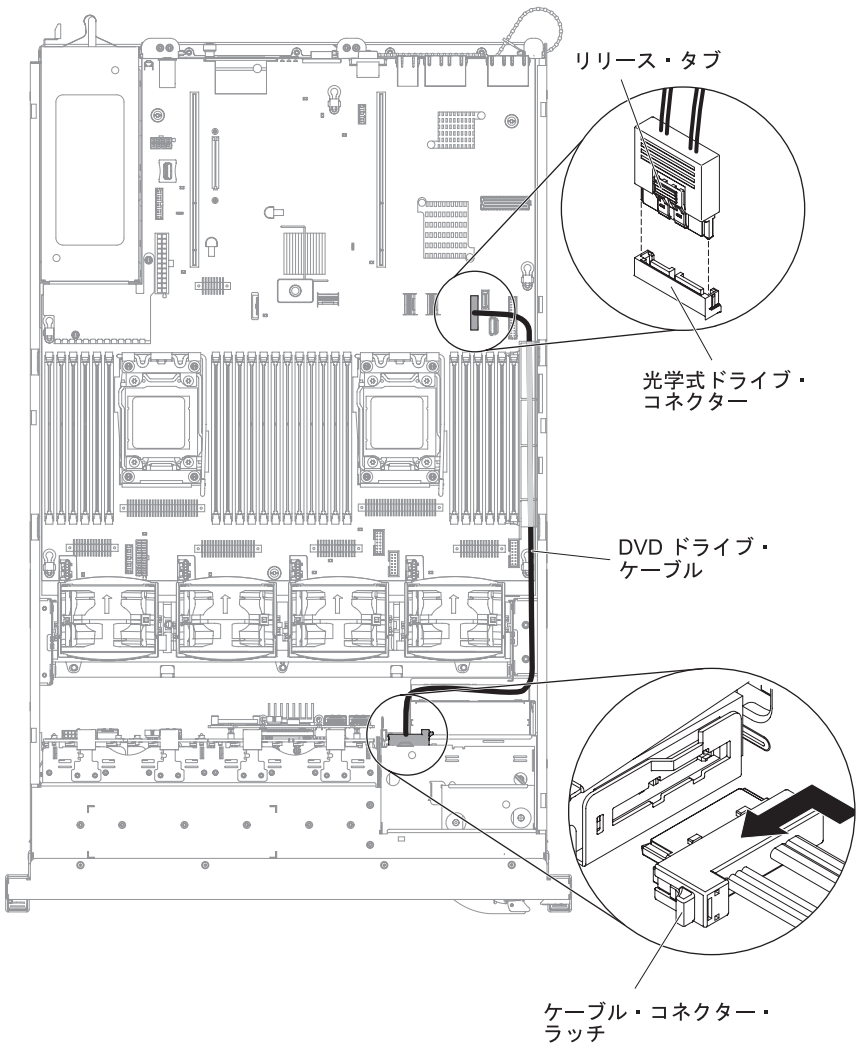


図 176. DVD ドライブのケーブル接続

6. DVD ドライブ・ケージの背面で、コネクター・ラッチ (ケーブル・コネクターの左側) を押したままケーブル・コネクターをつかみ、右側にスライドさせます。次に、DVD ドライブの背面にあるコネクターから DVD ドライブ・ケーブルを取り外し、横に置きます。

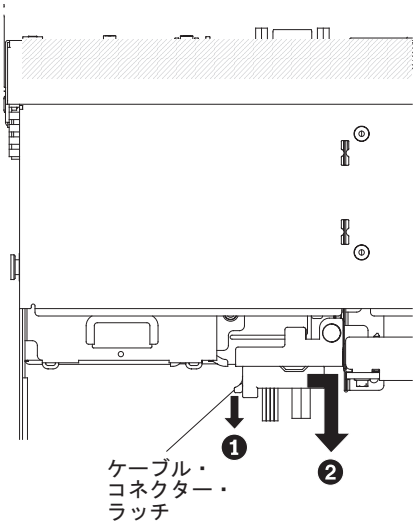


図 177. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

7. DVD ドライブ・ケーブルの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

DVD ドライブ・ケーブルの交換

DVD ドライブ・ケーブルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ケーブル・コネクターを DVD ドライブ・ケージの背面にあるコネクターを位置合わせします。 ケーブル・コネクターを光学式ドライブ・ケージのコネクターに押し込み、しっかりと装着されるまで左側にスライドさせます。

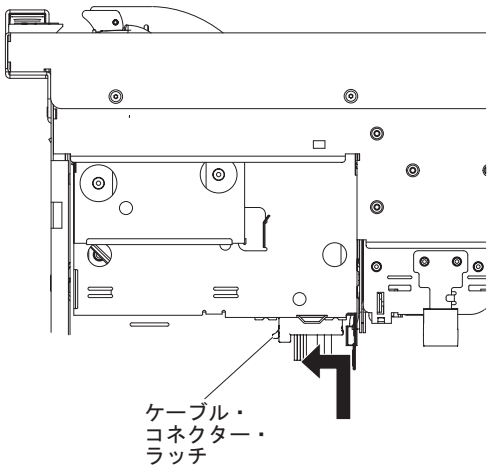


図 178. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

下図には、DVD ケーブル用のケーブル配線を記載してあります。

重要: 図に示された光学式ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。 ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

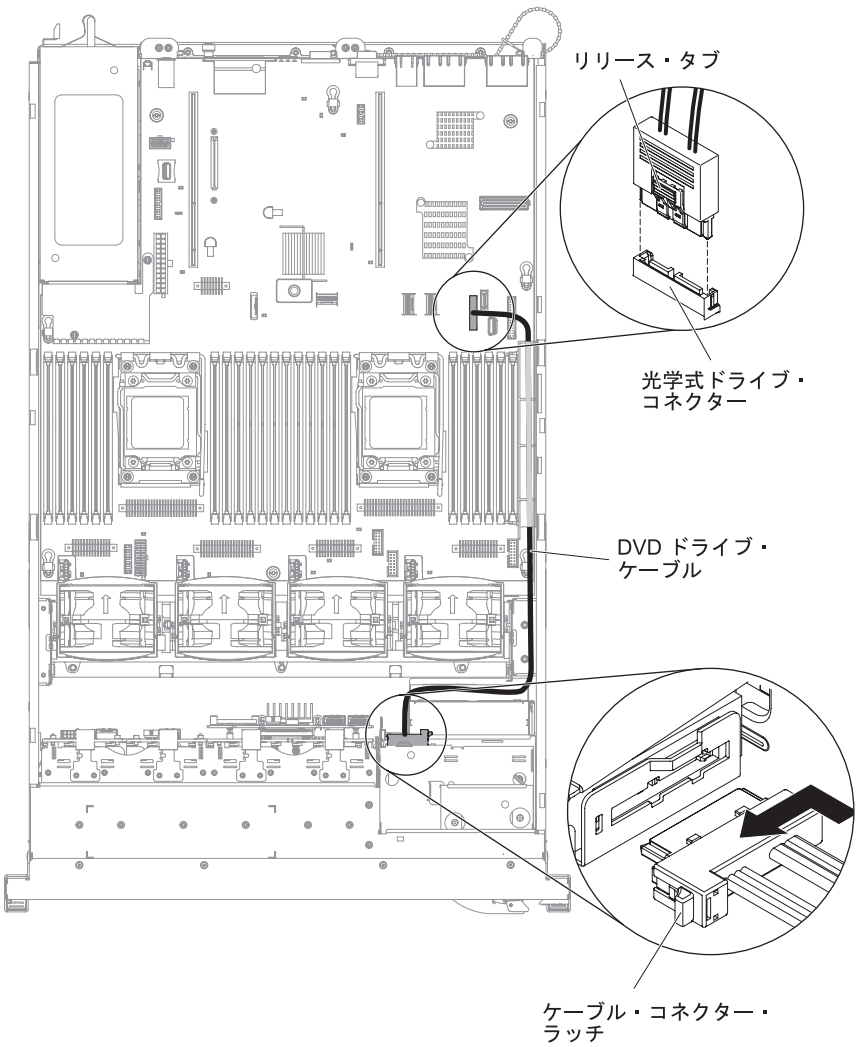


図 179. DVD ドライブ・ケーブルのルーティング

6. エアー・バッフルを交換します (291 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
7. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

テープ・ドライブの取り外し

テープ・ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

オプションのテープ・ドライブを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. テープ・ドライブ・トレイ・リリース・ラッチを開き、ドライブ・トレイをベイからおよそ 25 mm (1 インチ) 引き出します。
5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをテープ・ドライブの背面から外します。
6. ドライブを完全にベイから引き出します。

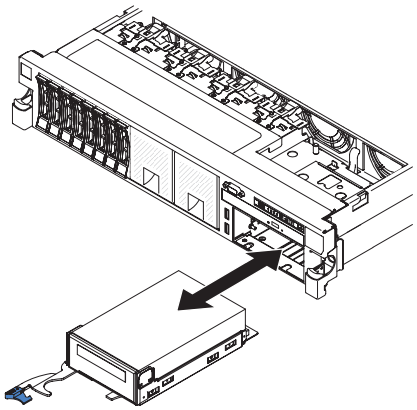


図 180. テープ・ドライブの取り外し

7. トレイ側面の 4 つのねじを取り外して、トレイからテープ・ドライブを取り外します。

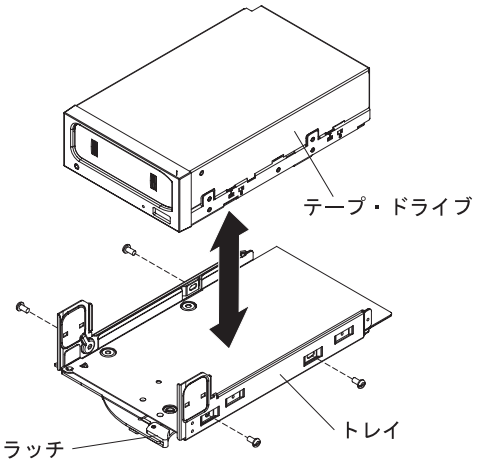


図 181. ねじの取り外し

8. ベイに別のドライブを取り付けない場合は、空のテープ・ドライブ・ベイにテープ・ドライブ・フィラー・パネルを挿入します。
9. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

テープ・ドライブの交換

テープ・ドライブを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. テープ・ドライブの側面に金属のスペーサーがついている場合は、スペーサーを取り外してください。
5. 図に示しているように、前のドライブから取り外した 4 つのねじを使って、新しいテープ・ドライブをドライブ・トレイに取り付けます。

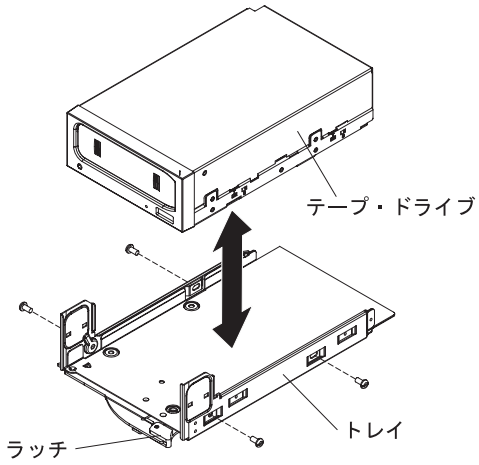


図 182. ねじの取り付け

6. ドライブに付属の説明に従ってドライブを準備して、スイッチまたはジャンパーを設定します。
7. テープ・ドライブ・ベイにテープ・ドライブ・アセンブリーの大部分を押し入れます。

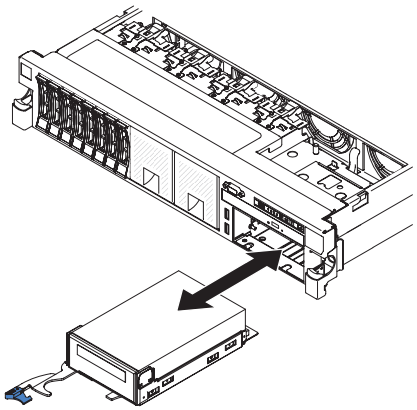


図 183. テープ・ドライブの取り付け

8. 前のテープ・ドライブの信号ケーブルおよび電源ケーブルをテープ・ドライブの背面に接続します。
9. すべてのケーブルが邪魔になっていないことを確認して、テープ・ドライブ・アセンブリーをテープ・ドライブ・ベイに最後まで押し込みます。
10. トレイ・ハンドルを閉じた (ロックされた) 位置に押します。
11. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
12. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

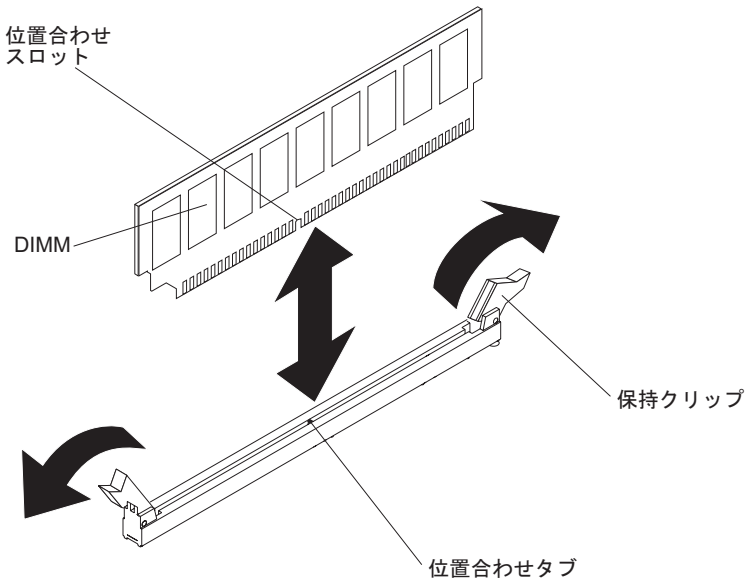


図 184. DIMM の取り外し

6. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3) 、800、1066、1333、1600、または 1866 MHz、PC3-6400、PC3-8500、PC3-10600、PC3-12800、または PC3-14900 registered または unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) (エラー修正コード (ECC) 付き) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
  - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに以下の形式で記載されています。

    ggggg eRxff PC3*v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

    ここで、

    - *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
    - *eR* はランク数です。

      1R = single-rank

      2R = dual-rank

      4R = quad-rank
    - *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。

      x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)

      x8 = x8 編成

      x16 = x16 編成
    - *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
      - ブランク = 1.5 V 指定
      - L = 1.35 V 指定、1.5 V 作動可能

      注: 上記の電圧の値が「指定」となっているのは、タイミングなどの装置特性がこの電圧でサポートされていることを意味します。値が「作動可能」となっているのは、この電圧で装置が安全に作動可能であることを意味します。ただし、タイミングなどの装置特性は、保証されない場合があります。すべての装置は DDR3 の最高公称電圧である 1.5 V を「許容」するはずです。これは、これらの装置が 1.5 V では作動しない場合があるが、その電圧で装置へ損傷を与えずに電力を供給可能であることを意味します。
    - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

      6400 = 6.40 GBps (DDR3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

- *m* は、DIMM のタイプです。

  E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

  L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)

  R = Registered DIMM (RDIMM)

  U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。 ラベルには、情報が xxxxx nRxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx の形式で示されています。6 番目の数値の位置にある数字は、DIMM が single-rank (n=1) か、dual-rank (n=2) か、あるいは quad-rank (n=4) を表します。

- チャネル内の RDIMM 数に応じて、DDR3 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
  - チャネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
  - チャネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します
  - チャネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
  - サーバー内のすべてのチャネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
  - registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサー、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、Intel Xeon™ E5-2600 シリーズのマイクロプロセッサーを搭載したサーバーは、以下の条件が満たされている場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で稼働します。
  - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-ranl、または quad-rank UDIMM、RDIMM、または LRDIMM が同じチャネルに取り付けられている。 Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- このサーバーは、最大 16 個の dual-rank UDIMM をサポートします。サーバーは、チャネルごとに最大 2 個の UDIMM をサポートします。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank、または 16 個の quad-rank RDIMM をサポートします。 このサーバーは、同じチャネル内で 3 つの quad-rank RDIMM をサポートしません。

- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 21. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	dual-rank UDIMM	4 GB	64 GB
24	single-rank RDIMM	2 GB	48 GB
24	single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
24	HCDIMM	16 GB	384 GB
24	HCDIMM	32 GB	768 GB
16	quad-rank RDIMM	8 GB	128 GB
24	quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB

- このサーバーで使用できる UDIMM オプションは、4 GB です。 このサーバーは、UDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このサーバーで使用可能な HCDIMM オプションは、16 GB および 32 GB です。このサーバーは、HCDIMM を使用した場合、最小 16 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: サーバーで 16 GB HCDIMM と 32 GB HCDIMM を混用しないでください。
- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。このサーバーは、LRDIMM を使用した最小 32 GB、最大 768 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。 メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。 取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行します。 追加情報については、 160 ページの『サーバーの構成』を参照してください。
- それぞれのマイクロプロセッサーごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサーについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、UDIMM、HCDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサーから最も遠い DIMM コネクターに取り付けてください。

注:

1. マイクロプロセッサー 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサー 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサー 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサー 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

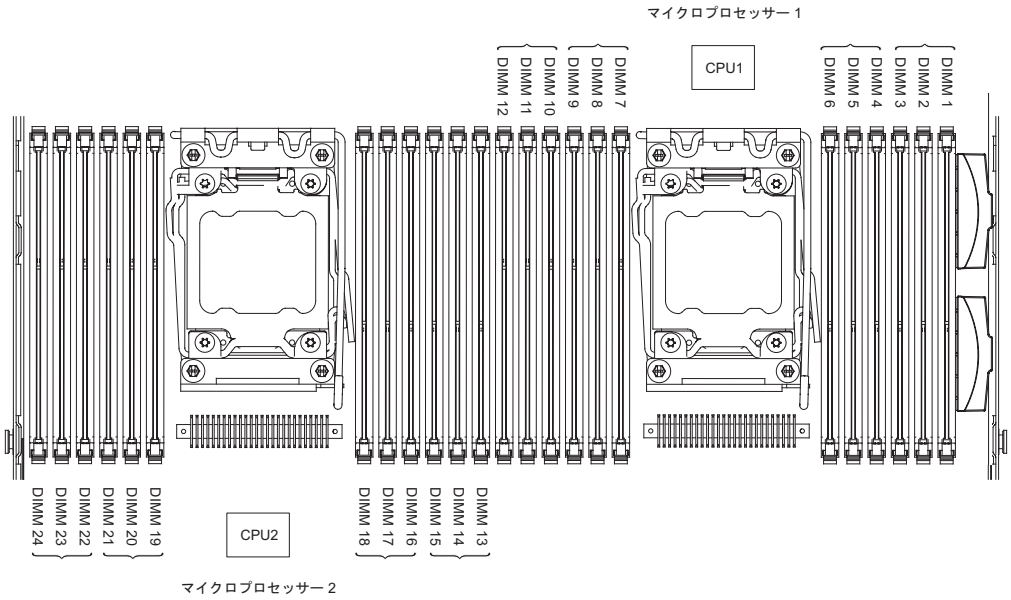


図 185. DIMM コネクターの位置

DIMM 取り付け順序:

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサーのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 22. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**DIMM コネクター取り付け順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	1、4、9、12、2、5、8、11、3、6、7、10
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	1、13、4、16、9、21、12、24、2、14、5、17、8 20、11、23、3、15、6、18、7、19、10、22

メモリー・ミラーリング・チャネル:

メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、データが 2 つのチャネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。 Setup ユーティリティーを使用してメモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にするには、「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択します。 詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャネルは、すべてのチャネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にした場合、最大使用可能メモリーは取り付け済みのメモリーの半分に減少します。 例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリング・チャネルを使用すると 32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。
- UDIMM の場合、マイクロプロセッサー 1 用の DIMM コネクター 3、6、7、および 10 と、マイクロプロセッサー 2 用の DIMM コネクター 15、18、19、および 22 は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは使用されません。

次の図には、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

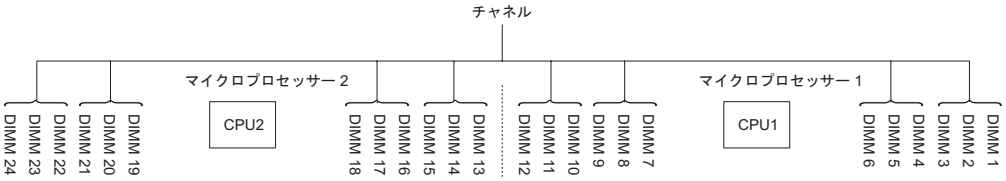


図 186. 各メモリー・チャネルのコネクター

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 23. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1, 4
2 番目の DIMM ペア	1	9, 12
3 番目の DIMM ペア	1	2, 5
4 番目の DIMM ペア	1	8, 11
5 番目の DIMM ペア	1	3, 6
6 番目の DIMM ペア	1	7, 10
7 番目の DIMM ペア	2	13, 16
8 番目の DIMM ペア	2	21, 24

表 23. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
9 番目の DIMM ペア	2	14, 17
10 番目の DIMM ペア	2	20, 23
11 番目の DIMM ペア	2	15, 18
12 番目の DIMM ペア	2	19, 22
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・ランク・スペアリング:

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます。詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ランク・スペアリング機能を使用する場合は、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ランク・スペアリング機能は、Intel Xeon™ E5-2600 シリーズのマイクロプロセッサーを搭載したサーバー・モデルでサポートされます。
- メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

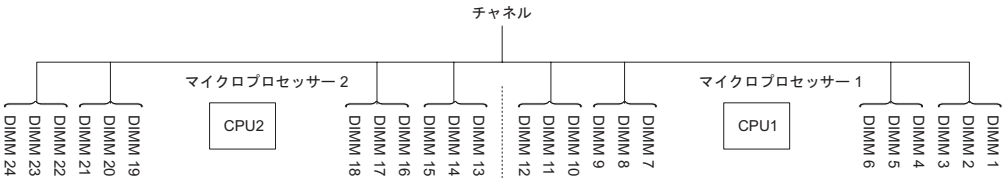


図 187. 各メモリー・チャネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 24. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	1、2
2 番目の DIMM ペア	1	4、5
3 番目の DIMM ペア	1	8、9
4 番目の DIMM ペア	1	11、12

表 24. メモリー・ランク・スペアリング・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサー数	DIMM コネクター
5 番目の DIMM ペア	1	7, 10
6 番目の DIMM ペア	1	3, 6
7 番目の DIMM ペア	2	13, 14
8 番目の DIMM ペア	2	16、17
9 番目の DIMM ペア	2	20、21
10 番目の DIMM ペア	2	23、24
11 番目の DIMM ペア	2	19, 22
12 番目の DIMM ペア	2	15, 18
注: UDIMM がサーバーに取り付けられている場合、メモリー・ランク・スペアリング・モードでは、DIMM コネクター 3、6、7、10、15、18、19、および 22 は使用されません。		

メモリー・モジュールの交換:

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを交換します。

このタスクについて

注: 追加のメモリー・モジュールを取り付ける前に、 10 ページの表 2で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

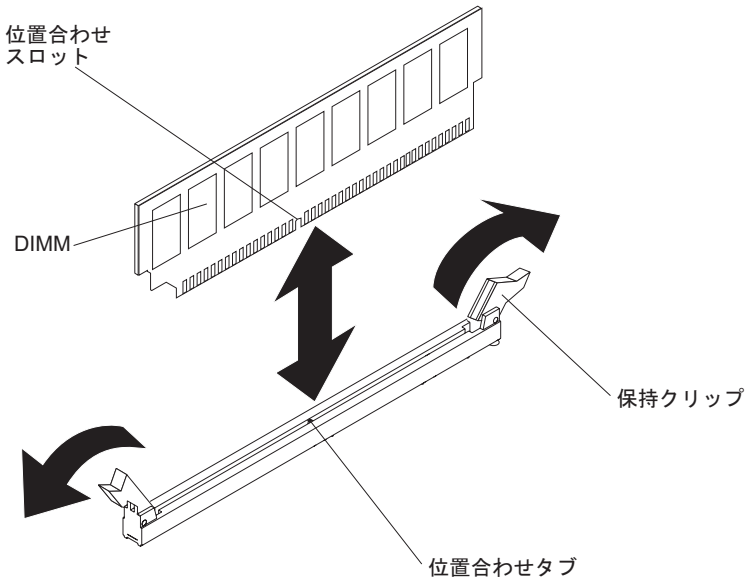


図 188. DIMM の取り付け

6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 次に DIMM をパッケージから取り出します。
7. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
8. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、 37 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照)。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

   注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. エアー・バッフルを交換します (291 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

    注: エアー・バッフルを交換する前に、DIMM の取り付けられていないスロットも含め、すべての保持クリップを閉じてください。
12. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ファン・ブラケットの取り外し

ファン・ブラケットを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

いくつかのコンポーネントの交換あるいは作業スペースを作るために、ファン・ブラケット・アセンブリーの取り外しが必要な場合があります。

注: ファンの取り外しや取り付けには、ファン・ブラケットを取り外す必要はありません。 371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照してください。

ファン・ブラケットを取り外すには、次のステップを実行してください。

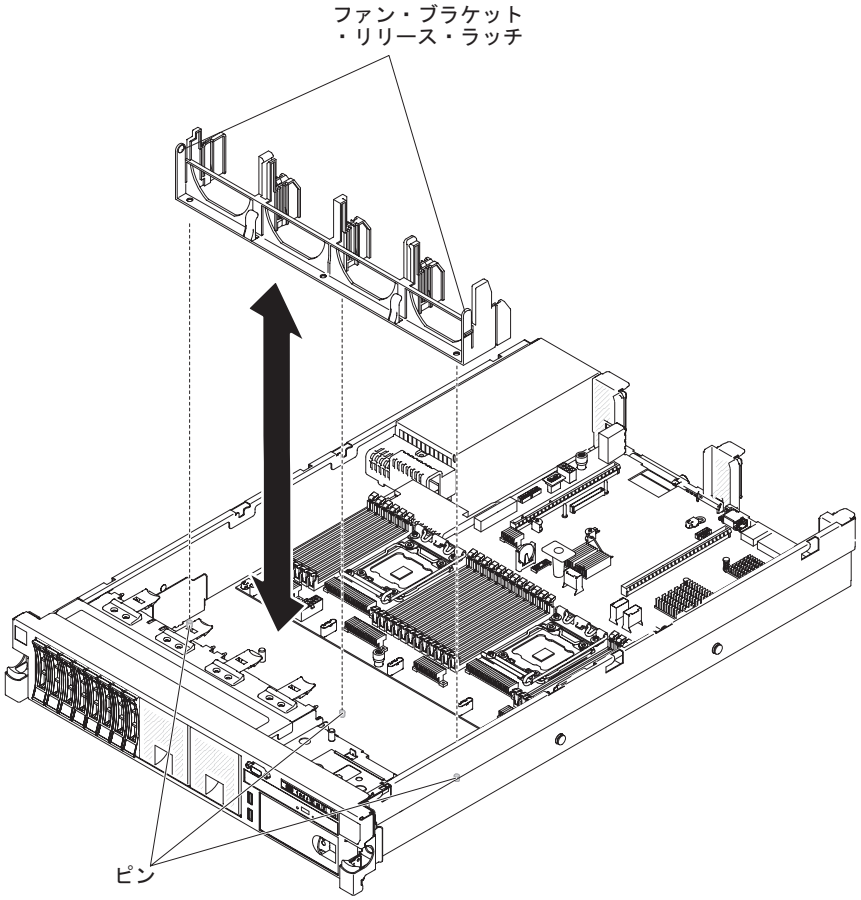


図 189. ファン・ブラケットの取り外し

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。

4. ファン・ブラケットを取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
5. ファン・ブラケット・リリース・ラッチをそれぞれ内側に押して、ファン・ブラケットを持ち上げてサーバーから取り外します。

ファン・ブラケットの交換

ファン・ブラケットを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ファン・ブラケットを取り付けるには、次のステップを実行します。

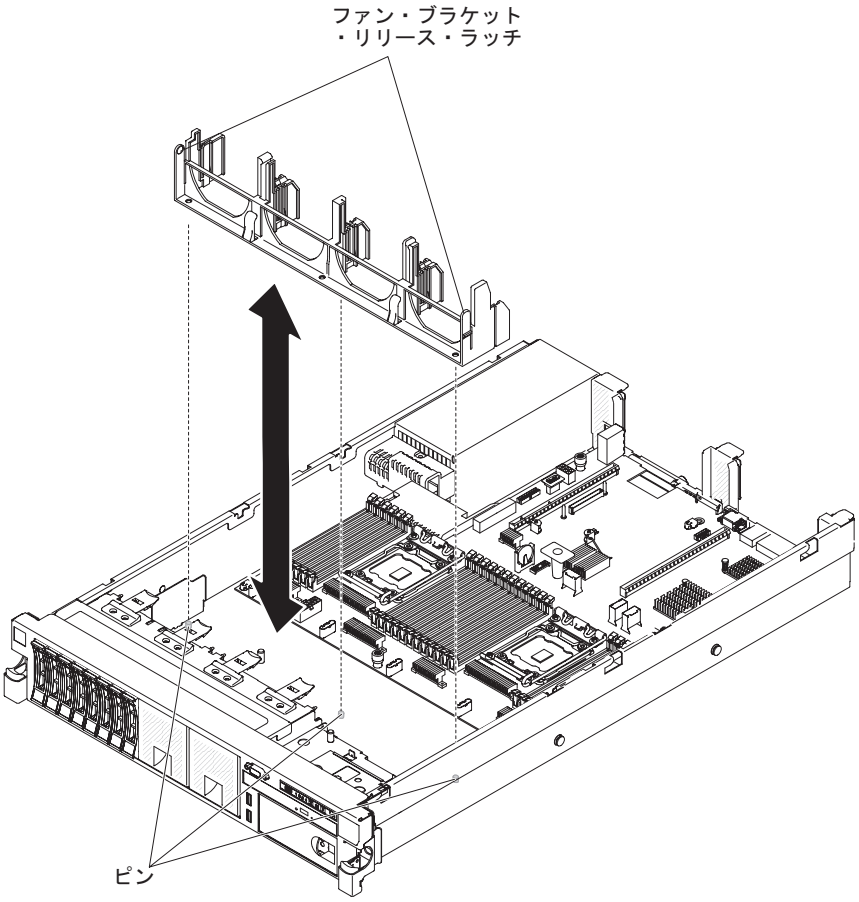


図 190. ファン・ブラケットの取り外し

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ファン・ブラケットを下げて、シャーシに差し込みます。
5. ブラケット下部の穴をシャーシ下部のピンと位置合わせします。

6. ファン・ブラケットの解放レバーが所定の位置にカチッと音がするまで、ブラケットを押します。
7. ファンを交換します (372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。
8. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

このサーバーには、それぞれに 2 つから 3 つの PCI スロットを含むライザー・カード・アセンブリーが 1 つ付属しています (オプションでもう 1 つ追加可能)。 このサーバーで使用できるライザー・カード・アセンブリーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

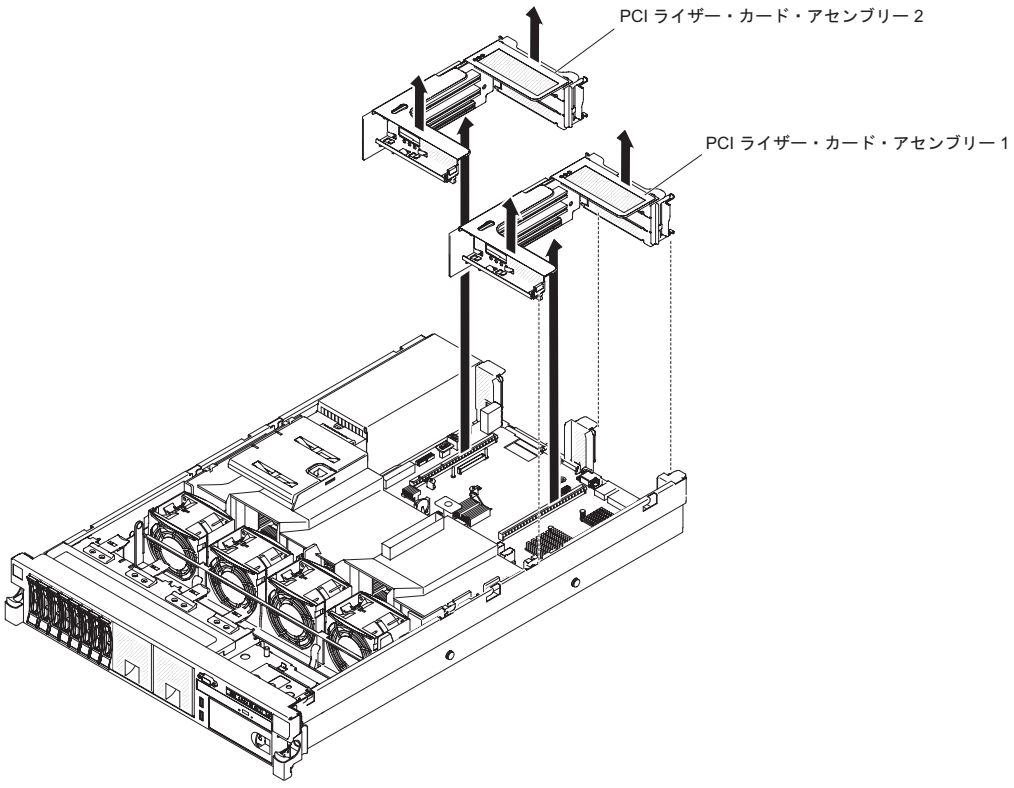


図 191. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

手順

1. vii ページの『安全について』 と 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. アセンブリー前面のタブと後方の端をつかんで、サーバーから持ち上げて取り外します。 平らな帯電防止面の上にライザー・カード・アセンブリーを置きます。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換

PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーのシステム・ボードには 2 つの PCI ライザー・カード・スロットがあります。以下の情報は、ライザー・カード・スロットについて示しています。

- 標準モデルのサーバーは、1 つの PCI Express ライザー・カード・アセンブリーが取り付けられた状態で出荷されます。 お客様でこのライザー・カード・アセンブリーを PCI-X ライザー・カード・アセンブリーに取り替えたい場合、PCI-X ライザー・カード・アセンブリー・オプション (ブラケットを含む) をオーダーする必要があります。
- PCI Express ライザー・カード・アセンブリーのコネクターは黒色で、PCI Express アダプターをサポートします。PCI-X ライザー・カード・アセンブリーのコネクターは白色 (明るい色) で、PCI-X アダプターをサポートします。
- PCI ライザー・スロット 1 (パワー・サプライから最も遠いスロット)。マイクロプロセッサー 1 が取り付けられている場合、スロット 1 に PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付ける必要があります。
- PCI ライザー・スロット 2 (パワー・サプライから最も近いスロット)。マイクロプロセッサー 2 が取り付けられている場合、スロット 2 に PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付ける必要があります。
- アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 他の手順の作業時に取り外したアダプターや内部ケーブルがある場合は、それらのアダプターを再取り付けし、ケーブルを再接続します (336 ページの『アダプターの交換』および 278 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

5. PCI ライザー・カード・アセンブリーをシステム・ボード上の選択した PCI コネクターに位置合わせします。
   a. PCI コネクター 1: アセンブリーの側面にある 2 つの位置合わせスロットを、慎重にシャーシの側面にある 2 つの位置合わせブラケットに合わせます。

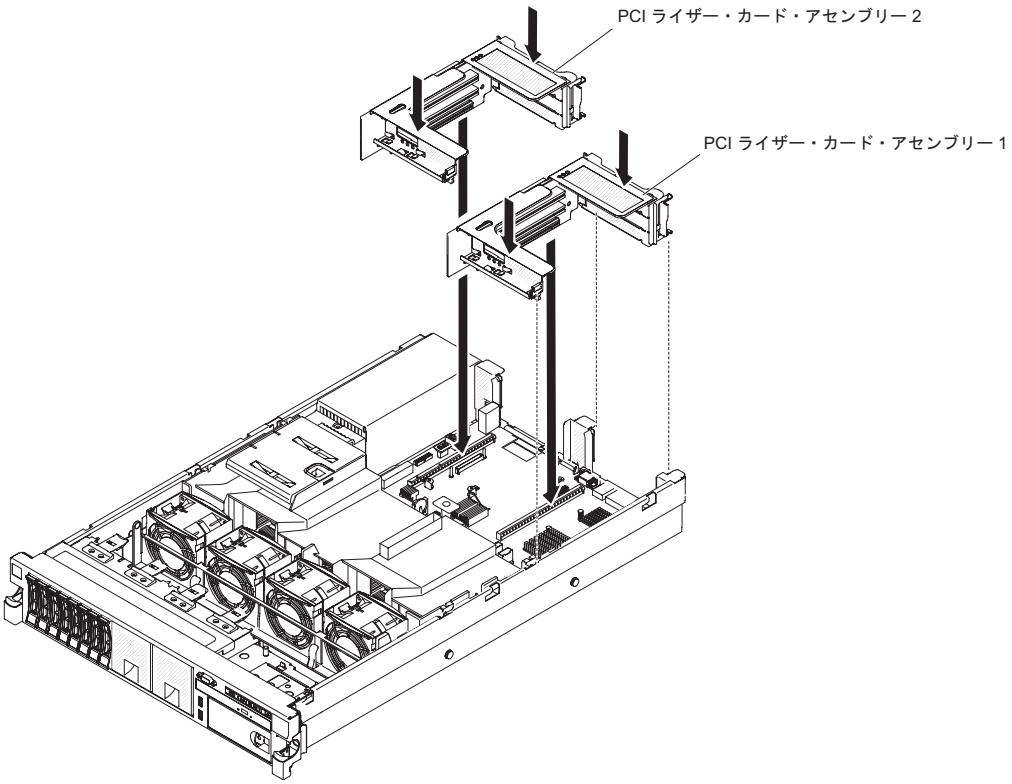


図 192. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

   b. PCI コネクター 2: ライザー・カード・アセンブリーの下部エッジ (接触エッジ) を、慎重にシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターに位置合わせします。
6. アセンブリーを押し下げます。 ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターにしっかりと固定されたことを確認してください。
7. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

このトピックでは、アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーの PCI 拡張スロットから取り外す方法を説明します。 これらの説明は、ビデオ・グラフィックス・アダプターやネットワーク・アダプターのような PCI アダプターに適用されます。

次の図は、サーバー背面からのアダプター拡張スロットの位置を示します。

各スロットでサポートされるカードの最大寸法 (背面図)

1	フルハイト、フルサイズまで対応	4	フルハイト、フルサイズまで対応
2	フルハイト、フルサイズ	5	フルハイト、フルサイズまで対応
3	フルハイト、フルサイズ	6	フルハイト、フルサイズ

(ライザー 1) (ライザー 2)

注: 高出力グラフィックス・アダプターを交換する場合は、アダプターを取り外す前にシステム・ボードから内部電源ケーブルを切断する必要がある可能性があります。

アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

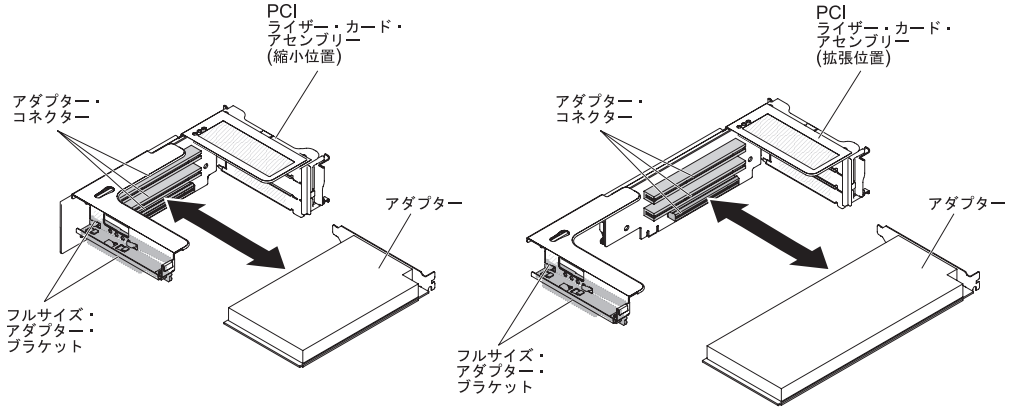


図 193. アダプターの取り外し

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. 左右のサイド・ラッチを押し下げ、両方のスライド・レールがロックするまでサーバーを格納装置から引き出します。そして、カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。

4. アダプターを含む PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (43 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
   - PCI 拡張スロット 1、2、または 3 からアダプターを取り外す場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外します。
   - PCI 拡張スロット 4、5、または 6 からアダプターを取り外す場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します。
5. アダプターからケーブルを切り離します (後でアダプターを再取り付けする場合は、ケーブル・ルーティングをメモしておきます)。
6. アダプターの上端または上部隅を慎重に持ち、アダプターを PCI 拡張スロットから引き出します。
7. PCI ライザー・カード・アセンブリーの上段の拡張スロットにフルサイズ・アダプターが取り付けられており、他のフルサイズ・アダプターと交換する予定がない場合は、フルサイズ・アダプター・ブラケットを取り外し、PCI ライザー・カード・アセンブリーの上面の裏側に保管します。
8. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの交換

以下の情報を使用して、アダプターを交換します。

このタスクについて

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- サーバーは、システム・ボード上に 1 つの内部 SAS/SATA RAID コネクターおよび 2 つの PCI スロットを備えています。内部 SAS/SATA RAID コネクターとライザー・カード・スロットの位置については、 37 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照してください。 IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターを、オプションの IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターにこのスロットの中で取り替えることができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (http://www.ibm.com/supportportal/) を参照してください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- Quadro アダプターのいずれかが取り付けられている場合、メモリー・モジュールを取り付ける前に次の表を確認してください。

表 25. NVIDIA Quadro ビデオ・アダプター構成

説明	サポートされる最大合計メモリー・サイズ
Quadro 600 アダプター	128 GB
Quadro 2000 アダプター	512 GB
Quadro 4000 アダプター	512 GB

表 25. NVIDIA Quadro ビデオ・アダプター構成 (続き)

説明	サポートされる最大合計メモリー・サイズ
Quadro 6000 アダプター	512 GB

- すべてのアドオン・ビデオ・アダプターで、高解像度ビデオ出力コネクターおよびステレオ・コネクターはいずれもサポートされません。
- このサーバーはレガシー 5V PCI アダプターをサポートしません。
- PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。 ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- サーバーのシステム・ボードには 2 つの PCI ライザー・カード・スロットがあります。 PCI Express または PCI-X アダプターを取り付ける場合は、PCI ライザー・カード・オプションを注文する必要があります。
- ServeRAID-M5110、ServeRAID-M5120、または IBM LLM-SM デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプターを取り付ける場合、PCI スロット 1、2、4、または 5 にのみ取り付けることができます。
- 追加のアダプターを取り付ける前に、 10 ページの表 2で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。

次の図は、サーバー背面からのアダプター拡張スロットの位置を示します。

各スロットでサポートされるカードの最大寸法 (背面図)

1	フルハイト、フルサイズまで対応	4	フルハイト、フルサイズまで対応
2	フルハイト、フルサイズ	5	フルハイト、フルサイズまで対応
3	フルハイト、フルサイズ	6	フルハイト、フルサイズ

(ライザー 1) (ライザー 2)

アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

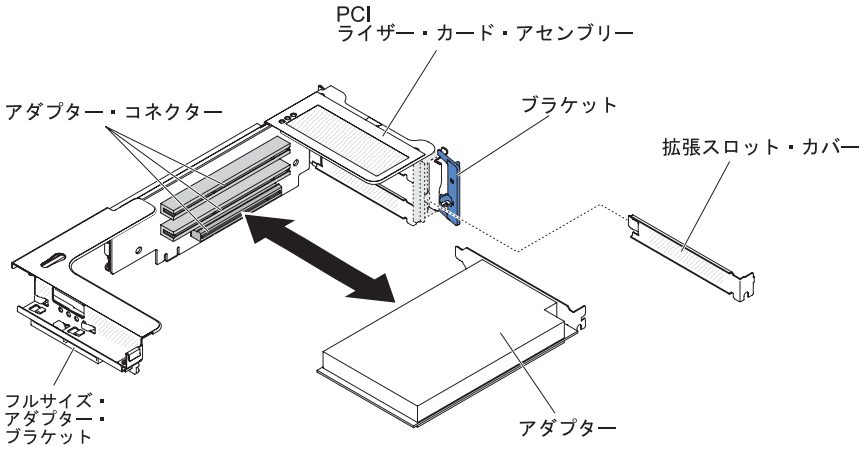
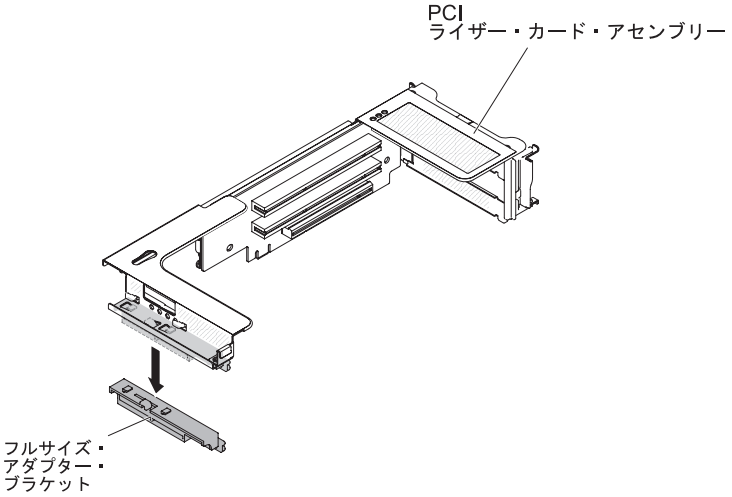


図 194. アダプターの取り付け

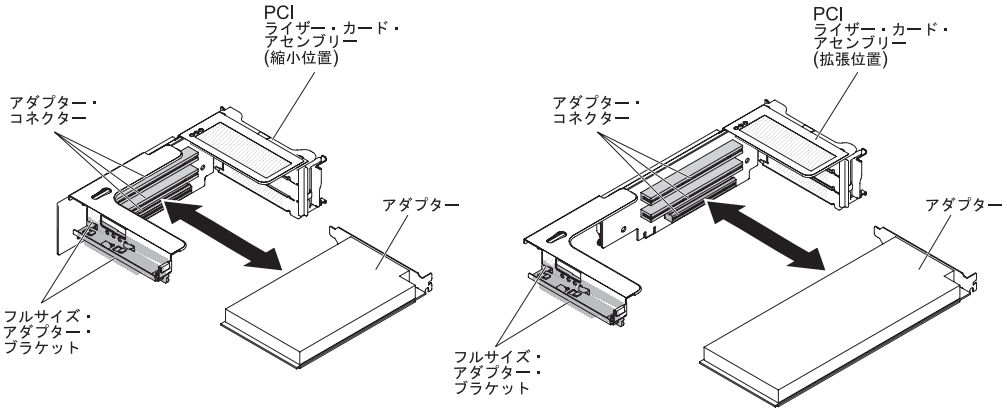
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
5. 拡張スロットにアダプターを取り付けます。
   a. ライザー 1 の場合: このアダプターがフルサイズのアダプターで、それをライザー・カード上段の拡張スロットに取り付ける場合、ライザー・カード・アセンブリー上面の下からフルサイズ・アダプター・ブラケットを取り外し、ライザー・カード・アセンブリー上段の拡張スロットの端に取り付けてください。 手順については、 45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張』を参照してください。
   b. ライザー 2 の場合: このアダプターがフルサイズのアダプターで、それをライザー・カード上段の拡張スロットに取り付ける場合、ブラケットはデフォルトでケージ上にあります。ブラケットをライザー・カード・アセンブリー上段の拡張スロットの端に取り付けてください。 手順については、 45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張』を参照してください。



c. PCI コネクターの位置を、ライザー・カード上のアダプター・コネクター、およびライザー・カード・アセンブリー端の外側にあるガイドと合わせます。

d. ライザー・カードの PCI コネクターにアダプターをしっかりと押し込みます。



6. 必要なケーブルをアダプターに接続します (278 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

   重要:

   - ケーブルを配線するときは、すべてのコネクターや、ファンのまわりの通気スペースをふさがないようにしてください。
   - ケーブルは、PCI ライザー・カード・アセンブリーの下にあるコンポーネントの上部を通って配線されていないことを確認してください。
   - ケーブルがサーバー・コンポーネントに挟まれていないことを確認してください。

7. PCI ライザー・カード・アセンブリーをシステム・ボード上の選択した PCI コネクターに位置合わせします。

- PCI ライザー・コネクター 1: アセンブリーの側面にある 2 つの位置合わせスロットを、慎重にシャーシの側面にある 2 つの位置合わせブラケットに合わせ、アセンブリーの背面をサーバーの背面にあるガイドと位置合わせします。
- PCI ライザー・コネクター 2: ライザー・カード・アセンブリーの下部エッジ (接触エッジ) を、慎重にシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターに位置合わせし、アセンブリーの背面をサーバーの背面にあるガイドと位置合わせします。

8. アセンブリーを押し下げます。 ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクターにしっかりと固定されたことを確認してください。
9. サーバーに PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
10. ケーブルを新たに取り付けたアダプターに接続します。
11. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
12. カバーを再び取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールを取り外す前に、以下のステップを実行して正しい構成にします。

1. WebBIOS にブートし、すべての構成を削除します。
2. WebBIOS のコントローラー・プロパティーで、出荷時のデフォルト値にリセットします。
3. AC 電源をオフにします。

MegaRAID について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5073015 にアクセスしてください。

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。

4. バッテリーからバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを切り離します。

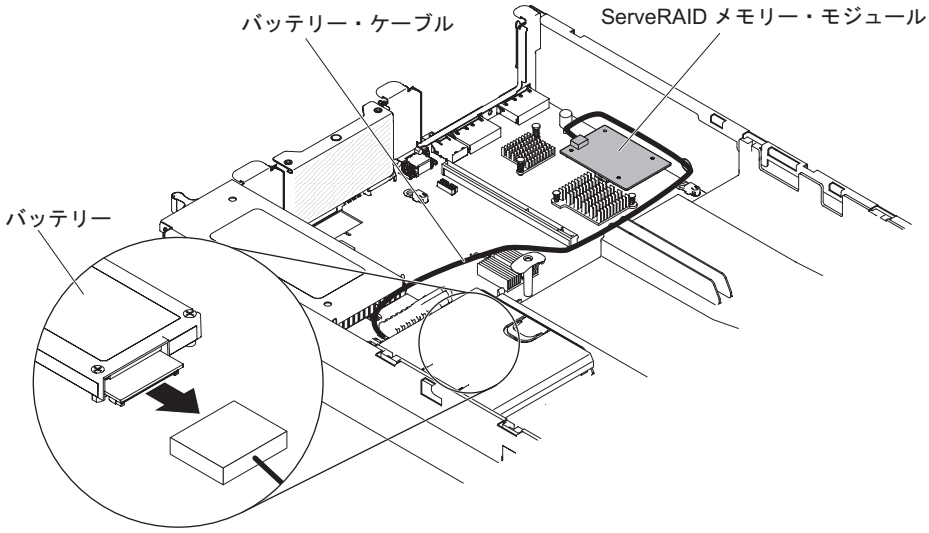


図 195. バッテリー・ケーブルの切り離し

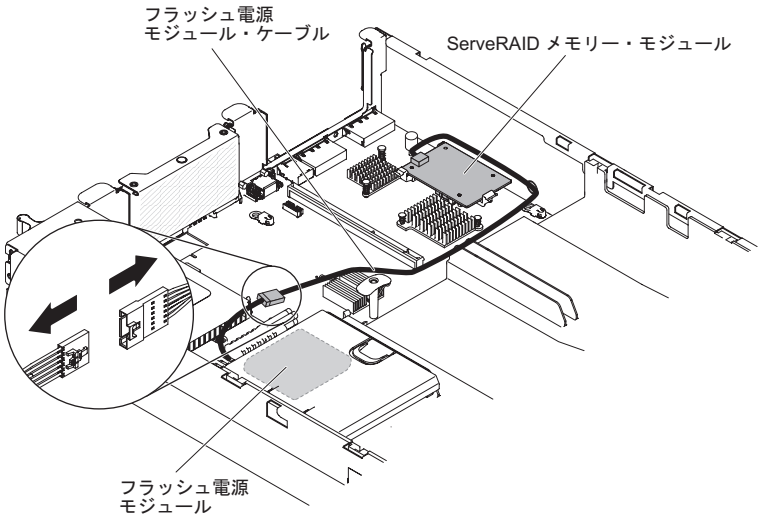


図 196. フラッシュ電源モジュール・ケーブルの切り離し

5. システム・ボードから ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールおよび 3 つのペグを取り外します。

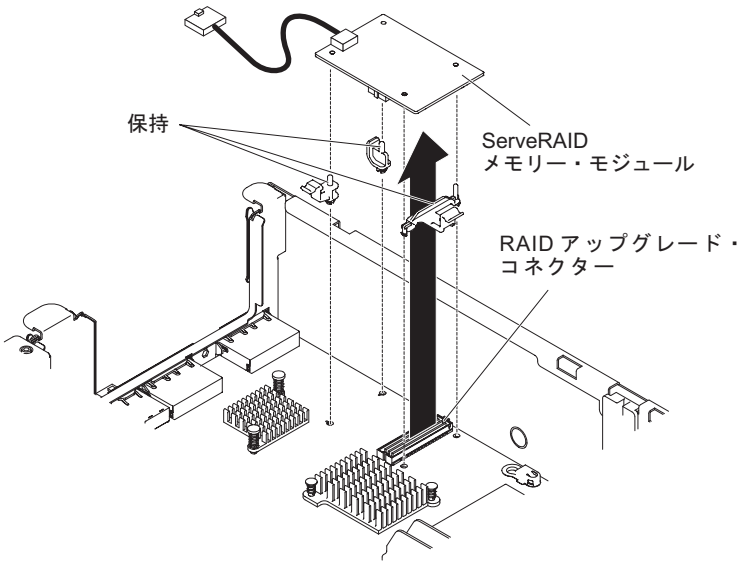


図 197. ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

6. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを、ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールから切り離します。

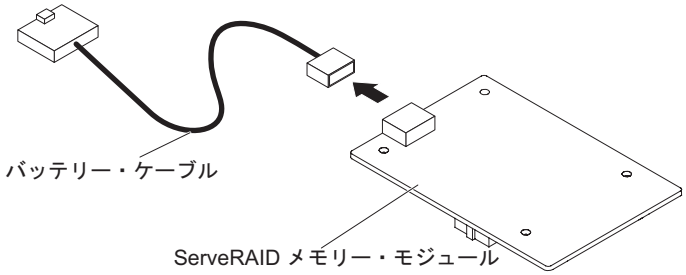


図 198. バッテリー・ケーブルの切り離し

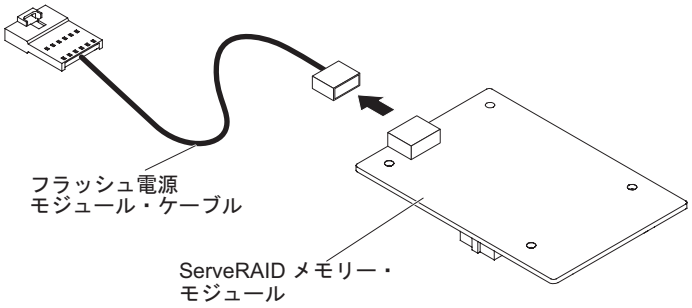


図 199. フラッシュ電源モジュール・ケーブルの切り離し

7. フィーチャー・キーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールの交換

ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを、ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールに接続します。

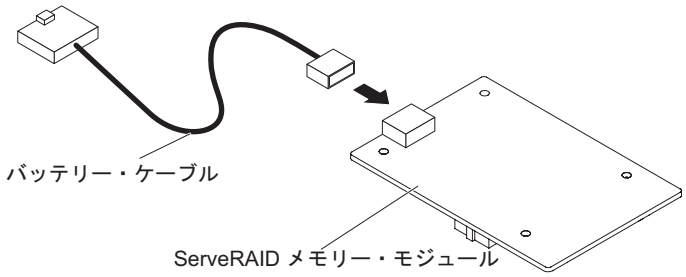


図 200. ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールおよびバッテリー・ケーブル

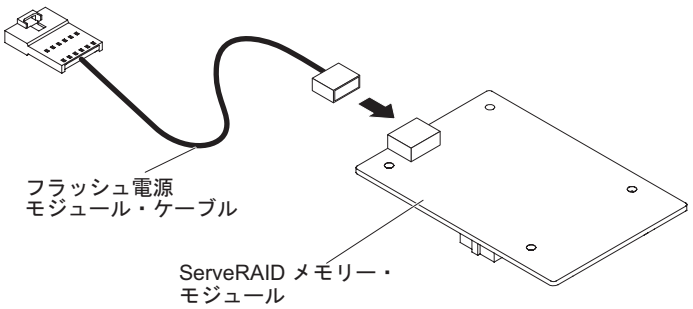


図 201. ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールおよびフラッシュ電源モジュール・ケーブル

5. 3 つのペグを ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールに取り付け、ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールをシステム・ボードに取り付けます。

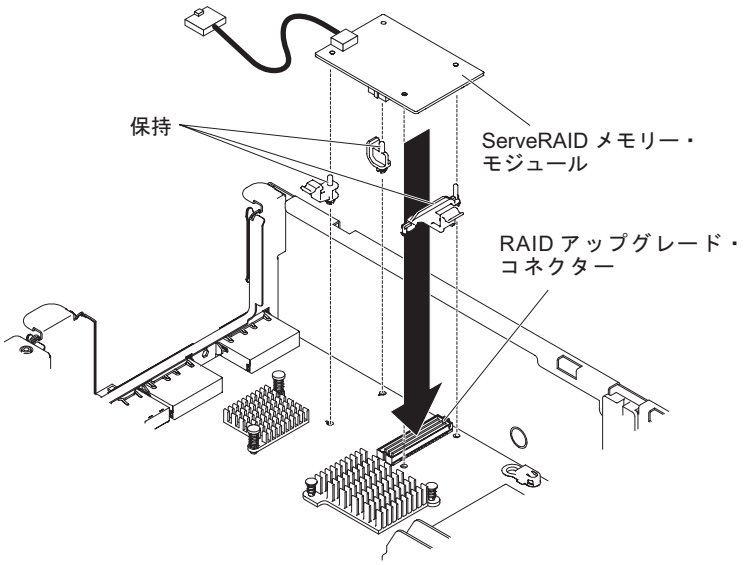


図 202. ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュールおよびバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルの取り付け

6. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルのもう一方の端を、バッテリー/フラッシュ電源モジュールに接続します

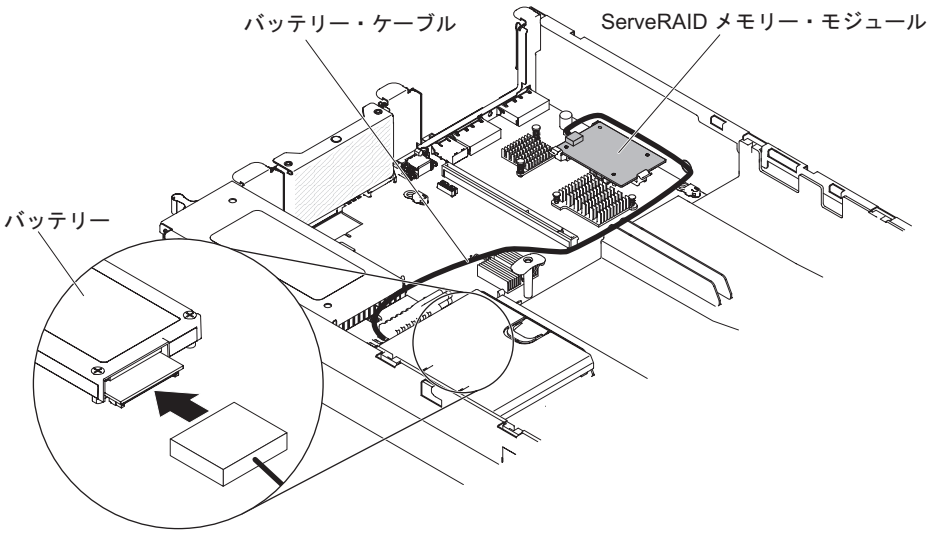


図 203. バッテリー・ケーブルの接続

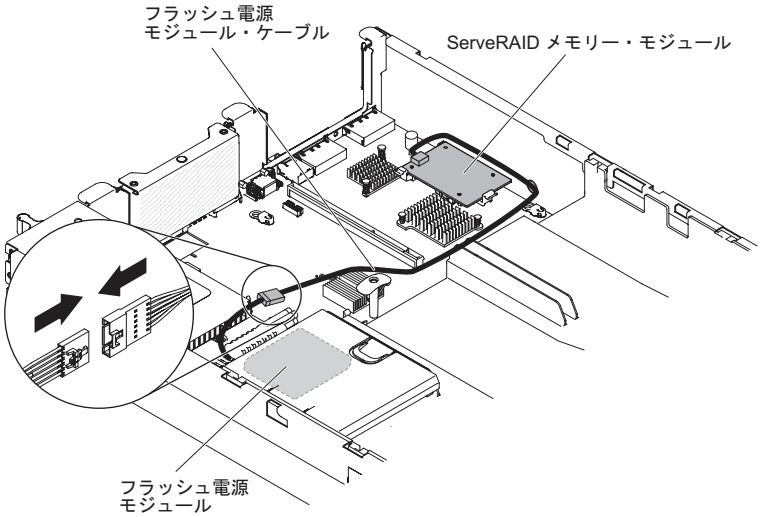


図 204. フラッシュ電源モジュール・ケーブルの接続

注: バッテリー/フラッシュ電源モジュールが正しく装着されていることを確認します (73 ページの『リモート・バッテリー・トレイへの ServeRAID SAS コントローラーのバッテリー取り付け』参照)。

7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. カバーを再び取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

リモートに取り付けられた RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り外し

リモートに取り付けられた RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールがファン・ケージの近くに取り付けられており、それを交換する必要がある場合は、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーを開く前に、バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーを覆っている、または邪魔しているケーブルがあれば、取り除きます
5. リリース・タブをファン・ケージの方向に引き、保持クリップのロックを解除します。

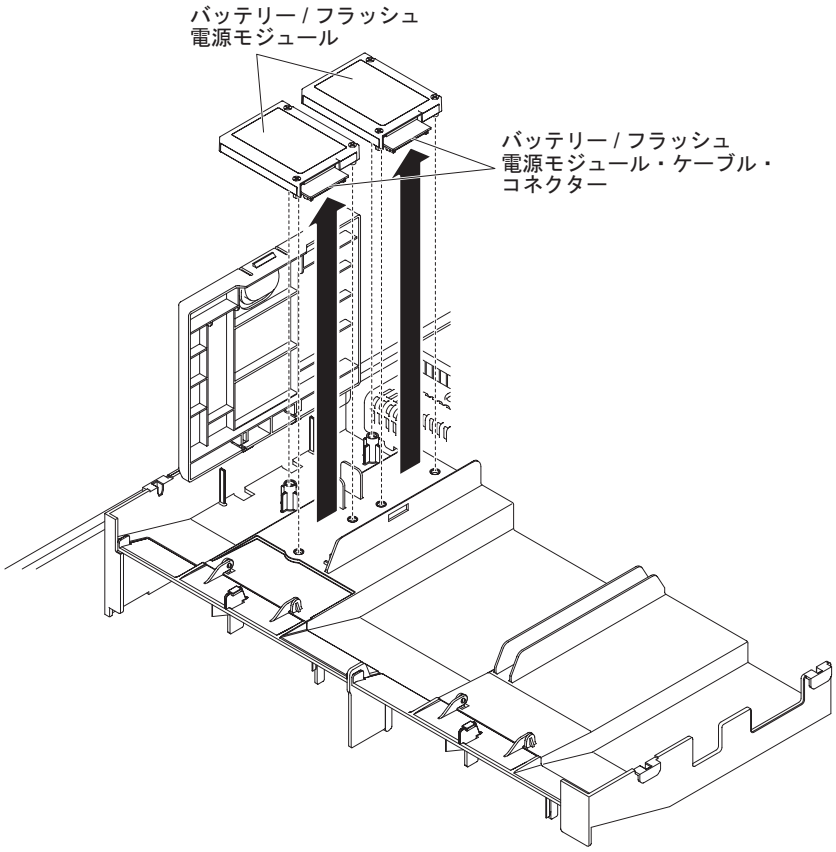


図 205. RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り外し

重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

6. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルを、バッテリー/フラッシュ電源モジュールのコネクターから切り離します。
7. バッテリー/フラッシュ電源モジュールを持ち上げて、バッテリー/フラッシュ電源モジュールをホルダーから取り外します。
8. RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

サーバーの RAID アダプターのリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの交換

サーバーの RAID アダプターのリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

バッテリー/フラッシュ電源モジュールが付属した ServeRAID アダプターを取り付ける場合、バッテリー/フラッシュ電源モジュールがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリー/フラッシュ電源モジュールをサーバー内の別の場所に取り付ける必要が生じることがあります。

注:

1. バッテリー/フラッシュ電源モジュールは、まずファン・ケージの近くに取り付ける必要があります。 3 つ以上のバッテリー/フラッシュ電源モジュールがある場合は、バッテリー/フラッシュ電源モジュールを ServeRAID SAS コントローラーのリモート保持に取り付ける必要があります (293 ページの『RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換』を参照)。バッテリー/フラッシュ電源モジュールを、次の図のように規則正しく取り付けます。

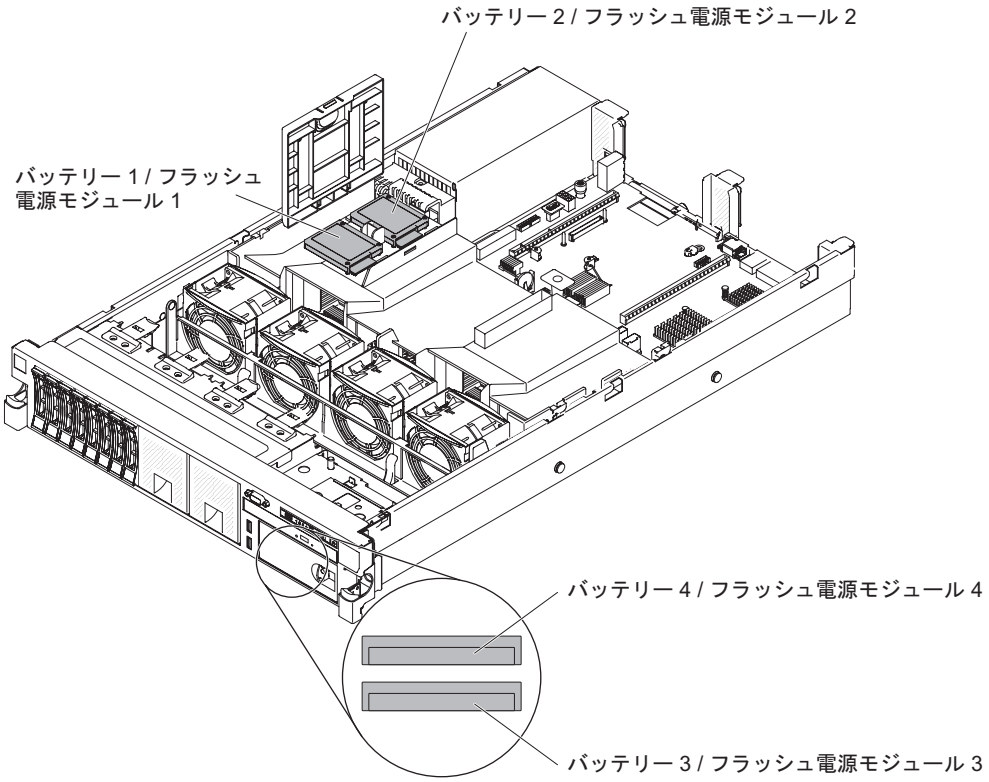


図 206. RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り付け

2. バッテリー/フラッシュ電源モジュールが付属した ServeRAID-M5100 シリーズ RAID 5 アップグレードを取り付ける場合は、代わりに、ServeRAID SAS コントローラー・リモート保持 (293 ページの『RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換』を参照) にバッテリー/フラッシュ電源モジュールを取り付ける必要があります。

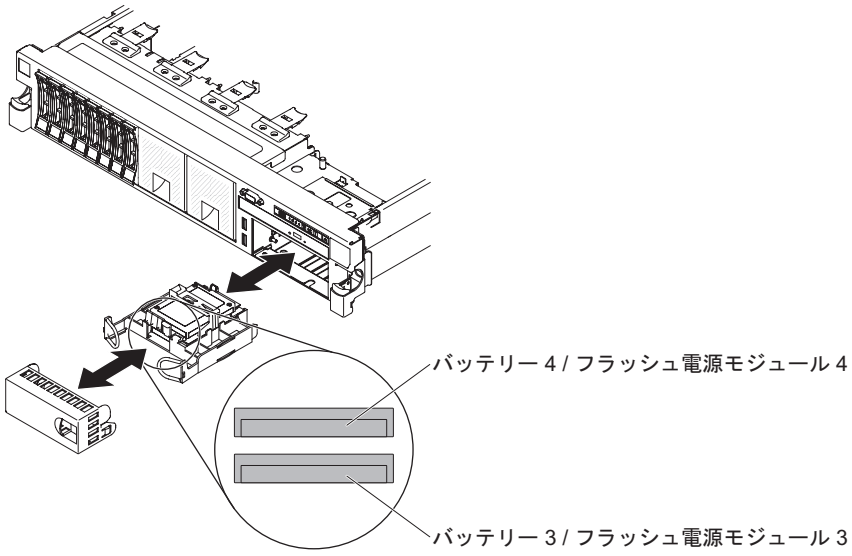


図 207. RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り付け

RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての電源コードと外部装置を切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. システム・ボード上に ServeRAID アダプターを取り付けるか (336 ページの『アダプターの交換』を参照)、ライザー・カード上に ServeRAID アダプターを取り付け、ライザー・カード・アセンブリーをサーバーに取り付けます (336 ページの『アダプターの交換』を参照)。
5. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルの一方の端を、RAID アダプターのバッテリー/フラッシュ電源モジュール・コネクターに接続します。
6. リモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールのケーブルを、シャーシに沿わせます。

   重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。
7. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーを開く前に、バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダーを覆っている、または邪魔しているケーブルがあれば、取り除きます
8. 次のように、バッテリー/フラッシュ電源モジュールをファン・ケージの近くに取り付けます。
   a. 保持クリップを開いた位置に解放します。
   b. バッテリー/フラッシュ電源モジュールのケーブル・コネクターをバッテリー/フラッシュ電源モジュール・ホルダー上のスロットに位置合わせします。

バッテリー/フラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテリー/フラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。

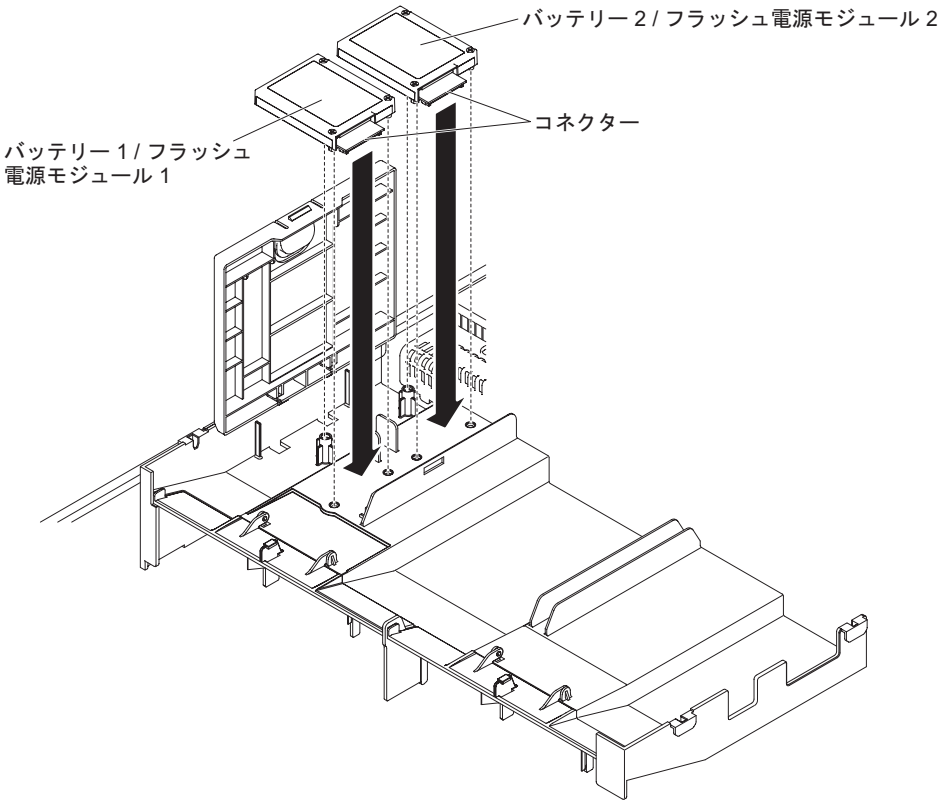


図 208. RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り付け

注: リモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるリモート・バッテリー/フラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

c. バッテリー/フラッシュ電源モジュール・ケーブルのもう一方の端を、バッテリー/フラッシュ電源モジュールのコネクターに接続します

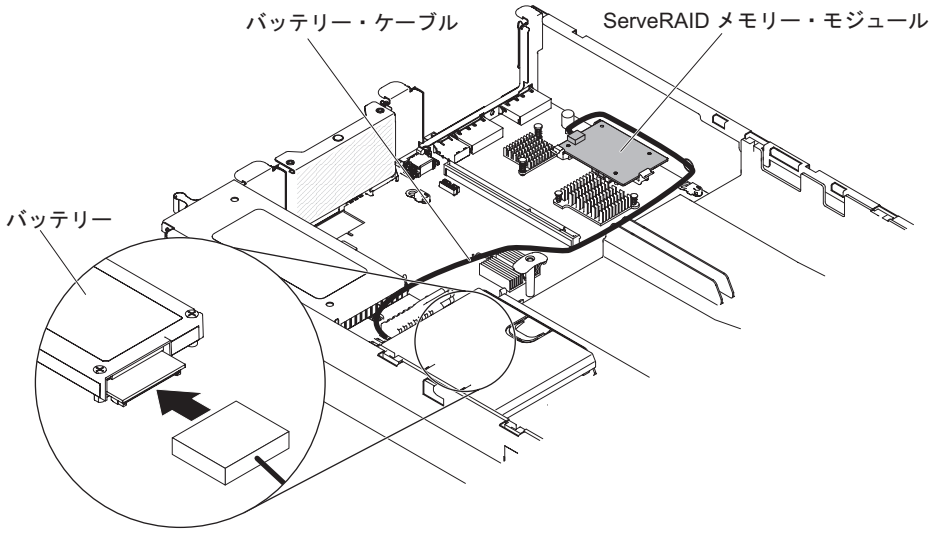


図 209. RAID アダプター・バッテリー/フラッシュ電源モジュールの取り付け

注: バッテリー/フラッシュ電源モジュールが正しく装着されていることを確認します。

d. リリース・タブがカチッと音がして所定の位置に収まり、保持クリップが所定の位置にしっかりと保持されるまで、リリース・タブをサーバーの前方に押しながら保持クリップを下に収納します。

9. カバーを再び取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・コネクター 2 から PCI ライザー・カード・アセンブリー (取り付けられている場合) を取り外します (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。

5. ネットワーク・アダプターの 2 つの拘束ねじを、システム・ボードのねじ穴から緩めます。

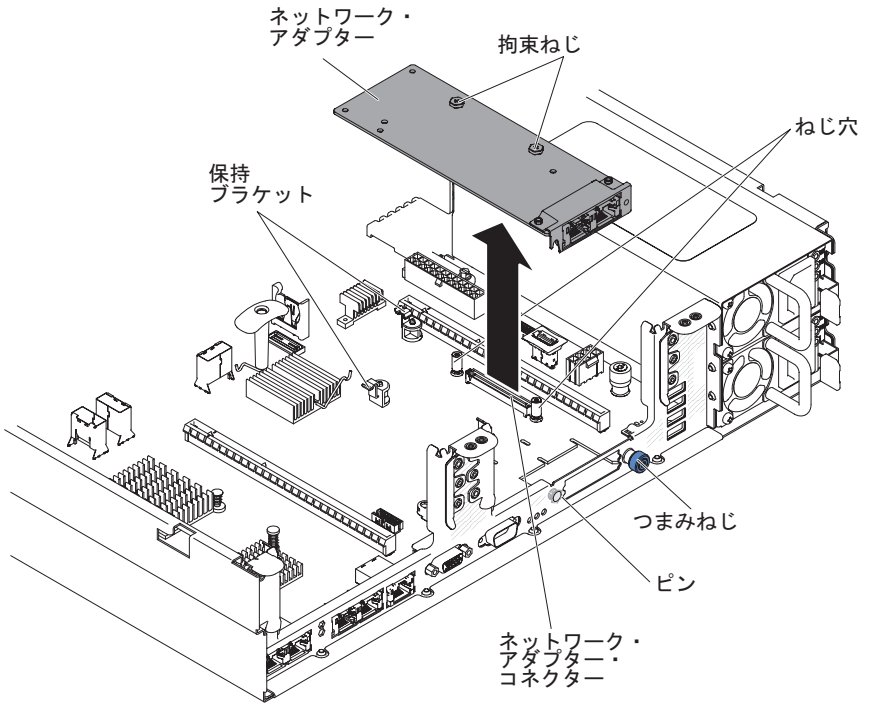


図 210. ねじの解放

6. シャーシのつまみねじを緩めます。
7. ネットワーク・アダプターをつかみ、システム・ボード上のピン、保持ブラケット、およびコネクターから取り外します。次に、アダプターを持ち上げてシャーシ背面のポート開口部から取り出し、サーバーから取り外します。
8. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの交換

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下のデュアル・ポート・ネットワーク・アダプターのいずれかを購入し、サーバーに 2 つのネットワーク・ポートを追加することができます。デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター・オプションを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

表 26. ネットワーク・コネクターでサポートされるデュアル・ポート・ネットワーク・アダプター

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター	オプションの部品番号	FRU の部品番号	注釈
Mellanox ConnectX-3 デュアル・ポート QDR/FDR10 Mezz カード	90Y6338	90Y4956	
Qlogic デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA	90Y6454	90Y5099	4 つのファンの取り付けが必要。
Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III	90Y6456	90Y5100	
デュアル・ポート FDR 組み込みアダプター	00D4143	90Y6606	
注: IBM System x3650 M4 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 46W8422) を購入して、サーバー用の追加ファンを入手することができます。			

以下には、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- ネットワーク・アダプターを構成するには、以下のステップを実行します。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択します。
  2. 「**Network Device List**」から、ネットワーク・アダプターを 1 つ選択します。

     注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。
  3. ネットワーク・アダプター設定を構成するには、Enter キーを押してください。
- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の NIC/iSCSI/FCoE を変換するには、以下のステップを実行します。
  1. Setup ユーティリティーのメインメニュー (166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』 を参照) から、「**System Settings**」 > 「**Network**」を選択し、Enter キーを押します。
  2. 「**Network Device List**」から「Emulex network adapter」を選択します。

     注: 詳細情報を確認するには、各項目に入る (MAC アドレスを表示する) 必要がある場合があります。
  3. Enter キーを押して Emulex ネットワーク・アダプターを構成し、「**Personality**」を選択して Enter キーを押し、設定を変更します。
     - NIC
     - iSCSI (FoD の取り付け後に選択可能になります)
     - FCoE (FoD の取り付け後に選択可能になります)
- IBM Web サイトから iSCSI および FCoE の最新バージョンのドライバーをダウンロードするには、以下のステップを実行します。
  1. http://www.ibm.com/support/fixcentral/ に進みます。

2. 「**Product support**」 > 「**System x**」 > 「**Product family**」 > **System x3650 M4 > 7915**をクリックします。
3. 「**Operating system**」メニューから、ご使用のオペレーティング・システムを選択して「**Search**」をクリックすると、使用可能なドライバーが表示されます。
4. 最新バージョンのドライバーをダウンロードします。
   - Emulex iSCSI デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)
   - Emulex FCoE デバイス・ドライバー (Windows 2008 用)

注: IBM Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

- Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III のポート 0 は、共有システム管理として構成することができます。
- サーバーがスタンバイ・モードである場合、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III の両方のポートが、100M 接続速度 (Wake on LAN 機能対応) で機能します。

以下のいずれかのエラーが発生すると、Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ 組み込み VFA III は自動的に使用不可になります。

- エラー・ログが、イーサネット・アダプターに対する温度警告を示している。
- すべてのパワー・サプライが取り外されたか、サーバーが給電部から切り離されている。

デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付けには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・コネクター 2 から PCI ライザー・カード・アセンブリー (取り付けられている場合) を取り外します (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. シャーシ後部のアダプター・フィラー・パネルを取り外します (まだ取り外していない場合)。

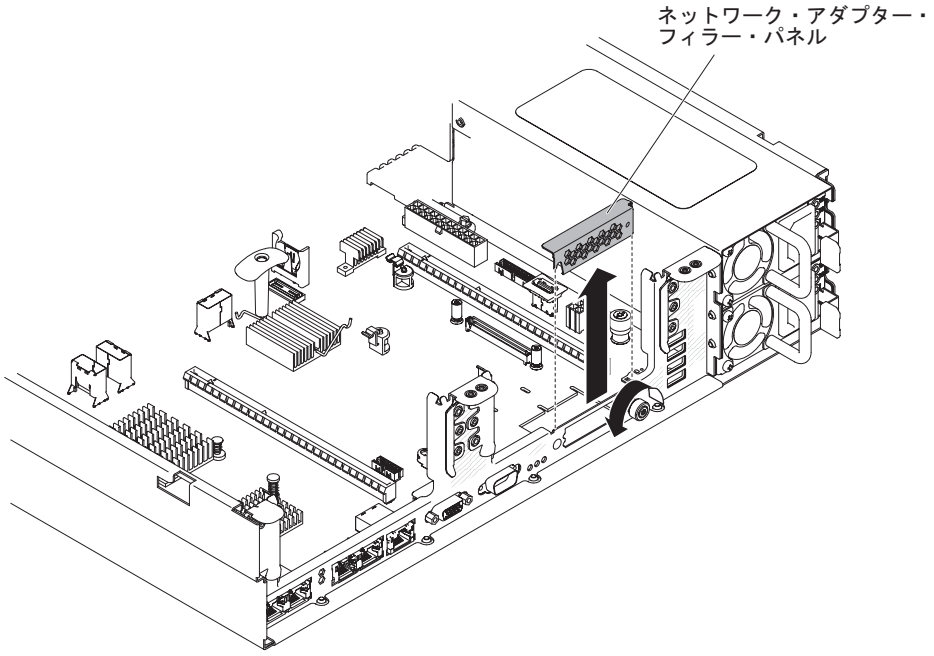


図 211. アダプター・フィラー・パネルの取り外し

6. 新しいアダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターをパッケージから取り出します。
7. アダプター上のポート・コネクターがシャーシのピンおよびつまみねじと並ぶように、アダプターを位置合わせします。次に、アダプターのコネクターをシステム・ボード上のアダプター・コネクターと位置合わせします。

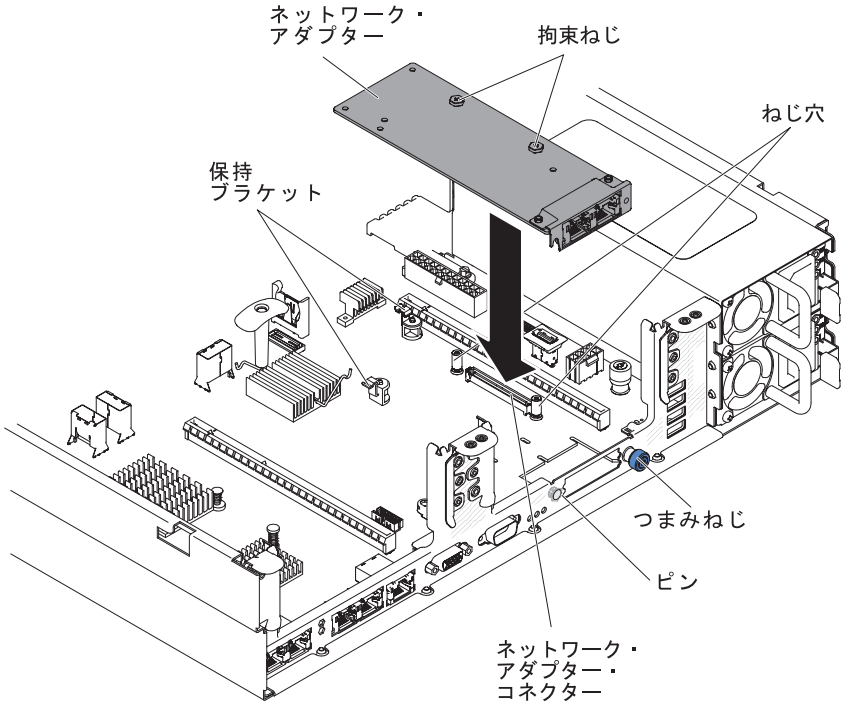


図 212. ネットワーク・アダプターの取り付け

8. ピン、および保持ブラケットがアダプターとしっかりとかみ合うまで、アダプターをしっかりと押します。アダプターがシステム・ボード上のコネクターにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

   重要: アダプター上のポート・コネクターが、サーバー後部のシャーシと適切に位置合わせされていることを確認してください。 アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボードまたはアダプターが損傷する可能性があります。
9. シャーシ背面のつまみねじを締めます。
10. ネットワーク・アダプターの 2 つの拘束ねじを締めます。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーを以前に取り外していた場合は、PCI ライザー・コネクター 2 に再取り付けします (333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
12. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し

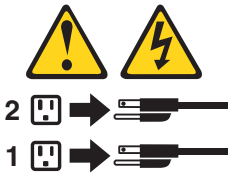
ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置に複数の電源コードが使われている場合もあります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左に押したまま保持します。ハンドルをつかみ、パワー・サプライをサーバーから引き出します。

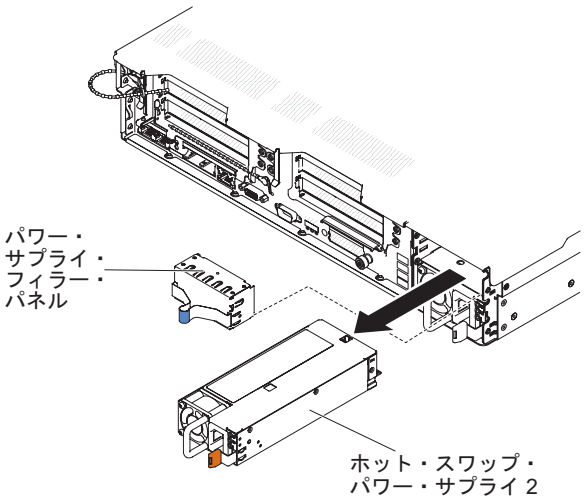


図 213. パワー・サプライの取り外し

5. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの交換

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを交換します。

このタスクについて

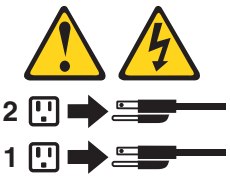
以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、 10 ページの表 2で詳細な構成を確認してください。

- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが標準で搭載されています。入力電圧は、100-127 V AC または 200-240 V AC の自動検知です。
- サーバーが正しく稼働することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは定格 (ワット数) が同じでなければなりません。例えば、550 ワットのパワー・サプライと 750 ワットのパワー・サプライをサーバー内で混用することはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

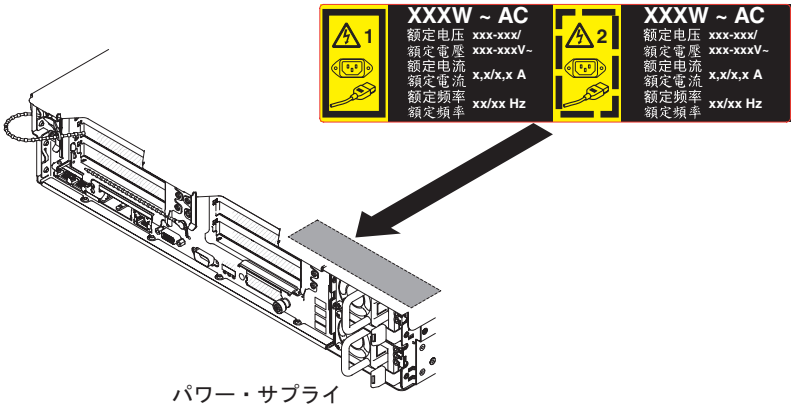
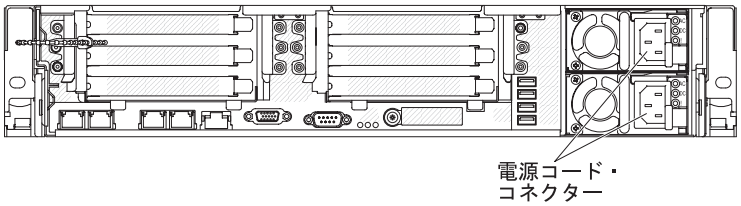


図 214. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。

   重要: サーバー内で異なる電力定格 (ワット数) のパワー・サプライ、高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用しないでください。

5. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。 次の図は、サーバー背面の電源コード・コネクターを示しています。



6. 電源コードは、パワー・サプライの横にあるクリップを通し、サーバーの背面にあるケーブル・クランプを通して配線し、サーバーをラックに差し込んだり引き出したりするときに誤って電源コードが抜けることのないようにします。
7. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクターに接続します。
8. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。
9. AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
10. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

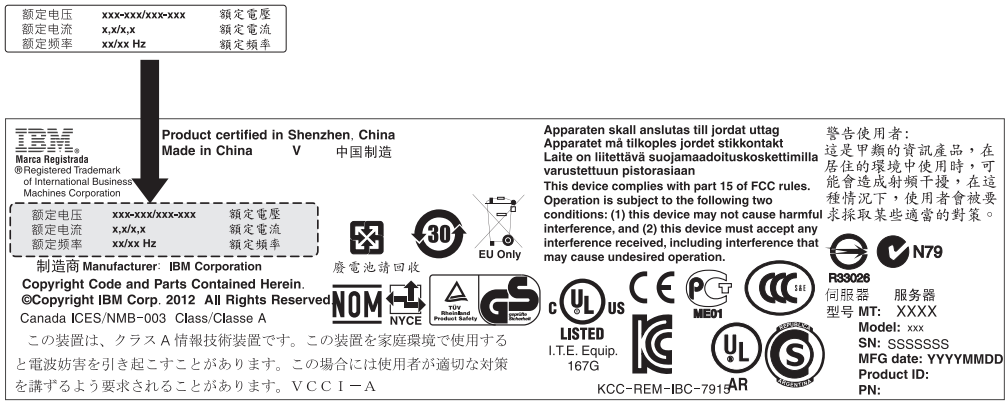


図 215. 電源情報ラベル

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外し

以下の情報を使用して、ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り外します。

このタスクについて

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合、以下の予防措置に注意してください。

安全 29

注意: この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。 この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。 DC システムが他の場所に接地されていないこと。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機または切断機を設置しないこと。

安全 31

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地された給電部に接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線された給電部に接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている AC 電源コード、DC 給電部、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:

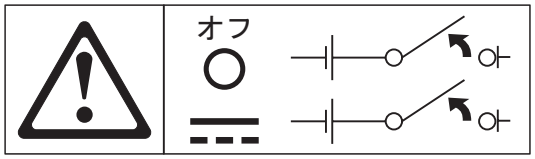
1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
2. 製品に信号ケーブルを接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
   - AC システムの場合は、装置の電源ソケットを使用します。
   - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の正しい極性を確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 他の装置に信号ケーブルを接続します。
5. それらの装置の給電部に電源コードを接続します。
6. すべての給電部の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
   - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、あるいは AC 電力配分装置で電源を遮断します。
   - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 給電部を切り離すか、給電部の電源をオフにします。その後、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33

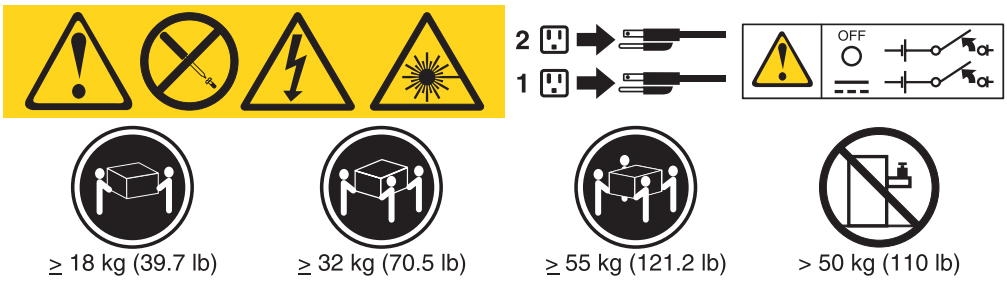
注意:
この製品には、電源制御ボタンが備わっていません。ブレードの電源をオフにしたり、電源モジュールや I/O モジュールを取り外しても、製品への電流はオフになりません。この製品には、複数の電源コードが使用されている場合があります。この製品から完全に電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 34

注意:
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は正しく接地された Safety Extra Low Voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生しても、その出力電圧が安全レベルの 60 V DC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**
- **分岐回路の過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**
- **銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**
- **配線端子のねじに必要なトルク値については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左に押したまま保持します。ハンドルをつかみ、パワー・サプライをサーバーから引き出します。

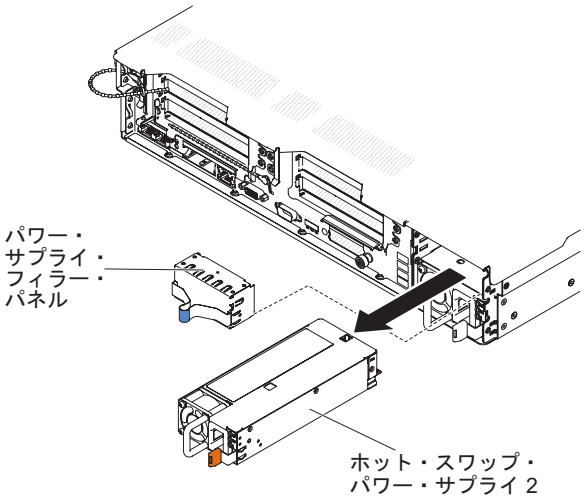


図 216. パワー・サプライの取り外し

5. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライの交換

以下の情報を使用して、ホット・スワップ DC パワー・サプライを交換します。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、 10 ページの表 2で詳細な構成を確認してください。

- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが標準で搭載されています。入力電圧は、-48 V DC または -60 V DC の自動検知です。
- サーバーに DC パワー・サプライを取り付ける前に、すべての AC パワー・サプライを取り外す必要があります。同じサーバー内で AC パワー・サプライと DC パワー・サプライの両方を使用しないでください。最大 2 つの DC パワー・サプライまたは最大 2 つの AC パワー・サプライを取り付けますが、組み合わせることはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- 必要な電源ケーブルは、お客様の責任で準備してください。

  感電のリスクを避けるため次のようにしてください。
  - **定格が 25 アンペアの回路ブレーカーを使用してください。**
  - **90° C で 2.5 mm^2 (12 AWG) の銅線を使用してください。**
  - **配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めます。**

  詳しくは、以下のページの『安全 34』を参照してください。
- 給電部で丸形端子が必要な場合は、圧着工具を使用して、丸形端子を電源コードのワイヤーに取り付けてください。丸形端子は、UL 規格認定取得済みでなければならず、上記の注記で説明しているワイヤーに対応している必要があります。

安全 29:

注意:
この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。 DC システムが他の場所に接地されていないこと。

- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機または切断機を設置しないこと。

安全 31

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地された給電部に接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線された給電部に接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている AC 電源コード、DC 給電部、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:

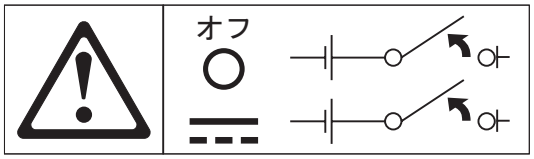
1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
2. 製品に信号ケーブルを接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
   - AC システムの場合は、装置の電源ソケットを使用します。
   - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の正しい極性を確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 他の装置に信号ケーブルを接続します。
5. それらの装置の給電部に電源コードを接続します。
6. すべての給電部の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
   - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、あるいは AC 電力配分装置で電源を遮断します。
   - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 給電部を切り離すか、給電部の電源をオフにします。その後、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33

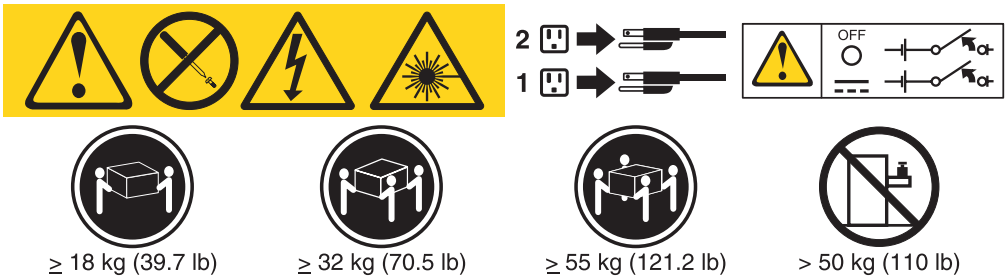
注意:
この製品には、電源制御ボタンが備わっていません。ブレードの電源をオフにしたり、電源モジュールや I/O モジュールを取り外しても、製品への電流はオフになりません。この製品には、複数の電源コードが使用されている場合があります。この製品から完全に電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 34

注意:
感電、または危険なエネルギーにさらされるリスクを避けるため、次のようにしてください。

- **この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。**
- **装置は正しく接地された Safety Extra Low Voltage (SELV) 電源に接続してください。 SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生しても、その出力電圧が安全レベルの 60 V DC を超えないように設計された 2 次側の回路です。**
- **フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。**
- **分岐回路の過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**
- **銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**
- **配線端子のねじに必要なトルク値については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。**



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り付けるには、次の手順を実行します。

重要: IBM サービス技術員以外では、トレーニングを受けたサービス担当員のみが、-48 ボルト DC パワー・サプライの取り付けおよび取り外し、-48 ボルト DC 給電部の接続および切り離しを行うことを許可されています。IBM サービス技術員は、-48 ボルト電源ケーブルの取り付けおよび取り外しの認定や許可を受けていません。トレーニングを受けたサービス担当員のみが -48 ボルト電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを行っていることは、お客様の責任で確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 新規のパワー・サプライを接続する DC 給電部の回路ブレーカーをオフにします。 DC 給電部から電源コードを切り離します。
4. 新規のパワー・サプライに DC 電源ケーブルを接続します。

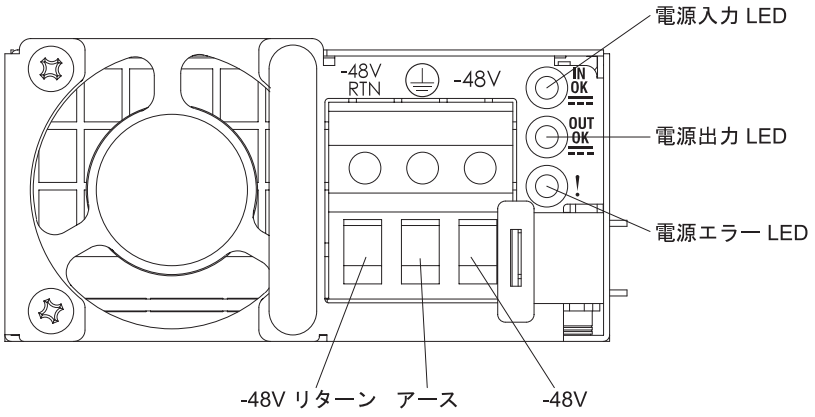


図 217. DC パワー・サプライ背面図

5. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

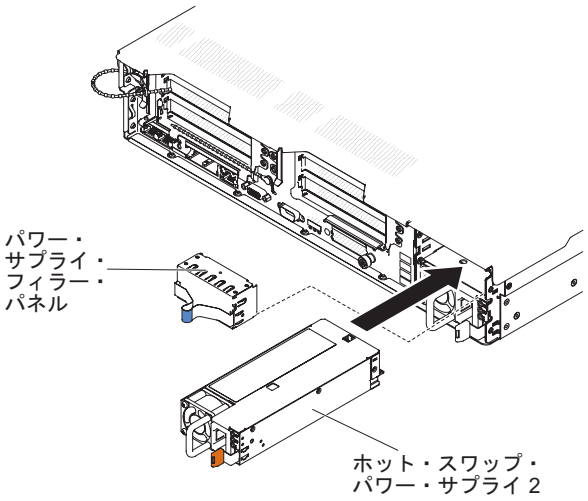


図 218. パワー・サプライの取り付け

6. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクターにしっかりと接続されていることを確認します。
7. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
8. DC 電源ケーブルの他方の端を DC 給電部に接続します。ワイヤーを適切な長さに切り取ります。ただし、150 mm より短く切り取らないでください。給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は、UL 規格認定取得済みでなければならず、 83 ページの『ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け』 ページで説明しているワイヤーに対応している必要があります。終端がピラー・タイプまたはスタッド・タイプの最小公称ねじ径は、4 mm でなければなりません。終端がねじタイプのねじ径は、5.0 mm でなければなりません。
9. 新規のパワー・サプライを接続した DC 給電部の回路ブレーカーをオンにします。
10. パワー・サプライ上の緑色の電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
11. サーバー内でパワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

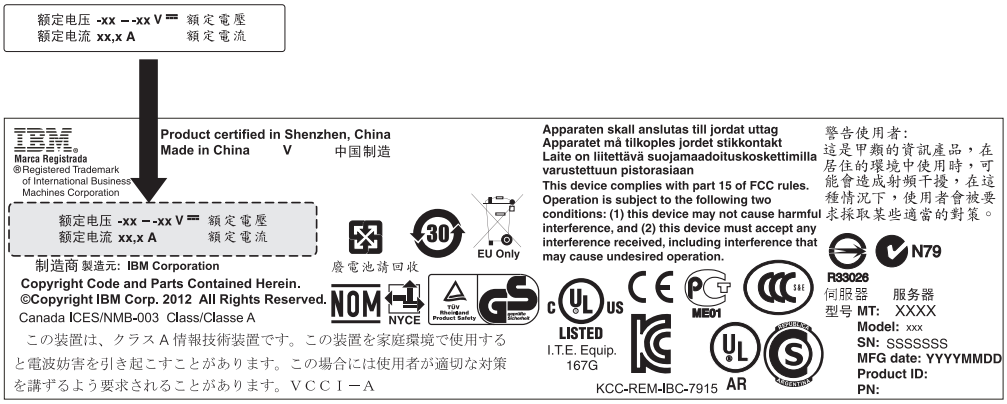


図 219. 電源情報ラベル

12. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。

図 220. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ・ファンの取り外し

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: サーバーの正しい作動を保証するために、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。故障したデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンのコネクター近くのシステム・ボード上の LED が点灯します。

   重要: 適切なシステムの冷却を確保するために、この手順の間、30 分を超えてトップ・カバーを取り外したままにしないでください。
3. デュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンの側面にあるグリップを指でつかみます。

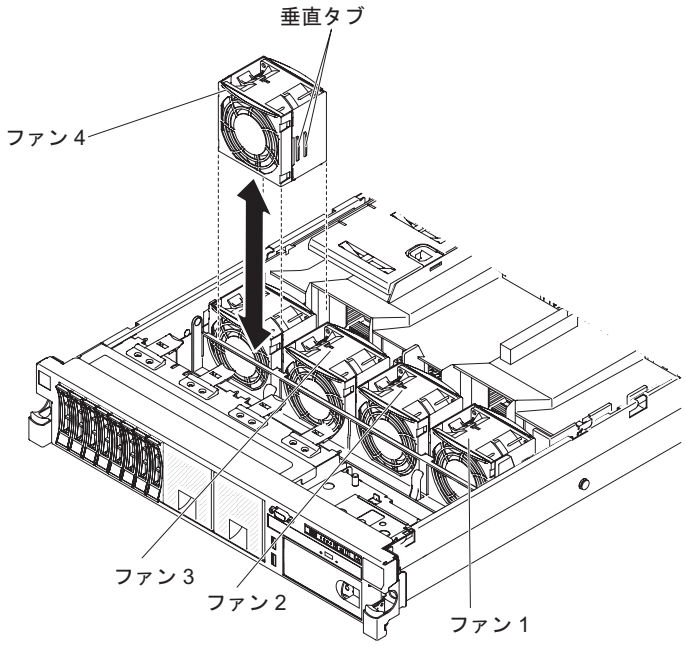


図 221. ファンの取り外し

4. エアー・バッフルを回転させて上げます。
5. デュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンを持ち上げてサーバーから取り出します。

   重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。
6. ファンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ファンの交換

ホット・スワップ・ファンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

適切な冷却を確保するために、このサーバーでは常に 4 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンが取り付けられている必要があります。

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
3. エアー・バッフルを回転させて上げます。
4. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新しいファンをパッケージから取り出します。

5. ファン・コネクターとシステム・ボード上のコネクターの位置が合うように、ファンの向きをファン・アセンブリー・ブラケットのファン・スロットの位置で合わせます。
6. ファン・アセンブリー・ブラケットにあるファン・スロットにファンを挿入して下に押し込み、スロットにしっかりと収容されるようにします。また、ファン・コネクターがシステム・ボード上のコネクターにしっかり接続されるようにします。

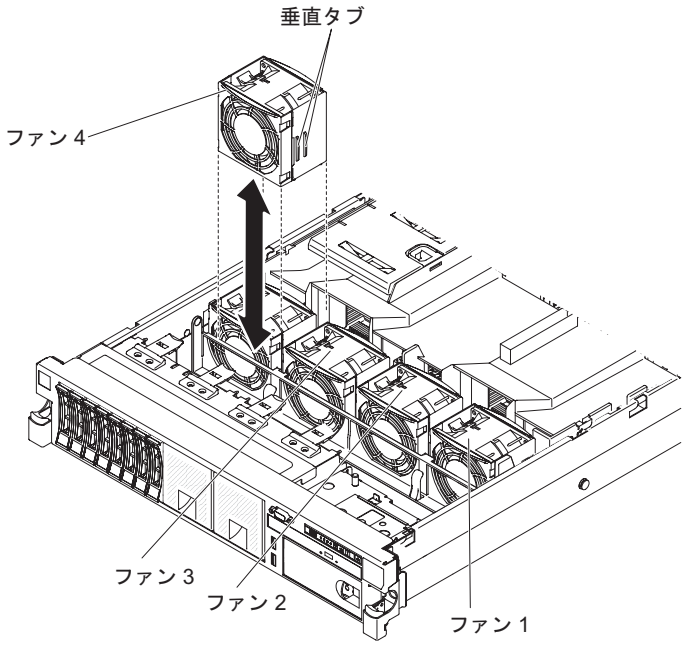


図 222. ファンの取り付け

注: 適切に取り付けるために、新たに取り付けるファンが、正しく取り付けられている他のファンと水平に位置合わせされていることを確認してください。

7. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り外し

2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ハード・ディスクをサーバーから少し引き出して、ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンから取り外します (298 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. 作業スペースを広げるために、ファンを取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. 2 つの前面タブを持ち上げ、サーバーの背面の方向にバックプレート・アセンブリー/バックプレーンを回転させて、バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外します。

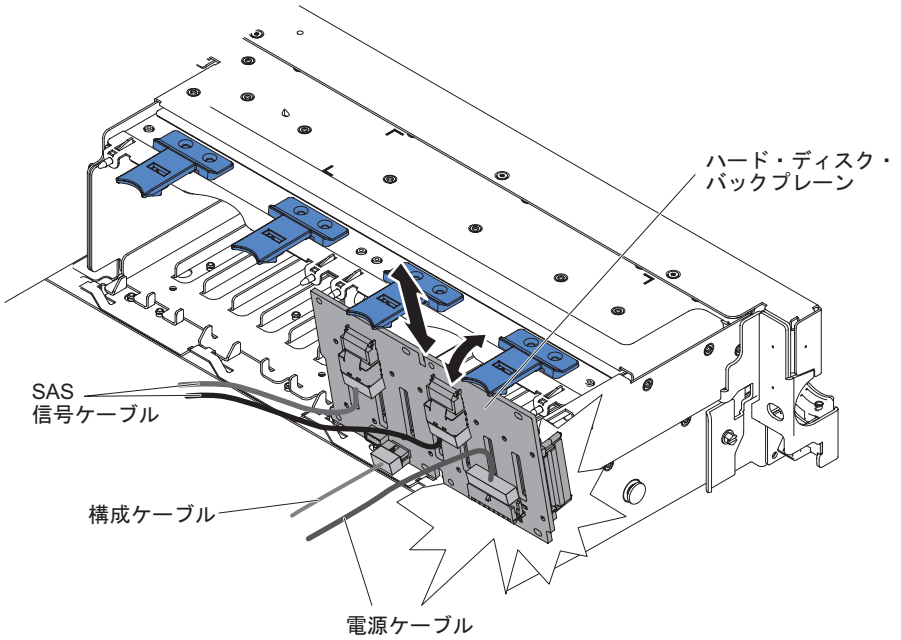


図 223. 2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り外し

7. すべてのケーブルをハード・ディスク・バックプレーンから切り離します。
8. ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー/バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの交換

2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 信号ケーブルおよび電源ケーブルをシステム・ボードに再接続します。信号ケーブルをドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、**SAS/SATA 信号コネクター**に接続します。次に、電源ケーブルをドライブ・バックプレート・アセンブリーからシャーシに沿って配線し、**シンプル・スワップ SATA コネクター**に接続します。 282 ページの『2.5 型ハード・ディスクのケーブル接続』を参照してください。
3. バックプレート・アセンブリー/バックプレーンをシャーシ内のバックプレート・アセンブリー/バックプレーン・スロットおよびハード・ディスク・ケージの上部にある小さなスロットに位置合わせします。
4. バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを下げて、シャーシのスロットに差し込みます。
5. バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの上部を回転させ、前部のタブがシャーシのラッチにカチッと音がするまで差し込みます。

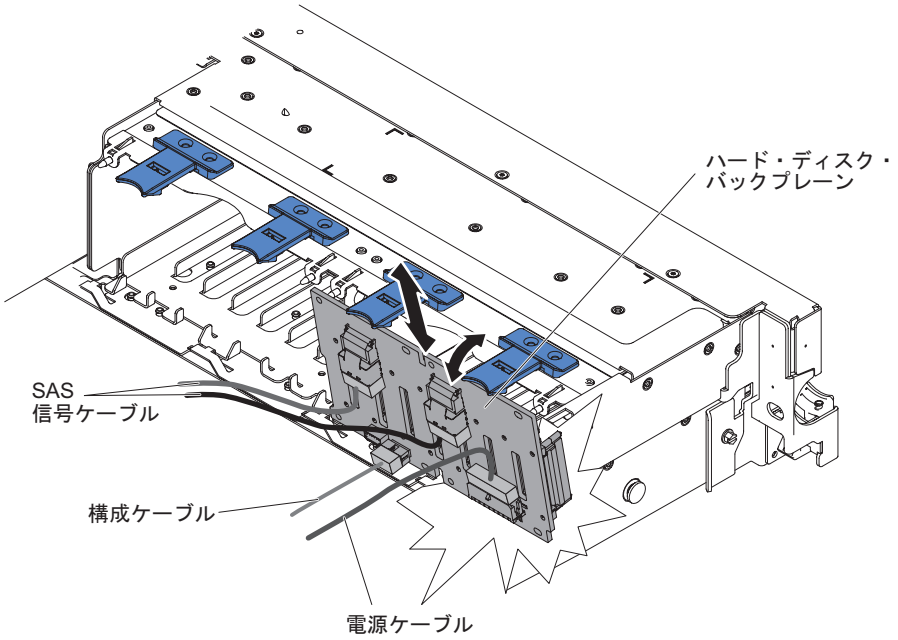


図 224. 2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り付け

6. ファン・ブラケットおよびファンを取り外していた場合は元に戻します (331 ページの『ファン・ブラケットの交換』 および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』 を参照)。
7. ハード・ディスクを再び取り付けます (299 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
8. カバーを取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り外し

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. ハード・ディスクあるいはフィラーをサーバーからわずかに引き出し、バックプレート・アセンブリー/バックプレーンから外します。詳しくは、 302 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照してください。
5. 作業スペースを広げるために、ファンを取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。
6. ラッチを引いて持ち上げ、バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを持ち上げてサーバーから取り出します。

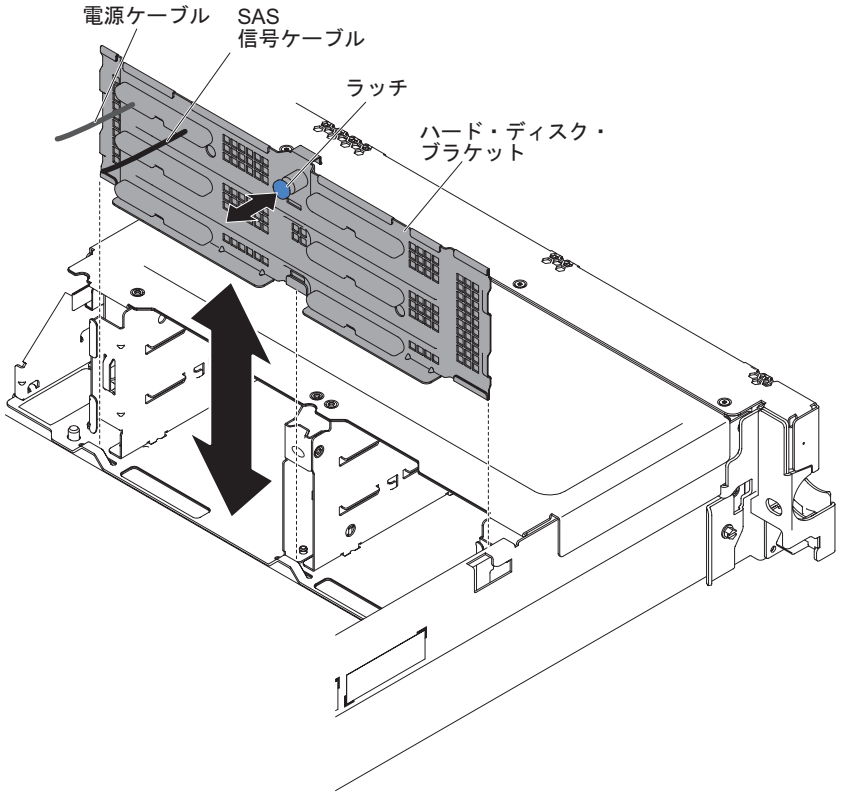


図 225. 3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り外し

7. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをシステム・ボードから切り離します。
8. ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー/バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの交換

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ドライブ・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの両側面を、ブラケットのスロットと位置合わせします。
3. バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを下げて、シャーシのスロットに差し込みます。

4. バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの上部を回転させ、前部のタブがシャーシのラッチにカチッと音がするまで差し込みます。

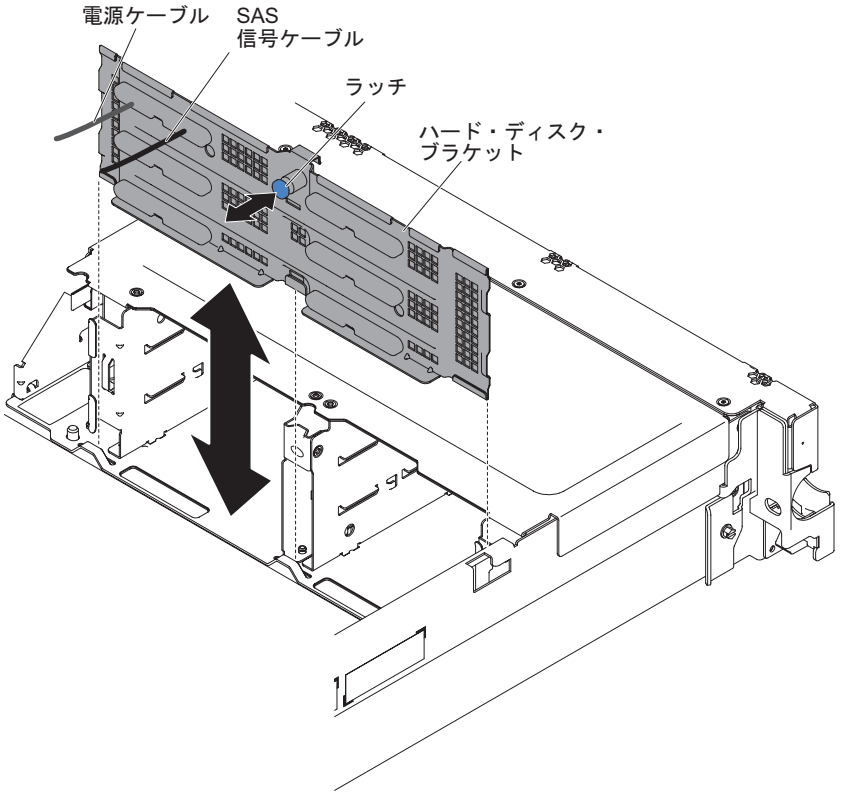


図 226. 3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの取り付け

5. 信号ケーブルおよび電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。信号ケーブルをドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、**SAS/SATA 信号コネクター**に接続します。次に、電源ケーブルをドライブ・バックプレート・アセンブリーからシャーシに沿って配線し、**シンプル・スワップ SATA コネクター**に接続します。詳しくは、 286 ページの『3.5 型ハード・ディスクのケーブル接続』を参照してください。
6. ハード・ディスクおよびフィラー・パネルを再び取り付けます (303 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
7. ファン・ブラケットおよびファンを取り外していた場合は元に戻します (331 ページの『ファン・ブラケットの交換』 および 372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』 を参照)。
8. カバーを取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 次のように、フラッシュ・デバイスを取り外します。

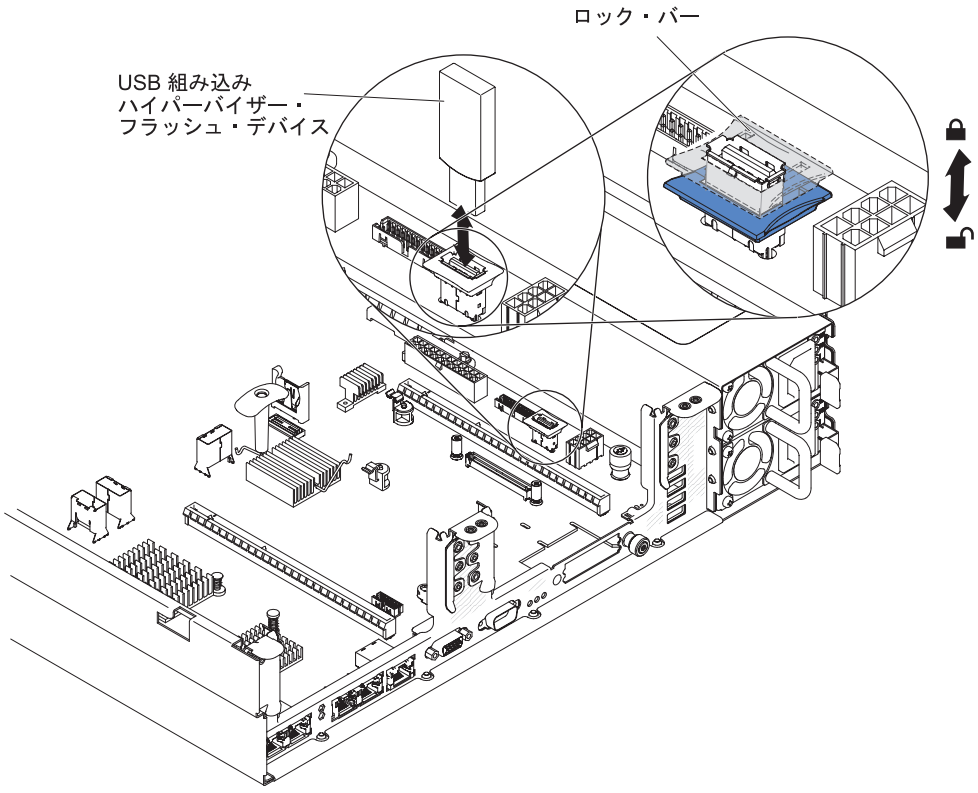


図 227. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

   a. 青色のロッキング・カラーを押し下げて、USB コネクターの保持ラッチのロックを解除します。
   b. フラッシュ・デバイスをつかみ、コネクターから引き抜いて取り外します。
5. フラッシュ・デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 次のように、フラッシュ・デバイスを取り付けます。

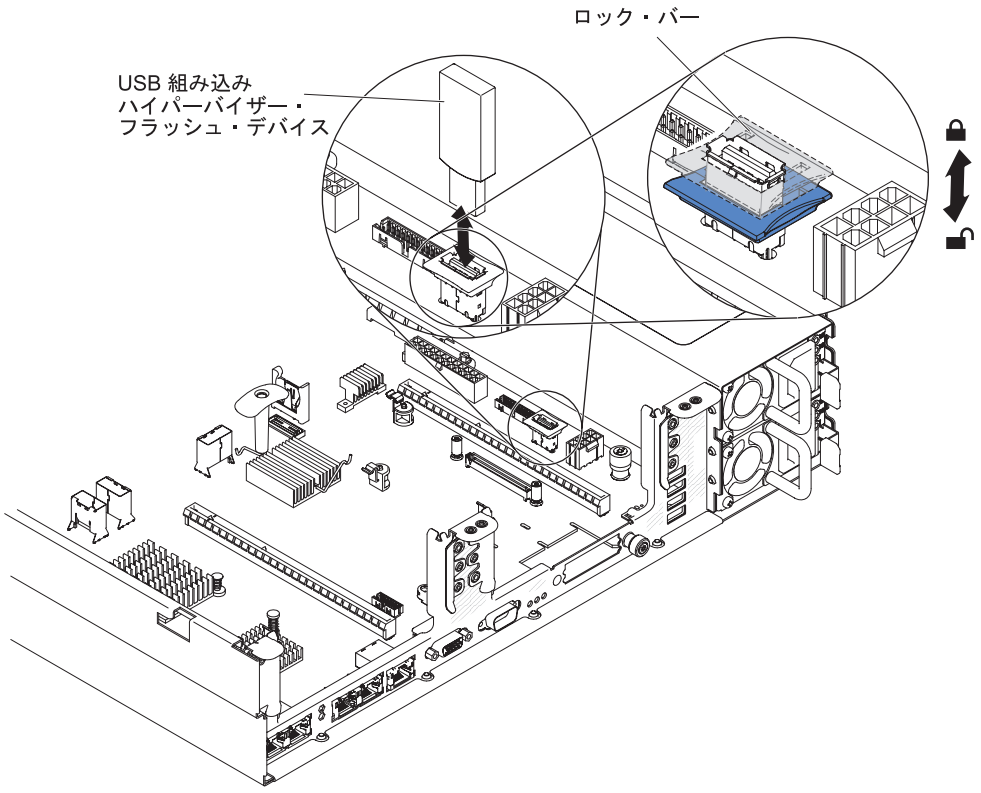


図 228. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

   a. フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまで USB コネクターに押し入れます。
   b. 青色のロック・カラーを引き上げて、フラッシュ・デバイスを USB コネクターにロックします。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

7. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

このタスクについて

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

  注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

  注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

  安全 2

  注意:
  リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

  次のことはしないでください。
  - **水に投げ込む、あるいは浸す**
  - **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
  - **修理または分解**

  バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・バッテリーを取り外すには、以下のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を完全に引き上げます (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。

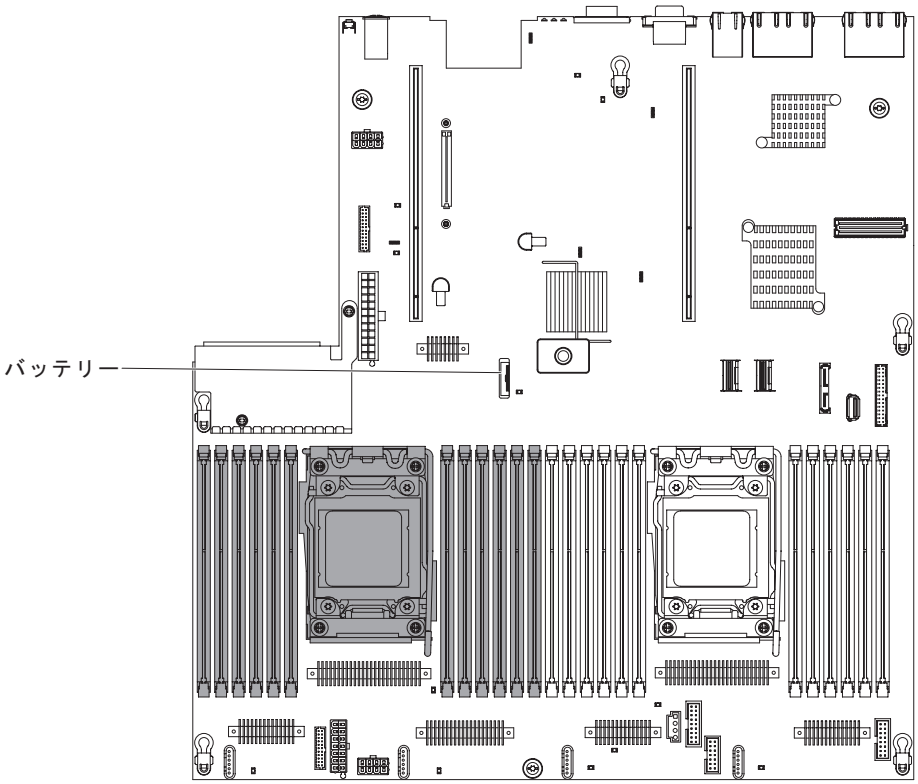


図 229. システム・バッテリーの取り外し

   a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクターからバッテリー・カバーを持ち上げます。
   b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

      重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。

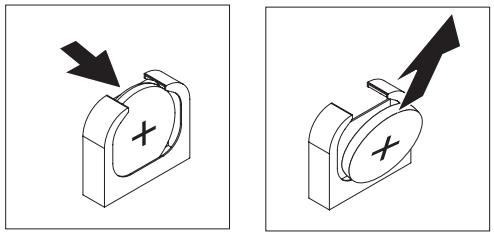


図 230. システム・バッテリーの取り外し

c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

   重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。 ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

6. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳しくは、IBM *Documentation* CD の「*IBM Environmental Notices and User's Guide*」を参照してください。

システム・バッテリーの交換

以下の注では、サーバー内でシステム・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

このタスクについて

- システム・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または IBM販売店にご連絡ください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
3. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
5. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を完全に引き上げます (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 新しいバッテリーを次のように挿入します。

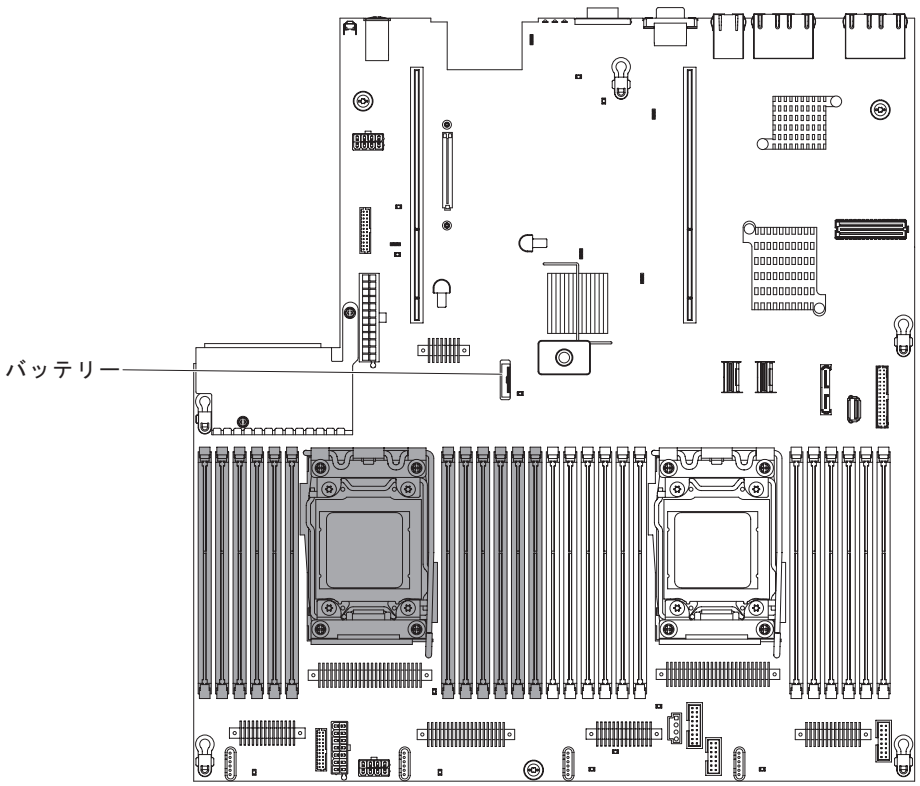


図 231. システム・バッテリーの取り付け

a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。

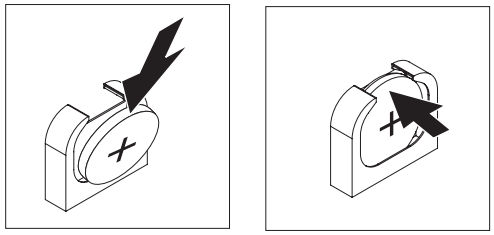


図 232. システム・バッテリーの取り付け

b. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。

c. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、指を使ってバッテリー・コネクターの上部にバッテリー・カバーを取り付けます。

7. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を再び取り付けます (333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
8. カバーを取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
11. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。

- システムの日付と時刻を設定します。
- 始動パスワードを設定します。
- サーバーを再構成します。

詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面からケーブルを切り離します。
5. パネルの背面にある青色のポイントをサーバーの前面方向にわずかに引き上げます。

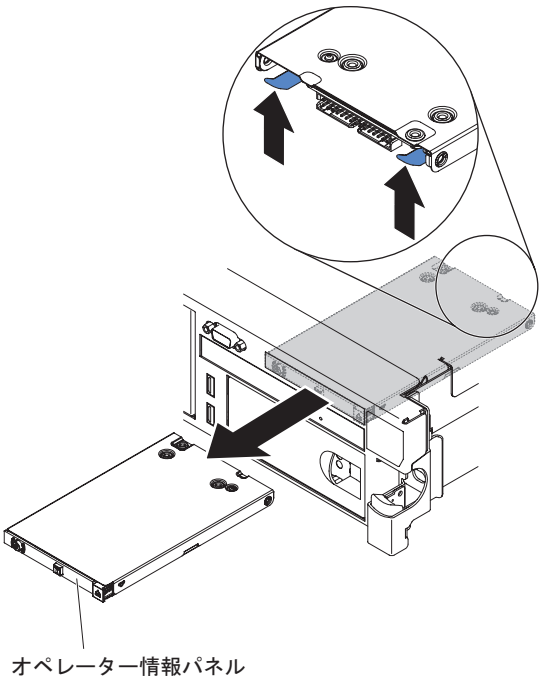


図 233. オペレーター情報パネルの取り外し

6. サーバー前面で、アセンブリーをわずかに左右に動かしながら、サーバーから慎重に引き出します。

7. オペレーター情報パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換

オペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. サーバーの前面から、オペレーター情報パネルをサーバー内にスライドさせ、カチッという音を立てて所定の位置に収まるようにします。

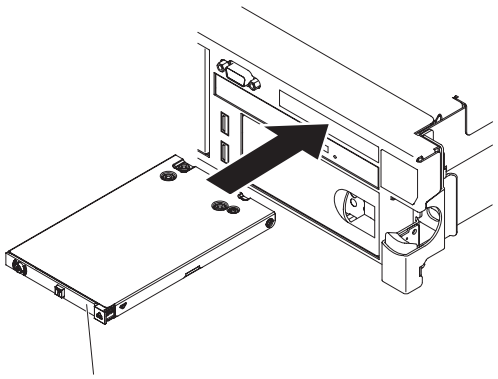


図 234. オペレーター情報パネルの取り付け

5. サーバー内部で、オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面にケーブルを接続します。 次の図は、オペレーター情報パネルのケーブル・ルーティングを示しています。

   以下の注意書きでは、ケーブルの取り付けを行う際の追加情報を記載しています。

   - オペレーター情報パネルのケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
   - オペレーター情報パネルのケーブルは、ファン・ケージの邪魔にならないよう、ファン 3 とファン 4 の間のシャーシ・ラッチを通過させる必要があります。
6. カバーを取り付け直します (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- マイクロプロセッサーの取り外しは、トレーニングを受けた技術員のみが行うものとします。

  重要: マイクロプロセッサーを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサーを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサーの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサーは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。 どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

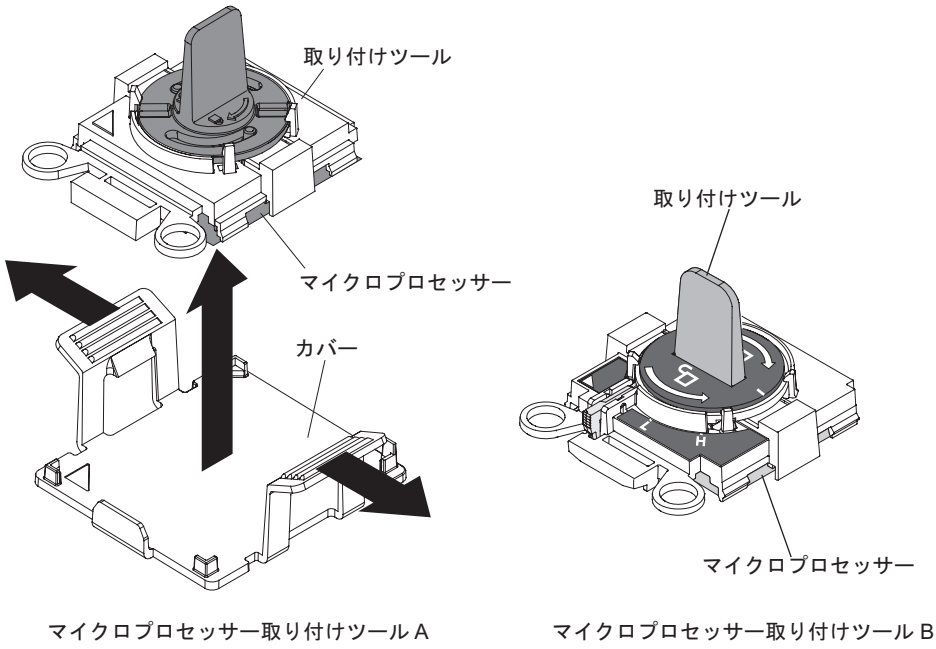


図 235. マイクロプロセッサー取り付けツール

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 取り外すマイクロプロセッサーを見つけます (32 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. ヒートシンクを取り外します。

   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

   a. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを完全に開いた位置にします。
   b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

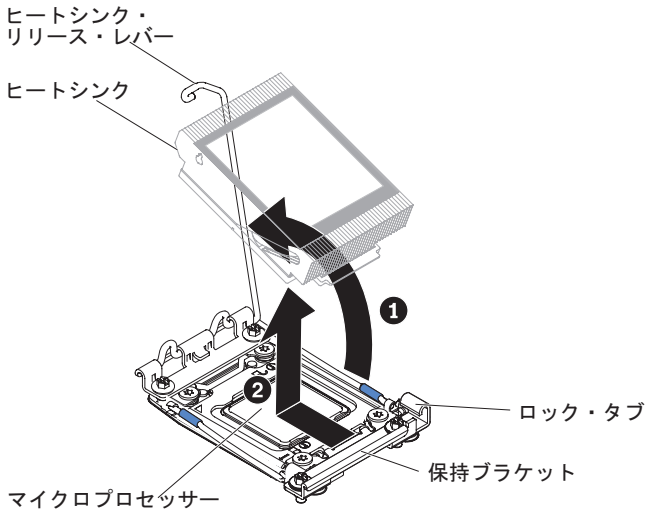


図 236. ヒートシンクの取り外し

7. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

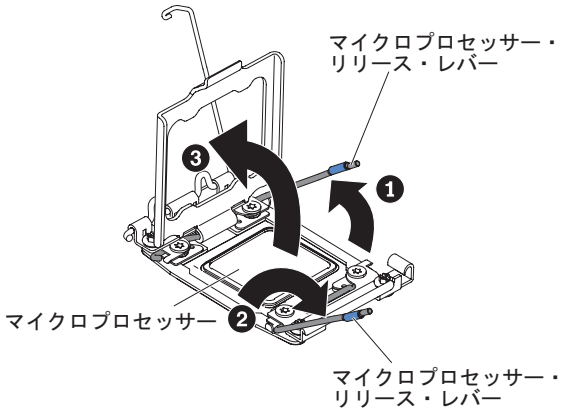


図 237. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

8. マイクロプロセッサーをソケットから取り外します。
   a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。取り付けツールのハンドルが開いた位置になっていない場合は、ご使用の取り付けツールに以下の手順を使用します。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させます。

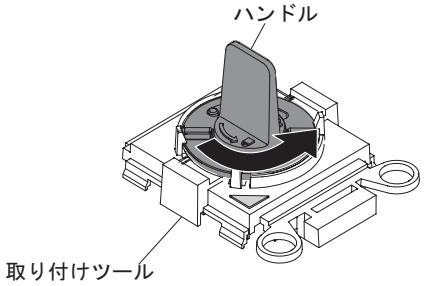


図 238. 取り付けツール・ハンドルの調整

- 取り付けツール B を使用している場合は、インターロック・ラッチを持ち上げたまま **1** 、マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させてから **2** 、インターロック・ラッチを放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサーのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。

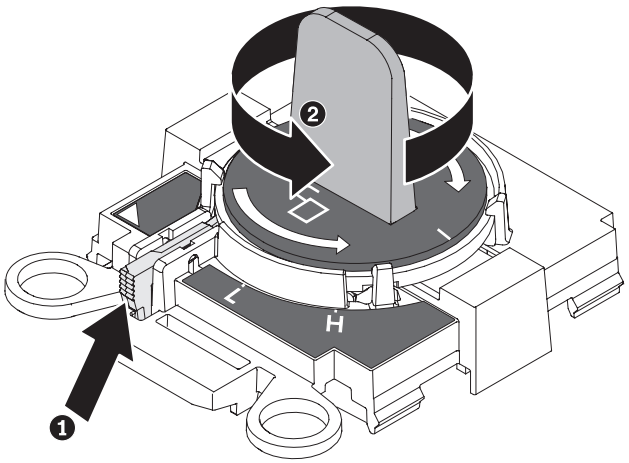


図 239. 取り付けツール・ハンドルの調整

b. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサーの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされた場合にのみ、ソケット上に平坦に載ります。

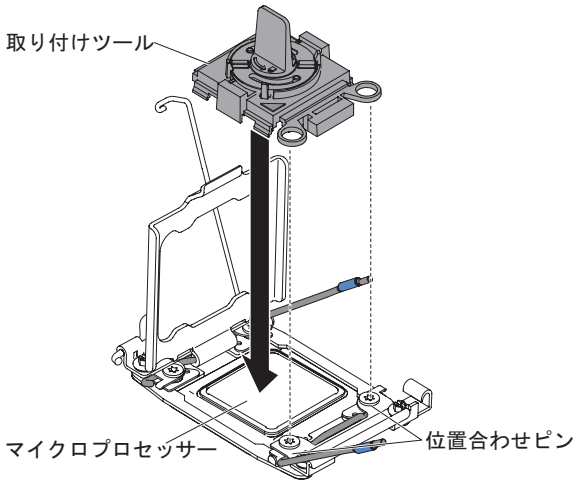


図 240. 取り付けツールの位置合わせ

c. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り外します。

- 取り付けツール A を使用している場合には、ハンドルを右回りに閉鎖位置までゆっくりと回転させ、マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツールのハンドルをゆっくり右回りに回転させ、マイクロプロセッサーのサイズに応じて『H』 または 『L』 の位置にロックさせます。その後、マイクロプロセッサーを持ちあげてソケットから抜きます。

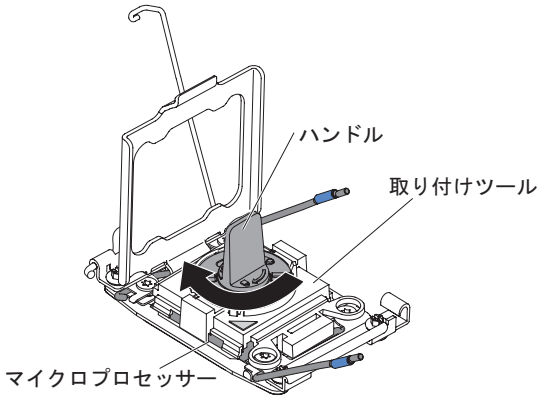


図 241. 取り付けツール・ハンドルの調整

d. マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから取り外します。

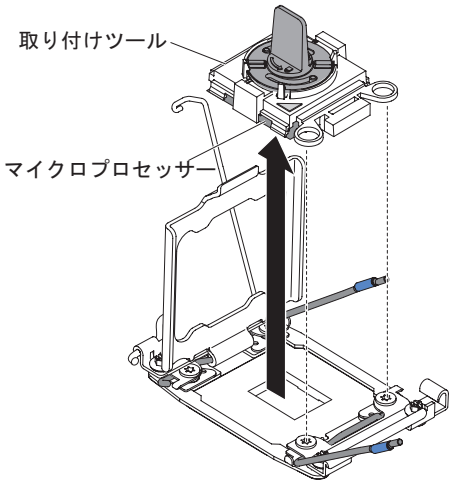


図 242. 取り付けツールの取り外し

9. マイクロプロセッサーをソケットに取り付けない場合は、ステップ 8 (398 ページ) で取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。

   重要: ソケットのピンは壊れやすいです。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

10. マイクロプロセッサーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプの説明と、マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- マイクロプロセッサーの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

  重要: マイクロプロセッサーを取り付ける場合は、必ず、マイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- このサーバーは、LGA 2011 用に設計された最大 2 つの Intel Xeon™ E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサーを混用しないでください。

- 最初のマイクロプロセッサーは、必ず、システム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 1 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける際、最初のマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外さないでください。
- マイクロプロセッサーを取り付ける前に、 10 ページの表 2で詳細なパワー・サプライ構成を確認してください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、追加のメモリーと 4 つ目のファンも取り付ける必要があります。 取り付け順序の詳細は、 58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 追加のマイクロプロセッサーを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサーを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーを混用する場合、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサーを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサー電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/supportportal/に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサー速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサー周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、 151 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

  注: マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。
- オプションの追加マイクロプロセッサーを注文するには、IBM 営業担当員または IBM 販売店にお問い合わせください。

マイクロプロセッサー取り付けツールには 2 つのタイプがあります。どちらのツールも機能と設計は類似していますが、ツール A の場合は、1 つのサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 1 つの設定があり、E5-26xx および E5-46xx のマイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。取り付けツール B には、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツール B にマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサ

ーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツール B は、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサー取り付けツール A および B を、次の図に示します。

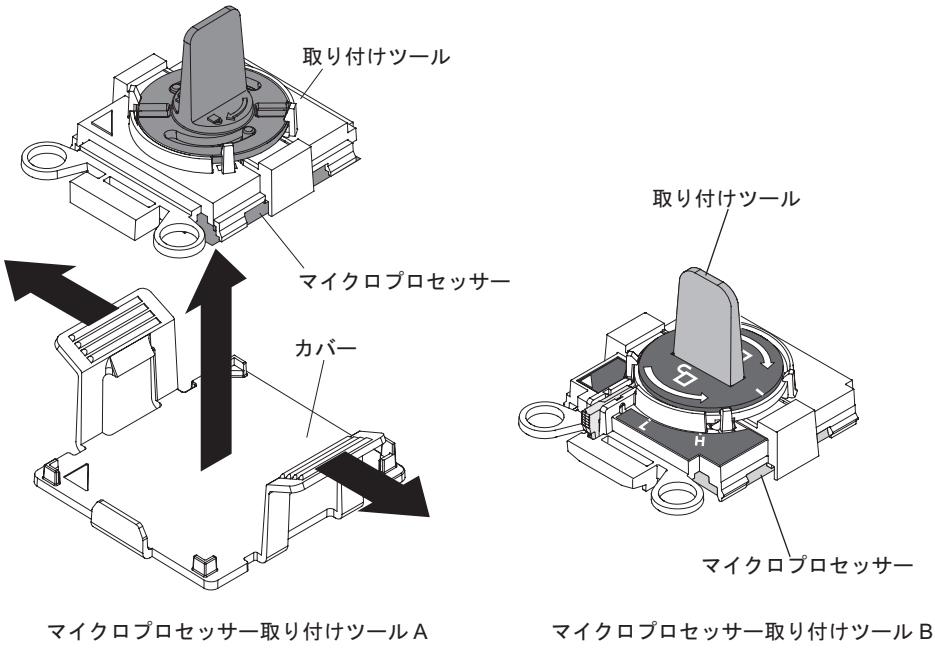


図 243. マイクロプロセッサー取り付けツール

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

   重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法の詳細については、 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを開いた位置まで回転させます。

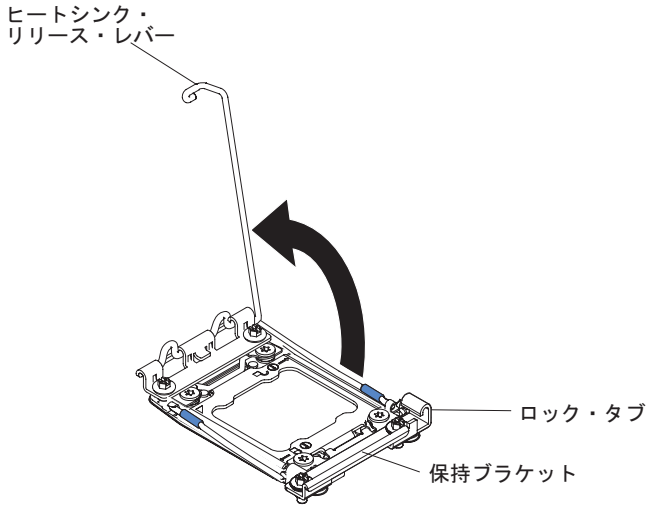


図 244. ヒートシンク・レバーの回転

6. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

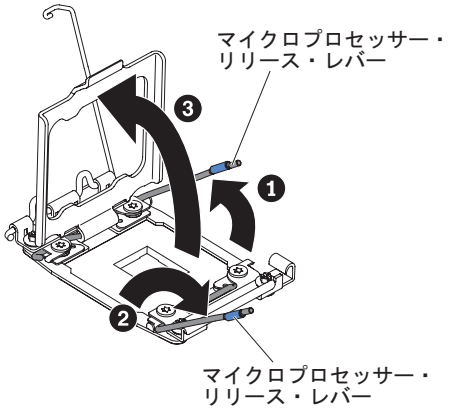


図 245. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触らないでください。

7. 次のように、マイクロプロセッサーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。
   a. 新規のマイクロプロセッサーが入っている帯電防止パッケージをシャーシの塗装されていない 金属面またはその他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、マイクロプロセッサーを慎重にパッケージから取り出します。

b. カバーのサイドを解放し、取り付けツールからカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

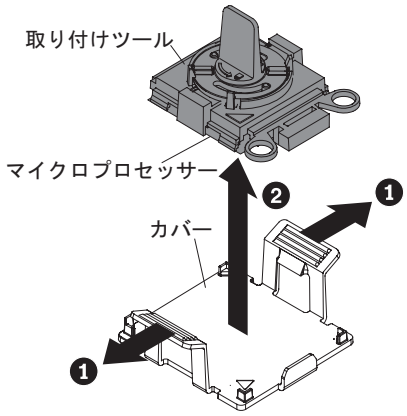


図 246. 取り付けツール・カバーの取り外し

注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

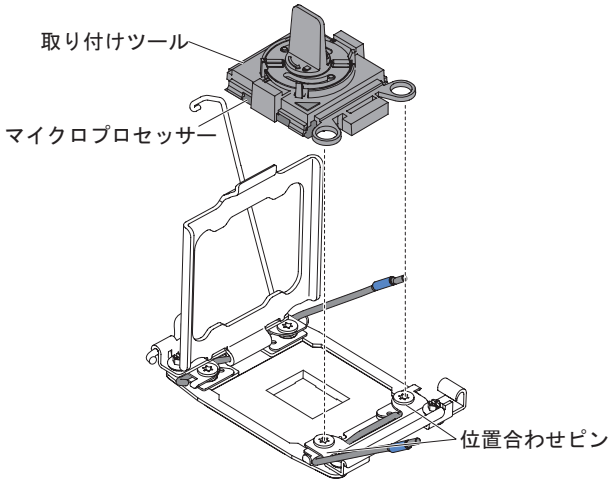


図 247. 取り付けツールの位置合わせ

d. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサーを取り付けます。

- 取り付けツール A を使用している場合には、マイクロプロセッサー・ツール・アセンブリーのハンドルを左回りに開放位置まで回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。
- 取り付けツール B を使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入され

るまで回転させます。その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハンドルを示しています。

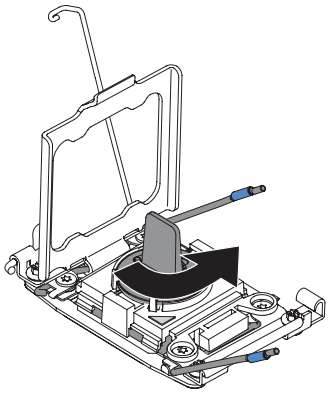


図 248. 取り付けツール・ハンドルの調整

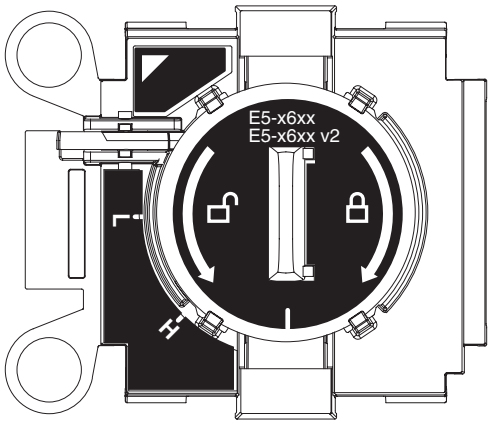


図 249. 取り付けツール B

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、マイクロプロセッサーが正しい方向で正しい位置にソケットに取り付けられていることを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部の熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が品質が劣化します。

8. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。 ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

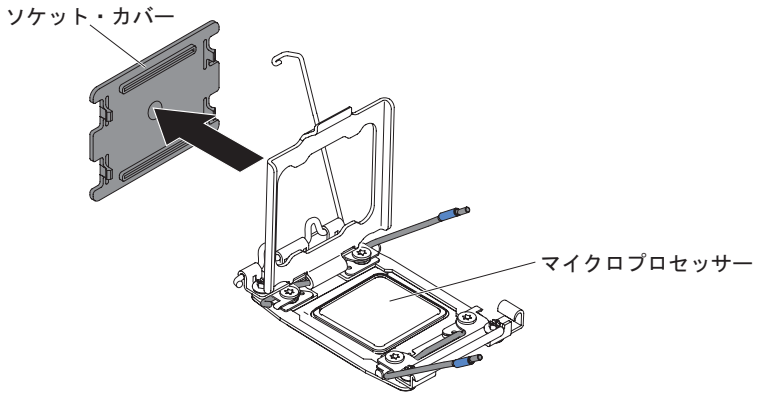


図 250. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。 これらの部品の取り扱い方法については、41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

9. 次のように、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

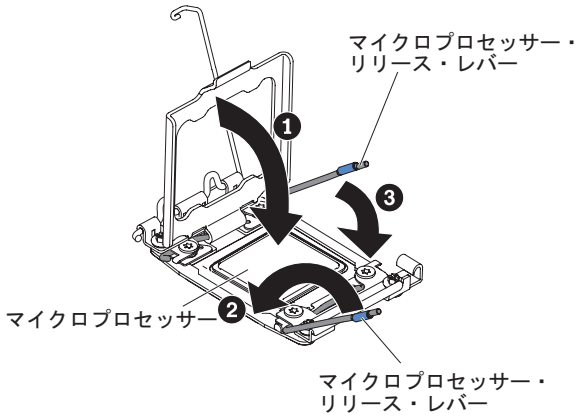


図 251. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

   a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
   b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
   c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

10. ヒートシンクを取り付けます。

    重要:

    - プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
    - プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。 詳しくは、 151 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

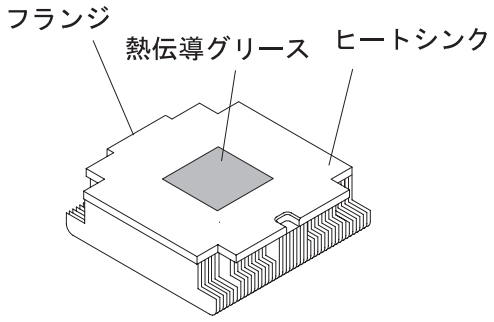


図 252. 熱伝導グリース

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。
b. マイクロプロセッサーの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

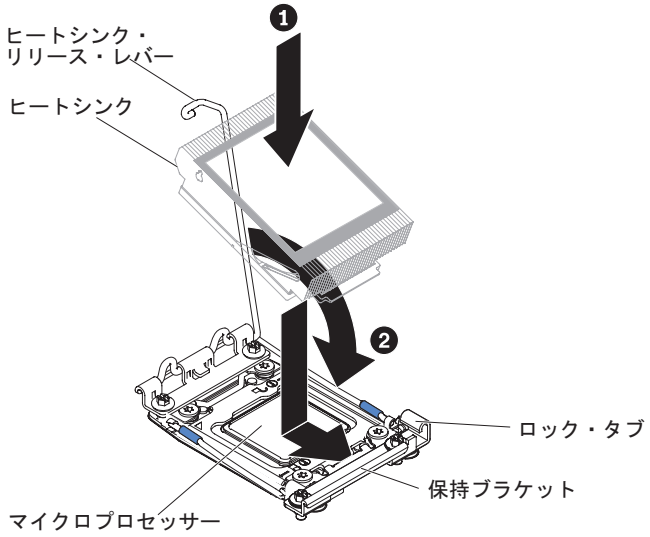


図 253. ヒートシンクの取り付け

c. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサー上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
d. ヒートシンクをしっかりと押します。
e. ヒートシンク保持モジュールのリリース・レバーを閉じた位置に回転し、ロック・タブの下にフックさせます。

11. エアー・バッフルを再び取り付けます (291 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
12. カバーを取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

熱伝導グリース:

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサーに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドの清潔な部分で、マイクロプロセッサーの熱伝導グリースをふき取ります。熱伝導グリースをすべて除去したら、クリーニング・パッドを破棄します。
5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

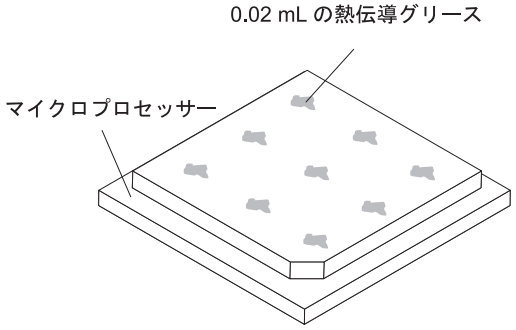


図 254. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

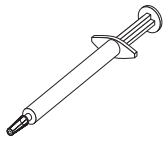


図 255. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (10 (399 ページ)を参照)。

ヒートシンク保持モジュールの取り外し

ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ヒートシンクを取り外します (388 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。

   重要: マイクロプロセッサーとヒートシンクを取り外す場合、再取り付け時のことを考えて、各ヒートシンクとマイクロプロセッサーは一緒にしておきます。
6. ドライバーを使用して、保持モジュールをシステム・ボードに固定している 4 つのねじを外します。次に、保持モジュールを持ち上げてシステム・ボードから外します。

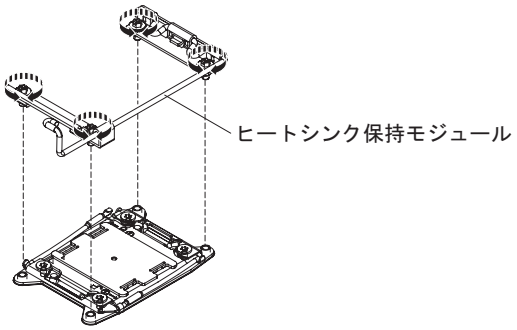


図 256. ヒートシンク保持モジュールの取り外し

7. ヒートシンク保持モジュールの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ヒートシンク保持モジュールの交換

ヒートシンク保持モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 保持モジュールとシステム・ボード上の穴とを位置合わせします。
6. ドライバーを使用して、4 つのねじを再取り付けします。

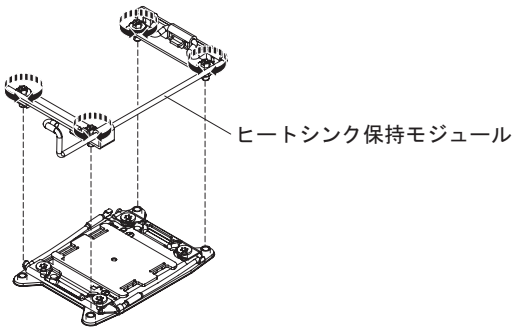


図 257. ヒートシンク保持モジュールの取り付け

7. ヒートシンクを再び取り付けます (393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』 を参照)。

重要: 各ヒートシンクを、必ずそれとペアになっているマイクロプロセッサーに取り付けるようにしてください。

8. エアー・バッフルを再び取り付けます (291 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
9. カバーを取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

1. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
2. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、それを新規システム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、 177 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。 すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

システム・ボードを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 から始まる『安全について』、 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび接続されているすべての装置の電源をオフにします。
3. 周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。

   注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

4. サーバーから外すのに必要なだけ、パワー・サプライをサーバー背面から引き出します。
5. カバーを取り外します (42 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリーおよびアダプターをすべて取り外します (332 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 335 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
7. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (335 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
9. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り外します (350 ページの『デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターの取り外し』を参照)。
10. メモリー・モジュールを取り外し、再取り付け用に帯電防止面の上に置きます (321 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

    注: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクターに再取り付けできるようにします。
11. (トレーニングを受けた技術員のみ) すべてヒートシンクおよびマイクロプロセッサーを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (388 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。

    注:

    a. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けてください。

    b. 熱伝導グリースが何かに触れないように注意し、また、再取り付けの際に、それぞれのヒートシンクが必ず元のマイクロプロセッサーとペアになるようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣化するおそれがあります。マイクロプロセッサーとその元のヒートシンクとの間にミスマッチがある場合は、新しいヒートシンクを取り付けることが必要になることがあります。
12. システム・バッテリーを取り外します (381 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
13. システム・ボードに接続されたすべてのケーブルを取り外します。ケーブルを切り離すときに各ケーブルのリストを作成してください。そうすれば、新しいシステム・ボードの取り付け時にこれをチェックリストとして使用できます (詳しくは 278 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

    重要: すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離す場合は、ケーブル・コネクターのすべてのラッチ、リリース・タブ、あるいはロックを解放します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
14. ホット・スワップ・ファンを取り外します (371 ページの『ホット・スワップ・ファンの取り外し』を参照)。

15. システム・ボードの各サイドにあるピンおよびつまみねじを引き抜いて取り外します。

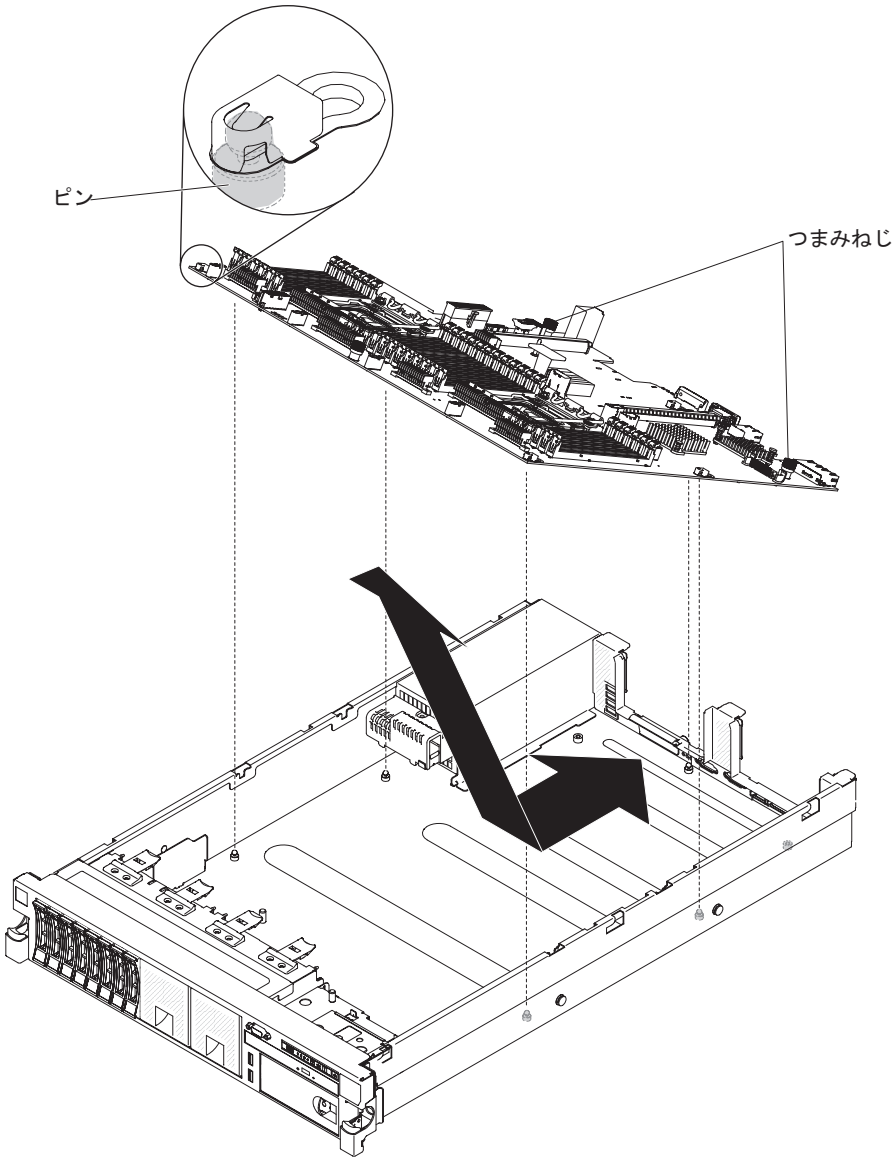


図 258. システム・ボードの取り外し

16. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外し対象の古いシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに付けます。
17. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

    重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳細については、 159 ページの『ファームウェアの更新』、 184 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 187 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、それを新規システム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、 177 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
4. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 から始まる『安全について』、 41 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 38 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 図に示しているようにシステム・ボードを角にあわせ、平らになるまで下方に倒して、サーバーの後方にスライドさせます。 後部コネクターがシャーシの背面を通って外に出ていることを確認してください。

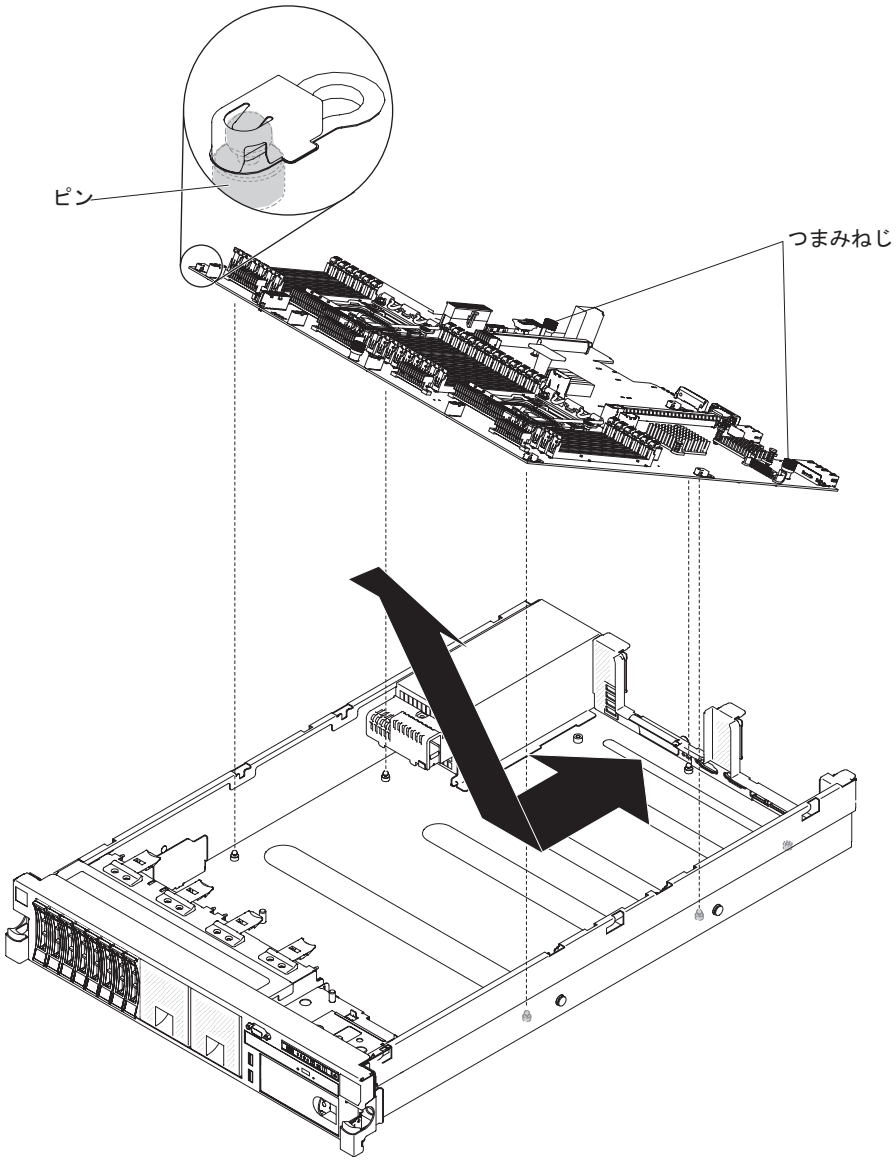


図 259. システム・ボードの取り付け

3. 404 ページの『システム・ボードの取り外し』のステップ 13 で切り離したケーブルを、システム・ボードに再接続します (278 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
4. カチッと音がしてラッチが所定の位置に収まるまで、システム・ボードのつまみねじをサーバーの後方向に回転させます。
5. ホット・スワップ・ファンを取り付けます (372 ページの『ホット・スワップ・ファンの交換』を参照)。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けます (393 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
7. メモリー・モジュールを取り付けます (58 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
8. 必要な場合は、仮想メディア・キーを取り付けます。

9. システム・バッテリーを取り付けます (383 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
10. エアー・バッフルを取り付けます (291 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
11. PCI ライザー・カード・アセンブリーおよびアダプターが取り付けられていた場合は、それらを取り付けます (336 ページの『アダプターの交換』および 333 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
12. カバーを取り付けます (289 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。
14. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
15. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
16. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
17. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
    - システムの日付と時刻を設定します。
    - 始動パスワードを設定します。
    - サーバーを再構成します。

    詳しくは、 166 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
18. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
19. UUID を更新してください (184 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
20. DMI/SMBIOS を更新してください (187 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
21. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)
あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。システム・イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、その追加情報は [arg1] あるいは [arg2] などの変数として表示されます。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:
イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー
同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

*装置*は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうか。

CIM 情報
CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号。

© Copyright IBM Corp. 2013

SNMP トラップ ID
SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス
このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行する必要がある処置。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡してください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089484) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。 オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuruation data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。インポートしている証明書が正しいことを確認します。証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモート拡張ユニットのプロセッサー) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電

源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステ

ップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) ファン 1B Tach :

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) ファン 2B Tach :

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) ファン 3B Tach :

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) ファン 4B Tach :

80010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (ROMB Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010701xxxx または 0x800107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010c01xxxx または 0x800107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011001xxxx または 0x800107011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011002xxxx または 0x800107011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1003xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Rear BP Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011003xxxx or 0x800107011003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011401xxxx または 0x800107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011402xxxx または 0x800107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011403xxxx または 0x800107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011404xxxx または 0x800107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011405xxxx または 0x800107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011406xxxx または 0x800107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107012c01xxxx または 0x800107012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107012d01xxxx または 0x800107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (ROMB Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010701xxxx または 0x800109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010c01xxxx または 0x800109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認しま

す。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011001xxxx または 0x800109011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011002xxxx または 0x800109011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1003xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Rear BP Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011003xxxx または 0x800109011003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011401xxxx または 0x800109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011402xxxx または 0x800109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011403xxxx または 0x800109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011404xxxx または 0x800109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011405xxxx または 0x800109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011406xxxx または 0x800109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109012c01xxxx または 0x800109012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109012d01xxxx または 0x800109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (ROMB Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010701xxxx または 0x80010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010c01xxxx または 0x80010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011001xxxx または 0x80010b011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害さ

れていないことを確認します。

80010b01-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011002xxxx または 0x80010b011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1003xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Rear BP Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011003xxxx または 0x80010b011003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011401xxxx または 0x80010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011402xxxx または 0x80010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011403xxxx または 0x80010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害さ

れていないことを確認します。

80010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011404xxxx または 0x80010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011405xxxx または 0x80010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011406xxxx または 0x80010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b012c01xxxx または 0x80010b012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b012d01xxxx または 0x80010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害さ

れていないことを確認します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301081301xxxx または 0x800301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

80070101-0c01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (Ambient Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701010c01xxxx または 0x800701010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられているマイクロプロセッサーが Intel E5-2690 であることを確認します。 2. 周囲の温度を摂氏 27 度より低くします。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。 2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。 3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2582xxxx または 0x8007010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI 入出力リソース・エラーを解決するために、次のステップを実行してください。 1. 「F1

Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、使用可能化を選択します。

80070114-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701142201xxxx または 0x800701142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。 2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。 3. システムをリブートします。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010302xxxx または 0x800702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。

2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

8007020c-2502xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (nvDIMM 02 Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020c2502xxxx または 0x8007020c2502xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007020c-2505xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (nvDIMM 05 Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020c2505xxxx または 0x8007020c2505xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007020c-2508xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (nvDIMM 08 Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020c2508xxxx または 0x8007020c2508xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007020c-250bxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (nvDIMM 11 Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020c250bxxxx または 0x8007020c250bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2201xxxx または 0x8007020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup ユーティリティーから TXT を使用不可にします。 2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。 nvDIMM フラッシュ：

8007020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582xxxx or 0x8007020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI 入出力リソース・エラーを解決するために、次のステップを実行してください。 1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、使用可能化を選択します。

80070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702142201xxxx または 0x800702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 2. システム・イベント・ログを確認します。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 障害のある装置をすべて交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0301xxxx または 0x8007021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0302xxxx または 0x8007021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302xxxx or 0x800703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (Pwr Rail A-H Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706030701xxxx or 0x800706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Pwr Rail A-H Fault の 1 つである場合は、『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 2. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。 指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 2. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。 指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. 『電源問題および電源問題の解決』に記載されているアクションに従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070614-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201xxxx or 0x800706142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8008010f2101xxxx or 0x8008010f2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301xxxx または 0x800b00081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and **ID:** 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。 2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

800b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e81xxxx または 0x800b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e82xxxx または 0x800b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581xxxx または 0x800b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b03091301xxxx または 0x800b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. Non-redundant sufficient: システムはパワー・サプライの過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りのパワー・サプライによって処理されます。 2. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b030c2581xxxx または 0x800b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b05091301xxxx または 0x800b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源負荷は残っているパワー・サプライによって処理される場合があります。システムは、スロットルを行うことでパワー・サプライの過電流状態の回避を試行します。ただし、電力負荷が大きすぎる状態を回避できない場合、システム・シャットダウンが発生する可能性があります。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。 3. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 4. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e81xxxx または 0x800b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e82xxxx or 0x800b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581xxxx または 0x800b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスタ

ー・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302xxxx または 0x806f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0408xxxx または 0x806f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0409xxxx または 0x806f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040axxxx または 0x806f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040bxxxx or 0x806f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040cxxxx または 0x806f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040dxxxx または 0x806f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040exxxx または 0x806f000d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040fxxxx または 0x806f000d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0410xxxx または 0x806f000d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0411xxxx または 0x806f000d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0412xxxx または 0x806f000d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0413xxxx または 0x806f000d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0414xxxx または 0x806f000d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0415xxxx または 0x806f000d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0416xxxx または 0x806f000d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0417xxxx または 0x806f000d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0418xxxx または 0x806f000d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0419xxxx または 0x806f000d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041axxxx または 0x806f000d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041bxxxx または 0x806f000d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041cxxxx または 0x806f000d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041dxxxx または 0x806f000d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041exxxx または 0x806f000d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d041fxxxx または 0x806f000d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。 適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。 1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。 2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。 3. オペレーター情報パネルを交

換します。

806f0021-2201xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212201xxxx または 0x806f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。1 つの PCI エラー。

806f0021-2c01xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Mezz Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212c01xxxx または 0x806f00212c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 PCI 2 : PCI 3 : PCI 4 : PCI 5 : PCI 6 :

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00282101xxxx または 0x806f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0398

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。 2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302xxxx または 0x806f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005xxxx または 0x806f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006xxxx または 0x806f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007xxxx または 0x806f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008xxxx または 0x806f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロ

プロセッサーを交換します。

806f010c-2009xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009xxxx または 0x806f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200axxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200axxxx または 0x806f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再

び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200bxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bxxxx または 0x806f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200cxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cxxxx または 0x806f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200dxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200dxxxx または 0x806f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200exxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200exxxx または 0x806f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200fxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200fxxxx または 0x806f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2010xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2010xxxx または 0x806f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2011xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2011xxxx または 0x806f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2012xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2012xxxx または 0x806f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2013xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2013xxxx または 0x806f010c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2014xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2014xxxx または 0x806f010c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2015xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2015xxxx または 0x806f010c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロ

プロセッサーを交換します。

806f010c-2016xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2016xxxx または 0x806f010c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2017xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2017xxxx または 0x806f010c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再

び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2018xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2018xxxx または 0x806f010c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0408xxxx または 0x806f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0409xxxx または 0x806f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040axxxx または 0x806f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040bxxxx または 0x806f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040cxxxx または 0x806f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040dxxxx または 0x806f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040exxxx または 0x806f010d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040fxxxx または 0x806f010d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0410xxxx または 0x806f010d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0411xxxx または 0x806f010d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0412xxxx または 0x806f010d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0413xxxx または 0x806f010d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0414xxxx または 0x806f010d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0415xxxx または 0x806f010d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0416xxxx または 0x806f010d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0417xxxx または 0x806f010d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0418xxxx または 0x806f010d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0419xxxx または 0x806f010d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d041axxxx または 0x806f010d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d041bxxxx または 0x806f010d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d041cxxxx または 0x806f010d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d041dxxxx または 0x806f010d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d041exxxx または 0x806f010d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d041fxxxx または 0x806f010d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130301xxxx または 0x806f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0113-0302xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302xxxx または 0x806f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (Front USB)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b0701xxxx または 0x806f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号) 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 前面ビデオ : PwrPaddle ケーブル :

806f011b-2502xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (nvDIMM 02 Cable)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b2502xxxx または 0x806f011b2502xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号) 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f011b-2505xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (nvDIMM 05 Cable)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b2505xxxx または 0x806f011b2505xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号) 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f011b-2508xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (nvDIMM 08 Cable)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b2508xxxx または 0x806f011b2508xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号) 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f011b-250bxxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (nvDIMM 11 Cable)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b250bxxxx または 0x806f011b250bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号) 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Front Panel)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01250c01xxxx または 0x806f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1001xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01251001xxxx or 0x806f01251001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1002xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01251002xxxx または 0x806f01251002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01252c01xxxx または 0x806f01252c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302xxxx または 0x806f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02072584xxxx または 0x806f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号) 1 つの CPU :

806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0408xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0408xxxx または 0x806f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0409xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0409xxxx または 0x806f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040axxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040axxxx または 0x806f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040bxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040bxxxx or 0x806f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040cxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040cxxxx または 0x806f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040dxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040dxxxx または 0x806f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040exxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040exxxx または 0x806f020d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040fxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040fxxxx または 0x806f020d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0410xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0410xxxx または 0x806f020d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0411xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 17)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0411xxxx または 0x806f020d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0412xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 18)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0412xxxx または 0x806f020d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0413xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 19)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0413xxxx または 0x806f020d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0414xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 20)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0414xxxx または 0x806f020d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0415xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 21)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0415xxxx または 0x806f020d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0416xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 22)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0416xxxx または 0x806f020d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0417xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 23)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0417xxxx または 0x806f020d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0418xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 24)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0418xxxx または 0x806f020d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0419xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 25)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0419xxxx または 0x806f020d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041axxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 26)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041axxxx または 0x806f020d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041bxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 27)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041bxxxx または 0x806f020d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041cxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 28)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041cxxxx または 0x806f020d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041dxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 29)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041dxxxx または 0x806f020d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041exxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 30)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041exxxx または 0x806f020d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041fxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 31)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d041fxxxx または 0x806f020d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005xxxx または 0x806f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006xxxx または 0x806f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007xxxx または 0x806f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008xxxx または 0x806f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009xxxx または 0x806f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200axxxx または 0x806f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bxxxx または 0x806f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cxxxx または 0x806f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dxxxx または 0x806f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200exxxx または 0x806f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fxxxx または 0x806f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010xxxx または 0x806f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2011xxxx または 0x806f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2012xxxx または 0x806f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボ

ードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2013xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2013xxxx または 0x806f030c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2014xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2014xxxx または 0x806f030c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2015xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2015xxxx または 0x806f030c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2016xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2016xxxx または 0x806f030c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2017xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2017xxxx または 0x806f030c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイク

ロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2018xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2018xxxx または 0x806f030c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. デバイス・ドライバーをチェックします。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、その

エラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005xxxx または 0x806f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006xxxx または 0x806f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007xxxx または 0x806f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008xxxx または 0x806f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009xxxx または 0x806f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200axxxx または 0x806f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bxxxx または 0x806f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cxxxx または 0x806f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dxxxx または 0x806f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200exxxx または 0x806f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200fxxxx または 0x806f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010xxxx または 0x806f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2011xxxx または 0x806f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2012xxxx または 0x806f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2013xxxx または 0x806f040c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2014xxxx または 0x806f040c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2015xxxx または 0x806f040c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2016xxxx または 0x806f040c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2017xxxx または 0x806f040c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2018xxxx または 0x806f040c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。 1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. PCIe アダプターを交換します。 6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302xxxx または 0x806f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05072584xxxx または 0x806f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号) いずれかの CPU。

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005xxxx または 0x806f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006xxxx または 0x806f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007xxxx または 0x806f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008xxxx または 0x806f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009xxxx または 0x806f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200axxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200axxxx または 0x806f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bxxxx または 0x806f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cxxxx または 0x806f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dxxxx または 0x806f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200exxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200exxxx または 0x806f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200fxxxx または 0x806f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010xxxx または 0x806f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2011xxxx または 0x806f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2012xxxx または 0x806f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2013xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2013xxxx または 0x806f050c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2014xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2014xxxx または 0x806f050c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2015xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2015xxxx または 0x806f050c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2016xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2016xxxx または 0x806f050c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2017xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2017xxxx または 0x806f050c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2018xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2018xxxx または 0x806f050c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハ

ード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx or 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハ

ード・ディスクを交換します。

806f050d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0408xxxx または 0x806f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0409xxxx または 0x806f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040axxxx または 0x806f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040bxxxx または 0x806f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040cxxxx または 0x806f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハ

ード・ディスクを交換します。

806f050d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040dxxxx または 0x806f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040exxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040exxxx または 0x806f050d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040fxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040fxxxx または 0x806f050d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0410xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0410xxxx または 0x806f050d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0411xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0411xxxx または 0x806f050d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハ

ード・ディスクを交換します。

806f050d-0412xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0412xxxx または 0x806f050d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0413xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0413xxxx または 0x806f050d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0414xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0414xxxx または 0x806f050d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0415xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0415xxxx or 0x806f050d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0416xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0416xxxx または 0x806f050d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハ

ード・ディスクを交換します。

806f050d-0417xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0417xxxx または 0x806f050d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0418xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0418xxxx または 0x806f050d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0419xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0419xxxx または 0x806f050d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041axxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d041axxxx または 0x806f050d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041bxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d041bxxxx または 0x806f050d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハ

ード・ディスクを交換します。

806f050d-041cxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d041cxxxx または 0x806f050d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041dxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d041dxxxx または 0x806f050d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041exxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d041exxxx または 0x806f050d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041fxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d041fxxxx または 0x806f050d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソ

リューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。 5. 両方のアダプターを取り外します。 6. PCIe アダプターを交換します。 7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302xxxx または 0x806f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。

806f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06072584xxxx または 0x806f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。いずれかの CPU。

806f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06081301xxxx または 0x806f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。 2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0408xxxx または 0x806f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0409xxxx または 0x806f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040axxxx または 0x806f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040bxxxx または 0x806f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040cxxxx または 0x806f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040dxxxx または 0x806f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040exxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040exxxx または 0x806f060d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040fxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040fxxxx または 0x806f060d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0410xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0410xxxx または 0x806f060d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0411xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0411xxxx または 0x806f060d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0412xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0412xxxx または 0x806f060d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0413xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0413xxxx または 0x806f060d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0414xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0414xxxx または 0x806f060d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0415xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0415xxxx または 0x806f060d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0416xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0416xxxx または 0x806f060d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0417xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0417xxxx または 0x806f060d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0418xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0418xxxx または 0x806f060d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0419xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0419xxxx または 0x806f060d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041axxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d041axxxx または 0x806f060d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041bxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d041bxxxx または 0x806f060d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041cxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d041cxxxx または 0x806f060d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041dxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d041dxxxx または 0x806f060d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041exxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d041exxxx または 0x806f060d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041fxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d041fxxxx または 0x806f060d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2005xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005xxxx または 0x806f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2006xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006xxxx or 0x806f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2007xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007xxxx または 0x806f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2008xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008xxxx または 0x806f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2009xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009xxxx または 0x806f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200axxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200axxxx または 0x806f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200bxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bxxxx または 0x806f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200cxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cxxxx または 0x806f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200dxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200dxxxx または 0x806f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-200exxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200exxxx or 0x806f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200fxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200fxxxx または 0x806f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2010xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2010xxxx または 0x806f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2011xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2011xxxx または 0x806f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2012xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2012xxxx または 0x806f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2013xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2013xxxx または 0x806f070c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2014xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2014xxxx または 0x806f070c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2015xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2015xxxx または 0x806f070c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2016xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2016xxxx or 0x806f070c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2017xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2017xxxx または 0x806f070c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノ

ロジーであることを確認します。

806f070c-2018xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2018xxxx または 0x806f070c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0408xxxx または 0x806f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0409xxxx または 0x806f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040axxxx または 0x806f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040bxxxx または 0x806f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040cxxxx または 0x806f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040dxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040dxxxx または 0x806f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040exxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040exxxx または 0x806f070d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040fxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040fxxxx または 0x806f070d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0410xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0410xxxx または 0x806f070d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0411xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0411xxxx または 0x806f070d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0412xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0412xxxx または 0x806f070d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0413xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0413xxxx または 0x806f070d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0414xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0414xxxx または 0x806f070d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0415xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0415xxxx または 0x806f070d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0416xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0416xxxx または 0x806f070d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0417xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0417xxxx または 0x806f070d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0418xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0418xxxx または 0x806f070d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0419xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0419xxxx または 0x806f070d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d041axxxx または 0x806f070d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d041bxxxx または 0x806f070d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d041cxxxx または 0x806f070d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041dxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d041dxxxx または 0x806f070d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041exxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d041exxxx または 0x806f070d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041fxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d041fxxxx または 0x806f070d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2201xxxx A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201xxxx または 0x806f072b2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ROM リカバリー :

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302xxxx または 0x806f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584xxxx または 0x806f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584xxxx または 0x806f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001xxxx または 0x806f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002xxxx または 0x806f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003xxxx または 0x806f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004xxxx または 0x806f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005xxxx または 0x806f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006xxxx または 0x806f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007xxxx または 0x806f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008xxxx または 0x806f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009xxxx または 0x806f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200axxxx または 0x806f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bxxxx または 0x806f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cxxxx または 0x806f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200dxxxx または 0x806f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200exxxx または 0x806f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200fxxxx または 0x806f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2010xxxx or 0x806f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2011xxxx または 0x806f090c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2012xxxx または 0x806f090c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2013xxxx または 0x806f090c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2014xxxx または 0x806f090c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2015xxxx または 0x806f090c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2016xxxx または 0x806f090c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2017xxxx または 0x806f090c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2018xxxx または 0x806f090c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302xxxx または 0x806f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001xxxx または 0x806f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002xxxx または 0x806f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003xxxx または 0x806f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004xxxx または 0x806f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2005xxxx または 0x806f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2006xxxx または 0x806f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2007xxxx または 0x806f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2008xxxx または 0x806f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2009xxxx または 0x806f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200axxxx または 0x806f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200bxxxx または 0x806f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200cxxxx または 0x806f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200dxxxx または 0x806f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200exxxx or 0x806f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200fxxxx または 0x806f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2010xxxx or 0x806f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2011xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2011xxxx または 0x806f0a0c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2012xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2012xxxx または 0x806f0a0c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2013xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2013xxxx または 0x806f0a0c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2014xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2014xxxx または 0x806f0a0c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2015xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2015xxxx または 0x806f0a0c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2016xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2016xxxx または 0x806f0a0c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2017xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2017xxxx または 0x806f0a0c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2018xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2018xxxx または 0x806f0a0c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a13-0301xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130301xxxx または 0x806f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a13-0302xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130302xxxx または 0x806f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが SysBrd 3.3V、SysBrd 5V、SysBrd 12V のいずれかの場合: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファン 1B Tach :

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファン 2B Tach :

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファン 3B Tach :

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファン 4B Tach :

81010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (ROMB Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010701xxxx または 0x810107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010c01xxxx または 0x810107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011001xxxx または 0x810107011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011002xxxx または 0x810107011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1003xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Rear BP Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011003xxxx または 0x810107011003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011401xxxx または 0x810107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011402xxxx または 0x810107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011403xxxx または 0x810107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011404xxxx または 0x810107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011405xxxx または 0x810107011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011406xxxx または 0x810107011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107012c01xxxx または 0x810107012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107012d01xxxx または 0x810107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (ROMB Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010701xxxx または 0x810109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010c01xxxx または 0x810109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011001xxxx または 0x810109011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011002xxxx または 0x810109011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1003xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Rear BP Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011003xxxx or 0x810109011003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011401xxxx または 0x810109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011402xxxx または 0x810109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

8810109011403xxxx または 0x810109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011404xxxx または 0x810109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011405xxxx または 0x810109011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011406xxxx または 0x810109011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109012c01xxxx または 0x810109012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109012d01xxxx または 0x810109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

8101090207 01xxxx または 0x8101090207 01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが SysBrd 3.3V、SysBrd 5V、SysBrd 12V のいずれかの場合: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (ROMB Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010701xxxx または 0x81010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010c01xxxx または 0x81010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1001xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011001xxxx または 0x81010b011001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1002xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011002xxxx または 0x81010b011002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1003xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Rear BP Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011003xxxx or 0x81010b011003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011401xxxx または 0x81010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011402xxxx または 0x81010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011403xxxx または 0x81010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011404xxxx または 0x81010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1405xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011405xxxx または 0x81010b011405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1406xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011406xxxx または 0x81010b011406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Mezz Card Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b012c01xxxx または 0x81010b012c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b012d01xxxx または 0x81010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301081301xxxx または 0x810301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070101-0c01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (Ambient Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810701010c01xxxx または 0x810701010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582xxxx または 0x8107010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010302xxxx または 0x810702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201xxxx または 0x8107020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 nvDIMM フラッシュ :

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582xxxx または 0x8107020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702142201xxxx または 0x810702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0301xxxx または 0x8107021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302xxxx または 0x8107021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010302xxxx または 0x810703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (Pwr Rail A Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706030701xxxx または 0x810706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Pwr Rail B Fault : Pwr Rail C Fault : Pwr Rail D Fault : Pwr Rail E Fault : Pwr Rail F Fault : Pwr Rail G Fault : Pwr Rail H Fault :

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS1 12V OC Fault、PS1 12V OV Fault、PS1 12V UV Fault、または PS1 12Vaux Fault のいずれかの場合: アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS1 12V OC Fault、PS1 12V OV Fault、PS1 12V UV Fault、または PS1 12Vaux Fault のいずれかの場合: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e81xxxx または 0x810b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e82xxxx または 0x810b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581xxxx または 0x810b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b03091301xxxx または 0x810b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581xxxx または 0x810b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b05091301xxxx または 0x810b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e81xxxx または 0x810b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e82xxxx または 0x810b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581xxxx または 0x810b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301xxxx または 0x816f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070302xxxx または 0x816f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントロ

ーラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントロ

ーラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0408xxxx または 0x816f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0409xxxx または 0x816f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040axxxx または 0x816f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040bxxxx または 0x816f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040cxxxx または 0x816f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントロ

ーラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040dxxxx または 0x816f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040exxxx または 0x816f000d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040fxxxx または 0x816f000d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0410xxxx または 0x816f000d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0411xxxx または 0x816f000d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントロ

ーラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0412xxxx または 0x816f000d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0413xxxx or 0x816f000d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0414xxxx または 0x816f000d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0415xxxx または 0x816f000d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0416xxxx または 0x816f000d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントロ

ーラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0417xxxx または 0x816f000d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0418xxxx または 0x816f000d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0419xxxx または 0x816f000d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041axxxx または 0x816f000d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041bxxxx または 0x816f000d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントロ

ーラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041cxxxx または 0x816f000d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041dxxxx または 0x816f000d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041exxxx または 0x816f000d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d041fxxxx または 0x816f000d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion.

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが ABR Status、Firmware Error、または Sys Boot Status いずれかの場合: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201xxxx または 0x816f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

816f0021-2c01xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Mezz Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212c01xxxx または 0x816f00212c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PCI 2 : PCI 3 : PCI 4 : PCI 5 : PCI 6 :

816f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has returned to normal on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

816f00282101xxxx または 0x816f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302xxxx または 0x816f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005xxxx または 0x816f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006xxxx または 0x816f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007xxxx または 0x816f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008xxxx または 0x816f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009xxxx または 0x816f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200axxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200axxxx または 0x816f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bxxxx または 0x816f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cxxxx または 0x816f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200dxxxx または 0x816f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200exxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200exxxx または 0x816f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200fxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fxxxx または 0x816f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2010xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2010xxxx または 0x816f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2011xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2011xxxx または 0x816f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2012xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2012xxxx または 0x816f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2013xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2013xxxx または 0x816f010c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2014xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2014xxxx または 0x816f010c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2015xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2015xxxx または 0x816f010c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2016xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2016xxxx または 0x816f010c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2017xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2017xxxx または 0x816f010c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2018xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2018xxxx または 0x816f010c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0408xxxx または 0x816f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0409xxxx または 0x816f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040axxxx または 0x816f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040bxxxx または 0x816f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040cxxxx または 0x816f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040dxxxx または 0x816f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040exxxx または 0x816f010d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040fxxxx または 0x816f010d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0410xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0410xxxx または 0x816f010d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0411xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0411xxxx または 0x816f010d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0412xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0412xxxx または 0x816f010d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0413xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0413xxxx または 0x816f010d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0414xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0414xxxx または 0x816f010d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0415xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0415xxxx または 0x816f010d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0416xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0416xxxx または 0x816f010d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0417xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0417xxxx または 0x816f010d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0418xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0418xxxx または 0x816f010d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0419xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0419xxxx または 0x816f010d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d041axxxx または 0x816f010d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d041bxxxx または 0x816f010d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d041cxxxx または 0x816f010d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d041dxxxx または 0x816f010d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d041exxxx または 0x816f010d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d041fxxxx または 0x816f010d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130301xxxx または 0x816f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0113-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130302xxxx or 0x816f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] configuration error has been repaired. (Front USB)

説明: このメッセージは、インターコネクト構成が修復されたことが実装環境で検出されたユース・ケースで表示されます。

816f011b0701xxxx または 0x816f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0267

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 前面ビデオ : PwrPaddle ケーブル :

816f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Front Panel)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01250c01xxxx または 0x816f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1001xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251001xxxx または 0x816f01251001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1002xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251002xxxx or 0x816f01251002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-2c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Mezz Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01252c01xxxx または 0x816f01252c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070302xxxx または 0x816f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02072584xxxx または 0x816f02072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。いずれかの CPU。

816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx or 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0408xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0408xxxx または 0x816f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0409xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0409xxxx または 0x816f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040axxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040axxxx または 0x816f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040bxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040bxxxx または 0x816f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040cxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040cxxxx または 0x816f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040dxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040dxxxx または 0x816f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040exxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040exxxx または 0x816f020d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040fxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040fxxxx または 0x816f020d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0410xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0410xxxx または 0x816f020d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0411xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0411xxxx または 0x816f020d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0412xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0412xxxx または 0x816f020d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0413xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0413xxxx または 0x816f020d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0414xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0414xxxx または 0x816f020d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0415xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0415xxxx または 0x816f020d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0416xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0416xxxx または 0x816f020d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0417xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0417xxxx または 0x816f020d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0418xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0418xxxx または 0x816f020d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0419xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0419xxxx または 0x816f020d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041axxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d041axxxx または 0x816f020d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041bxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d041bxxxx または 0x816f020d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041cxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d041cxxxx または 0x816f020d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041dxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d041dxxxx または 0x816f020d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041exxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d041exxxx または 0x816f020d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041fxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d041fxxxx または 0x816f020d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2005xxxx または 0x816f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2006xxxx または 0x816f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2007xxxx または 0x816f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2008xxxx または 0x816f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2009xxxx または 0x816f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200axxxx または 0x816f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200bxxxx または 0x816f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200cxxxx または 0x816f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200dxxxx または 0x816f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200exxxx または 0x816f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200fxxxx または 0x816f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2010xxxx または 0x816f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2011xxxx または 0x816f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2012xxxx または 0x816f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2013xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2013xxxx または 0x816f030c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2014xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2014xxxx または 0x816f030c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2015xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2015xxxx または 0x816f030c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2016xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2016xxxx または 0x816f030c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2017xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2017xxxx または 0x816f030c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2018xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2018xxxx または 0x816f030c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005xxxx または 0x816f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006xxxx または 0x816f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007xxxx または 0x816f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008xxxx または 0x816f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009xxxx または 0x816f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200axxxx または 0x816f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bxxxx または 0x816f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cxxxx または 0x816f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dxxxx または 0x816f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200exxxx または 0x816f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200fxxxx または 0x816f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010xxxx または 0x816f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2011xxxx または 0x816f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2012xxxx または 0x816f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2013xxxx または 0x816f040c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2014xxxx または 0x816f040c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2015xxxx または 0x816f040c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2016xxxx または 0x816f040c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2017xxxx または 0x816f040c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2018xxxx または 0x816f040c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070302xxxx または 0x816f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-2584xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05072584xxxx または 0x816f05072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005xxxx または 0x816f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006xxxx または 0x816f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007xxxx または 0x816f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008xxxx または 0x816f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009xxxx または 0x816f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200axxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200axxxx または 0x816f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bxxxx または 0x816f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cxxxx または 0x816f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200dxxxx または 0x816f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200exxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200exxxx または 0x816f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200fxxxx または 0x816f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2010xxxx または 0x816f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2011xxxx または 0x816f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2012xxxx または 0x816f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2013xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2013xxxx または 0x816f050c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2014xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2014xxxx または 0x816f050c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2015xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2015xxxx または 0x816f050c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2016xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2016xxxx または 0x816f050c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2017xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2017xxxx または 0x816f050c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2018xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2018xxxx または 0x816f050c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0408xxxx または 0x816f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0409xxxx または 0x816f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040axxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040axxxx または 0x816f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040bxxxx または 0x816f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040cxxxx または 0x816f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040dxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040dxxxx または 0x816f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040exxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040exxxx または 0x816f050d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040fxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040fxxxx または 0x816f050d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0410xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0410xxxx または 0x816f050d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0411xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0411xxxx または 0x816f050d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0412xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0412xxxx または 0x816f050d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0413xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0413xxxx または 0x816f050d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0414xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0414xxxx または 0x816f050d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0415xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0415xxxx または 0x816f050d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0416xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0416xxxx または 0x816f050d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0417xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0417xxxx または 0x816f050d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0418xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0418xxxx または 0x816f050d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0419xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0419xxxx または 0x816f050d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041axxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d041axxxx または 0x816f050d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041bxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d041bxxxx または 0x816f050d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041cxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d041cxxxx または 0x816f050d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041dxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d041dxxxx または 0x816f050d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041exxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d041exxxx または 0x816f050d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041fxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d041fxxxx または 0x816f050d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302xxxx または 0x816f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-2584xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (All CPUs)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06072584xxxx or 0x816f06072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06081301xxxx または 0x816f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0408xxxx または 0x816f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0409xxxx または 0x816f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040axxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040axxxx または 0x816f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040bxxxx または 0x816f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040cxxxx または 0x816f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040dxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040dxxxx または 0x816f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040exxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040exxxx または 0x816f060d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040fxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040fxxxx または 0x816f060d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0410xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0410xxxx または 0x816f060d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0411xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0411xxxx または 0x816f060d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0412xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0412xxxx または 0x816f060d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0413xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0413xxxx または 0x816f060d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0414xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0414xxxx または 0x816f060d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0415xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0415xxxx または 0x816f060d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0416xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0416xxxx または 0x816f060d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0417xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0417xxxx または 0x816f060d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0418xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0418xxxx または 0x816f060d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0419xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0419xxxx または 0x816f060d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041axxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d041axxxx または 0x816f060d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041bxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d041bxxxx または 0x816f060d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041cxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d041cxxxx または 0x816f060d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041dxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d041dxxxx または 0x816f060d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041exxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d041exxxx または 0x816f060d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041fxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d041fxxxx または 0x816f060d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005xxxx または 0x816f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006xxxx または 0x816f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007xxxx または 0x816f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008xxxx または 0x816f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2009xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009xxxx または 0x816f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200axxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200axxxx または 0x816f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200bxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bxxxx または 0x816f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cxxxx または 0x816f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200dxxxx または 0x816f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200exxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200exxxx または 0x816f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200fxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200fxxxx または 0x816f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2010xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2010xxxx または 0x816f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2011xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2011xxxx または 0x816f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2012xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2012xxxx または 0x816f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2013xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2013xxxx または 0x816f070c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2014xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2014xxxx または 0x816f070c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2015xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2015xxxx または 0x816f070c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2016xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2016xxxx または 0x816f070c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2017xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2017xxxx または 0x816f070c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2018xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2018xxxx または 0x816f070c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0408xxxx または 0x816f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0409xxxx または 0x816f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040axxxx または 0x816f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040bxxxx または 0x816f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040cxxxx または 0x816f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040dxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040dxxxx または 0x816f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040exxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040exxxx または 0x816f070d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040fxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040fxxxx または 0x816f070d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0410xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0410xxxx または 0x816f070d0410xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0411xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 17)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0411xxxx または 0x816f070d0411xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0412xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 18)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0412xxxx または 0x816f070d0412xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0413xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 19)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0413xxxx または 0x816f070d0413xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0414xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 20)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0414xxxx または 0x816f070d0414xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0415xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 21)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0415xxxx または 0x816f070d0415xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0416xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 22)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0416xxxx または 0x816f070d0416xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0417xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 23)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0417xxxx または 0x816f070d0417xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0418xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 24)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0418xxxx または 0x816f070d0418xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0419xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 25)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0419xxxx または 0x816f070d0419xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 26)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d041axxxx または 0x816f070d041axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 27)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d041bxxxx または 0x816f070d041bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 28)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d041cxxxx または 0x816f070d041cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041dxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 29)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d041dxxxx または 0x816f070d041dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041exxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 30)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d041exxxx または 0x816f070d041exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041fxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 31)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d041fxxxx または 0x816f070d041fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302xxxx または 0x816f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08072584xxxx または 0x816f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132584xxxx または 0x816f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2001xxxx または 0x816f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2002xxxx または 0x816f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2003xxxx または 0x816f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2004xxxx または 0x816f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2005xxxx または 0x816f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2006xxxx または 0x816f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2007xxxx または 0x816f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2008xxxx または 0x816f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2009xxxx または 0x816f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200axxxx または 0x816f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200bxxxx または 0x816f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200cxxxx または 0x816f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200dxxxx または 0x816f090c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200exxxx or 0x816f090c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200fxxxx または 0x816f090c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2010xxxx または 0x816f090c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2011xxxx または 0x816f090c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2012xxxx または 0x816f090c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2013xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2013xxxx または 0x816f090c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2014xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2014xxxx または 0x816f090c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2015xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2015xxxx または 0x816f090c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2016xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2016xxxx または 0x816f090c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2017xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2017xxxx または 0x816f090c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2018xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2018xxxx または 0x816f090c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302xxxx または 0x816f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001xxxx または 0x816f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2002xxxx または 0x816f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2003xxxx または 0x816f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2004xxxx または 0x816f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2005xxxx または 0x816f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2006xxxx または 0x816f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2007xxxx または 0x816f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2008xxxx または 0x816f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2009xxxx または 0x816f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200axxxx または 0x816f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200bxxxx または 0x816f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200cxxxx または 0x816f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200dxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200dxxxx または 0x816f0a0c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200exxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200exxxx または 0x816f0a0c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200fxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200fxxxx または 0x816f0a0c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2010xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2010xxxx または 0x816f0a0c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2011xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2011xxxx または 0x816f0a0c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2012xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2012xxxx または 0x816f0a0c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2013xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2013xxxx または 0x816f0a0c2013xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2014xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2014xxxx または 0x816f0a0c2014xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2015xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2015xxxx または 0x816f0a0c2015xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2016xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2016xxxx または 0x816f0a0c2016xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2017xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2017xxxx または 0x816f0a0c2017xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2018xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2018xxxx または 0x816f0a0c2018xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130301xxxx または 0x816f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0a13-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130302xxxx または 0x816f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

付録 B. UEFI/POST 診断コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)
イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)
イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 27. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメインテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答
イベントを解決するためにとるべき処置。

問題が解決するまで、ステップを順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、IBM サポートに連絡してください。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

© Copyright IBM Corp. 2013

I.11002 **[I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.**

説明: 1 つ以上のプロセッサーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサー構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサーが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサーが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 **[I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.**

説明: プロセッサーのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサーが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 **[I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの QPI 速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサー CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる RETAIN TipService Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 [I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサーの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサーの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 [I.18008] Currently, there is no additional information for this event.

説明: プロセッサーの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A **[I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.**

説明: プロセッサーのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサーを取り外し、Server Proven にリストされているプロセッサーを取り付けます。
2. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのプロセッサー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B **[I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C **[I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサーのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサーのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーに関するセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサー CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。元の UEFI 設定は、まだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (追加した設定やデバイス) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined.

[S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.-->致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。 (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、コネクターに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。

5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 **[S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.**

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.680B9 [S.680B9] External QPI Link Failure Detected.

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 [W.11004] A processor within the system has failed the BIST.

説明: プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再消去します。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A] An invalid date and time have been detected.

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 セットアップを使用して、日時をリセットします。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. Requires Change Settings From F1.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。 F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「System Settings > Settings > Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見付けます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. アクションは不要です – POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. Requires 'Reboot'.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. UEFI ファームウェアを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. IMM ファームウェアを再消去します。
5. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 .[W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. ノードから AUX 電源を除去します。これによって、ノード全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. IMM ファームウェアを再消去します。
5. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成更新を再試行します

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 **[W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.**

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサーがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 **[W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.**

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

© Copyright IBM Corp. 2013

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9543 入出力エクスパンダー・バス (BUS 3) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が MAX7319 入出力エクスパンダー・バス (BUS 4) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が室温センサー・バス (BUS 6) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9557 入出力エクスパンダー・バス (BUS 7) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。

5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

以下の情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、IBM システムまたはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先を知ることができます。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないかを確認します。 IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。 お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- http://www.ibm.com/supportportal にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供する次の情報を収集してください。このデータは、IBM サービスがお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供するのに役立ちます。また、このデータによって、お客様が契約したレベルのサービスを確実に受けることができるようになります。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

© Copyright IBM Corp. 2013

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。 IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。 IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。 大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。 ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。 資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。 トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。 IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。 これらのページにアクセスするには、http://www.ibm.com/supportportalに進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の http://www.ibm.com/supportportal では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ にあります。 IBM BladeCenter 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml にあります。 IBM IntelliStation 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/ にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide でサポート電話番号をご覧ください。 米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/jp/ にアクセスしてから、ページの右サイドで「**パートナーを探す**」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。 英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2013

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア (オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど) を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 28. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) [1]。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない [2]。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 [3] • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

[1] ASHRAE 52.2-2008 - *一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法*。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

[2] 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

[3] ANSI/ISA-71.04-1985。*プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質*。 Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方式での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden: "Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声　　明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アウト・オブ・バンド 259
アダプター
  再取り付け 336
  取り外し 335
  取り付け 67
アダプター、サポートされる 67
アダプターの取り付け 67
安全と注意 7
安全に関する注意書き vii, ix
イーサネット 11
  コントローラー 253
イーサネット活動
  LED 20
イーサネット・コントローラーの構成 160
イーサネット・サポート 11
一般
  問題 227
イベント・ログ 217
  消去 220
  表示 218
イベント・ログ、システム 217
イベント・ログ、表示の方式 218
イベント・ログ、POST 217
イベント・ログの表示 218
インバンド
  自動ブート・リカバリー方式 259
  手動リカバリー方式 257
インフォメーション・センター 972
エアー・バッフル
  再取り付け 153, 291
  取り外し 44, 290
エラー
  書式、DSA コード 224
エラー現象
  一般 227
  オプション装置 239
  キーボード 231
  偶発的 230
  シリアル・ポート 248
  ソフトウェア 250
  電源 240
  ネットワーク接続 238
エラー現象 (続き)
  ハード・ディスク 227
  ハイパーバイザー・フラッシュ装置 230
  ビデオ 235, 251
  マイクロプロセッサー 235
  マウス 231
  メモリー 233
  モニター 235
  DVD ドライブ 226
  ServerGuide 249
  USB デバイス 231
  USB ポート 250
エラー・コードとメッセージ
  IMM2 411
エラー・メッセージ 225
汚染、粒子およびガス 978
オプション装置
  取り付け 29
オプション装置コネクター
  システム・ボード 37
オプション装置の問題 239
オペレーター情報パネル
  コントロールおよび LED 20
  再取り付け 387
  取り外し 386
  配線 280
オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ 18
オペレーティング・システム・イベント・ログ 217, 218
オンライン資料 1, 6

[カ行]

ガイドライン
  オプションの取り付け 38
  システム信頼性 40
外部コネクター 33
概要 1
拡張
  フルサイズ PCI ライザー・カード・アセンブリー 45
ガス汚染 978
カスタム・サポート Web ページ 973
カバー
  再取り付け 155, 289
  取り外し 42, 288
可用性、サーバー 15
管理、システム 11
管理者
  パスワード 174
完了
  オプションの取り付け 152
機械コードのご使用条件 6
危険の注記 7
機能 8
  ServerGuide 164
偶発的
  問題 230
組み込みハイパーバイザー
  使用 180
グリース、熱伝導 151, 401
ケーブル
  接続 156
検索
  更新された資料 6
コール・ホーム機能
  IBM Electronic Service Agent 225
コール・ホーム・ツール 224
交換可能なサーバー・コンポーネント 261
更新
  サーバー構成 157
  汎用固有 ID (UUID) 184, 187
  ファームウェア 159
  IBM Systems Director 183
  Systems Director、IBM 183
構成
  情報 159
  手順 159
  Nx 回ブート失敗 260
  RAID アレイ 182
  ServerGuide Setup and Installation CD 159
  ServerGuide で 164
  Setup ユーティリティー 159
構成ケーブル、
  ルーティング 282, 284, 286
構成プログラム 160
構造部品 272
コネクター
  外部 33
  システム・ボード上のオプション 37
  内部 32
  ビデオ
    前面 18
  PCI ライザー・カード・アダプター 37
  USB 18

© Copyright IBM Corp. 2013

個別設定したサポート Web ページの作成 973
コントローラー
イーサネット 181
コントロール、LED、および電源 18
コントロールおよび LED
オペレーター情報パネル 20
Light Path 診断パネル 21
コンポーネント
サーバー 31, 261

[サ行]

サーバー
オンにする 26
提供 11
電源オフ 27
電源機能 26
サーバー、バックアップ・ファームウェア
始動 175
サーバーが提供する機能 11
サーバー構成
更新 157
サーバーの構成 159
サーバーのコントロール、LED、および電源 18
サーバーのシャットダウン 27
サーバーの電源をオフにする 27
サーバー・コンポーネント 31, 261
サーバー・ファームウェアのリカバリー 256
サービスおよびサポート
依頼する前に 971
ソフトウェア 973
ハードウェア 974
サイズ 8
再取り付け
アダプター 336
エアー・バッフル 153, 291
オペレーター情報パネル 387
カバー 155, 289
構造部品 287
コンポーネント 277
サーバー・コンポーネント 287
システム・ボード 407
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 377
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 303
テープ・ドライブ 319
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター 351
バッテリー、システム 383
ヒートシンク 393
ヒートシンク保持モジュール 403
ファン・ブラケット 331
再取り付け *(続き)*
ベゼル 294
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 357
ホット・スワップ DC パワー・サプライ 364
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 375
ホット・スワップ・ハード・ディスク 299
ホット・スワップ・ファン 372
マイクロプロセッサー 393
240 VA 安全カバー 296
DIMM 328
DVD ドライブ 309
DVD ドライブ・ケーブル 315
PCI ライザー・カード・アセンブリー 333
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 293
RAID アダプター・リモート・バッテリー 347
ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュール 343
Tier 1 CRU 298
Tier 2 CRU 388
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 380
作業、サーバー内部
電源オン 41
サポート Web ページ、カスタム 973
サポート、入手 971
事項、重要 976
システム
エラー LED (前面) 20
情報 LED 20
ロケーター 20
システム管理 11
システム管理ツール
IBM Systems Director 17
システムの信頼性に関するガイドライン 40
システム・イベント・ログ 217, 218
システム・イベント・ログ、Assertion イベント 217
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 217
システム・パルス LED 216
システム・ボード
外部コネクター 33
再取り付け 407
始動パスワード・スイッチ 173
ジャンパー 34
スイッチ 34
取り外し 404
内部コネクター 32
システム・ボード *(続き)*
ボタン 34
LED 36
システム・ボードのオプション装置コネクター 37
質量 8
始動
バックアップ・ファームウェア 175
Setup ユーティリティー 166
自動ブート・リカバリー (ABR) 259
ジャンパー
システム・ボード 34
UEFI ブート・リカバリー 256
重要な注 7
重要の注記 7, 976
取得 178
仕様 8
使用
組み込みハイパーバイザー 180
統合管理モジュール 175
リモート・プレゼンス機能 177
Setup ユーティリティー 166
使用可能化
Features on Demand
Ethernet ソフトウェア 181
RAID ソフトウェア 181
冗長
イーサネット機能 15
イーサネット接続 11
ホット・スワップ電源機構 15
冷却 11
NIC 11
商標 976
シリアル番号 1
ロケーション 255
シリアル・ポートの問題 248
資料 6
オンライン (online) 1
更新 1
使用 972
プロダクト・データ 1
CD 5
Documentation Browser 5
資料、更新された
検索 6
診断
オンボード・プログラム、開始 223
ツール、概要 199
プログラムの概要 221
診断コードおよびメッセージ
POST/UEFI 849
診断プログラム
DSA Preboot 11
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー
再取り付け 377

シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー *(続き)*
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 377
取り外し 373, 376
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン
再取り付け 377
シンプル・スワップ・ハード・ディスク
再取り付け 303
取り外し 302
取り付け 49
信頼性、サーバー 15
スイッチ
システム・ボード 34
寸法 8
静電気に弱い装置
取り扱い 41
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 41
接続
ケーブル 156
前面
図 18
前面図
コネクター 18
LED の位置 18
装置、静電気の影響を受けやすい
取り扱い 41
ソフトウェア
要件 5
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 973
ソフトウェアの問題 250

[タ行]

対称多重処理 11
チェックアウト手順 197
実行 198
注 7
注意の注記 7
注記 7, 975
electronic emission 979
FCC, Class A 979
ツール、コール・ホーム 224
ツール、診断 199
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット
取り付け 90
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット、取り付け 90
通信規制の注記 979
粒子汚染 978
データ収集 193
データの収集 193
テープ・ドライブ
再取り付け 319
取り外し 318
テープ・ドライブ・オプション
取り付け 139
テープ・ドライブ・オプション、取り付け 139
ディスプレイの問題 235
手順
IBM ビジネス・パートナー 30
手順、チェックアウト 198
テスト・ログ、表示 224
デバイス・ドライバー 175
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター
再取り付け 351
取り外し 350
取り付け 76
電源
電源制御ボタン 20
電源機能
サーバー 26
電源ケーブル、
ルーティング 282, 284, 286
電源コード 273
電源の問題 240, 251
電源をオンにする、サーバーの 26
電子情報技術産業協会表示 982
電磁波放出 Class A の注記 979
電話番号 973, 974
統合管理モジュール
概要 11
使用 175
統合管理モジュール II
イベント・ログ 217, 218
エラー・メッセージ 411
プログラム 160
ドライブ
取り付け 46
ID 47
ドライブ・バックプレーン、16x2.5 型ホット・スワップ
配線 284
ドライブ・バックプレーン、3.5 型
配線 286
ドライブ・バックプレーン、8x2.5 型ホット・スワップ
配線 282
トラブルシューティング 193
現象 225
取り外し
アダプター 335
エアー・バッフル 44, 290
オペレーター情報パネル 386
カバー 42, 288
コンポーネント 277
取り外し *(続き)*
システム・ボード 404
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 373, 376
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 302
テープ・ドライブ 318
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター 350
バッテリー、システム 381
ヒートシンク 388
ヒートシンク保持モジュール 402
ファン・ブラケット 330
ベゼル 294
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 356
ホット・スワップ DC パワー・サプライ 361
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 373, 376
ホット・スワップ・ハード・ディスク 298
ホット・スワップ・ファン 371
マイクロプロセッサー 388
メモリー・モジュール 321
240 VA 安全カバー 295
DIMM 321
DVD ドライブ 308
DVD ドライブ・ケーブル 313
PCI ライザー・カード・アセンブリー 43, 332
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 292
RAID アダプター・リモート・バッテリー 345
ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュール 340
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 379
取り付け
アダプター 67
オプション装置 29
ガイドライン 38
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 49
追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット 90
テープ・ドライブ・オプション 139
デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター 76
ドライブ 46
ヒートシンク 143
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 80
ホット・スワップ DC パワー・サプライ 83

取り付け *(続き)*
ホット・スワップ・ハード・ディスク 47
ホット・スワップ・ファン 89
マイクロプロセッサー 143
メモリー・モジュール 58, 322
12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キット 97
12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キット 111
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD 122
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD 131
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット 117
DIMM 58, 64, 322
DVD ドライブ 52
DVD ドライブ・ケーブル 56
PCI ライザー・カード・アセンブリー 154
ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット 104
ServeRAID アダプター・リモート・バッテリー 73
ServeRAID アップグレード・アダプター 72
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 142
取り付け、オプション
完了 152
取り付けのガイドライン 38

[ナ行]

内部コネクター 32
熱伝導グリース 151, 401

[ハ行]

ハードウェア
要件 5
ハードウェア RAID ケーブル
ルーティング 282, 284, 286
ハードウェア、構成 160
ハードウェアの構成 160
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 974
ハード・ディスク
活動 LED 18
状況 LED 18
問題 227
配線 278
オペレーター情報パネル 280
前面
ビデオ・コネクター 279
USB コネクター 279
16x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 284
3.5 型ドライブ・バックプレーン 286
8x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 282
DVD ドライブ 278
VGA 281
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
問題 230
背面
図 23
背面図
コネクター 23
LED の位置 23
パスワード 172
管理者 172
パワーオン 172
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 173
バックアップ・ファームウェア
始動 175
バッテリー、システム
再取り付け 383
取り外し 381
バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
再取り付け 293
パワーオン LED 20, 26
パワー・サプライ
LED 212
パワー・サプライ LED 212
ヒートシンク
再取り付け 393
取り外し 388
取り付け 143
ヒートシンク保持モジュール
再取り付け 403
取り外し 402
ビデオ・コネクター
前面 18
表明イベント、システム・イベント・ログ 217
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 217
ブート・マネージャー・プログラム 160
ファームウェア
更新 1
ファームウェア、更新 159
ファームウェア、サーバー、リカバリー 256
ファームウェアの更新 1
ファン 11
ファン・ブラケット
再取り付け 331
取り外し 330
部品、構造 272
部品リスト 261
ブルー・スクリーン機能 177
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
概要 177
プレゼンス検出ボタン 20
文書化されていない問題 196
米国 FCC Class A の注記 979
ベゼル
再取り付け 294
取り外し 294
ヘルプ
ソース 971
IBM への診断データの送信 30, 973
WWW から 972
返却
コンポーネント 277
装置 277
方式 259
方式、イベント・ログの表示 218
放出音響ノイズ 8
保守容易性、サーバー 15
ボタン
システム・ボード 34
ボタン、プレゼンス検出 20
ホット・スワップ AC パワー・サプライ
再取り付け 357
取り外し 356
取り付け 80
ホット・スワップ DC パワー・サプライ
再取り付け 364
取り付け 83
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン
再取り付け 375
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 375
シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー
再取り付け 375
取り外し 373, 376
ホット・スワップ・ハード・ディスク
再取り付け 299
取り外し 298
取り付け 47
ホット・スワップ・ファン
再取り付け 372
取り外し 371

ホット・スワップ・ファン *(続き)*
取り付け 89

[マ行]

マイクロプロセッサー 11
再取り付け 393
取り外し 388
取り付け 143
問題 235
未解決問題 254
ミラーリング・チャネル・モード 62, 326
メッセージ、診断
POST/UEFI 849
メニュー選択
Setup ユーティリティー 167
メモリー 11
メモリー・サポート 11
メモリー・ミラーリング・チャネル
説明 62, 326
DIMM 取り付け順序 62, 326
メモリー・モジュール
取り外し 321
取り付け 58, 322
メモリー・ランク・スペアリング
説明 63, 327
モデル名
ロケーション 255
問題
イーサネット・コントローラー 253
一般 227
オプション装置 239
キーボード 231
偶発的 230
シリアル・ポート 248
ソフトウェア 250
電源 240, 251
ネットワーク接続 238
ハード・ディスク 227
ハイパーバイザー・フラッシュ装置 230
ビデオ 235, 251
マイクロプロセッサー 235
マウス 231
未解決 254
メモリー 233
モニター 235
DVD ドライブ 226
IMM2 411
ServerGuide 249
USB ポート 250

[ヤ行]

ユーティリティー、セットアップ 160
ユーティリティー、Setup
始動 166
使用 166
ユーティリティー・プログラム
IBM Advanced Settings 182

[ラ行]

ライザー・カード・アセンブリー
LED 38
ラック・リリース・ラッチ 18
ランク・スペアリング
DIMM 取り付け順序 63, 327
ランク・スペアリング・モード 63, 327
リセット・ボタン 21, 202
リマインド・ボタン 21, 202
リモート・バッテリー、RAID アダプター
再取り付け 347
取り外し 345
リモート・バッテリー、ServeRAID アダプター
取り付け 73
リモート・バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
取り外し 292
リモート・プレゼンス機能
使用 177
ルーティング
構成ケーブル 282, 284, 286
電源 ケーブル 282, 284, 286
ハードウェア RAID ケーブル 282, 284, 286
冷却 11
レガシー・オペレーティング・システム
要件 164
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 164
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 11
ロギング 179

[数字]

12Gb RAID 用 Expander 付き 16 x 2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キット
取り付け 97
12Gb/6Gb RAID 用 16x2.5 型ホット・スワップ HDD アセンブリー・キット
取り付け 111
240 VA 安全カバー
再取り付け 296
取り外し 295
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 2 x 8 1.8 型 SSD、取り付け 122
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの 4 x 8 1.8 型 SSD、取り付け 131
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット
取り付け 117
6 GB Performance Optimized HBA アダプター (2 個) オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット、取り付け 117

A

ABR、自動ブート・リカバリー 259
AC パワー・サプライ
LED 212
AC パワー・サプライ LED 212
Active Energy Manager プラグイン 11
Active Memory 11
ASM イベント・ログ 218
Australia Class A statement 980

B

Boot Manager 174

C

Canada Class A electronic emission statement 980
China Class A electronic emission statement 983
Class A 電磁波放出の注記 979

D

DC パワー・サプライ
LED 214
DC パワー・サプライ LED 214
DIMM
再取り付け 328
取り外し 321
取り付け 58, 64, 322
メモリー
two-DIMM-per-channel (2DPC) 58, 322
two-DIMM-per-channel (2DPC)
要件 58, 322
DIMM 取り付け順序 61, 325
メモリー・ミラーリング・チャネル 62, 326

DIMM の取り付け順序
ランク・スペアリング 63, 327
DSA 30
エディション 222
テキスト・メッセージ書式 224
テスト・ログ、表示 224
プログラム、概要 221
DSA Portable 199, 222
DSA Preboot 199, 222
DSA ログ 217, 218
DSA、IBM へのデータの送信 30, 973
DVD
イジェクト・ボタン 18
ドライブ活動 LED 18
DVD ドライブ
再取り付け 309
取り外し 308
取り付け 52
配線 278
問題 226
DVD ドライブ・ケーブル
再取り付け 315
取り外し 313
取り付け 56
Dynamic System Analysis 30
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 11

E

Enterprise X-Architecture テクノロジー 11
European Union EMC Directive conformance statement 980

F

FCC Class A notice 979
Features on Demand 11

G

Germany Class A statement 981

I

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
概要 182
IBM Electronic Service Agent 225
IBM Systems Director 11
更新 183
システム管理ツール 17
IBM への診断データの送信 30, 973
ID
ドライブ 47
IMM web インターフェース 179
IMM ホスト名 178
IMM 用の IP アドレス 178
IMM2 160
エラー・メッセージ 411
IMM2 ハートビート
LED 216
IPMI イベント・ログ 217, 218
IPMItool 218

J

JEITA 表示 982

K

Korea Class A electronic emission statement 982

L

LED
イーサネット活動 20
システム情報 20
システム・エラー 20
システム・ボード 36
システム・ロケーター 20
ハード・ディスク活動 18
ハード・ディスク状況 18
パワーオン 20
パワー・サプライ 212
ライザー・カード・アセンブリー 38
AC パワー・サプライ 212
DC パワー・サプライ 214
DVD ドライブ活動 18
IMM2 ハートビート 216
PCI ライザー・カード上の 216
RTMM ハートビート 216
Licenses and Attributions Documents 6
Light Path 診断 11, 202
パネル 202
LED 205
Light Path 診断パネル
コントロールおよび LED 21
ロケーション 18

N

New Zealand Class A statement 980
NMI ボタン 23
NOS インストール
ServerGuide で 165
ServerGuide を使用しないで 165
Nx 回ブート失敗 260

P

PCI
ライザー・カード・アセンブリー 333
PCI ライザー・カード
LED の位置 216
PCI ライザー・カード・アセンブリー
再取り付け 333
取り外し 43, 332
取り付け 154
PCI ライザー・カード・アセンブリー (ハーフサイズ)
縮小 46
PCI ライザー・カード・アセンブリー (フルサイズ)
拡張 45
PCI ライザー・カード・アセンブリーの縮小 46
PCI ライザー・スロット
サポートされる構成 336
取り付け構成 336
People's Republic of China Class A electronic emission statement 983
POST
イベント・ログ 218
POST イベント・ログ 217
POST/UEFI
診断コード 849

R

RAID アダプター
バッテリー・ホルダー
再取り付け 293
リモート・バッテリー
再取り付け 347
取り外し 345
リモート・バッテリー・ホルダー
取り外し 292
RAID アレイ
構成 182
RAS 機能、サーバー 15
RTMM ハートビート
LED 216
Russia Class A electronic emission statement 982

S

safety vii
Safety Information 7

ServeRAID アダプター
リモート・バッテリー
取り付け 73
ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット
取り付け 104
ServeRAID アダプター・オプション付きの追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キット、取り付け 104
ServeRAID アップグレード・アダプター
取り付け 72
ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュール
再取り付け 343
ServeRAID アップグレード・アダプター・メモリー・モジュラー
取り外し 340
ServeRAID サポート 11
ServerGuide 11
機能 164
使用 163
セットアップ 164
NOS インストール 165
Setup and Installation CD 159
ServerGuide CD 1
Service Bulletin 196
Setup ユーティリティー 159, 160
始動 166
使用 166
メニュー選択 167
SMP 11

T

Taiwan Class A electronic emission statement 983

U

UEFI
ブート・リカバリー・ジャンパー 256
Universal Serial Bus (USB) の問題 250
UpdateXpress 159, 175
USB
コネクター 18
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
再取り付け 380
取り外し 379
取り付け 142

V

VCCI クラス A 情報技術装置 982
VMware ハイパーバイザーのサポート 160

W

Wake on LAN 機能 26

X

X-Architecture テクノロジー 11

部品番号: 00D9327

Printed in Japan

(1P) P/N: 00D9327

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21